

道々芽木遺跡

—新環状・西関東道路建設に伴う発掘調査報告書—

2001.3

山梨県教育委員会
山梨県土木部

道々芽木遺跡

—新環状・西関東道路建設に伴う発掘調査報告書—

2001.3

山梨県教育委員会
山梨県土木部



2号溝出土土馬破片と復元資料



2号溝出土土器

序 文

本書は、新環状・西関東道路建設に伴い平成11年度に発掘調査された甲府市道々茅木遺跡の発掘調査報告書であります。今回の調査は本線建設に先立ち切り回しが必要となった道路部分を対象としたもので、幅5m・長さ約160mの面積約800m²を発掘いたしました。

本遺跡は、これまで山梨英和短期大学敷地内の道路や建物建設地を対象として数次にわたり甲府市教育委員会により発掘調査が行われて来ておりますが、それらの調査では奈良・平安時代の遺物が多く出土しているものの遺構については不明なままでありました。一方、近接の大坪遺跡では数次にわたる調査で大量廃棄された土師器が川べりから確認されており、土師器生産遺跡の可能性が指摘されておりました。なお、この調査では大量廃棄資料中から『甲斐国山梨郡表門』の刻書土器が発見され、表門郷が現在の和戸地域であることが確認されるという重要な発見があったことはよく知られています。

このようなこれまでの調査経過を踏まえ、また、事前の表面採取作業でも驚くほど多量の土師器細片が確認されたことから、今回の調査では土師器生産にかかる何らかの痕跡の確認が期待されました。

調査の結果、弥生時代末～古墳時代初期の遺物集中区域、古墳時代中期の溝、古墳時代後期の住居跡と溝、さらに平安時代の土師器が大量廃棄された溝や井戸が確認され、当初の予想をはるかに上回る成果が得られました。弥生時代末～古墳時代初期の遺物はこれまでの本遺跡の調査では確認されていなかった時期の居住の痕跡を確認したことになり、古墳時代中期の溝から出土した遺物は県内でのこれまでの時期的空白を埋める資料となりました。また、同後期の住居跡や溝は後背地域に展開する後期古墳との関連を窺わせる資料であり、平安時代の溝からの大量の出土遺物は土師器生産の痕跡を示すものと考えられます。なおこの溝中から出土した土馬は県内では初めての確実に平安時代に遡る資料として貴重であるとともに、井戸中への土師器の大量廃棄も含めて水にまつわる祭祀との係わりが注目されます。

本報告書が多くの方々の研究資料としてご利用いただければ幸甚です。

末筆ながら、種々ご協力を賜った関係機関各位、ならびに直接調査に従事していただいた方々に厚く御礼申し上げます。

2001年3月

山梨県埋蔵文化財センター

所 長 大 塚 初 重

例　　言

- 1 本書は、平成11年度に新環状・西関東道路建設に先立ち発掘調査された甲府市道々茅木遺跡の発掘調査報告書である。
- 2 調査は、県土木部の委託を受けて県教育委員会が実施した。
- 3 発掘調査及び出土品の整理は山梨県埋蔵文化財センターで行い、長沢宏昌・三森鉄治が担当した。
- 4 本報告書の編集は、長沢・三森が行い、第1章・第2章を三森が、第3章・第4章を長沢が執筆した。
なお、埋甕についてのリン分析を(株)パリノ・サーヴェイに委託したが、分析の結果とくにリン分の富化が認められないとの報告があった。本来ならば結論の如何にかかわらず分析報告として掲載すべきであるが、紙面の都合上本報告書への掲載は割愛する。
- 5 写真撮影は、遺構を長沢・三森が、遺物を塚原明生（日本写真家协会会员）が行った。
- 6 本報告書にかかる出土品および記録図面、写真等は一括して山梨県埋蔵文化財センターに保管してある。
- 7 本報告書で示した甲斐型土器の編年は、山梨県考古学協会による甲斐型土器研究グループ第1回研究資料に基づく。
したがって甲斐型杯はVI期－780～800、VII期－800～820、VIII期－820～840、IX期－840～860、X期－860～880、XI期－880～920、XII期－920～960年の年代を想定している。
- 8 発掘調査および本報告書の作成にあたり、下記の方々にお世話になった。記して謝意を表する次第である。
数野雅彦（甲府市教育委員会）
信藤祐仁（　　タ　　）
伊藤正幸（　　タ　　）
平塚洋一（　　タ　　）
志村憲一（　　タ　　）
佐々木満（　　タ　　）
伊藤正彦（　　タ　　）
望月清隆（地元）

目 次

序

例言

第1章 調査経過と組織	1
第1節 調査に至る経緯	1
第2節 調査組織	1
第2章 遺跡周辺の環境	2
第3章 遺構と遺物	4
第1節 遺構・遺物の概要	5
第2節 住居跡	5
第3節 土坑	8
第4節 井戸跡	10
第5節 溝跡	16
第6節 遺物集中区	52
第7節 遺構外出土遺物	53
第4章 調査の成果と課題	87

挿図目次

- 第1図 周辺の遺跡
第2図 道々茅木遺跡調査全体図
第3図 1号住居跡
第4図 1号住居跡出土遺物（その1）
第5図 1号住居跡出土遺物（その2）
第6図 土坑
第7図 土坑出土遺物
第8図 1号井戸跡
第9図 2号井戸平面図
第10図 2号井戸遺物接合図
第11図 2号井戸出土遺物（その1）
第12図 2号井戸出土遺物（その2）
第13図 2号井戸出土遺物（その3）
第14図 2号井戸出土遺物（その4）
第15図 1号溝・1号埋甕
第16図 1号溝出土遺物
第17図 2号溝平面図
第18図 2号溝接合図
第19図 2号溝遺物位置図（その1）
第20図 2号溝遺物位置図（その2）
第21図 2号出土遺物（その1）
第22図 2号出土遺物（その2）
第23図 2号出土遺物（その3）
第24図 2号出土遺物（その4）
第25図 2号出土遺物（その5）
第26図 2号出土遺物（その6）
第27図 2号出土遺物（その7）
第28図 2号出土遺物（その8）
第29図 2号出土遺物（その9）
第30図 2号出土遺物（その10）
第31図 2号出土遺物（その11）
第32図 2号出土遺物（その12）
第33図 2号出土遺物（その13）
第34図 2号出土遺物（その14）
第35図 2号出土遺物（その15）
第36図 2号出土遺物（その16）
第37図 2号出土遺物（その17）
第38図 2号出土遺物（その18）
第39図 2号出土遺物（その19）
第40図 2号出土遺物（その20）
第41図 2号出土遺物（その21）
第42図 2号出土遺物（その22）
第43図 3号溝平面図・接合図
第44図 3号溝出土遺物
第45図 弥生集中区平面図・接合図
第46図 弥生集中区出土遺物（その1）
第47図 弥生集中区出土遺物（その2）
第48図 弥生集中区出土遺物（その3）
第49図 グリッド出土遺物（その1）
第50図 グリッド出土遺物（その2）
第51図 グリッド出土遺物（その3）
第52図 道々茅木遺跡出土土器編年図

写真図版目次

- 巻頭図版 2号溝出土土馬破片と復元資料
2号溝出土土器
図版1 遺跡遠景 調査前風景 住居跡遺物出土状況
図版2 住居跡遺跡物出土状況
図版3 1号井戸跡 2号井戸跡
図版4 1号溝
図版5 2号溝遺物出土状況
図版6 2号溝遺物出土状況
図版7 2号溝断面 3号溝遺物出土状況 弥生集中区遺物出土遺物
図版8 住居跡出土遺物
図版9 住居跡出土状況 3号～5号土坑出土遺物
図版10 2号井戸跡出土遺物
図版11 1号溝出土遺物
図版12 2号溝出土遺物
図版13 2号溝出土遺物
図版14 2号溝出土遺物
図版15 2号溝出土遺物
図版16 2号溝出土遺物
図版17 2号溝出土遺物
図版18 2号溝出土遺物
図版19 2号溝出土遺物
図版20 2号溝出土遺物
図版21 2号溝出土遺物 3号溝出土遺物
図版22 弥生集中区出土遺物
図版23 遺物外出土遺物

第1章 調査概要

第1節 調査に至る経緯

新環状・西関東道路の建設に伴い、本線の建設に先立って山梨英和短期大学正門の脇に新たな取り付け道路が敷設されることになった。本遺跡の調査区は、道路建設予定地のL字状に折れ曲がった畠地800m²（幅5m、長さ160m）に当たる。同大学の敷地内については、既に甲府市教育委員会が発掘調査を実施し、奈良・平安時代の遺物が多数出土した。平成11年4月、県土木部の新環状・西関東道路建設事務所に依頼され、工事予定地の実地調査を行ったところ、現場周辺には土師器を中心とする遺物の極めて濃密な散布状況が認められた。これを受け、同月下旬に試掘調査を行った結果、遺物の出土状況等から発掘調査が必要と判断し、本調査を実施する運びとなった。発掘調査は、平成11年4月27日から6月28日までの約2ヶ月間、整理作業及び報告書作成作業は、平成11年12月から平成12年10月までの11ヶ月間にわたって実施された。

尚、文化財保護法に基づく手続きは以下の通りである。

平成11（1999）年4月 道々芽木遺跡の発掘通知を文化庁長官に提出

平成11（1999）年11月 道々芽木遺跡の埋蔵文化財発見通知を甲府警察署長に提出

第2節 調査組織

調査主体 山梨県教育委員会

調査機関 山梨県埋蔵文化財センター

調査担当者 平成11年度・12年度 長沢宏昌（県文化財主事）
三森鉄治（　　タ　　）

調査員 平順孝

作業員 雨宮昭仁、赤岡教、齊藤重信、高野眞寿美、平本玲子、
坂田みづほ、佐藤武光、宮沢初恵、深澤芳邦、依田政子、
志村昌昭、依田歎、佐田久男

整理作業員 高野眞寿美、平本玲子、雨宮明仁、古屋清美、坂田みづほ、
齊藤重信、佐藤武光、手塚房子、雨宮一二三、江川理恵
齊藤律子、平川涼子、長田久江、佐野眞雪、澤登由美、三好美智

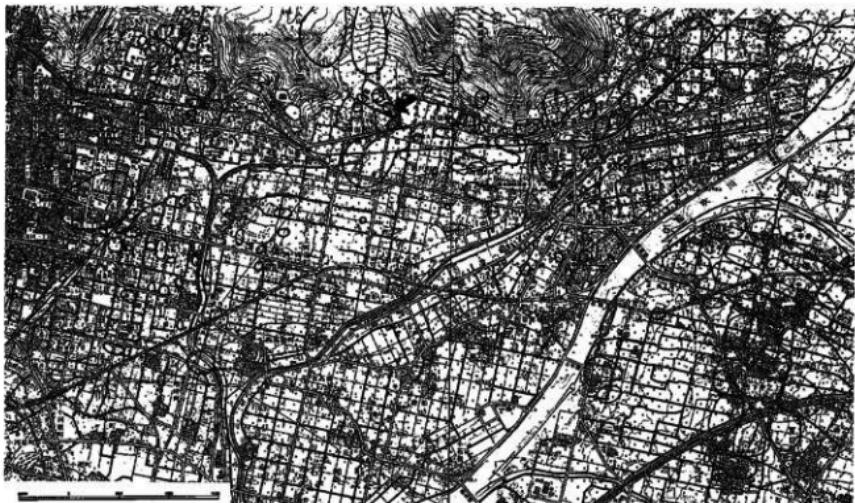
第2章 遺跡周辺の環境

道々茅木遺跡の所在地甲府市横根町は、甲府盆地の北部、大藏経寺山の西南麓に位置する。本遺跡の北に聳える八人山と大藏経寺山は秩父山系の前衛にあたり、両山に挟まれた斜面を南流する大山沢川の流域に沿って急勾配の扇状地が形成されている。扇状地の南向き斜面一帯には、大山沢川の両岸を中心に横根・桜井積石塚古墳群が群在し、145基にも及ぶ積石塚が集中的に分布する。積石塚の形態はすべて円墳であり、標高290mから460m付近まで広範囲に分布する。積石塚の他にも、周辺には北原古墳群、既にその殆どが消滅した和戸の古墳群等があり、県内でも屈指の古墳密集地として知られている。積石塚の多くは6世紀後半から7世紀頃の築造と考えられ、内部主体が明確なものは68基を数える。なかでも、八人山南東斜面低位に位置する39号墳は、保存状態が比較的良好な大型の墳丘を残し、学術調査が実施された。その結果、全長6.2mを測る横穴式石室内から土師器・ガラス小玉・鉄鎌・刀子等に加えて、若齢馬のものと見られる歯6点が出土した。

周知のように、積石塚の成因については、朝鮮半島北部の高句麗の墓制を祖形と考える大陸墓制説と、自然環境に適応して発生したとする環境自生説の二説が唱えられてきた。横根・桜井積石塚古墳群の場合も同様であり、統一的見解はいまだ得られない現状にある。

道々茅木遺跡は、横根・桜井積石塚古墳群と同じ扇状地上の扇端部に立地する。大山沢川は、本遺跡のやや上流で十郎川と名称を変える。この十郎川の右岸から50mを測る英和短期大学正門西の畠地800m²が今回の調査区に当たる。近隣には、土師器生産遺跡の一つとされる大坪遺跡、古代寺院の瓦を焼成した川田瓦窯跡、上土器遺跡等があることから、この周辺は高度な窯業技術を備えた工人集団の居住地と推測してきた。積石塚を築造した人々の集落ではないかとも以前から指摘されているが、考古学的資料に乏しく、いまだ推測の域を出ない現状にある。

この付近の縄文時代の遺跡は、大藏経寺山の山裾周辺を中心に分布し、甲府市では地蔵堂遺跡、桜井畠遺跡(A・C地区)、石和町内では畔作遺跡、大藏経寺前遺跡、松本塚の越遺跡等がある。弥生時代では、上土器遺跡、桜井畠遺跡等から後期の土器片が検出されており、周辺地域に集落跡の存在が予測されている。



第1図 周辺の遺跡（弥生時代～古墳時代：矢印が本遺跡）

古墳時代以降、この地域の遺跡数は著しく増加する。前述の横根・桜井積石塚古墳群をはじめ、墳丘墓では和田町の琵琶塚古墳、太神さん古墳、上阿原町の藤塚古墳等が知られている。集落跡では、甲府市域の桜井畠遺跡（A・B・C地区）と上土器遺跡、石和町の塚ノ越遺跡、春日居町の神東遺跡等を挙げられる。桜井畠遺跡（A・B・C地区）では、住居跡と共に方形周溝墓が確認された。外中代遺跡でも、竪穴住居跡が確認されている。

甲斐国における古墳文化は、4・5世紀あたりまで、中道町の銚子塚古墳・大丸山塚古墳等が所在する曾根丘陵一帯を中心とされたと考えられている。その後、6世紀代には八代町・御坂町付近、さらには甲府盆地の南東部から北部にかけて次第に勢力圏の中心が拡散したとされる。具体的には、御坂町の姥塚古墳周辺、甲府市西部の加牟那塚古墳周辺、それに横根・桜井積石塚古墳群の立地する甲府東部から春日居町にかけての地域、すなわち本遺跡の周辺である。横根・桜井積石塚古墳群以外にも、鞍掛塚古墳・大藏經寺山古墳群等の積石塚が分布し、その総数は160基以上を数え、長野県の大室古墳に次ぐ全国第2位の規模にあたる。横根・桜井積石塚古墳群が分布する範囲は、現在でも葡萄を中心とする果樹栽培に使用されており、過去には果樹園造成等に伴って多くの古墳が削平され、消滅した可能性が高いと見られている。飯島進氏は、現存する古墳数から消滅した古墳数を推定し、総数1000~1400基と試算しているが、数値の当否はともかく、今までに相当数の積石塚が消滅したのは間違いないようである。

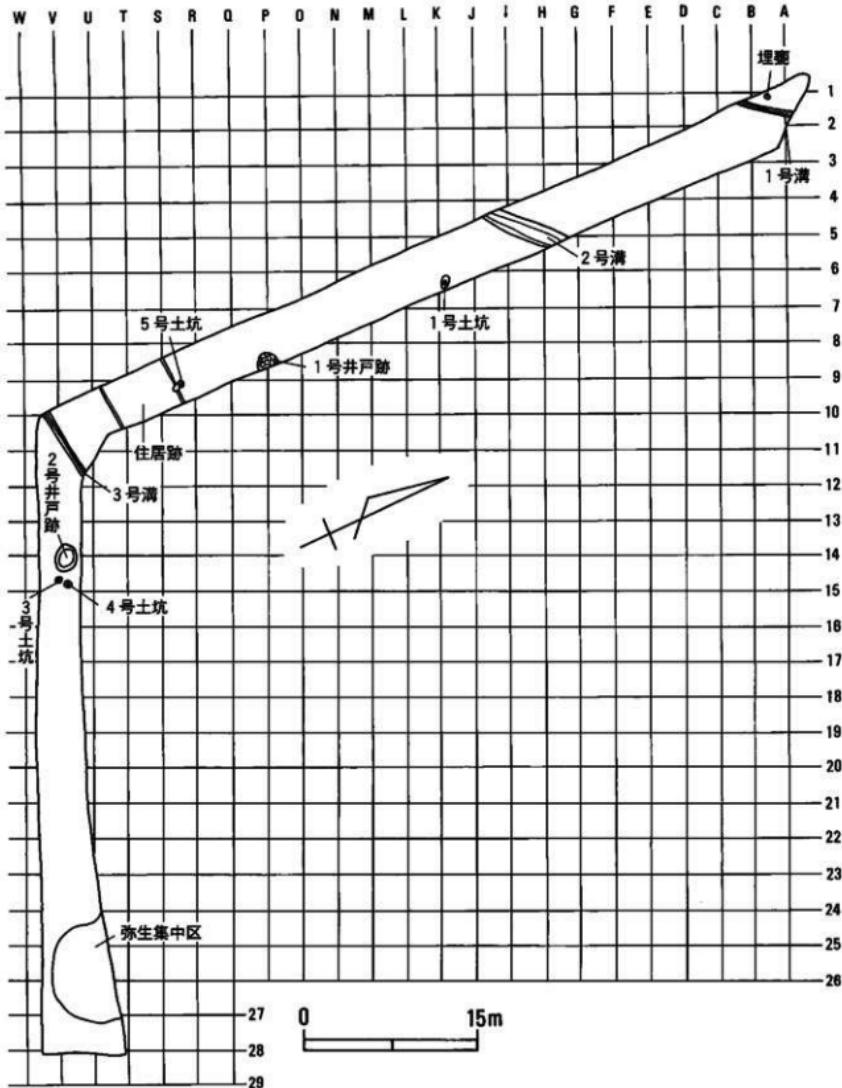
7世紀末には、本遺跡と隣接する春日居町に、甲斐国における政治・文化の象徴とも言える寺本庵寺が建造された。7世紀代における甲斐国唯一の寺院であることを考えると、春日居地域を中心に台頭した勢力が、この時期既に群を抜く存在であったことが窺われる。この地域の勢力は、奈良時代に入ってからも衰えず、春日居町国府（こう）は、御坂町の国衙、一宮町東原と共に、甲斐国府が置かれた候補地の一つに比定されている。

奈良・平安時代の遺跡の分布域は、古墳時代とはほぼ一致し、継続して営まれた遺跡も多く見られる。奈良時代に入ると、国・評（郡）・里（郷）制が成立し、甲斐国には山梨郡・八代郡・巨摩郡・都留郡の4郡が設置された。道々茅木遺跡を含む甲府盆地東縁地域は、山梨郡に属していたようである。本遺跡から青梅街道（国道140号線）を挟んで200mほど南には、大坪遺跡（平成6年度調査地点）があり、須玉町大小久保遺跡、小瀧沢町前田遺跡と共に、県内における土師器生産遺跡の一つと考えられている。昭和57（1982）年度の調査地点からは、「甲斐國山梨郡表門」と記された刻書土器が出土し、当該地域が『和名類聚抄』に記載される山梨郡表門郷の郷域であることが確認された。「表門」の訓は「宇波止」（うわと）であり、甲府市和戸町の和戸（わど）の遺称とされる。「うわと」が音便の変化によって「わど」に転化したというものである。本遺跡から200mほど北に位置する東畠遺跡竪穴住居跡から白鳳期の小金剛仏が出土し、和田町の桜井畠遺跡A地区からも「寺」と墨書きされた土器が出土していることから、近くに寺院が存在したのではないかと推測されている。また、川田町の川田瓦窯跡は、7世紀末に建立された春日居町の寺本庵寺に瓦を供給した生産遺跡として知られ、奈良時代には隣接する上土器遺跡と共に、甲斐國分寺瓦の生産を行っている。このことから、本遺跡周辺は、古代甲斐国の国府とも関係が深い地域であったと推測される。

中・近世の遺跡は、古墳時代以来の範囲が拡大し、山裾周辺部から沖積地に到るまで広範囲にわたる分布が見られる。なかでも代表的な遺跡として、武田家の居館として知られる川田町字御所の川田館跡がある。永正16年（1519）、武田館は古府中の藤岡ヶ崎の地に移されるが、その直前、武田氏が守護大名から戦国大名に変貌する時期の拠点となった居館である。周辺には、二之宮神社・寿徳院等の寺社が鎮座し、「御所曲輪」「御厩屋敷」「女中屋敷」「舞台」等、居館に関連した地名も残っている。昭和62（1987）年に行われた発掘調査の結果、15~16世紀代を主体とする遺物が検出されたが、決定的な遺構の確認までには至らなかった。居館移転の原因としては、水害脱と体制強化移転説が挙げられているが、いまだ決着していない現状にある。

以上述べてきたように、本遺跡は、古代甲斐国における土師器・瓦の生産と流通、積石塚と被葬者の居住地の問題、甲斐国府の行政機構、さらには甲斐国における社会背景全般を探る上でも、極めて重要な地理的・歴史的環境にあると考えられる。

第3章 遺構と遺物



第2図 道々芽木遺跡調査全体図

第1節 遺構・遺物の概要

今回の調査対象は既存の道路の切り回しで、それまでブドウ畠であったところに幅5mの道路をL字形に曲げ、延べ約160mの長さで新設するというものである。

調査に先立ち、現地で表面採取を行ったが、その遺物の多さに驚かされた。ほんの僅かな時間で両手に抱え切れないくらいの土師器片を集めることができる状態であった。いずれも1・2cm程度の小破片で、耕作により細片となったものである。地元で聞いたところ、20cm程度の表土を除去するとコンクリートのように堅い整になるということで、大量の遺物が表土に細片となってみられることから遺構の存在した生活面が既に削平されていることが予想され、遺構の存在は絶望的と思われた。対象域およびその周辺に17ヵ所のトレンチを設定し遺物出土状況と土層状況を確認した。表土は10~20cm程度で、調査前に聞いたガチガチに堅い黒色土層となる。黒色土は20cm程の厚さで、その下に40cm程の暗褐色土があり、さらにその下は砂疊層となっていた。遺物は表土と黒色土の上部にみられ、黒色土を掘り込んだ遺構が存在すれば確認も可能であることが明らかとなった。

調査は、調査幅5mと狭く、かつ対象区域がL字形に曲がっているためグリッドの設定に苦慮したが、通常よりやや小さめの3mグリッドを設定することとした。工事用杭のうち調査区域に最も近接したA4-1杭(X=-38081.627, Y=10647.411)とA4杭(X=-38113.194, Y=10713.434)の2本を見通し、A4-1杭からA4杭に向かって3mの地点に仮基準杭を設定した。そこから北側に90度振って調査区域内にグリッドラインを設定した。A4-1杭とA4杭を結ぶ直線は、全体図では縦方向のWラインに相当する。また、仮基準杭はヨコ方向の10列となる。したがってA4-1杭はW-9杭ということになる。なお、ヨコ列の数字の小さい方の側(北西)を向いてグリッドの中心に立った場合、その左後ろの杭番号をグリッド番号とした。

調査の結果、予想以上の遺構や遺物集中区域が確認された。遺構では、弥生時代末~古墳時代初期の土坑2基、古墳時代中期の溝1条、同後期の住居跡1軒・溝1条、平安時代後期の土坑2基・井戸跡2基・溝1条が確認された。特に平安時代の井戸跡の1基には200個体ちかい壺・皿・鉢が投げ込まれていた。また、平安時代の溝は最大幅2m程度であり、調査面積は10m²にも満たない状況であるにもかかわらず、壺・皿・鉢など1000個体以上が出土した。この中には県内ではじめて確実に平安時代に位置づけられる土馬の頭部と脚部が含まれており、祭祀を示す資料として注目される。遺物集中区域では弥生時代末~古墳時代初期の集中域が確認されており、初期のS字状口縁壺と併行する時期の他系統土器の対比資料として重要なものとなる。

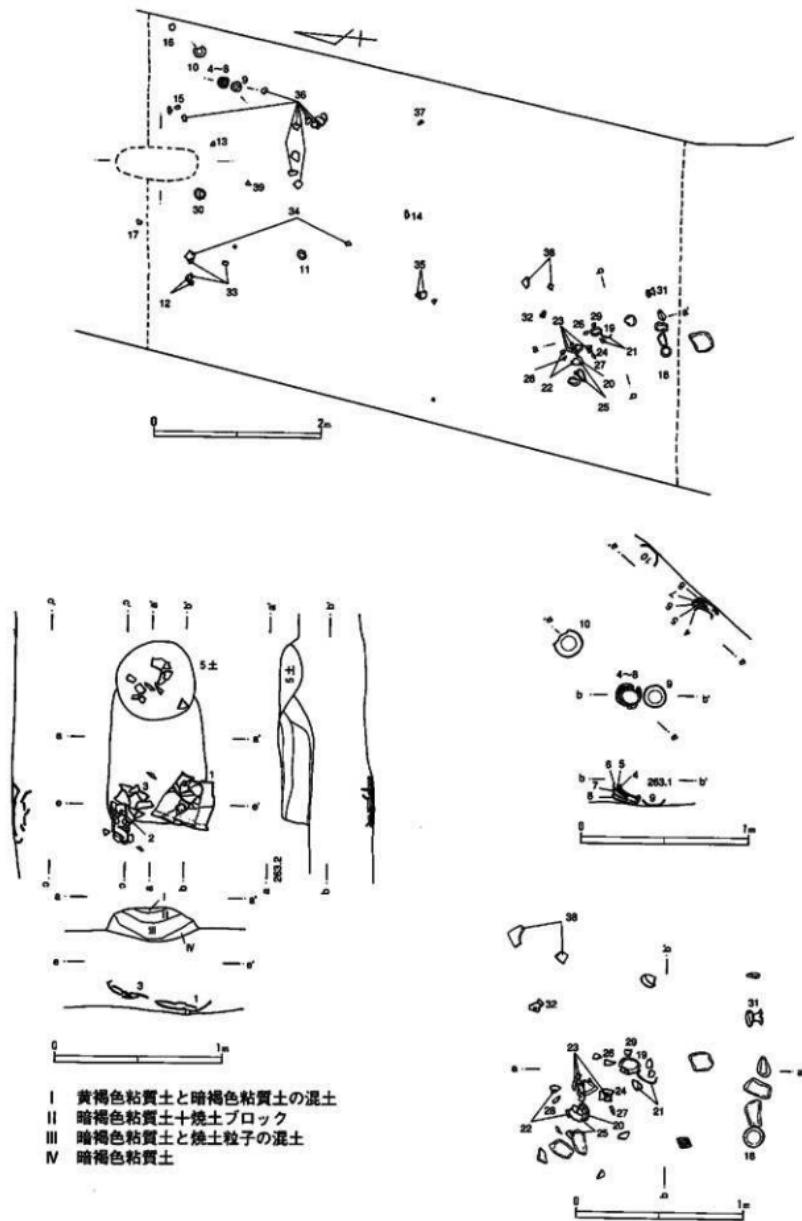
このように当初の予想に反して、重要な資料が多数得られた。以下に遺構毎に概要を記す。なお、本書では遺構の説明文中に必要に応じて遺物を示すが、文中的()内に示された遺物番号は遺構毎の遺物番号を意味するものである。

第2節 住居跡

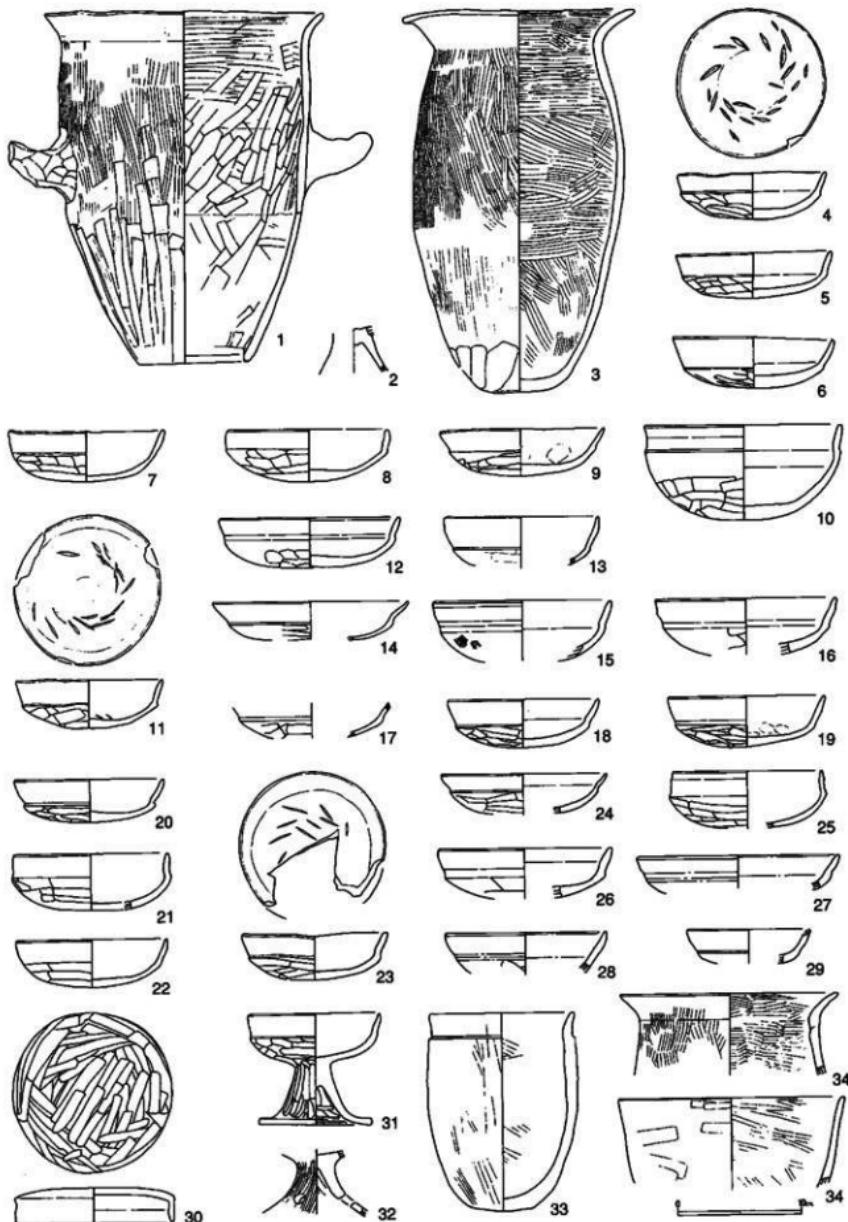
S-9・10、T-9・10・11、U-10・11グリッド。S-10グリッド内に蒲鉾状に焼土が検出され、カマドと確認された。そこから南側に古墳時代後期の遺物の集中が見られ住居跡と判断した。北壁はカマドの存在によりほぼ確定できるものの、東・西・南壁は全く確認できなかった。同時期遺物の集中状況から住居跡の大きさを南北6.2m程度と推定したが、推定値にしてもかなり大型の住居跡である。これはあくまで遺物の集中域の推定である。確実にカマドと認識できたのは1ヵ所だけであるものの、住居内と想定した部分には少なくとも別に2ヵ所の焼土ブロックが確認されており、複数の同時期住居跡が存在していた可能性も否定できない。

カマド前面も含め床と認識できる硬化面は確認できなかった。また柱穴等のピットも検出されなかった。

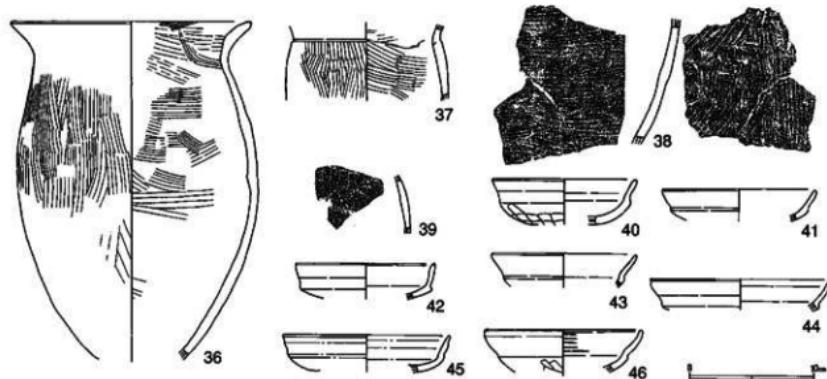
カマド脇すぐの西側には壺蓋(30)が潰れていた。壺蓋である以上壺とセットになるのであろうが、さらにその西側に細片となって散っていた小型壺(33)ともびったり一致する。この壺は口縁部に段を有しており、段から直立する口唇までの幅と口径が壺と一致するもので、壺への使用も想定できよう。カマドの東側には壺5個体(4~8)が重なった状態でおかれ、その脇に別の壺(9)が、さらに30cm離れて鉢(10)がおかれてい



第3図 1号住居跡



第4図 1号住居跡出土遺物（その1）



第5図 1号住居跡出土遺物（その2）

た。これらは、廐棄ではなく日常そのままの状態を示すものである。南壁の想定ラインちかくで、20cm大の石3個を直線に配した状態が確認された。しかもそれを挟むように壊（18）と高壊（31）が確認されている。いずれも完形で壊は正位、高壊は倒れていた。さらにその北側では遺物の集中（19～29）がみられた。これらの遺物はいずれもほぼ同レベルで出土している。カマドは一部が残存していた。長さ90cm、幅60cmの範囲にカマボコ状に焼土の盛り上がりがみられたためカマドと判断したものである。カマド北半分は平安時代の土坑に切られており縄道は確認できなかった。内部には擾乱が及んでいないが、袖石は確認されていないことから、本体は粘土で構築されたものと思われる。内部は焼土が主体であるが、最上層には焼土と黄褐色粘土が確認されており、これが構築材の一部と考えられる。内部からは、甌（1）と甕（3）が潰れた状態で出土しており、高壊脚部（2）も出土した。

遺物は土器だけである。ここでは46点を図示するが多くは小破片である。壊・高壊・鉢・壺蓋・甕・甌が出土している。壊は口縁部下に段を有するものが主体で、明瞭に段を有さないものは22の1点のみである。しかし、これも球形の壊とは明らかに異なる。

資料中に彩色されたものが目立つ。丹塗りされたものは4・7・10・11・23・41の6点を数え、黒彩（炭素吸着含む）は5・6・9・10・12・19・21・22・24・25・30・31・41・42の14点である。このうち10・41は外面丹塗り、内面黒彩（炭素吸着）である。また30の蓋、31の高壊は黒彩されている。

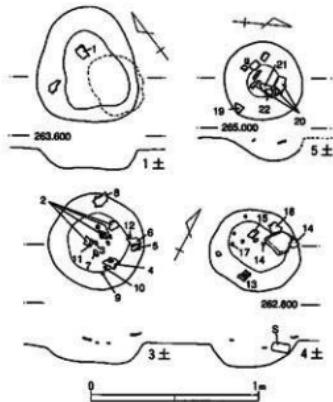
これらの資料は、壊が段を有する一群であること、黒彩資料が顕著であることなどから坂本美夫による古墳時代の編年のX期（6世紀後半）を当てておく。

第3節 土 坑

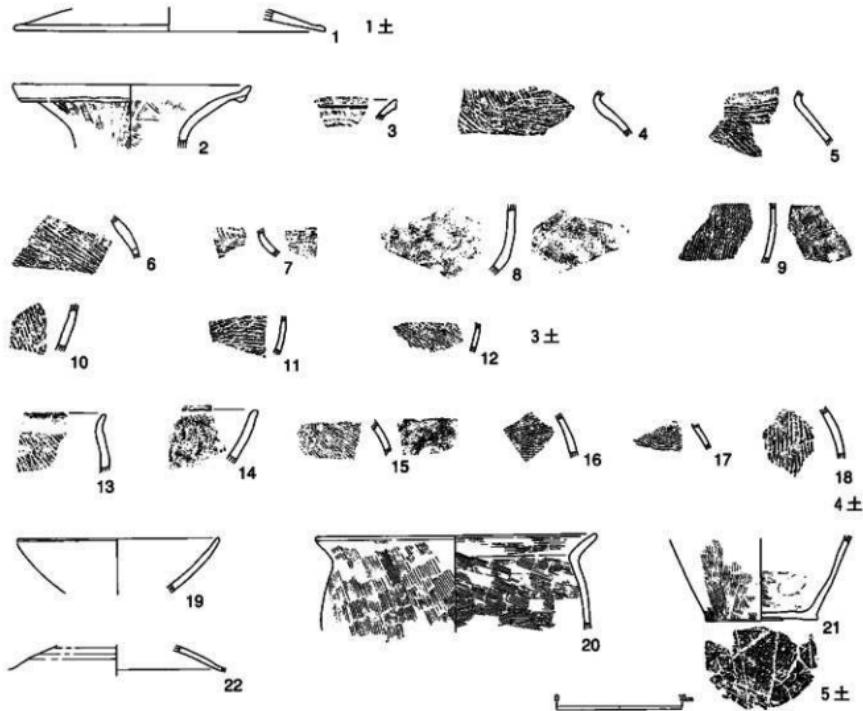
1号土坑

K-7グリッド。長径70cm、短径60cm、深さ10cmを計る。上部に焼土の集中が見られたため、存在が確認されたが、焼土は確認面のみで、下部では飛散する程度であった。遺物は土器片2点が確認されたに過ぎない。図示できたのは蓋（1）のみである。

3号土坑



第6図 土坑

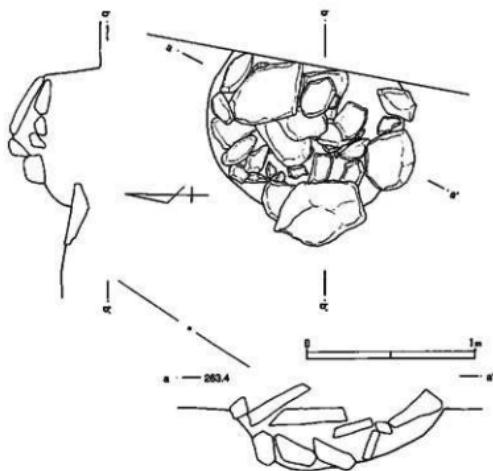


第7図 土坑出土遺物

V-15グリッド。2号井戸脇に4号土坑と並んで確認された。径55cmの円形を呈し、深さ15cmを計る。内部に焼土はみられない。遺物はいずれも浮いた状態で、細片となって出土しているが、意外に多い。いずれも薄手の作りであり、外面に条痕がみられる。口縁部破片の2・3が壺である以外は、壺もしくは台付壺である。弥生時代末～古墳時代初期に位置づけられよう。

・4号土坑

V-15グリッド。本土坑も小型であり、50cmの円形を呈する。深さはやはり15cmである。土坑壁に接して15cmの平石1点が確認されている。遺物はやはり浮いて出土しており、小破片となっている。6点を図示するが、やはり薄手で外面には条痕を有する。時期は3号



第8図 1号井戸跡

土坑と同じである。

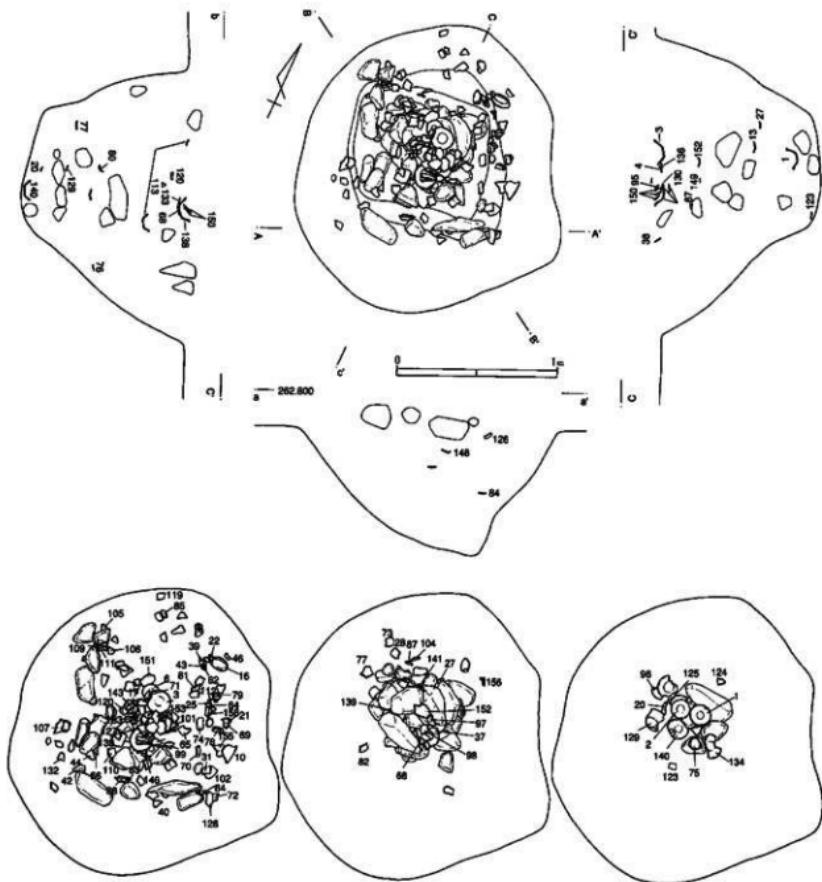
・ 5号土坑

S-10グリッド。住居跡のカマドを切っている。内部には焼土がみられる。遺物は土師器だけで、蓋・鉢・甕が出土している。甕は口縁部と底部の大型破片であり、底部には木葉痕がみられる。口縁部は体部と同じ厚さで内面屈曲部から口唇まで27mmである。甲斐型編年のⅨ期に位置づけられよう。

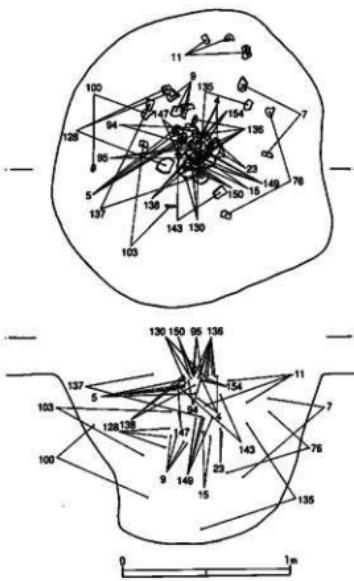
第4節 井戸跡

・ 1号井戸跡

P・Q-9グリッド。内部に20~50cm大の平石を充填した土坑で、井戸と判断した。石は底面に張り付けら



第9図 2号井戸平面図



第10図 2号井戸遺物接合図

れた状態のものと、中心部分に投げ込まれ浮いた状態で出土しているものがある。一部が未調査であるが、確認部分で径130cmの円形を呈し、深さ40cmを計る。壁面近くの平石には内部に倒れ込むような状態で確認されているものがあることから、さらに上部の壁面を保護していたものとも考えられる。なお、調査中から底面付近では水が染み出す状況であった。遺物は全く出土しておらず、時期不明である。

・2号井戸跡

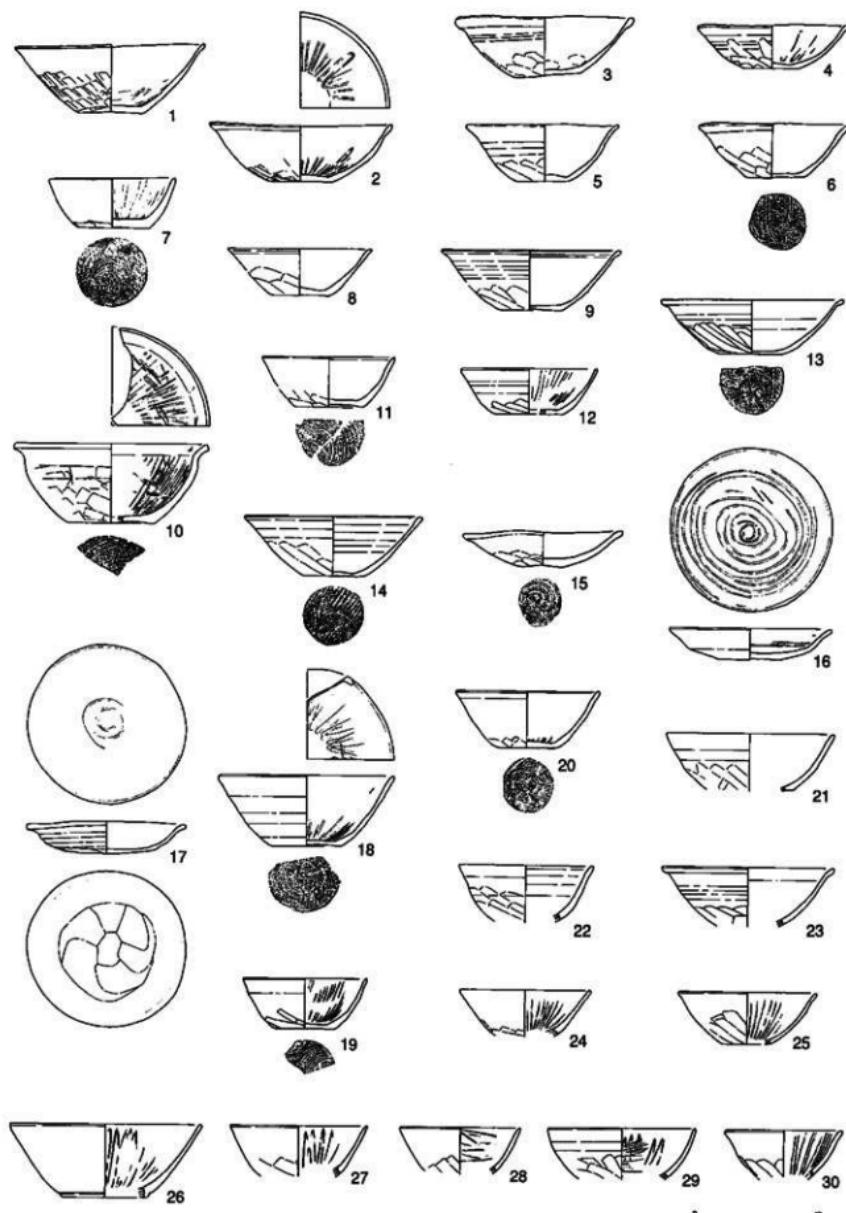
V・W-14・15グリッド。本遺構は上面に完形にちかい遺物が2・3点みえていたことから土坑を想定し調査に入った。プランが全く確認できなかったため遺物集中部分の中央と想定される部分にセクションベルトを設定し、掘り下げを開始したが、遺物は出土し続けたうえ、範囲も深さも予想以上に広がった。最終的には底面で壁の立ち上がりが確認でき、長径180cm、短径160cm、深さ100cmを計ることとなった。壁は一部に垂直にちかい部分があるが、45度程度の角度で立ち上がる。しかしこのまま広がり続けることは予想しにくく、当時の地表面からの掘り方も2m程度であったと想像される。本井戸跡も50cm程度掘り込んだ所で水が染みだし、翌朝にはヒャク等でくみ出す作業を行わなければならない状況であった。

井戸枠等の施設は確認されていないが、底面や中心部分には10~30cm大の石が確認されている。しかし1号井戸跡の石と違い、平石は全くなく、これらは後に投げ込まれたものと考えられる。ただ、底面ちかくから156に示した木片が出土している。木片はごく小さく、それ自体には加工は認められないが、未炭化であることから施設や道具の破片の可能性もある。

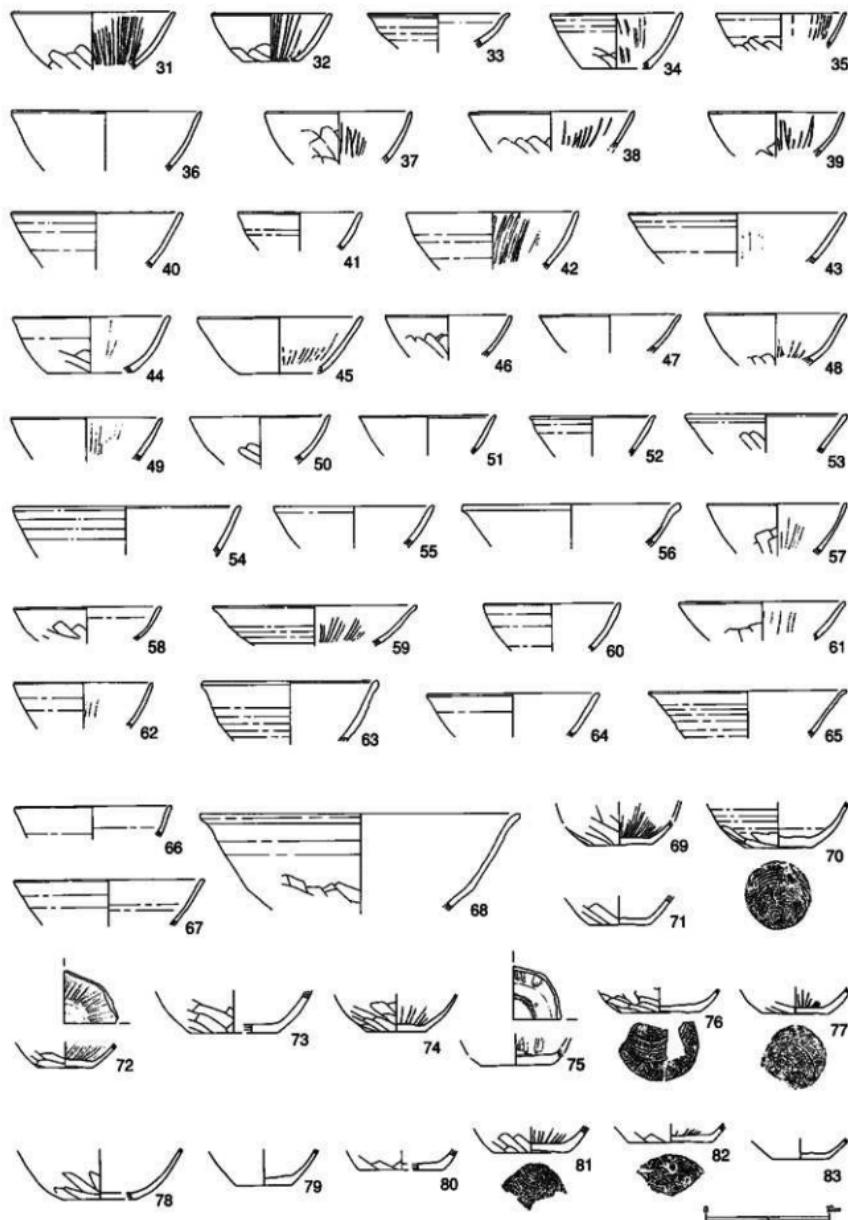
遺物は非常に多く、若干の須恵器と瓦を除いたほとんどが土師器である。最上部から最下部まで完形もしくはそれにちかい資料が出土し続けた。なお、最上部で完形土器とともに確認されていた30cm大の石(157)は縄文時代の多孔石であった。

第10図に示した接合関係では、2~7点の接合が目に付く。多くは2・3点の接合であるが、これは壺などの大型の器種が少なく、壺が主体であることによるものであろうが、極端な細片の投げ入れを行っていない事も事実である。飛散の範囲は井戸跡内ということもあって50cm以内がほとんどである。しかし、高さでは135が底面にちかい部分から出土した破片と中層部から出土した破片とが60cm以上の差を示し、また、7や100も50cmちかくの差があることなど、平面分布よりも垂直分布の差が強い傾向がある。これらの土師器の時期差がほとんどないことから、極めて短期間にこれらの投げ込みが行われたことが窺われる。しかし、出土遺物のうち1・5・6・15・16・17・138の7点は完形に復元され、しかもそのうちの6・16の2点は全くの無傷であったことから他の5点も無傷の状態であった可能性が否定できない。このような状況からは、投げ込みは認められても、それが投棄であるとは考えにくい。このことは「あえて無傷の完形品を含む大量の土器を井戸に入れる行為」として理解されよう。

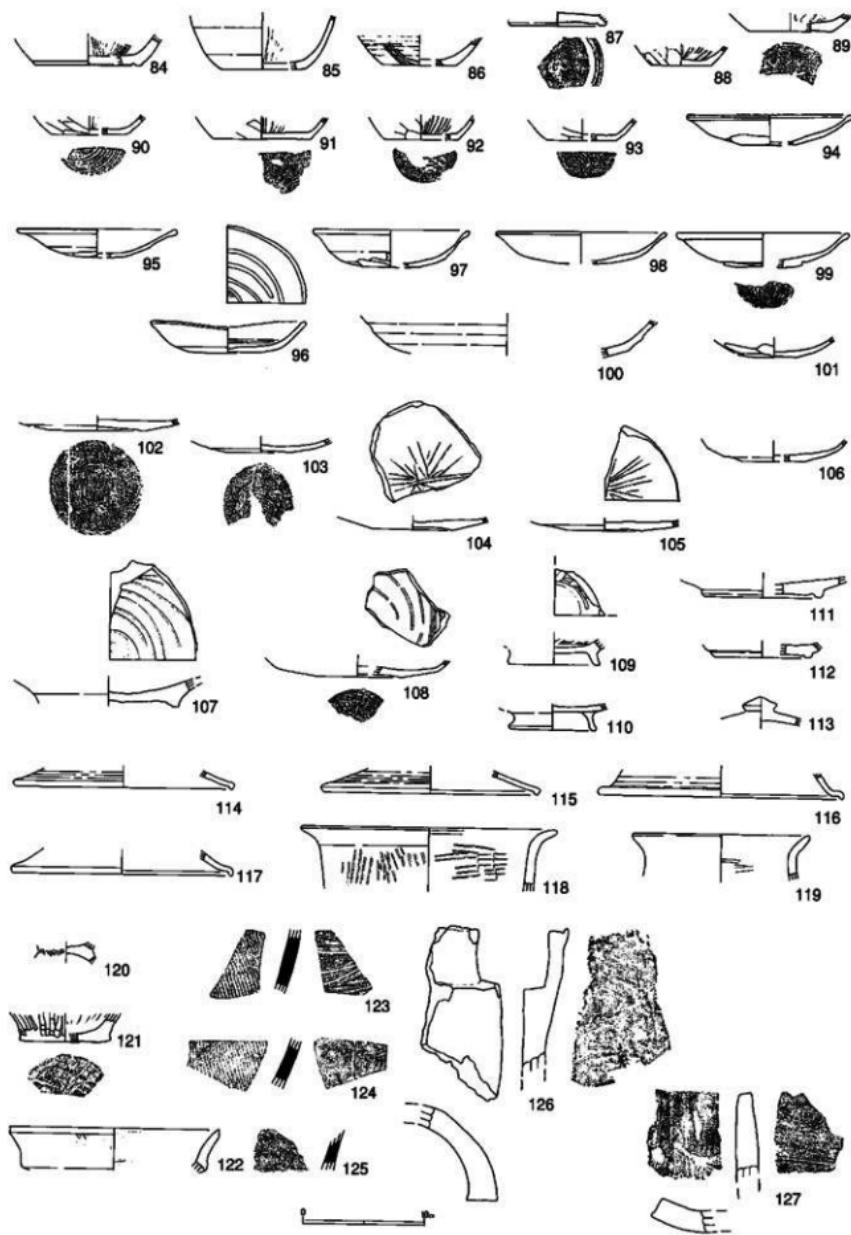
土師器は、壺は7・147がみこみ部に暗文が及ぶもので、これらは甲斐型縄年VII期に位置づけられよう。皿では104・105が暗文については同様であるが、皿の放射状暗文はVII期~IX期にみられ、破片資料では断定できない。むしろ、暗文はみられないものの、器形や体部とみこみ部の境に一条の磨きがあり区分け意識がはっきりしていることなどから148が古い様相と捉えられ、VII期へ位置づけられよう。



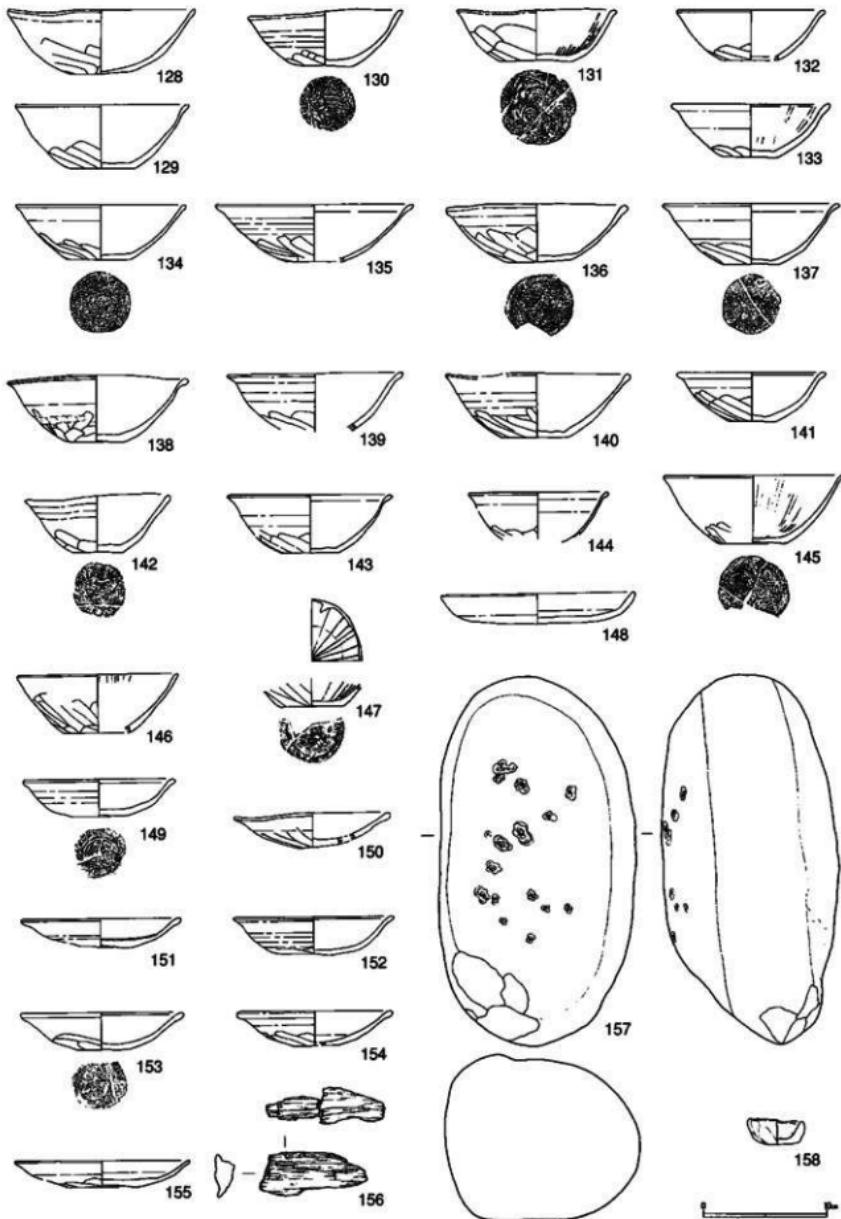
第11図 2号井戸出土遺物（その1）



第12図 2号井戸出土遺物（その2）



第13図 2号井戸出土遺物（その3）



第14図 2号井戸出土遺物（その4）

本井戸跡の最下層から出土している完形もしくは半完形資料は1・2・129・134・140などである。1・2がX期、129・134・140がXI期に位置づけられるよう。逆に上層からは3・4・137・138・150などが出土している。4に暗文がみられる他は全く暗文ではなく、ほとんどがXI期に位置づけられるものであろう。そのほかの坏は、口縁部が肥厚し、暗文が施されないXI期の資料が多い。なお皿では、渦巻き状暗文が施された16も上層部からの出土であり、IX～X期に位置づけられる。暗文のみられない17はII期、15や149～154に示した資料は口縁部の状況からXI～XII期への位置づけが妥当であろう。鉢は少なく10と68の2点であるが、10は口縁部をはっきり意識し外反させるタイプで、暗文が施されている。鉢は資料が少なく幅年が確立されているとは言い難いが、これまでの例からしてII期もしくはX期に位置づけられよう。68には暗文がみられないが、同様の時期へ位置づけておく。

以上のように、坏と皿については例外的にVII期に位置づけられるものがあるものの、主体となるのは、坏はX～XI期、皿はIX～XII期、鉢がIX～X期となる。

なお、大量の資料中に、わずか1点だけではあるが、手づくね土器（158）が上部から出土していることが確認された。

第5節 溝 跡

・1号溝跡

A～C-2グリッド。本溝は調査区のはずれに確認されたもので、掘り込みそのものは非常に浅く、遺物の集中が認められたことで検出されたものである。なお、本溝のすぐ脇に単独で埋甕が確認されたが、本溝資料と同時期と判断された。本溝の時期資料は今回の調査では唯一ここでのみ確認されていることから、これらに何らかの関連を想定すべきであると考え、ここでまとめて報告することとした。

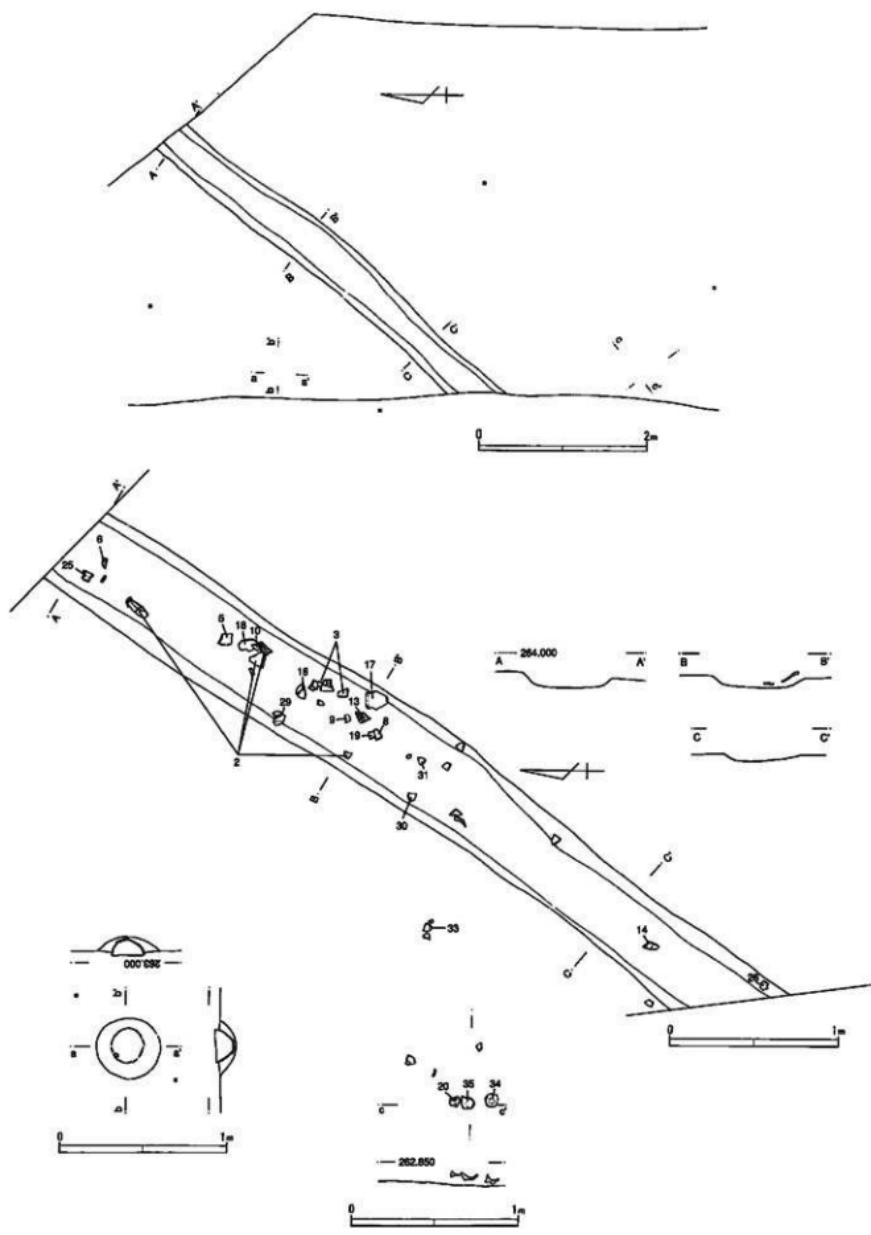
埋甕は溝の北西1mで確認された。掘り方は直径35cmの円形を呈し、確認面からの深さは10cmである。掘り方内には黒色粘質土と焼土の混土が確認された。なお埋甕内は黒色土だけであり、焼土等は確認されなかった。これについては周辺のサンプル2点と一緒にリン分析を実施したが特に内部のリン分富化は認められないとの報告があった。

溝は幅50～60cm、深さは平均5cmである。前述したように遺物の集中が認められたことから、何度も遺構確認を行い、その結果ようやく溝の掘り込みが確認できた状況である。調査区を横切るように確認されており、さらに区域外に延びている。これが直線で延びるのかどこかで屈曲するのかは不明であるが、調査区西端から2m離れて、同時期の台付甕数点が並んで確認されることから、調査区のすぐ脇で90度曲がって再び調査区域内に存在するかとも思われたが、台付甕周囲を何度も確認したものの、溝の確認はできなかった。

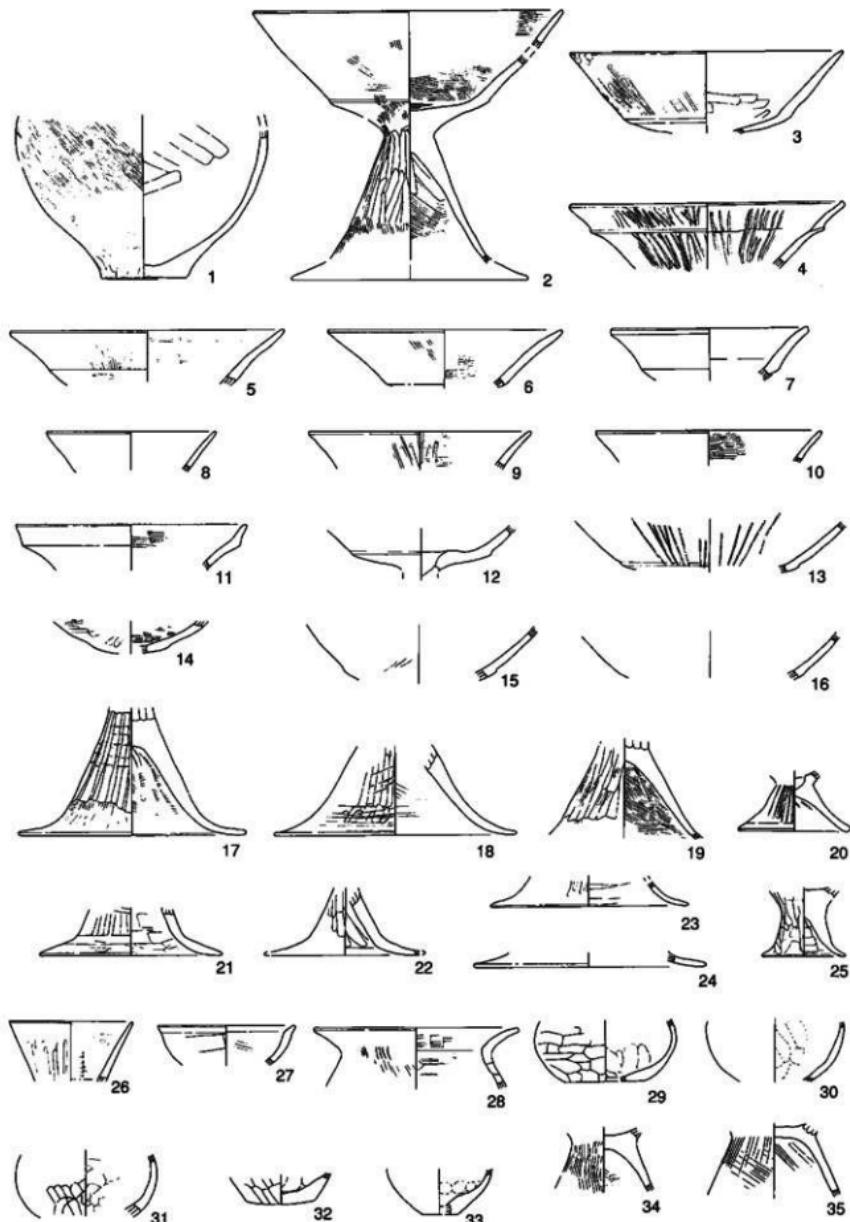
遺物は土器だけである。1は埋甕で、球形の腹部下半である。恐らく壺であろう。外面には樹状工具による条痕がみられる。県内ではこれまで古墳時代中期の資料が非常に少なく、このような条痕のみられる甕がこの時期に一般的であるのか不安もあるが、ここでは一応この時期への位置づけとしておく。2は唯一復元できた高坏である。3～16は高坏の坏部、17～24は同じく高坏の脚部である。溝からの出土ということもあるが、高坏が目立つ。高坏は坏部に腹を有すること、また脚部では端部が極端に開くことの2点に特徴がある。その他、壺（26）・椀（27）・甕（28）・台付甕（34・35）などが出土している。

・2号溝跡

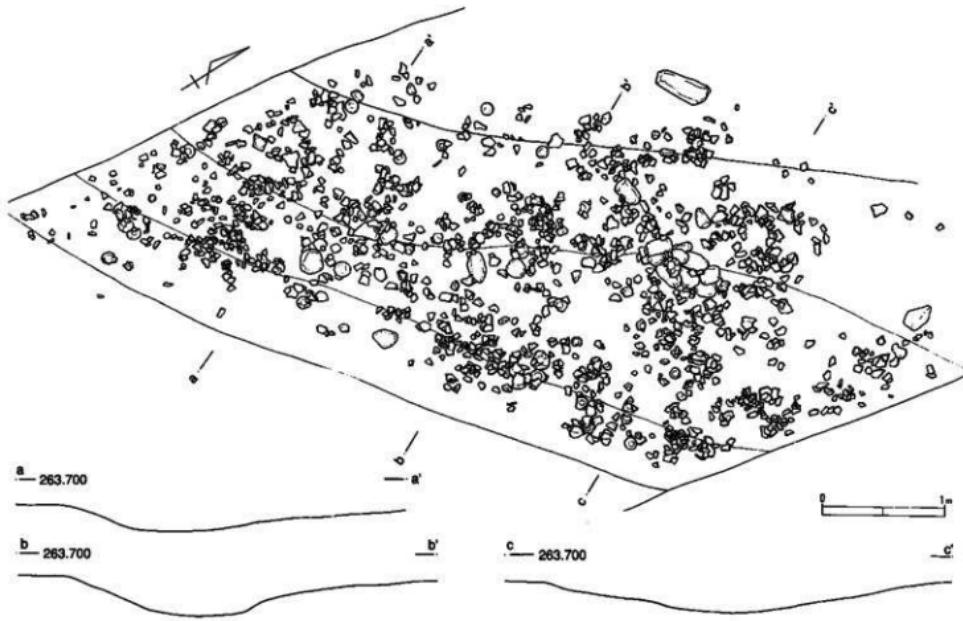
H・I-5・6、J-5グリッド。今回の調査で最も時間のかかった遺構である。幅2～3m、深さ0.2～0.3mの範囲におびただしい量の土師器が捨てられていた。調査面積は14m²程度であるが、遺り方を組んで1,200点ほどを実測し取り上げた。これらの遺物は暗褐色粘質土中に含まれ、少なくとも砂混じりで流されたような状況はみられなかった。明らかにあの場所に投棄されたものである。遺物に混ざって20～30cm大の石が散見されるが、これらの石の上下にも土器が確認されている。特に石の下では押し潰された状況が明らかで、土器の腐棄



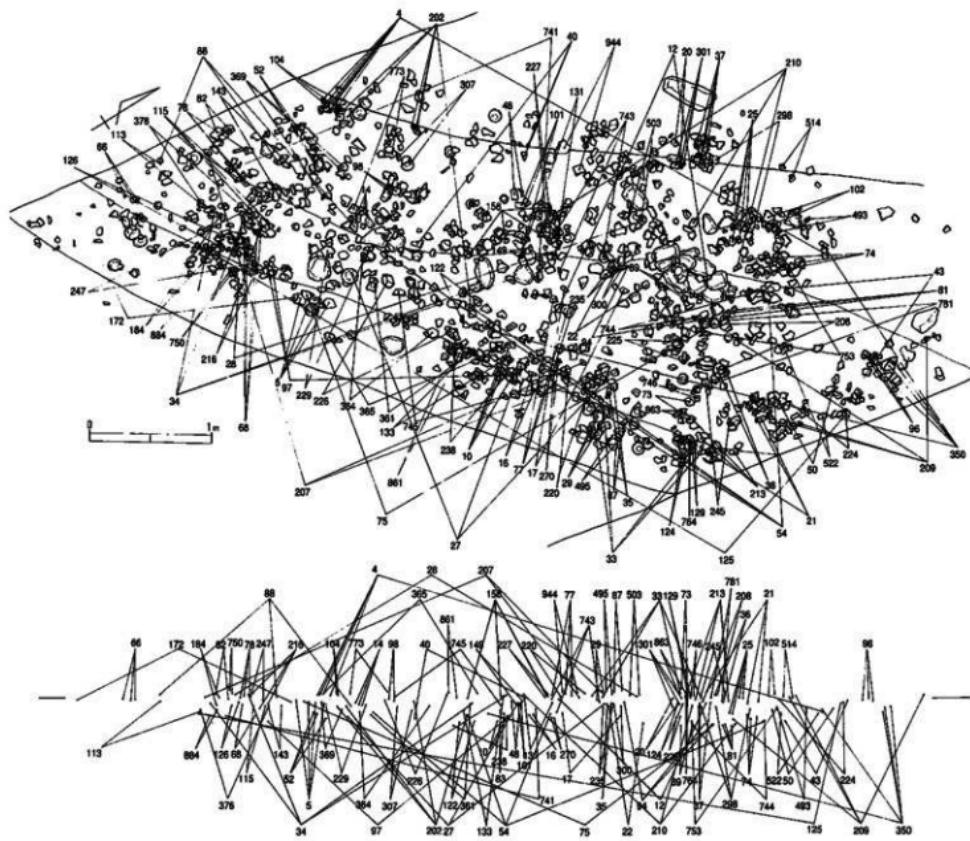
第15図 1号溝・1号埋窓



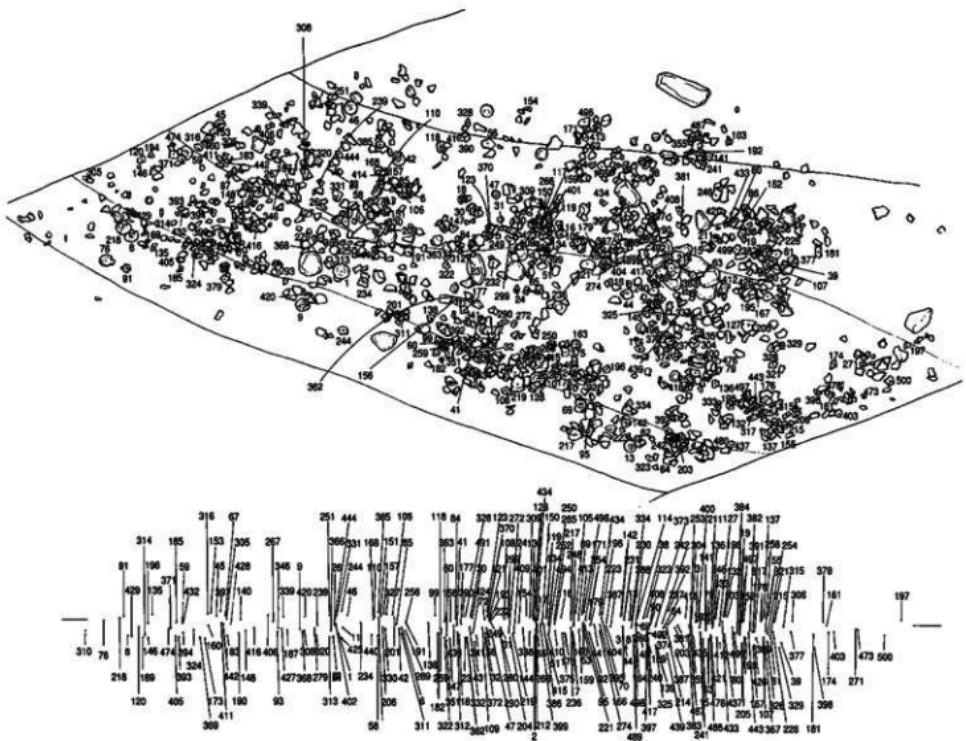
第16図 1号溝出土遺物



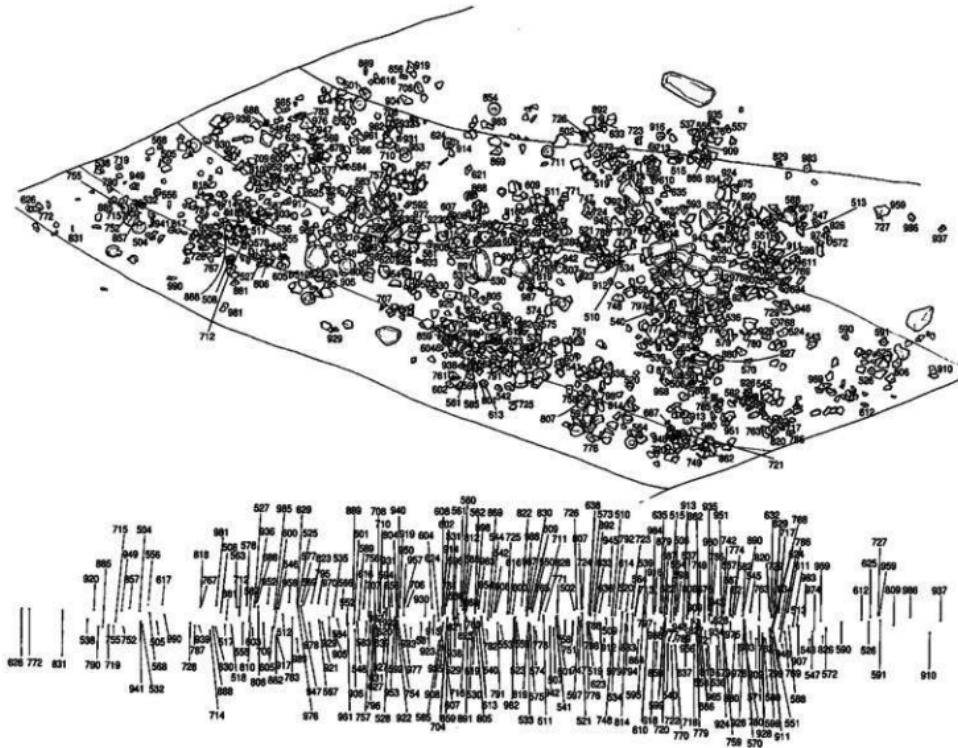
第17図 2号溝平面図



第18図 2号満接合図



第19図 2号溝遺物位置図（その1）



第20図 2号溝遺物位置図（その2）

中に石の投げ込みも行われていたことが窺われる。2号井戸跡でみられた全く無傷な完形品は、ここでは確認されなかった。13は完形であり割れも見当たらないが、底面の削りを強く行い過ぎたらしく、底面に穴が空いてしまっている。恐らく焼成段階で底面を欠損したものと思われ、そのために廃棄されたものであろう。このように最も完形に近いものでさえも焼成段階での失敗が想起されることから、他の資料についても2号井戸跡とは違って廃棄と考える方がふさわしい。

接合関係では4が4m、125が5.2m、28と350が3.2mの距離で接合した例などのように比較的離れた位置での接合も確認されている。この点からも投棄が想定される。なお、これらの接合例の垂直分布はそれほど極端ではなく、最大でも20cm程度である。

遺物は非常に多いため、実測できない破片資料以外にも、実測は行ったものの極端な破片資料は掲載しなかった。遺物の掲載順序は、本来ならば、種別、器種、想定される時期毎に分類してから掲載するべきであるが、それらを検討する余裕がなかったため、今回は復元終了したものから仮ナンバーを決定し、その順序で実測したものをおまかに掲載することとした。なお、仮ナンバーがあつて、実測できたものでも非掲載資料としたものは、そのまま欠番とすることとした。欠番データは一覧表を参照していただきたい。したがって、今回掲載する本溝の遺物は22ページに及ぶが、器種も時期も不統一なままの図版となっている。

以下に種別、器種毎に概要を記すが、すべての資料を対象とすることはできないため主な資料を取り上げここでの傾向としたい。

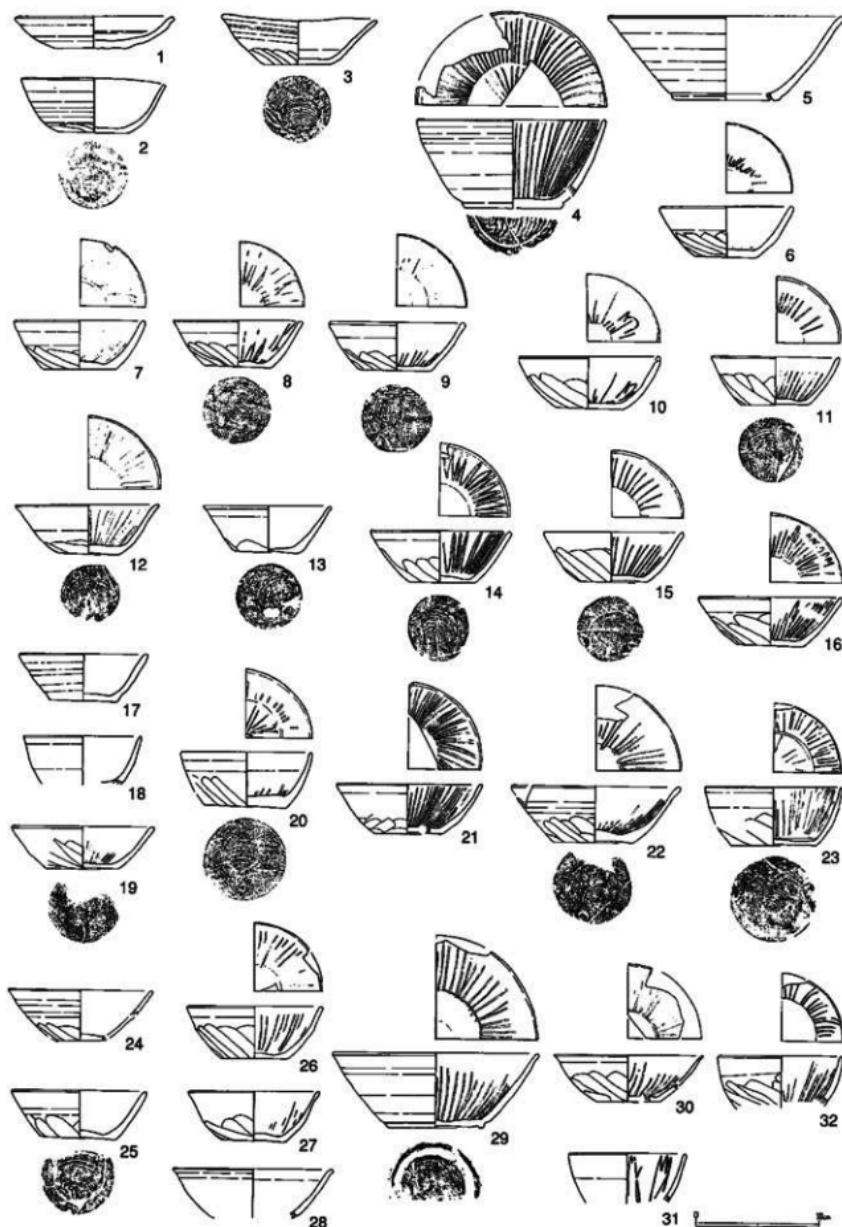
土師器は壺・皿・蓋・鉢・高壺・甕・壺などがある。

壺は通常の壺と高台付壺があるが、通常の壺から概観してみると、立ち上がりの角度がきつくみこみ部にまで暗文の施される資料が目につく。復元されたものでは23・20・41・42・44・58が、破片資料では47・101・161・171・174・185・487・493・501・502・505～507・513・519・576・607・610・854がそれにあたる。これらの資料に共通しているのは、作りが非常に丁寧であることである。また、底面中心部には糸切り痕が残るが、その周縁部はヘラ削りしており、体部外面はヘラ削りのみで磨きは見られない。なお、いずれの資料も、内面のみこみ部と体部の境にヘラによる1条の沈線施文状の磨きを行い、境の区分けをはっきり意識している。さらに23は口径11cmに対し底径7cm、20は口径10.5cmに対し底径6.7cm、42は口径10.7cmに対し底径7.2cmであり、底径の2倍がはるかに口径を上回る。以上の状況から、これらは甲斐型編年Ⅶ期に位置づけられる。また、みこみ部には暗文が施されないものの、形態や整形方法などがすべて上記と同じものとして37・39～46・51・57などがあるが、これらも同時期に位置づけられよう。さらに56は、形態や整形方法など全く同じであり、同様に同時期とできようが、暗文がラセン状の変形であり、この時期としては珍しい。

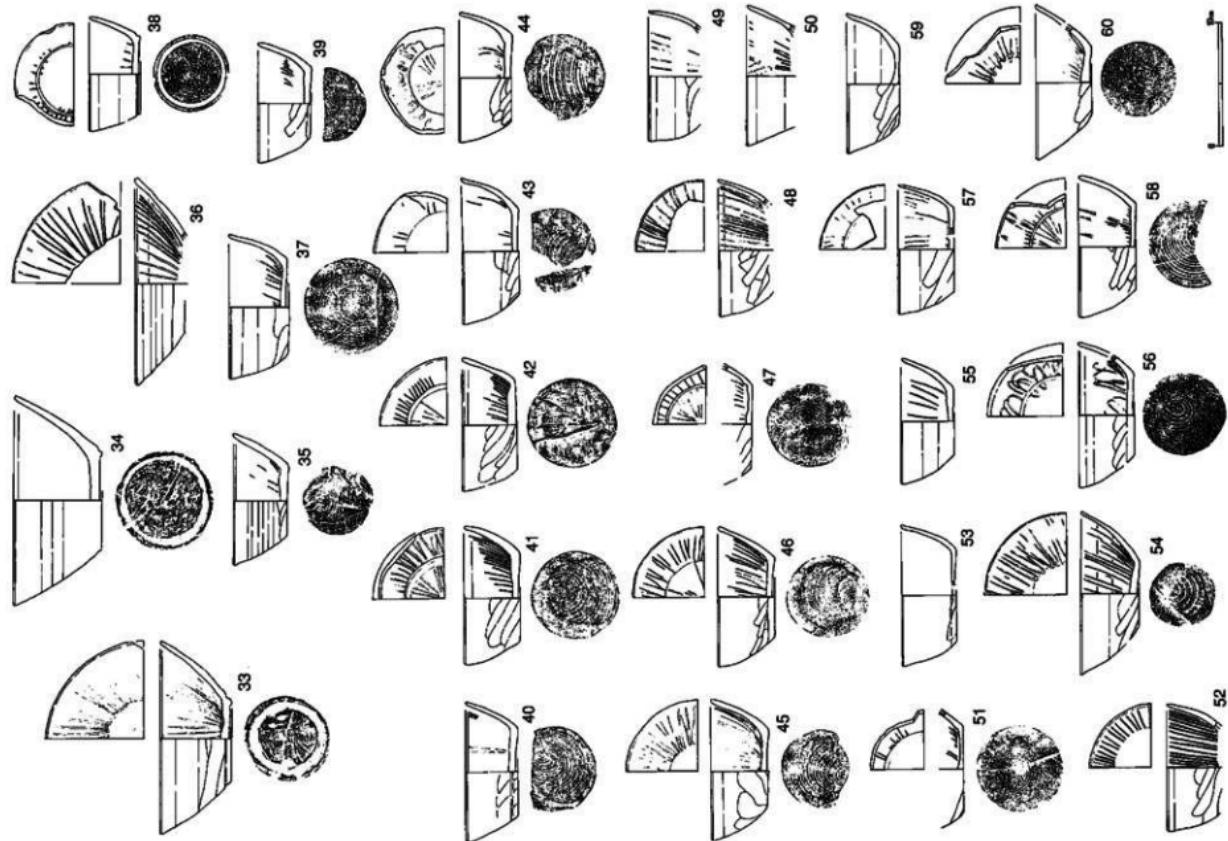
これらに続くⅧ期の資料として2・7・8・9・10・11・13・14・16・21・25・35・59・67・68・76・82・91・95・97などが挙げられる。これらは底径と口径の比率がおおむね2:1となっており、体部には暗文があるものの、みこみ部にはみられない。また、底部には糸切り痕が残るが、周縁部は回転ヘラ削りを行っている。Ⅶ期にみられた、みこみ部と体部の境のヘラによる沈線施文状の磨きがこの時期には消失するとされているが、59・67・68・76・82・91・95にはそれが明瞭に確認され、9にもそれらしき痕跡が見られることから、このような調整方法がⅧ期にもまだ残るようである。

さらにⅨ期の資料としては、6・15・26・62・69・74・79・80・81・98などが挙げられる。これらはいずれも底径の2倍を口径が上回る。15・74・80・81・98は底部の中心部にのみ糸切り痕が残るが、それ以外はヘラ削りにより糸切りの痕跡は残らない。

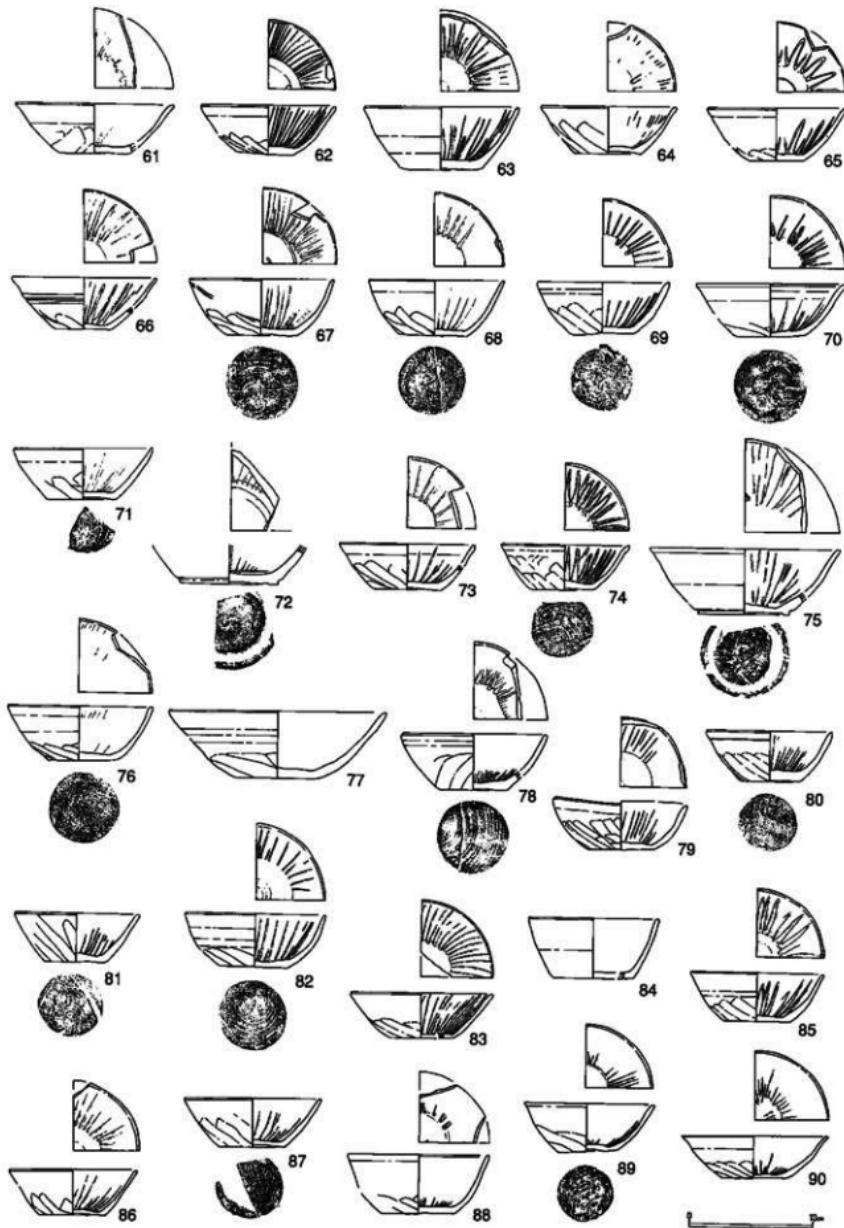
Ⅹ期に位置づけられるものには、12・22・27・54・63・64・70・73・89・94・107・861・862などがある。底面の状況は中心部に糸切り痕が残るものと全く残らないものの両者がある。体部外面下半～底部にかけては通常斜めの手持ちヘラ削りが行われるが、63には全く削りが見られないため、底部が異様に大きい。口径12.6cm対し、底径7cmで、この時期の方量の基準から大きく外れるが、削りが行われれば方量基準内に収まる可能性があること、口縁部が肥厚していないこと、暗文が見られることなどの要素からこの時期の所産と判断したも



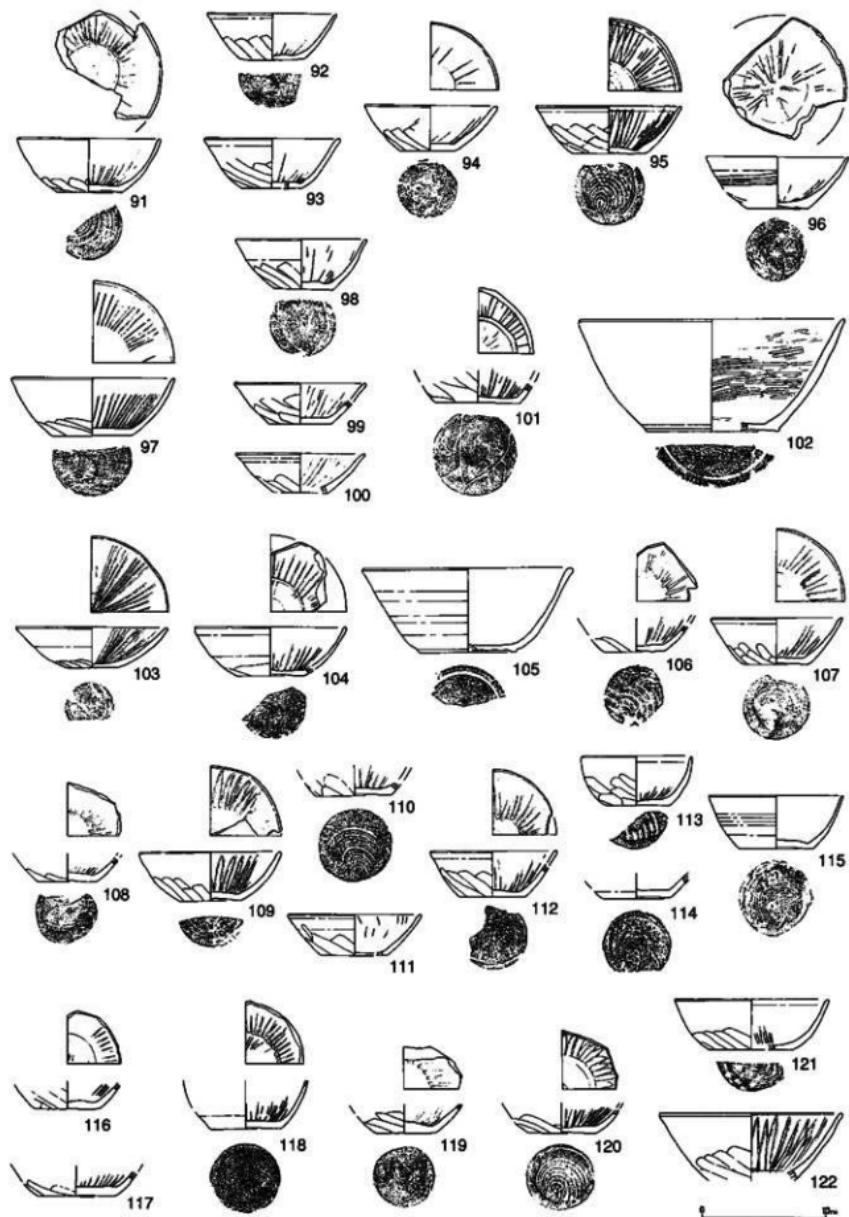
第21図 2号溝出土遺物（その1）



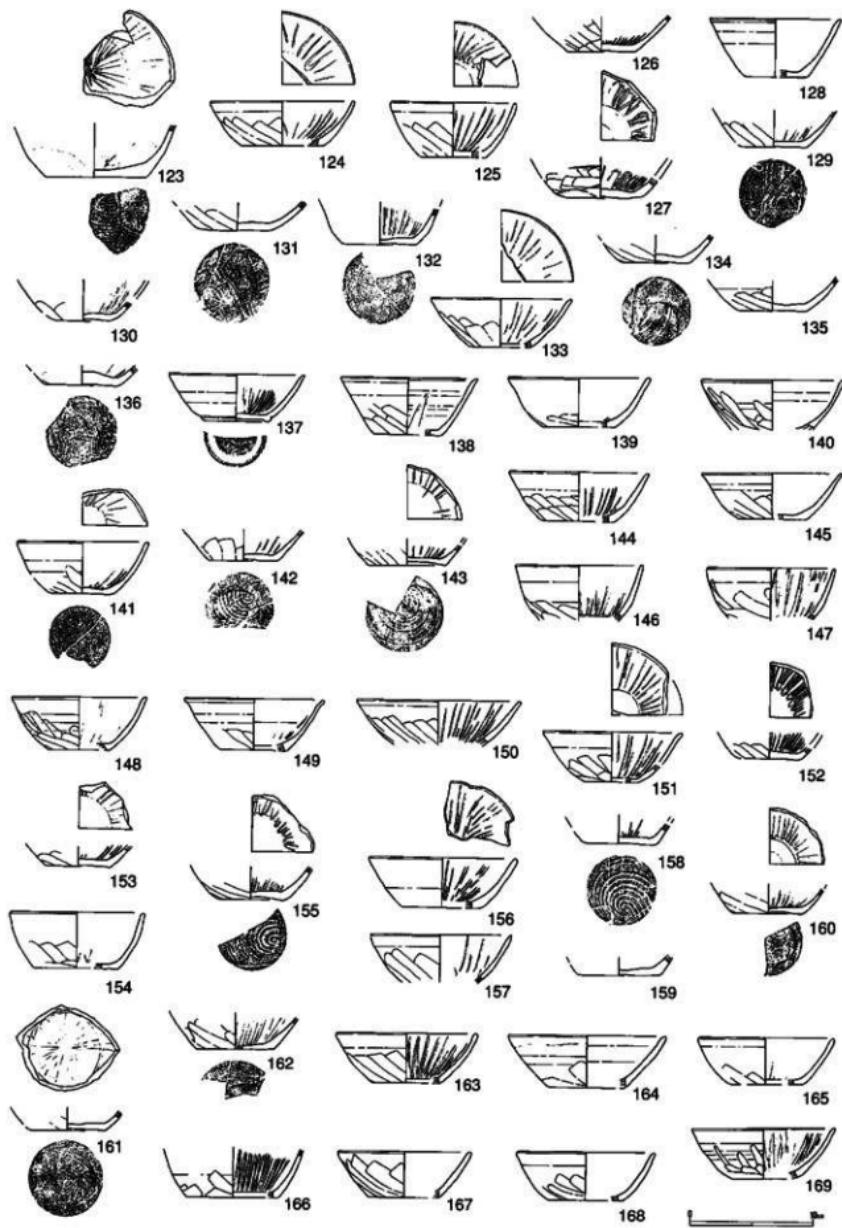
第22図 2号溝出土遺物（その2）



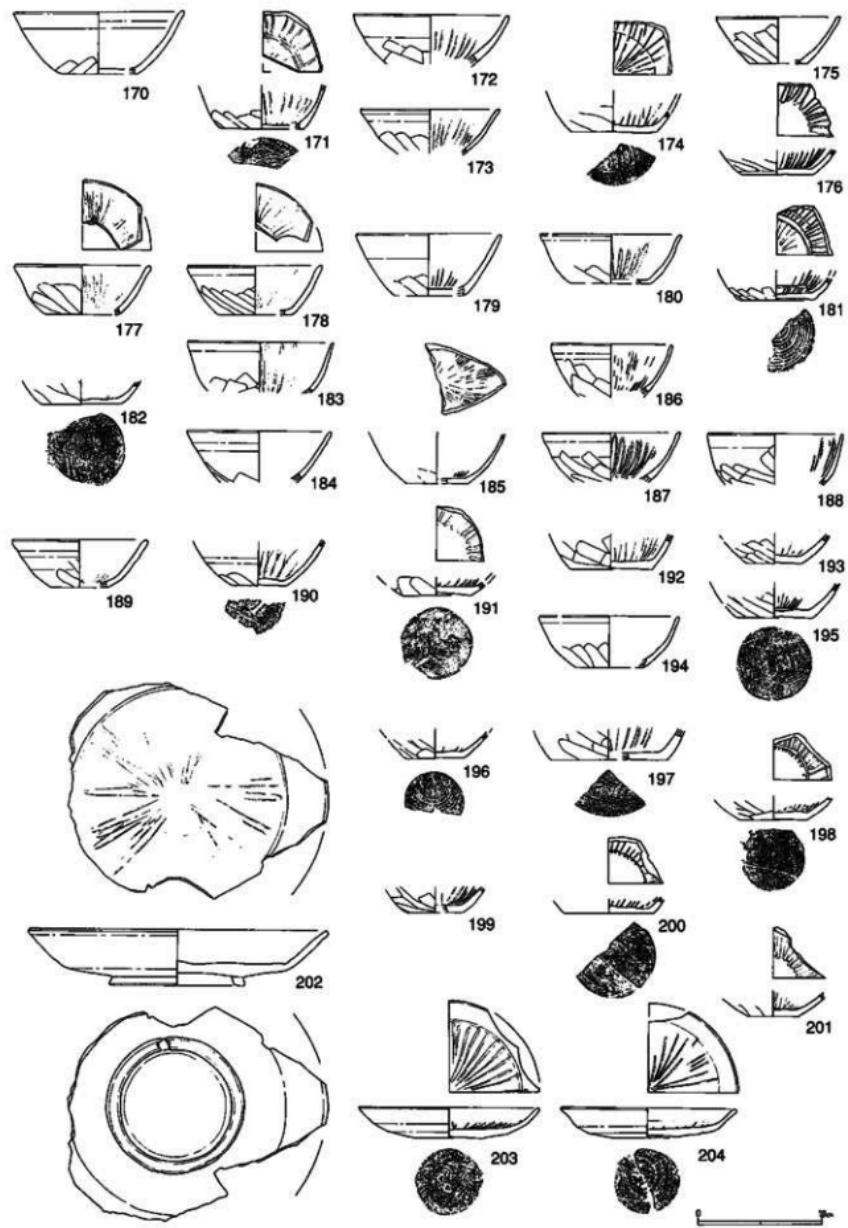
第23図 2号溝出土遺物（その3）



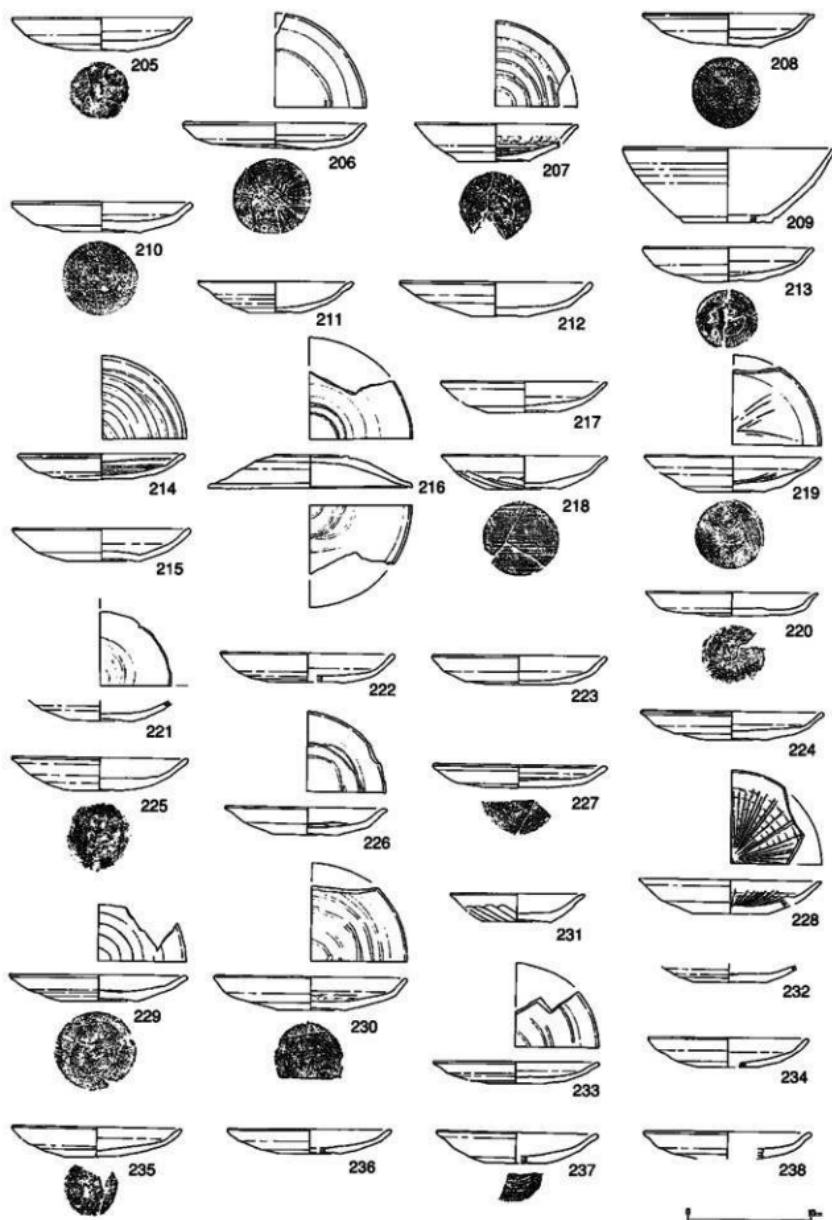
第24図 2号溝出土遺物（その4）



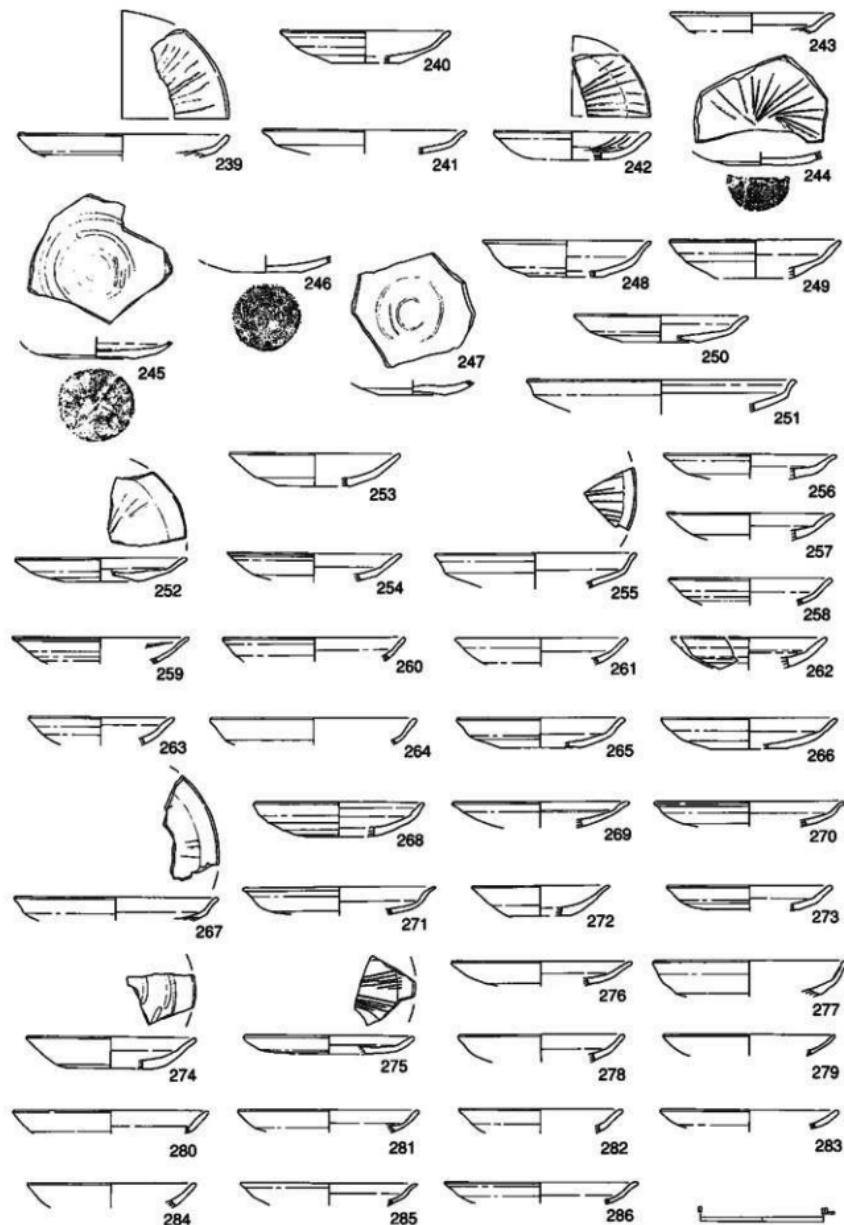
第25図 2号溝出土遺物（その5）



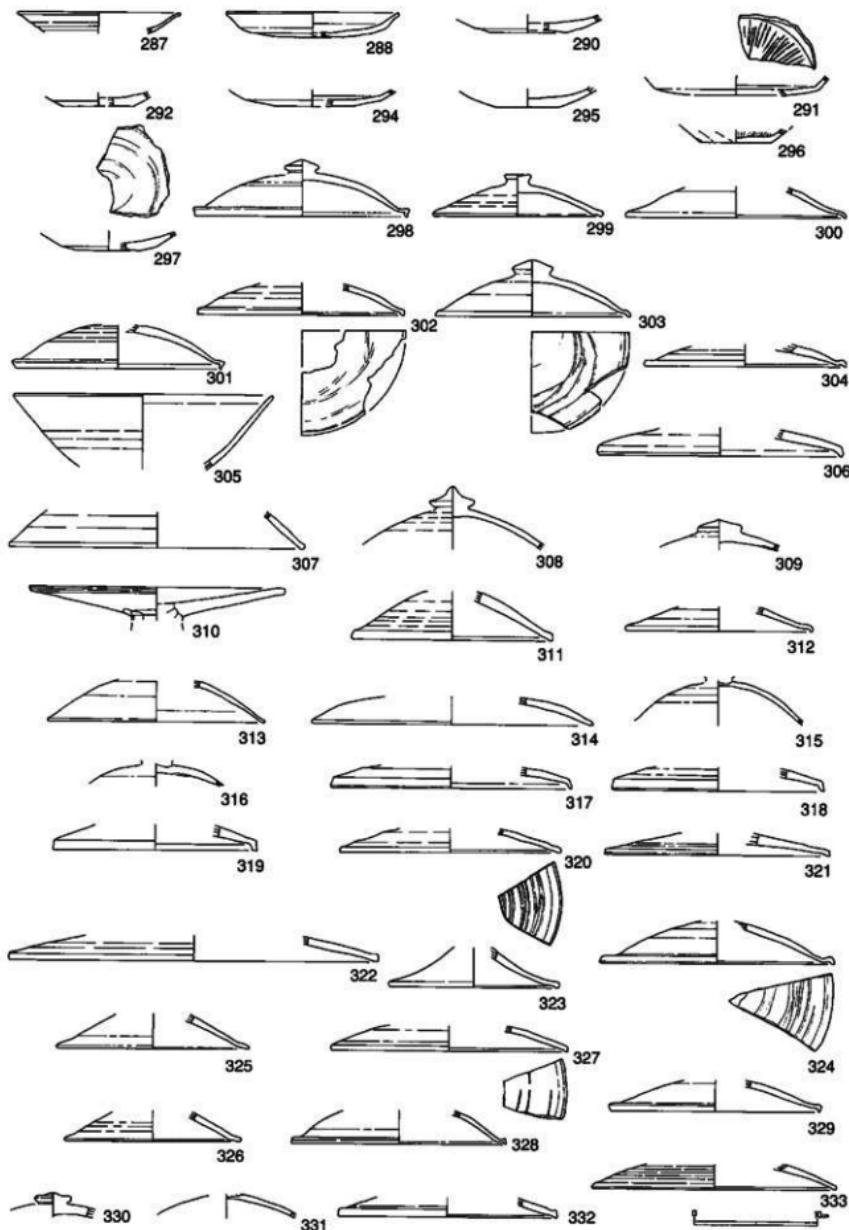
第26図 2号溝出土遺物（その6）



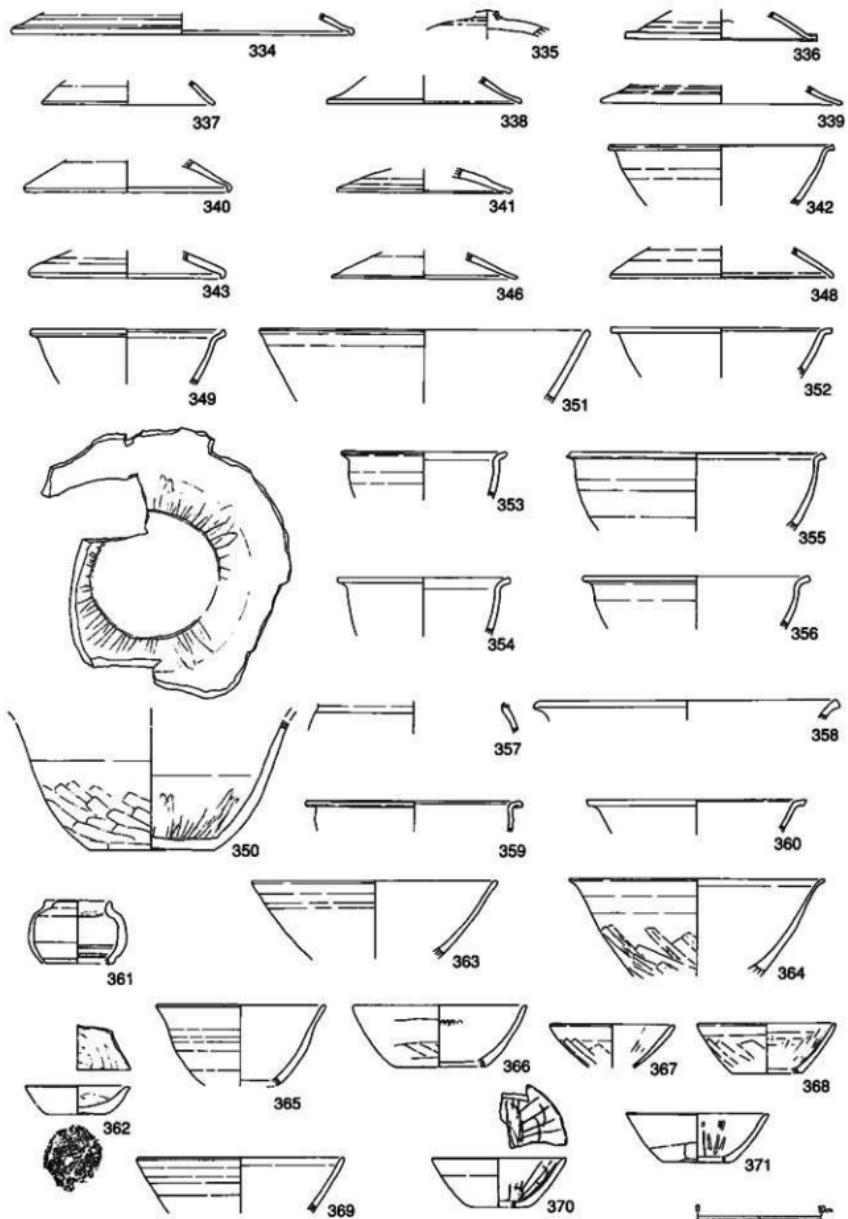
第27図 2号溝出土遺物（その7）



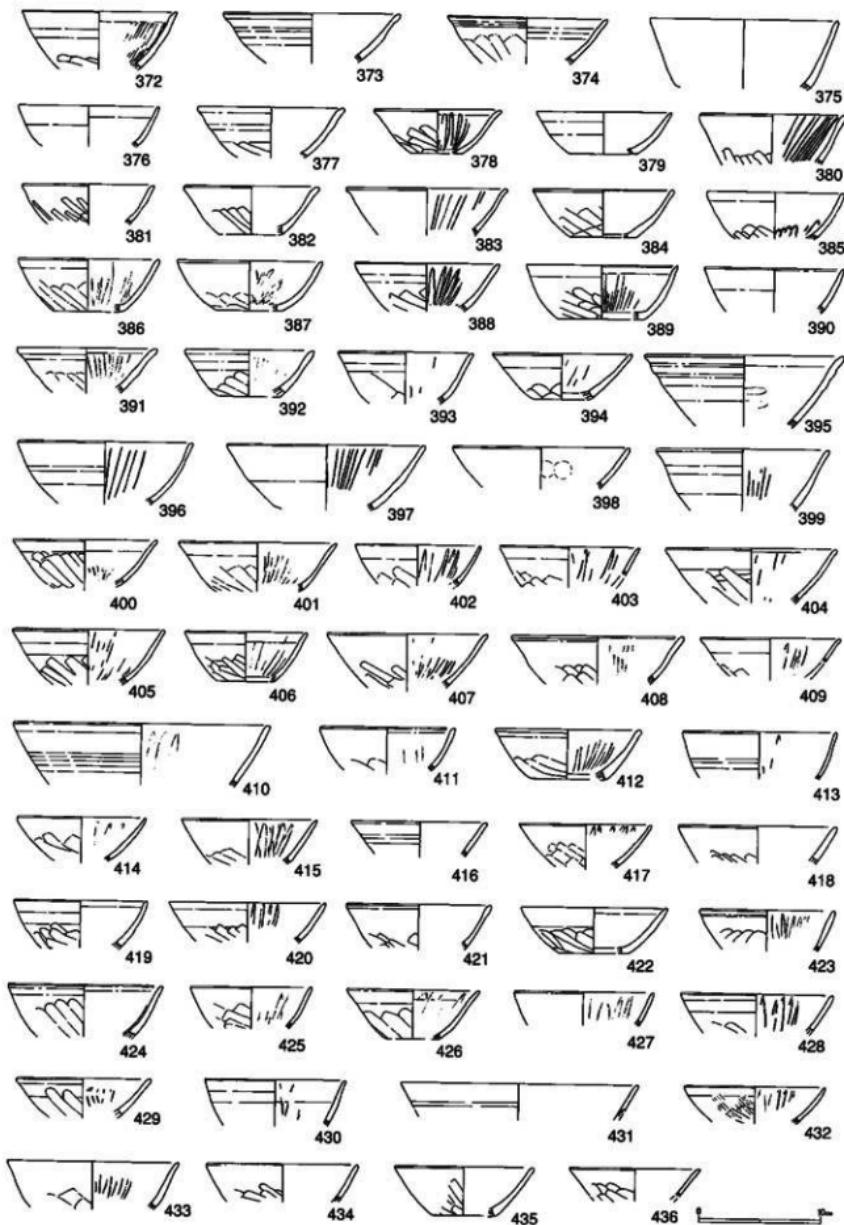
第28図 2号溝出土遺物（その8）



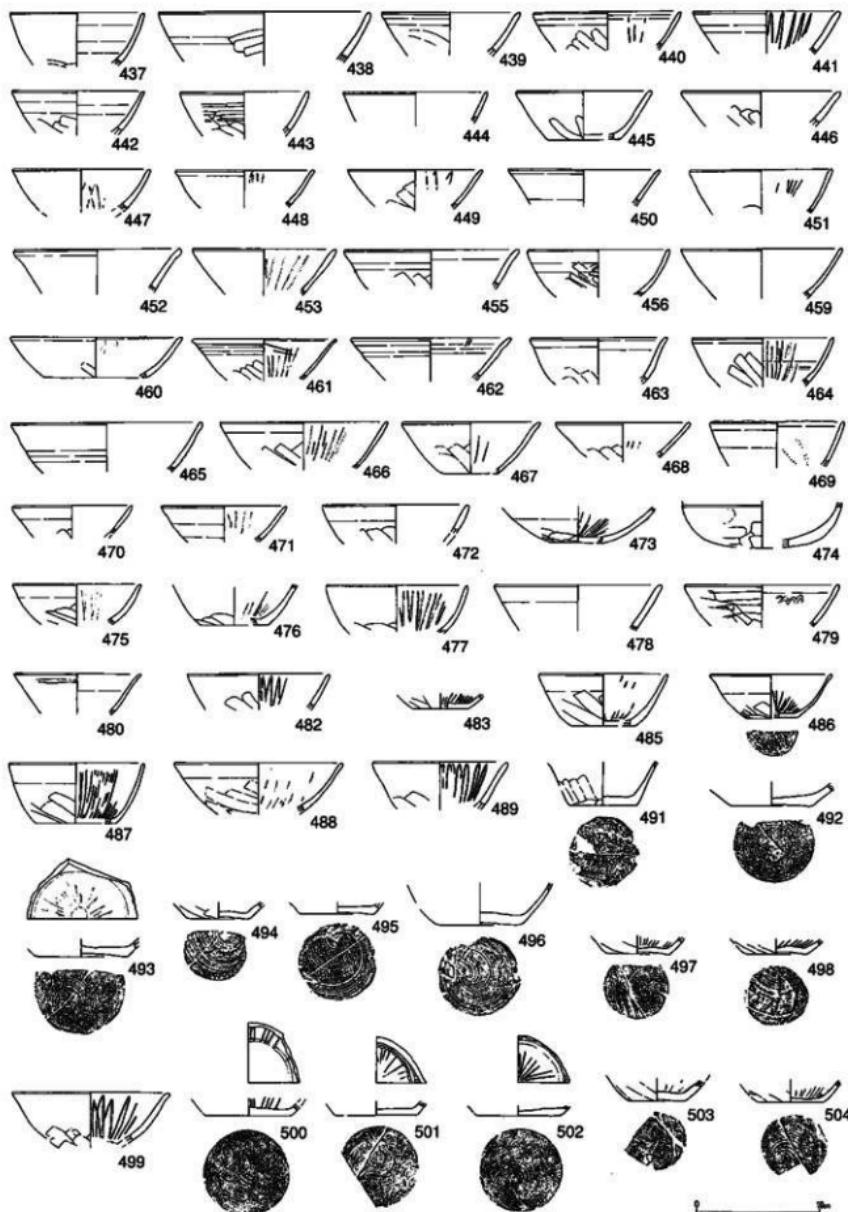
第29図 2号溝出土遺物（その9）



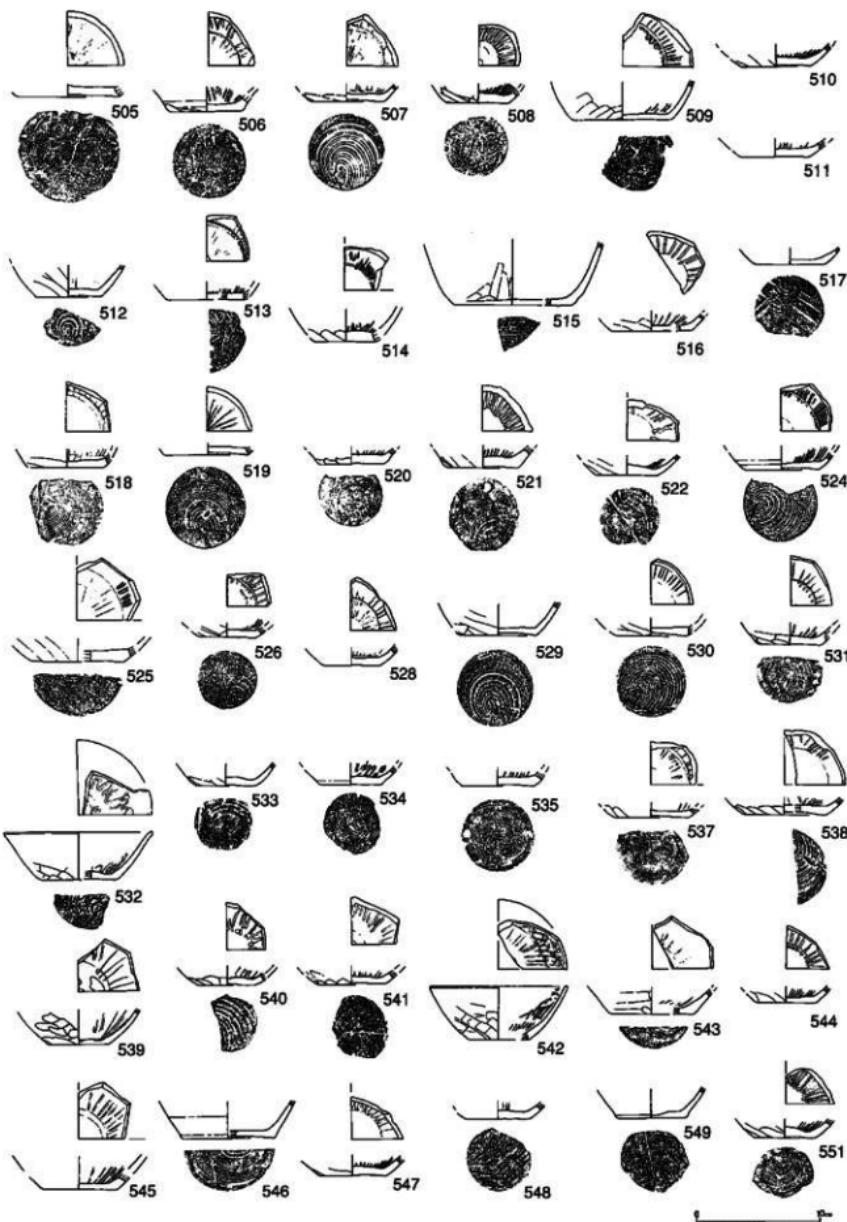
第30図 2号溝出土遺物（その10）



第31図 2号溝出土遺物（その11）

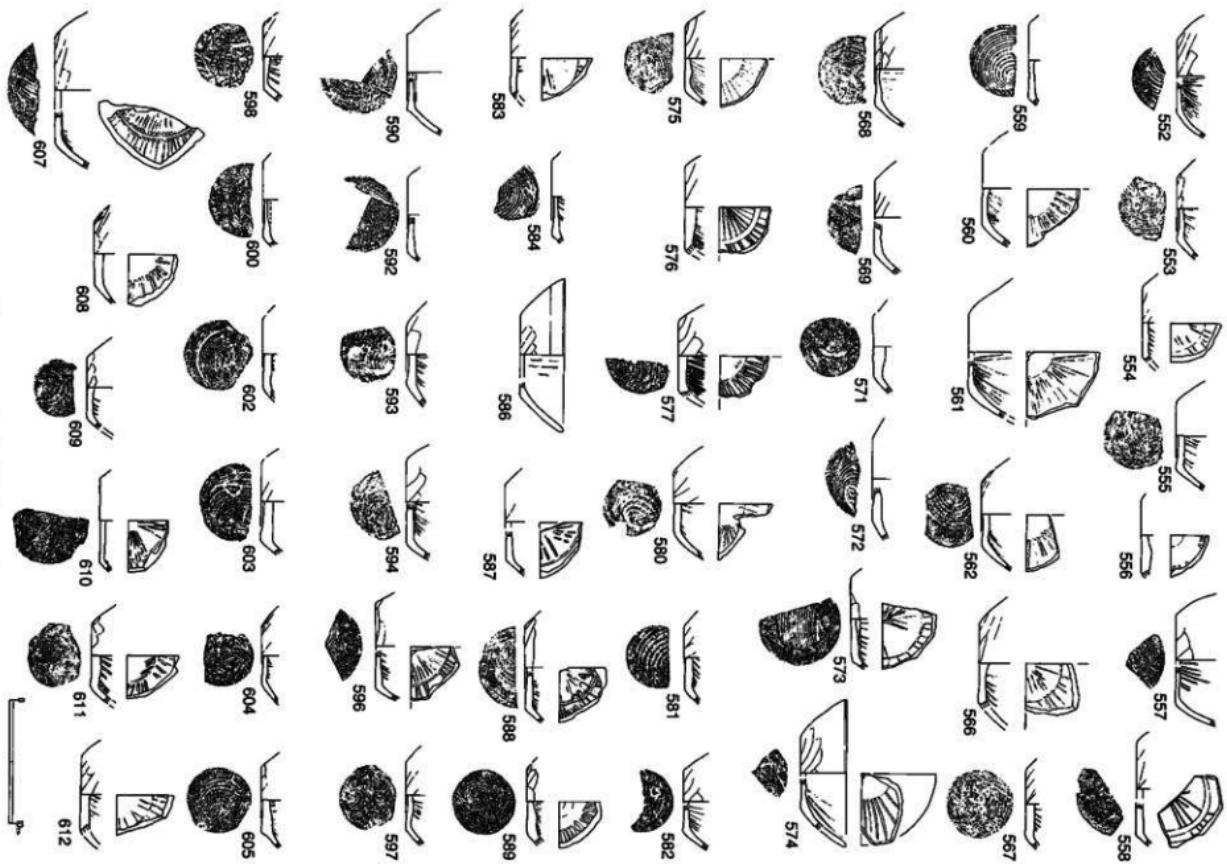


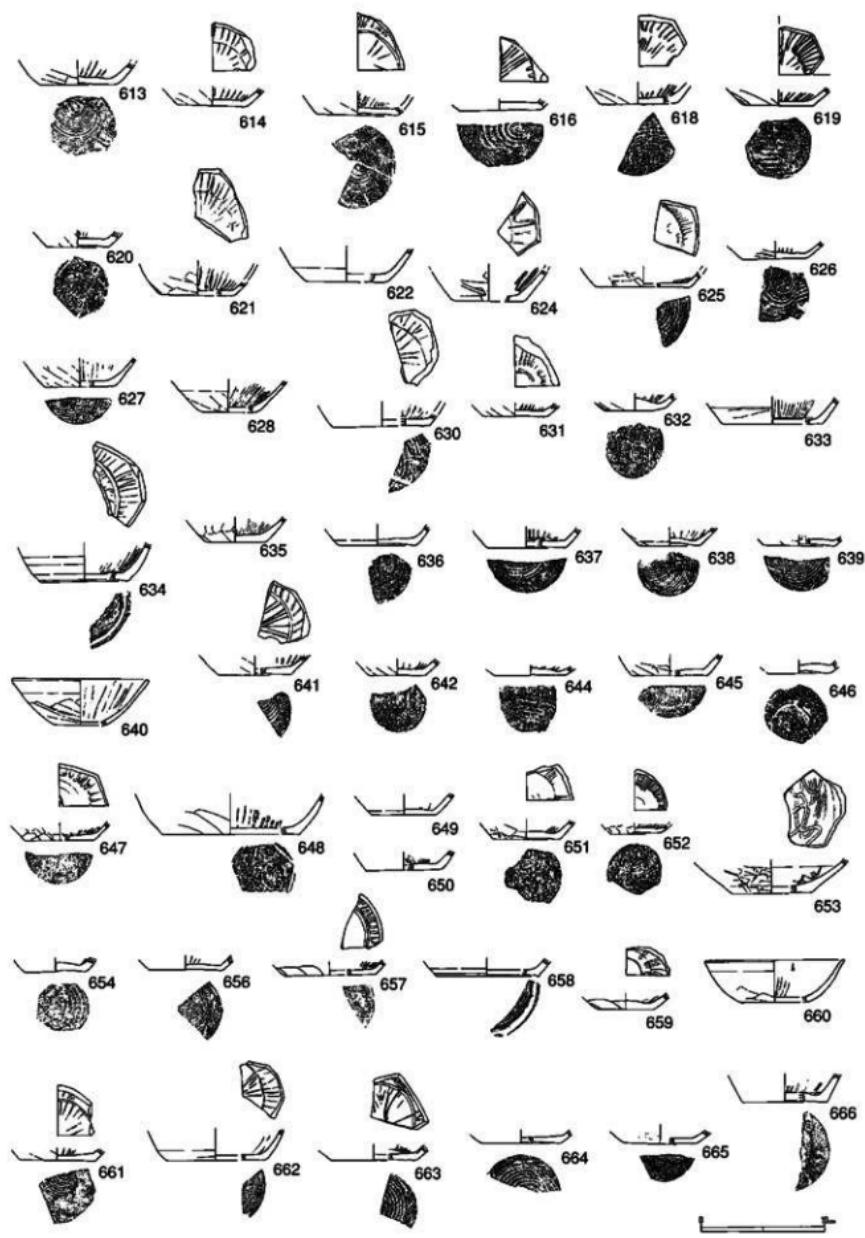
第32図 2号溝出土遺物（その12）



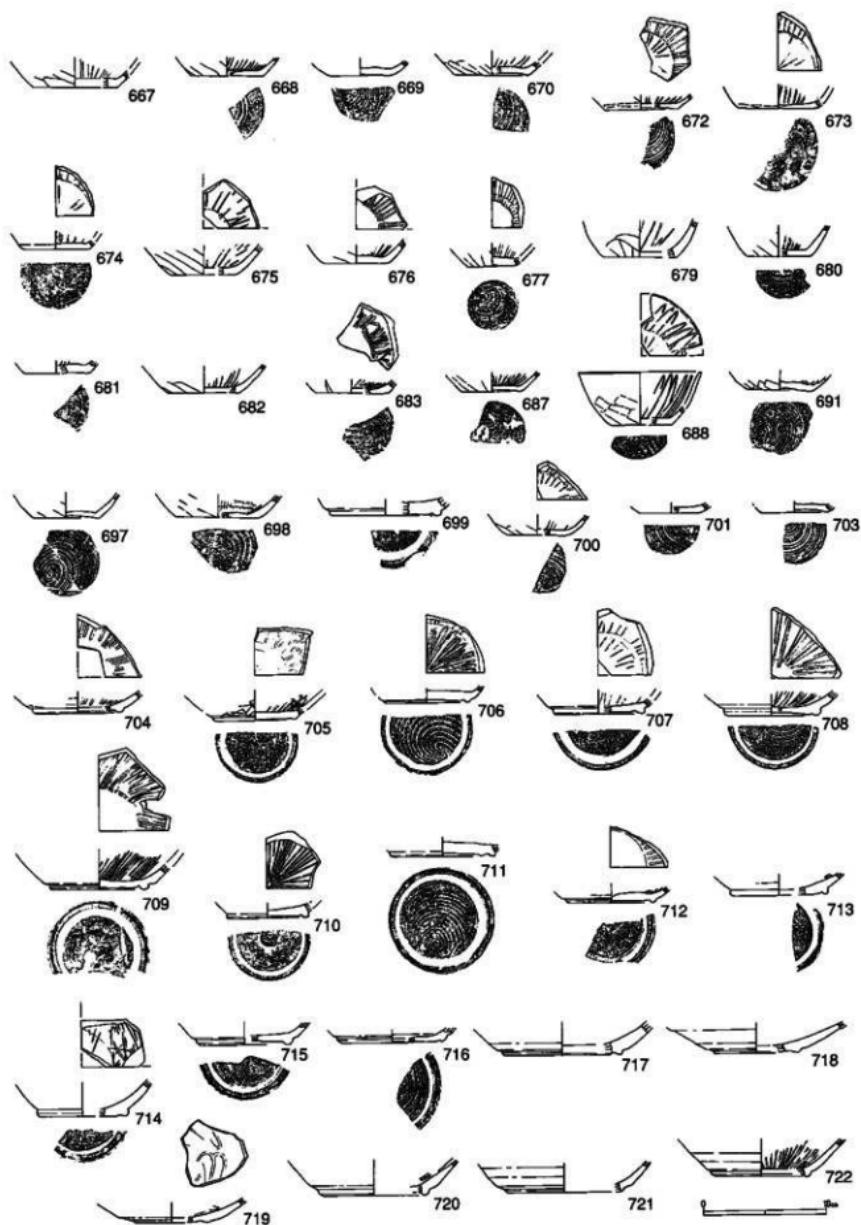
第33図 2号溝出土遺物（その13）

第34図 2号溝出土遺物(その14)

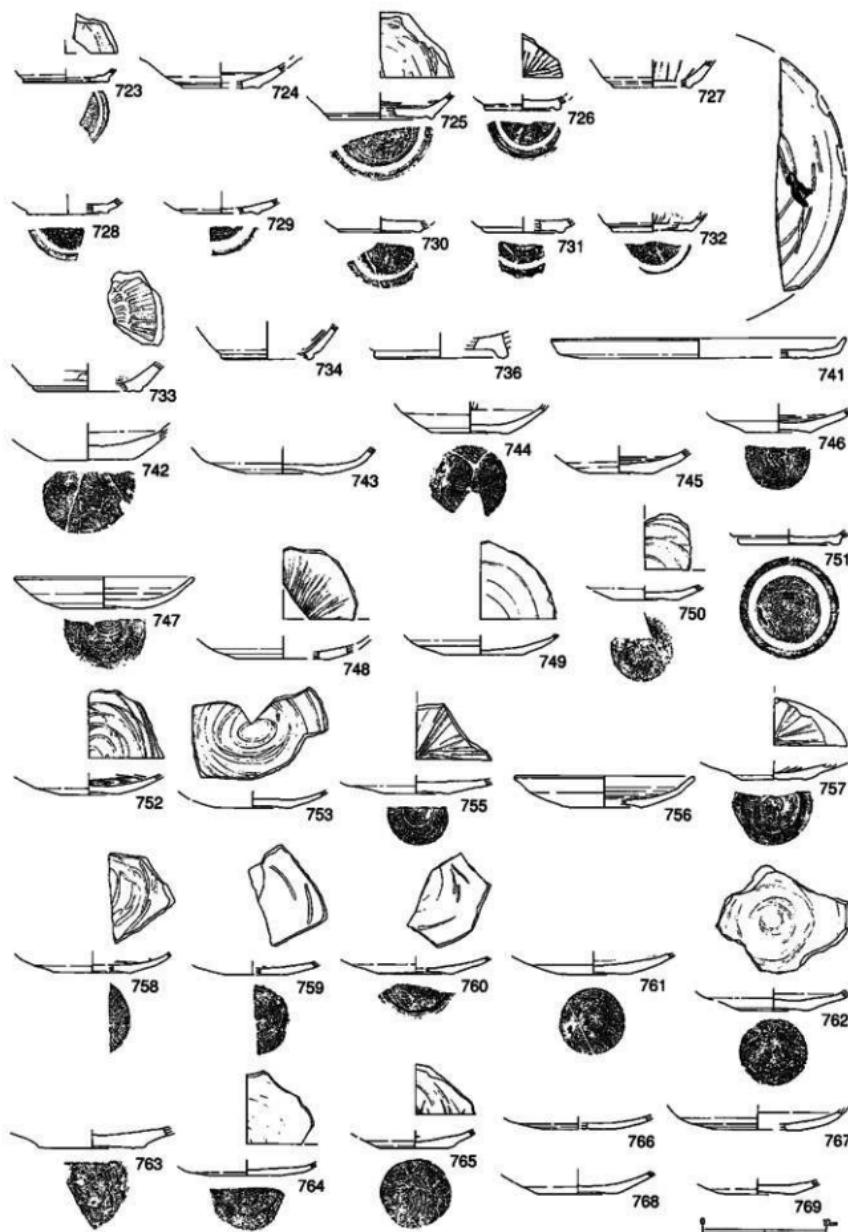




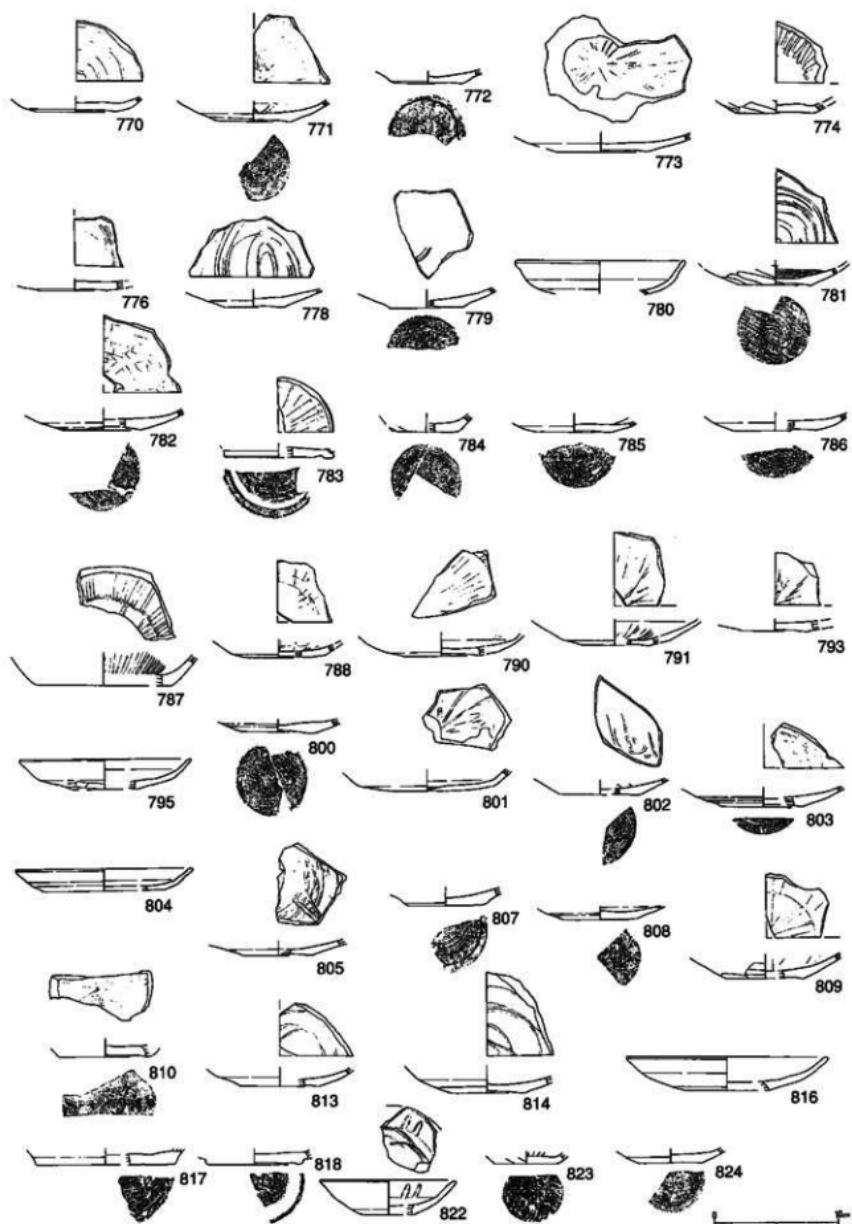
第35図 2号溝出土遺物（その15）



第36図 2号溝出土遺物（その16）

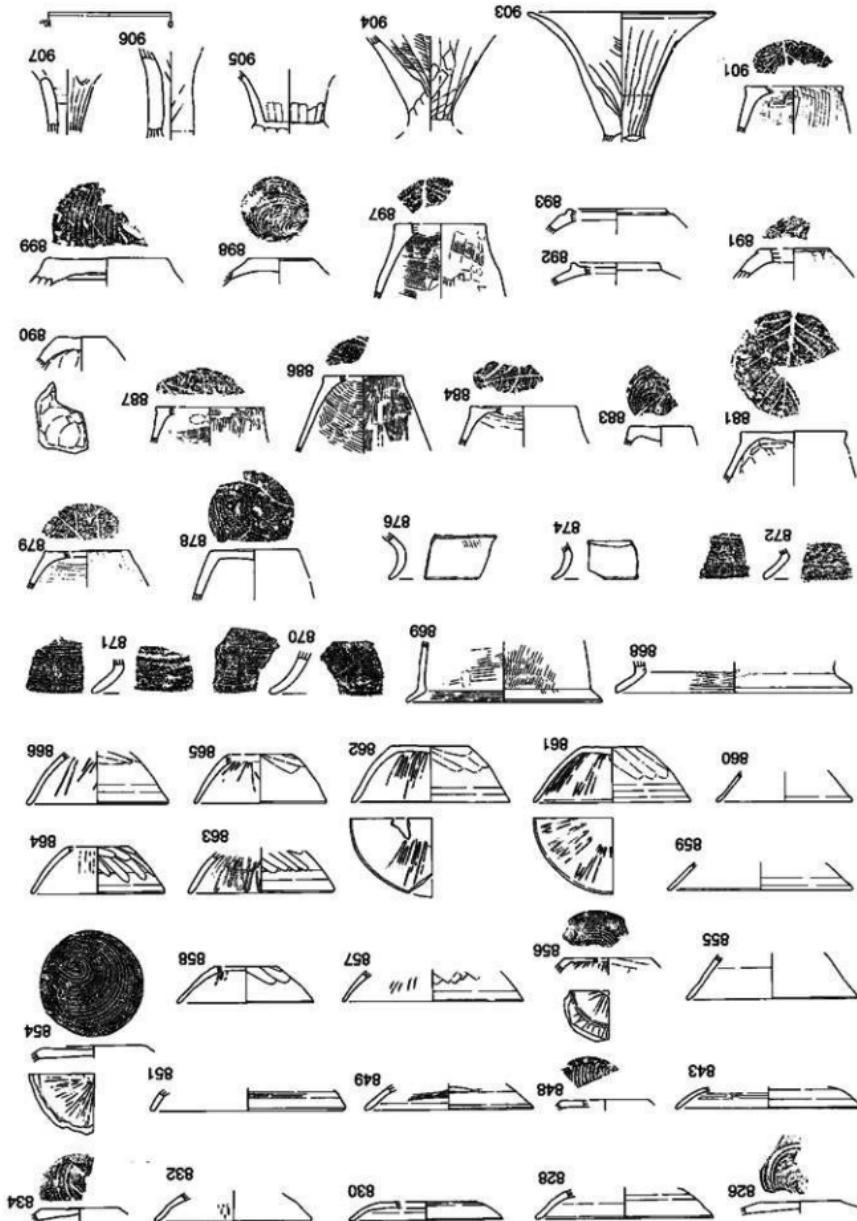


第37図 2号溝出土遺物（その17）

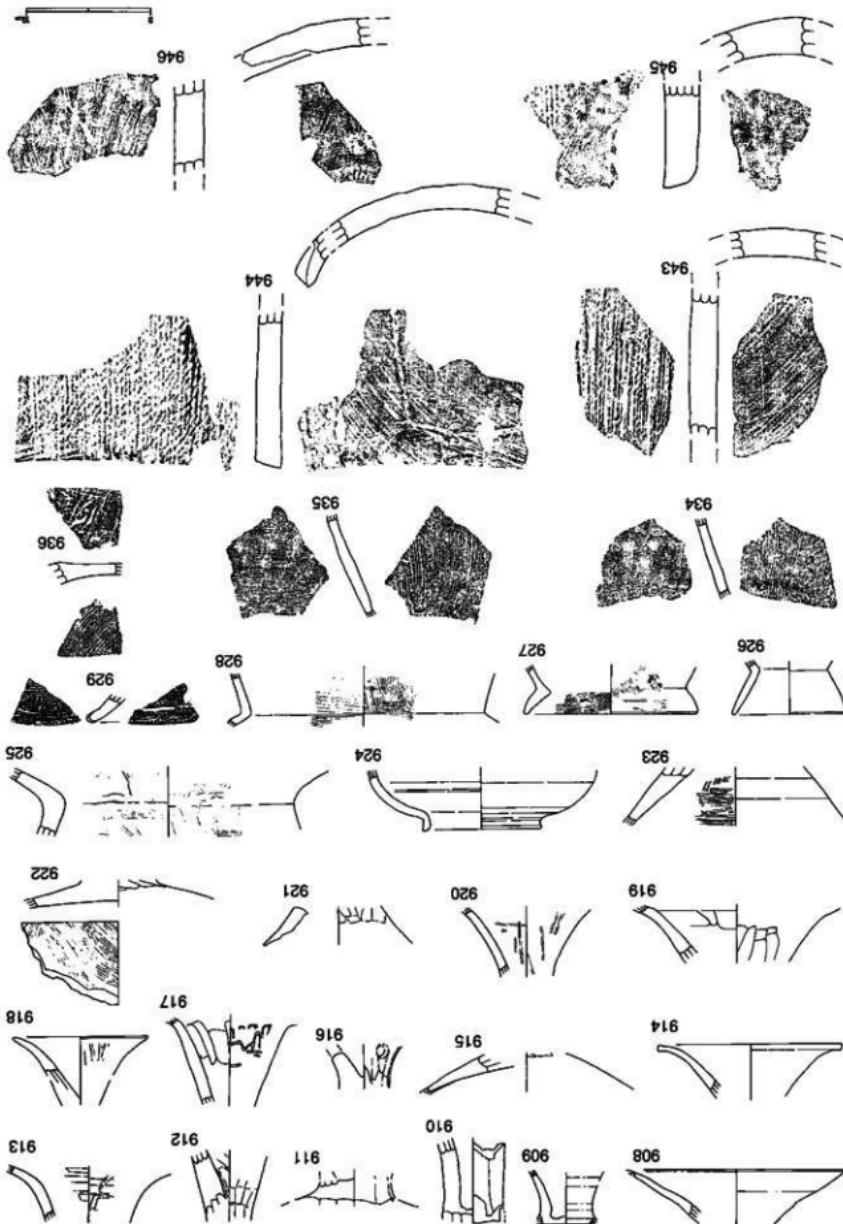


第38図 2号溝出土遺物（その18）

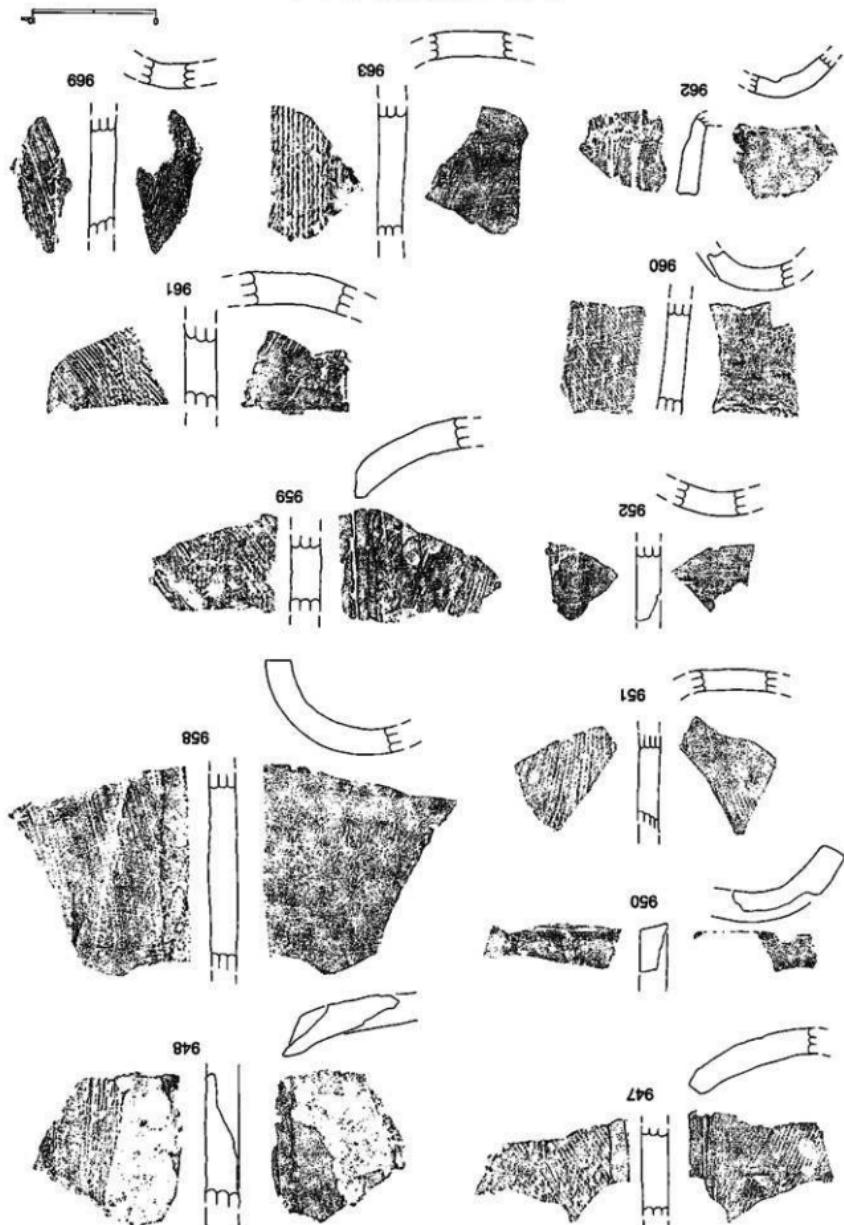
第三圖 2號漢出土器物 (乙卯19)

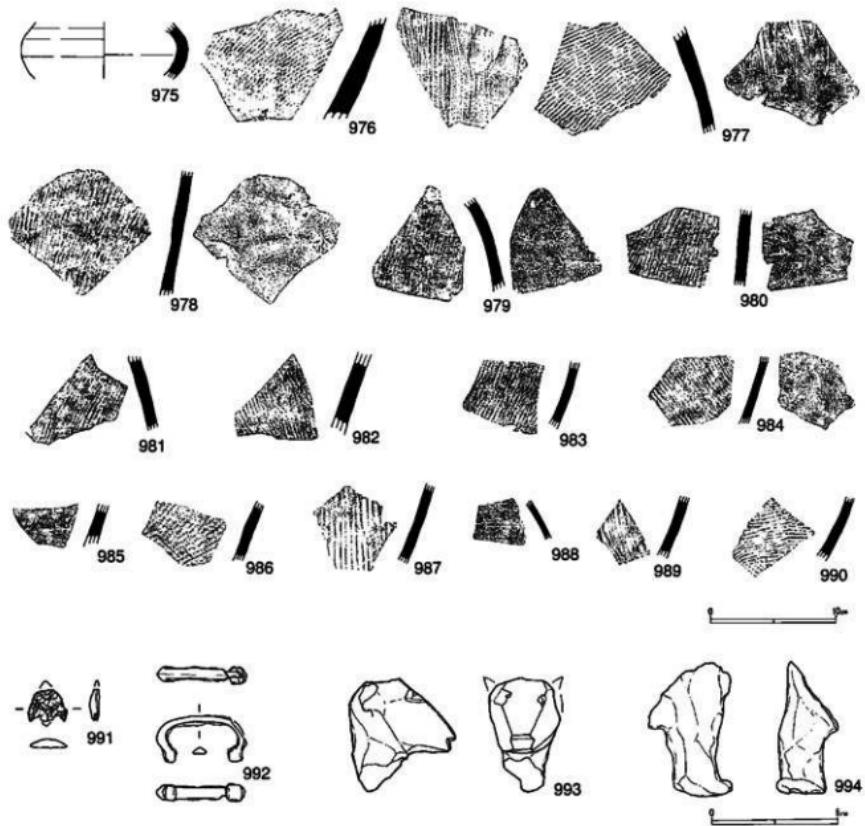


第40圖 2號窯出土遺物 (乙020)



第41圖 2號漢出土漆物(乙021)





第42図 2号溝出土遺物（その22）

のである。これらのうち12・73・107・862などはわずかながら口縁部が肥厚している。また、70は口縁部の肥厚こそないものの、外反が強く、肥厚と同様の印象を受ける。

XI期は資料が少ない。内面の暗文の消失が根拠となるが、3・17・24・77を挙げておく。やはりここでも糸切り痕の残るものと削りにより完全に消失するものがある。今回提示した資料中には口縁部の肥厚したものは含まれていない。77は大型の壊であり、体部下半～底面に大きなヘラ削りが見られる。なお、17は底面にのみヘラ削りが見られるが、体部には全く削りがない。そのため立ち上がりの角度が強く、底径と口径の比率がこの時期のものとはズレるが、暗文の消失を優先しこの時期への位置づけとしておく。

高台付壊はそれほど資料が多い訳ではないが、復元もしくは図上復元できたものについて概観する。なお、ここで確認されている高台はいずれも削り出し高台である。まず、4・38がみこみ部に暗文を有する古いタイプであり、底部は中心部にのみ糸切り痕が確認される。内面では、体部と底部の境に1条の磨きが入り、明確な区分けが行われる。非常に丁寧な作りであり、VII期に位置づけられる。また、破片の706・710も同様の作りであり同時期とすることができる。72はみこみ部に暗文は及ばないものの、底部と体部の境の磨きがあることから、これも同時期とする。75・137は口径と底径の比が2:1であり、VII期としておく。709は口縁部の状況が

不明であるが、つくりが丁寧である。外面に回転ヘラ削りが行われている。つくりの丁寧さからⅪ期への位置づけとしておく。29・33・209は、口径が底径の2倍以上あり、体部外面下部には回転ヘラ削りが認められる。これらもⅪ期に位置づけられるものであろう。

5・34・102・105・725は高台付坏であるが内黒であり、いずれも暗文が見られない。このうち102と725には、内面に横位の磨きが見られ、とくに口縁部の残存する102は口唇の肥厚や外反がみられないことから5・34・105などより一段階古く位置づけられよう。すなわちここでは102と725をX期、5・34・105をXI期としておく。

次に皿を概観する。皿についても坏と同様の整形方法を分類基準とする。まず202である。本資料は張り付け高台を有する大型の皿で、これ自体類例が少ない。本資料の特徴は体部とみこみ部を明確に区別する、ヘラによる1条の沈線施文状の磨きの存在である。みこみ部には放射状の暗文がある。この調整方法はⅩ期の坏と全く同じであり、Ⅷ期に位置づけておきたい。なお、本資料は外面にはヘラ削りは認められない。同様な内面調整が見られるのが203である。本資料は底部外面の中心にのみ糸切り痕が残り、周辺部は回転ヘラ削りが施される。また体部外面下半も同様の回転ヘラ削りが行われている。まさにⅨ期の坏と全く同じである。

同じくみこみ部に放射状暗文を有するものとして219・228が挙げられるが、これらはヘラによる1条の磨きが存在しないため、体部とみこみ部の区分けがはっきりしない—言い換えれば体部の立ち上がりが203にくらべ弱い。したがって203より新しく位置づけられようが、外面の調整は203と同じであり、古い様相を示している。ここではこれらをⅩ期に位置づけておく。204は口縁の外反により口唇部が肥厚しているかのように見え、時期がさらによることになろう。ここではⅪ期としておく。

これに対し、みこみ部に渦巻き状暗文の施されたものも存在する。これまでの資料では、渦巻き状暗文はⅪ期からの出現とされている。しかし206は体部とみこみ部の境にヘラによる1条の磨きこそ行われていないものの、整形段階から意識した区分けが行われており、体部とみこみ部の境がはっきりしている。また、外面調整はⅩ期やⅪ期の坏と同様に行われており、少なくともⅪ期に下ることは考えられない。むしろ底部外面の中心部に糸切り痕を残す手法からはⅩ期の可能性も考えられよう。皿の変化を想定すると、内面では見込みから体部への立ち上がりが新しくなるにつれはっきりしなくなる傾向があることからも、このような意識した区分けは古く位置づける根拠となろう。その視点からすれば、230も古く位置づけられようが、底面に糸切り痕が残っていないことや、体部外面の段がよりはっきりしていることなどから、206より新しくⅩ期に位置づけておく。214・226は内面の区分け意識が薄れ、口唇部も肥厚していることから、Ⅹ～Ⅸ期としておく。207は内面の区分け意識は非常にはっきりしているが、わずかに手持ちヘラ削りの痕跡が見られる。Ⅺ期に下る可能性がある。

上記以外で暗文を有さないものでは、220が盤状を呈し、体部の立ち上がりが強い。外面は底面～体部下半が回転ヘラ削りであり、形態だけからは区分けを意識した古い様相と言えようが、口縁部が肥厚はしていないものの、外反しており、新しい様相と言える。同様な区分け意識が見られるものとして、1・224・227なども挙げられるが、古くは位置づけられない。224がⅪ期、1・220・227をⅩ期としておく。底面の調整では208・225が糸切り痕が中心部にのみのこるタイプで底面周辺部と体部は回転ヘラ削りが施されている。これまで述べて来た本遺跡資料では古い様相ということになろうが、内面の区分け意識は薄れている。また、208は口唇部が膨らみぎみであることからもⅩ期への位置づけが妥当であろう。205・210・211・212・213・215・217・222・223・235なども同時期としておく。218・238は手持ちヘラ削りが行われているが、つくりは丁寧である。Ⅹ～Ⅺ期の所産であろう。

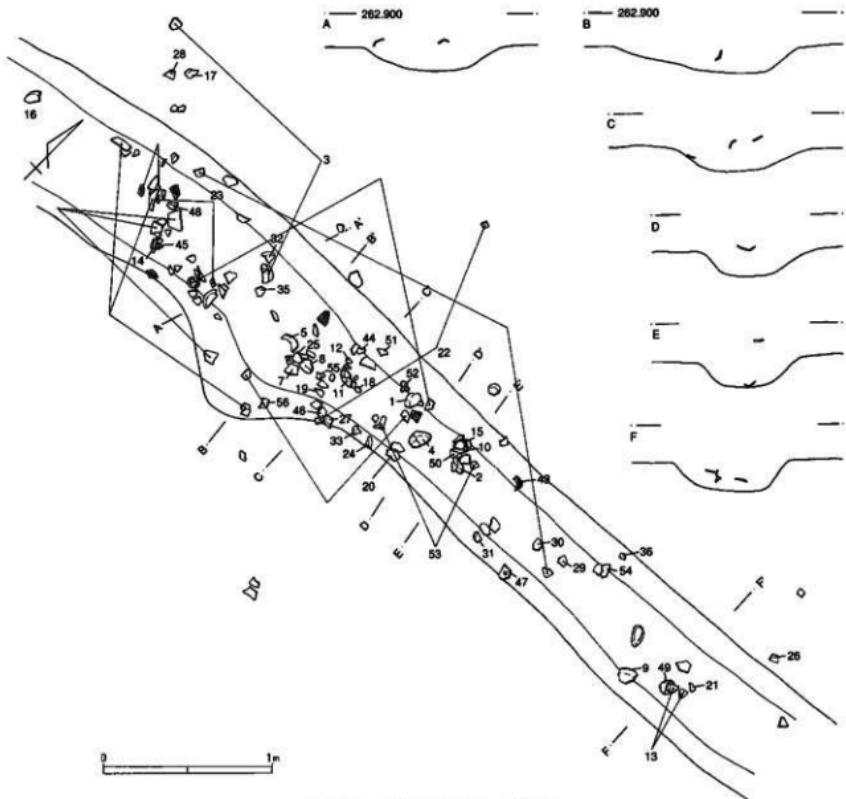
蓋は完形もしくは復元実測可能な資料が少なく、時期的変化を追えるほどではないため216・298～301の5点について概観する。216は、裏返しに置いておけば削り出し高台付の皿と見間違えるような資料である。外面のつまみは削り出しの低いもので、ほとんど実用的ではない。つまみから体部半分までは回転ヘラ削りが施される。内面の受け部は先端の丸い工具による1条の沈線もしくは深い磨きによるものである。内面には渦巻き状暗文が施されている。298と301は同一個体であることが判明したので一緒に概観する。つまみは宝珠形で、内

外面ともナデ調整である。受け部は丁寧なつくりであり、一条付け足したか、あるいは端部を厚く作り出して受けの内外両面を削り出したか、いずれにしても受けが薄く深い。299はボタン状のつまみで、内外両面ナデ調整が行われている。受けのつくりは216と同様簡単なつくりである。300はつまみは不明であるが、外面には回転ヘラ削りが認められる。受けは薄く摘み出したものである。

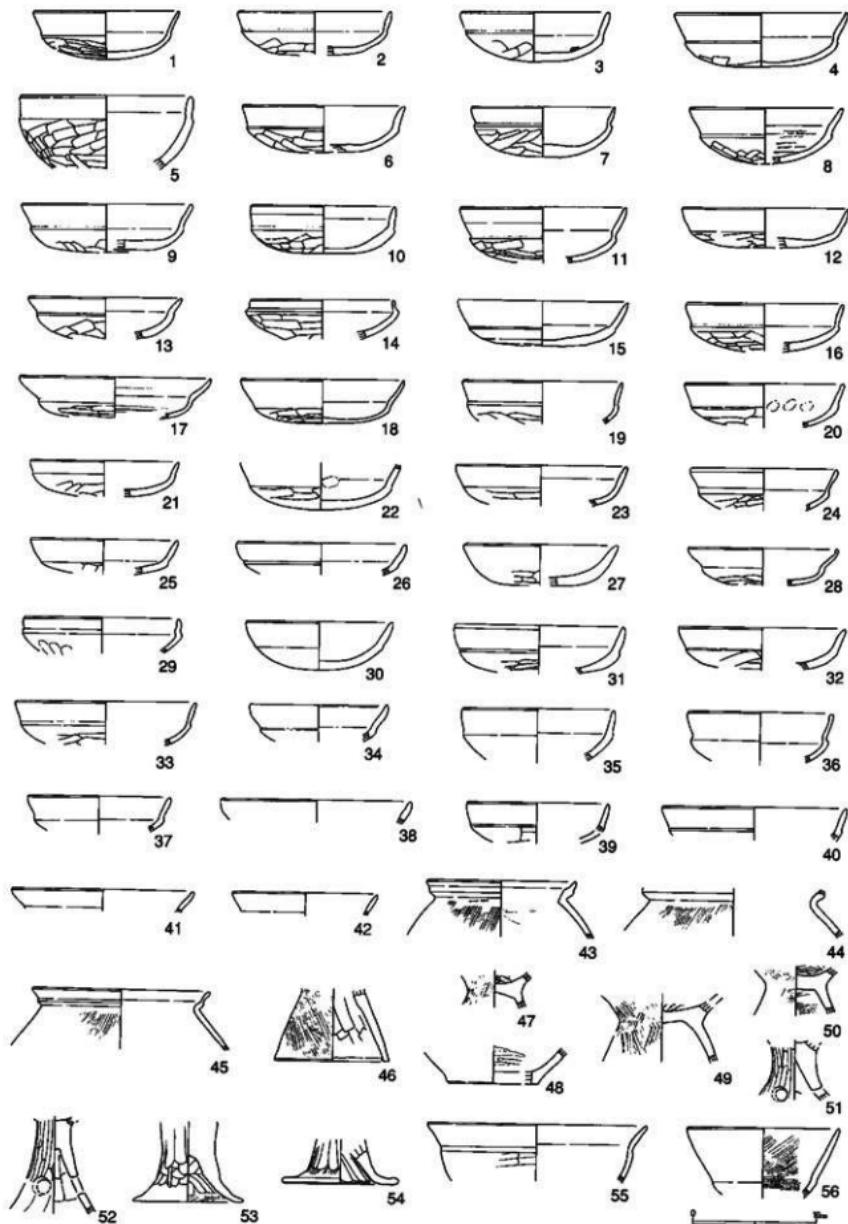
鉢はさらに資料が少なく、底部の状況が判るのは350の1点のみである。体部内面下半に暗文が見られ、上半はナデ調整である。外面下半はナナメの手持ちヘラ削りが行われている。時期の判断は難しいが、削りや暗文の状況からIX期に位置づけておきたい。

以上、2号溝の出土土師器について概観したが、時期的にはⅧ期～Ⅺ期までの資料が存在することが判明した。なお、これまでに概観してきた資料以外の資料や破片資料である高坏・甕・壺・須恵器、瓦などは一覧表に示すこととし、説明は割愛する。ただし、高坏のうち、920には脚部に面取りが行われている。このような例は県内では少ないがⅦ期には存在するようであり、この資料についてもⅦ期としておく。なお、他にも遺構外から出土しており、それについては後述する。

その他の資料4点についてここで触れておく。991は、今回の調査で出土した唯一の石鐵である。小型の黒曜石製凹基有茎鎌で、先端と中子を欠損している。992は青銅製の縁金で、表面には鍍金が施されている。993・



第43図 3号溝平面図・接合図



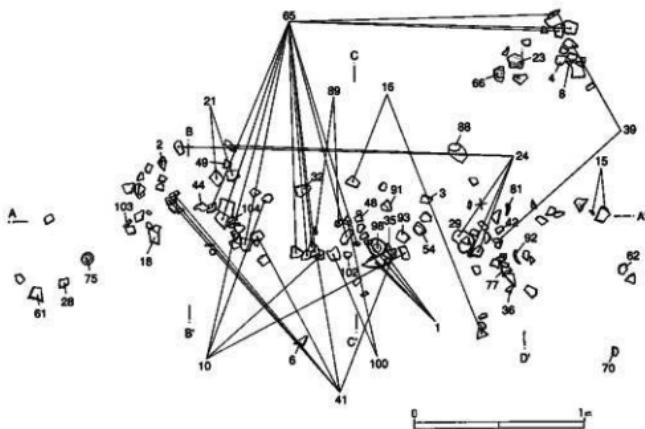
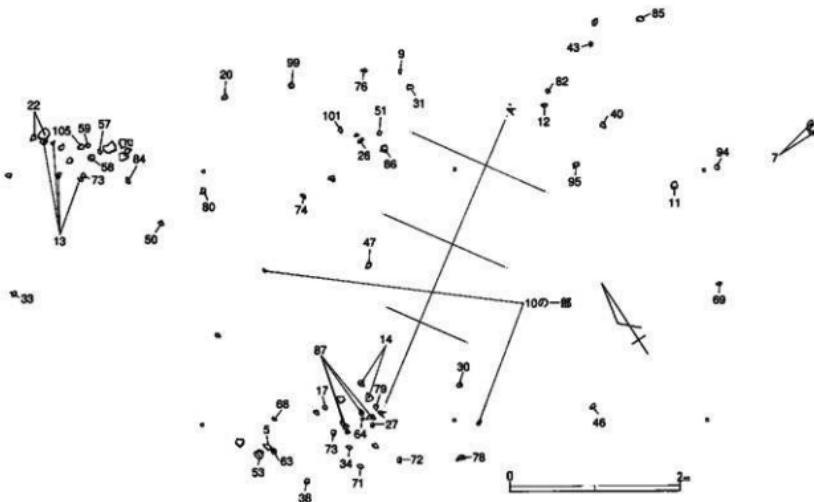
第44図 3号溝出土遺物

994は同一個体と思われる土馬の破片である。頭部及び右脚である。頭部はたてがみと両耳を欠損しているが、面取りをした顔部には簡単な表現の目とやはり面取りと同様な手法での口が表現されている。本資料は県内では5例目の土馬であるが、確実に平安時代に遡るものとしては唯一の資料である。

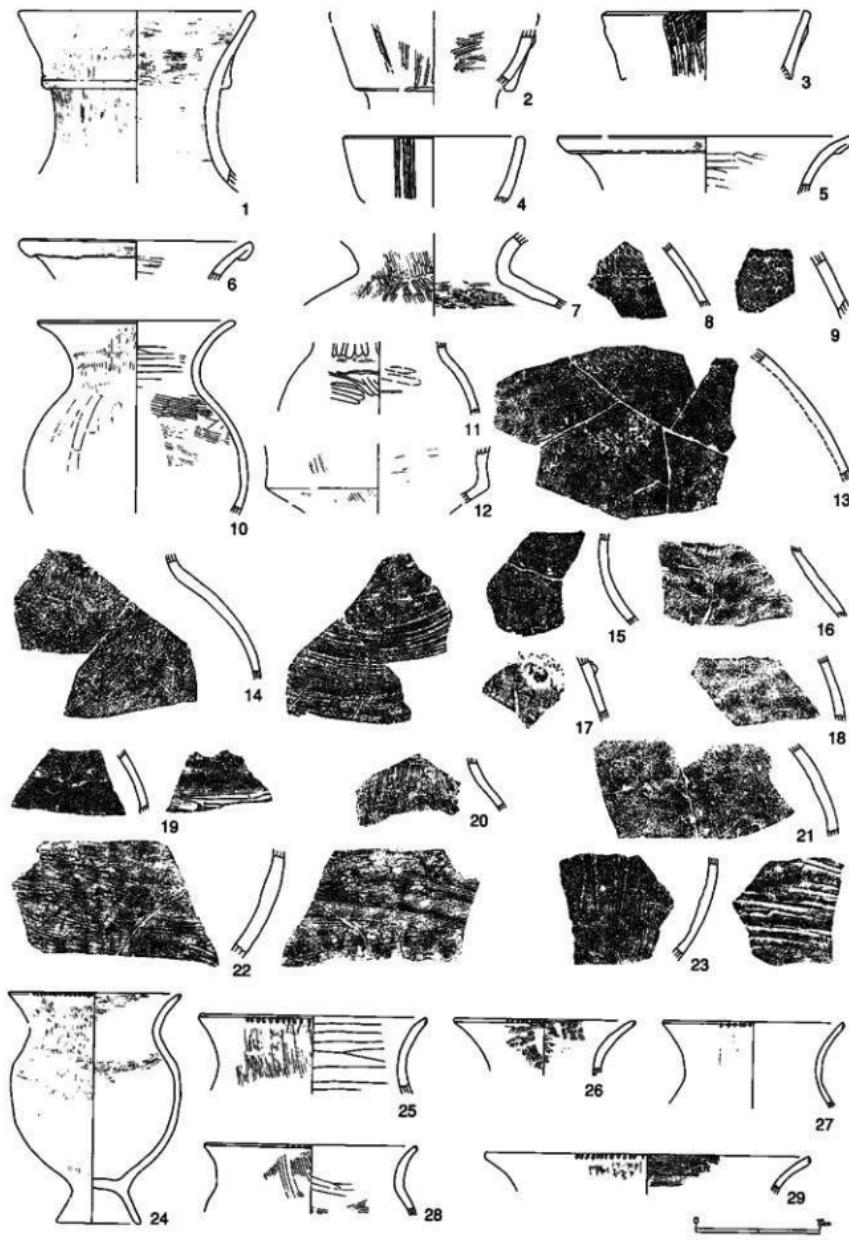
・3号溝

V-11・12、W-10・11グリッド。住居跡のすぐ南に確認された溝であり、住居跡と同時期と考えられる。確認部分で幅60cm、深さ10~15cmを計るが、部分的に膨らみがあり最大幅100cmを計る。

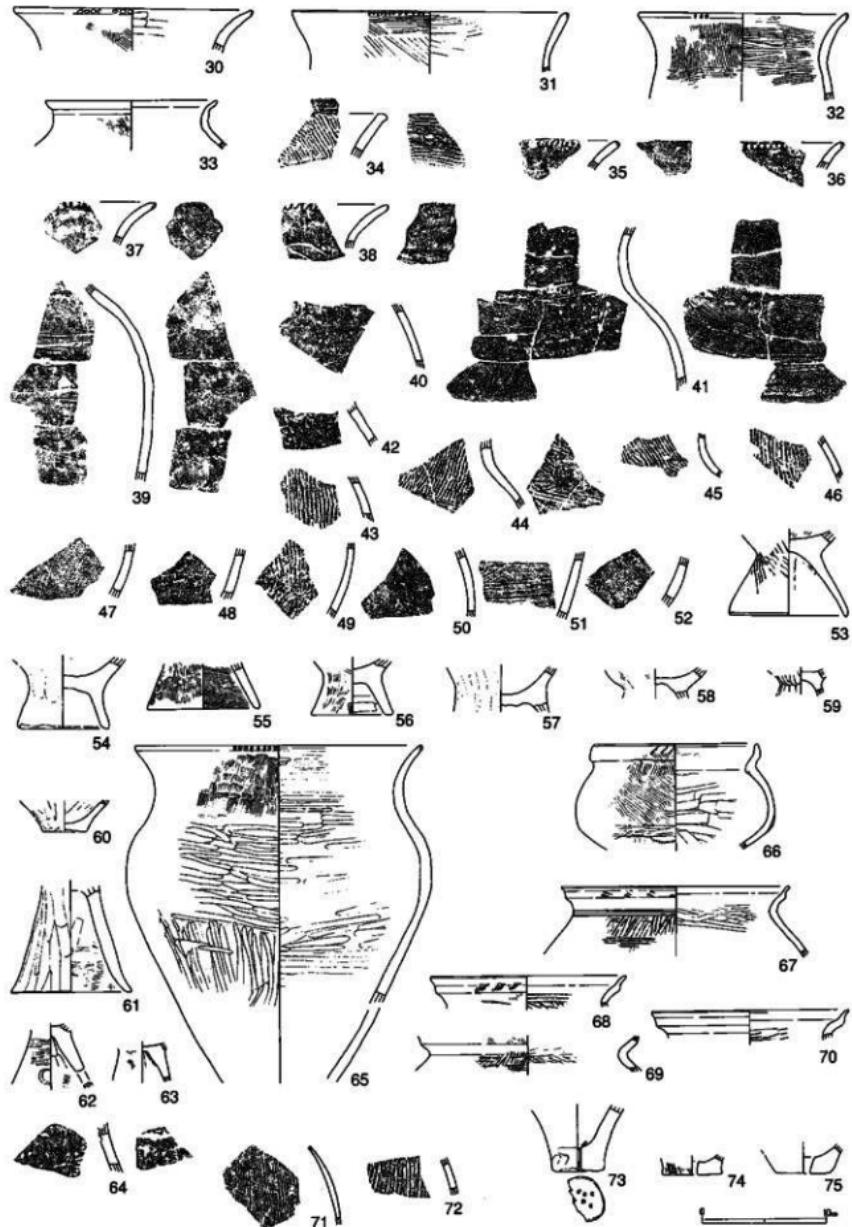
遺物は溝底に接するものからやや浮いて出土するものまであるが、主体をなすのは古墳時代後期の資料であ



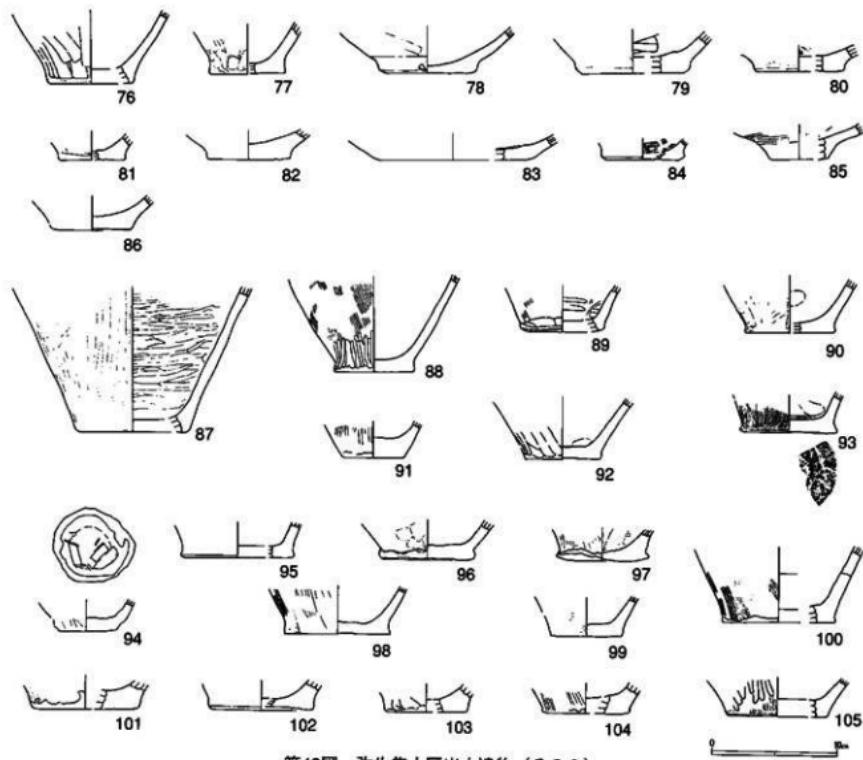
第45図 弥生集中区平面図・接合図



第46図 弥生集中区出土遺物（その1）



第47図 弥生集中区出土遺物（その2）



第48図 弥生集中区出土遺物（その3）

る。1~42までに壊を示したが、いずれも口縁部下に稜を有するものである。丹塗りや黒彩の資料が非常に多いのが特徴である。丹塗りは1・6・8・10・21~26・37・38や55の鉢にみられる。また、黒彩は2・3・5・7・10・17・19・33・36・41・42や55の鉢などである。10や55は外面丹塗りで内面黒彩（炭素吸着）である。このように彩色資料が多く、とくに黒彩が多いことや稜のない壊が存在しないことなど、住居跡と全く同じ理由からX期（6世紀後半）が妥当なところとなろう。

第6節 遺物集中区

U・V-25~28、W-25~27グリッドに確認された遺物集中区であり、とくに造構は確認されなかったが、ところどころに焼土が飛散していた。遺物の集中部分を中心とし、その周辺を含め徹底的に造構確認を行ったものの掘り込みやピットは全く確認されず、遺物の平面図作成のみを行った。

第45図に遺物の接合関係を示したが、20が最も離れ3.2mを計る。1は細片となって散っており、14片が接合した。最大2.4m離れての接合である。

この集中区から出土した土器は弥生時代末~古墳時代初期に位置づけられるものである。東海地方東部~西相模、中部高地、東海地方西部などの諸地域の資料が混在している。中でも多く目につくのが東海地方東部~西相模地域の壺・甕などである。同地域の壺を1~59に示した。1~6に見られる複合口縁と10の単口縁の2種類が存在する。8・9・13は肩部に疑似縄文が施されている。その他は無文か条痕である。24~59に甕を示

したが、底部の破片資料数からは台の付かないものが多い。33を除いて、口縁部資料の口唇には一様に櫛状工具による刻みが施されている。胴部はすべて条痕文であるが、工具の違いにより、その太さは一様ではない。中部高地系の資料は意外に少ない。壺は60に示した底部で、赤彩されている。61～64には高坏を示したが、61はやはり赤彩されている。壺は65のみで、口唇部に刻み、頸部に細い条痕が見られる。胴部は内外面とも磨きが施されている。東海西部地域の資料は、66に示した小型鉢以外は台付壺である。66は口唇部には刻みが見られないものの、口縁外面に櫛状工具の刺突を連続して行っている。台付壺のうち67～70はS字状口縁台付壺で口縁外面にやはり櫛状工具の刺突を行っている。

73～75には瓶を一括した。中央部に1～2cm程度の小孔を有するタイプと、73のように2mm程度の小孔多数を有するものとの2種類が存在する。

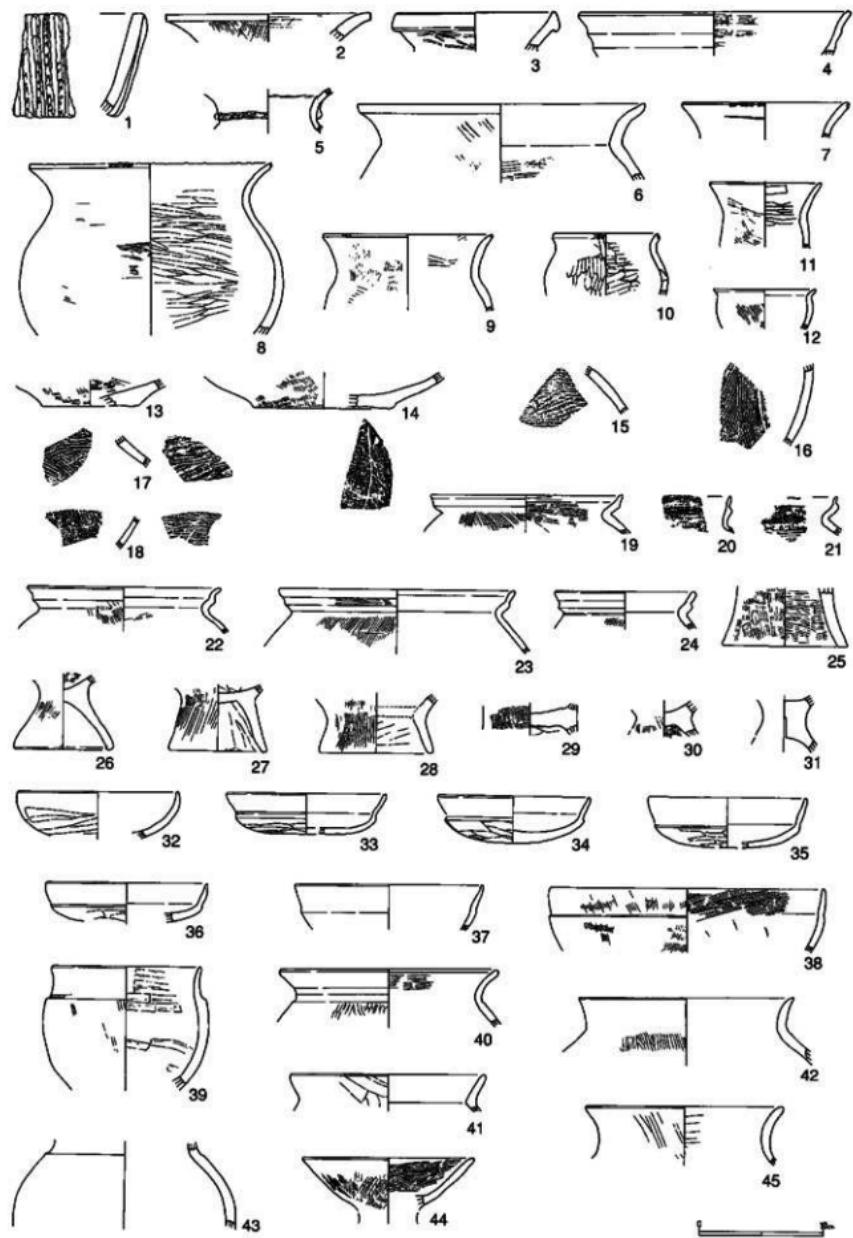
第7節 遺構外出土遺物

今回の調査では、遺構外からの出土遺物も非常に多かった。冒頭述べたように、調査前の表面採取でも驚くほど多量に採取ができ、遺物の多さは予想されたのであるが、それを上回る遺物量であった。以下に主なものについて記す。

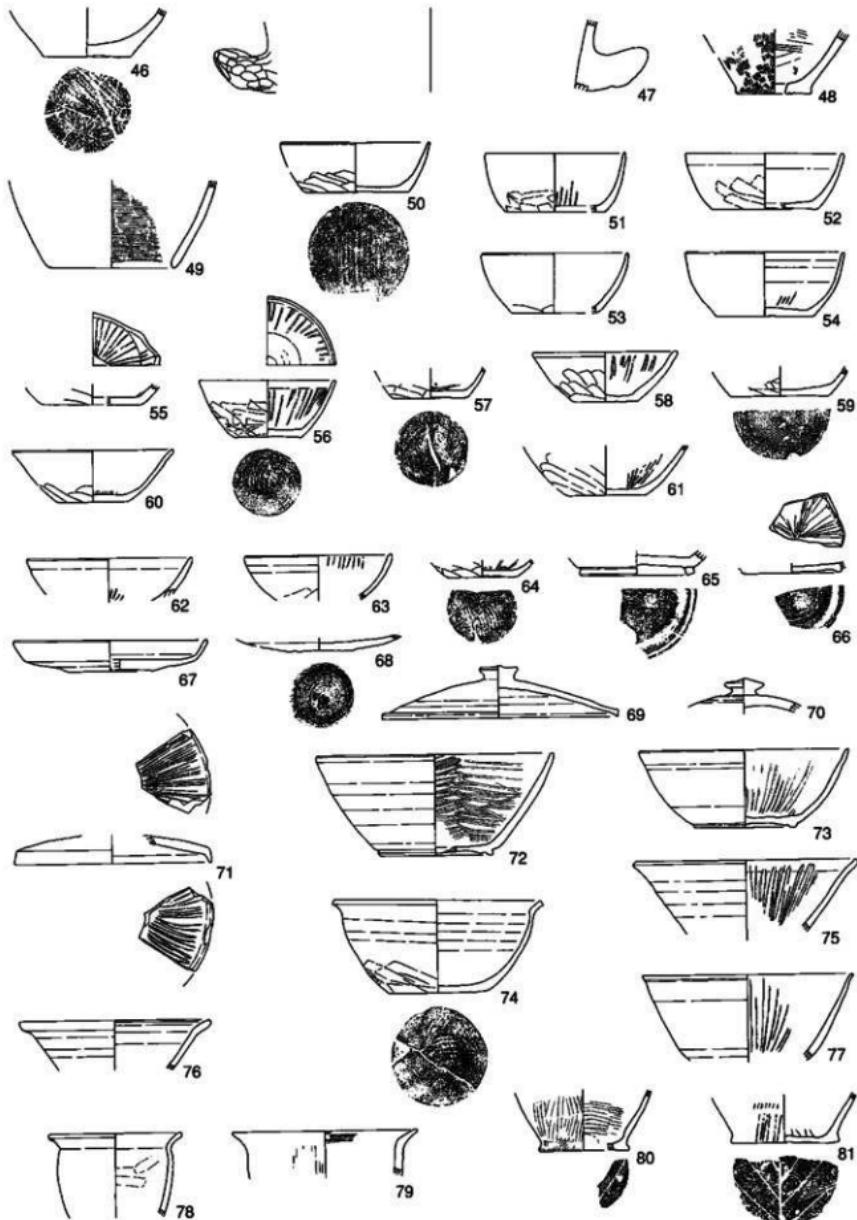
弥生時代末～古墳時代初期にかけての資料を1～31に示した。1・3・4は複合口縁を有する。6は赤彩、7～10には口唇に刻みがみられる。なお10は内外面とも磨きが顕著である。19～24にはS字状口縁台付壺を示したが、口縁外面に櫛状工具の刺突を行なった資料はなく、弥生集中区で示した資料より新しく位置づけられる。

古墳時代後期の壺を32～37に示した。32は口縁部下の稜がなくなっていることから、住居跡や3号溝より新しく、古墳時代編年のXI期（7世紀第1四半期）頃に位置づけられよう。33は外面が赤彩されている。他の資料と合わせ、住居跡や3号溝と同時期としておく。

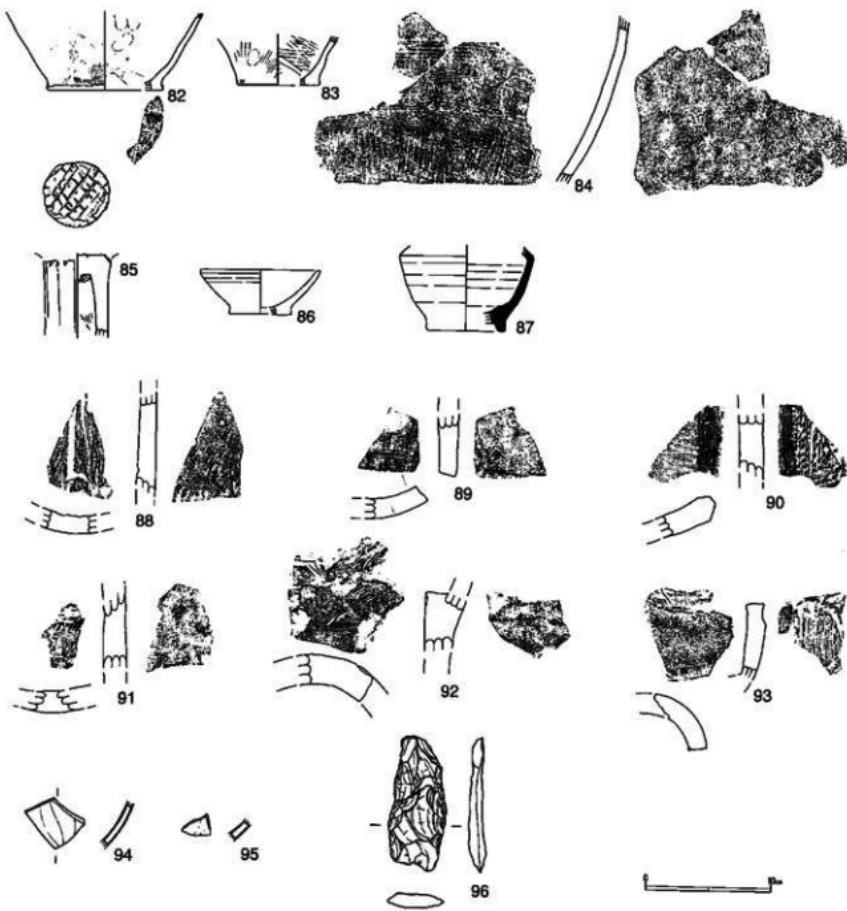
古手の甲斐型壺を50～55に示した。55は推定口径12cm、底径8.5cmを計り、みこみ部から体部への立ち上がりには一条の磨きが認められ、はっきりと区分けがなされている。底面は、静止糸切り後、周辺部のみヘラ削りを行っている。体部外面には、はっきりとしないが手持ちヘラ削りの痕跡が認められる。また図示していないが、部分的にはヘラ磨きらしき痕跡もある。甲斐型編年のVI期に位置づけられるものであろう。51・52もみこみ部と体部の境に一条の磨きを有する。51には暗文がみられるが、52にはみられない。これらもVI期に位置づけられよう。これらの資料はいずれも非常に丁寧なつくりで、胎土も精選されている。なお、すべての資料に赤色粒子が含まれている。56は底面の状況は上記資料と同じであるが、暗文はみこみ部にはみられない。しかし、これもみこみ部と体部の区分け意識がはっきりしており、境に一条の磨きを有する。VII期に位置づけられる。71も同様に精選された胎土で、かつ丁寧なつくりである。内外面とも放射状の暗文が施され、口縁部外面も丁寧にヘラ磨きされている。ここでは蓋として報告したが、このような例はほとんど無いと思われ、高坏の壺部である可能性もある。器種はともかく、甲斐型編年のVII期への位置づけが妥当であろうか。72・73の高台付壺のうち、72は内面磨きの形態が古い様相を示すもののみこみ部と体部の境の磨きがない。また、73は境の区分けはわずかながら認められるが、2点共、口径と底径がちょうど2:1となっており、VII期に位置づけられる。74の鉢はすでに暗文を消失している。底面の中心部分には糸切り痕が残るが、その周辺部は手持ちヘラ削りを行っている。また体部下半もヘラ削りである。XI期に位置づけられる。85には高坏脚片を示したが、2号溝でも確認された面取りの行われた脚である。本資料には10面の面が確認される。また、壺部との接着面にはヘラにより格子目状の刻みを入れ、接着が充分に行われるよう意識していた事が窺われる。さらに接着面の外面端部にもヘラで刺突を行っているが、これも同様に充分な接着を意識したものであろう。



第49図 グリッド出土遺物（その1）



第50図 グリッド出土遺物（その2）



第51図 グリッド出土遺物（その3）

道々芽木遺跡出土遺物観察表

(法量の単位はcm、—は計測不能、()は推定値)

1号住居跡出土遺物

辨別 番号	遺物 番号	出土地点	注記番号	種別	器形	法量			色調	胎土	焼成	調量	備考
						口径	基高	返径					
488	1	1住	1住カマド内	土師器	瓶	22.2	28.6	6.9	橙色	赤色・白色・黒色粒子・砂粒・石英	良	内面上部唇：ハケメ・ヘラ削り、外底：オブレル；ナゲ開窓、上部唇：ハケメ、下部唇：ヘラ削り	把手2ヶ所
489	2	1住	1住カマド内	土師器	壺	—	—	—	明褐色	青	良		
490	3	1住	1住カマド内	土師器	壺	18.7	30.7	—	黒褐色	赤色粒子・金雲母・石英	良	内外面：ハケメ	
491	4	1住	S10-37-1	土師器	壺	11.6	3.7	—	赤褐色	赤色粒子・金雲母	良	ヘラ削り・丸底	赤茶
492	5	1住	S10-37-2	土師器	壺	12.4	3.7	—	灰褐色	赤色粒子・金雲母	良	ヘラ削り・丸底	赤茶
493	6	1住	S10-37-3	土師器	壺	12.3	4.1	—	茶褐色	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り	黒茶
494	7	1住	S10-37-4	土師器	壺	12.4	4.1	—	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り	赤茶
495	8	1住	S10-37-5	土師器	壺	13.0	4.2	—	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	ロクロヘラ削り	
496	9	1住	S10-38	土師器	壺	13.4	3.8	—	褐色	赤色粒子	良	内面：指擦痕	
497	10	1住	S10-35	土師器	壺	16.0	7.7	—	明褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・	赤茶
498	11	1住	T10-3	土師器	壺	12.0	3.9	—	明褐色	赤色粒子	良		内外面：赤茶
499	12	1住	S9-29・30	土師器	壺	(16.6)	(6.0)	—	暗褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り	
500	13	1住	S10-42	土師器	壺	(12.4)	—	—	黄褐色	赤色粒子	良	外底：ヘタミガキ	
501	14	1住	T10-14	土師器	壺	(16.0)	—	—	黄褐色	青	良		
502	15	1住	S10-33・55	土師器	壺	(16.4)	—	—	暗褐色	赤色粒子	良	ハケ状工具による調整	
503	16	1住	S10	土師器	壺	(14.6)	—	—	暗褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り	
504	17	1住	S9-23	土師器	壺	—	—	—	暗褐色	赤色粒子	良		
505	18	1住	U10-30	土師器	壺	12.2	3.8	—	暗褐色	赤色粒子	良		
506	19	1住	U10-10	土師器	壺	12.6	4.0	—	暗褐色	赤色粒子	良	内面：指擦痕	内外面：黒茶
507	20	1住	U10-23	土師器	壺	(12.2)	3.5	—	褐色	赤色粒子	良		
508	21	1住	U10-13・14	土師器	壺	12.4	4.5	—	黑褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り	
509	22	1住	U10-25・31	土師器	壺	12.2	3.9	—	黑色	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り	
510	23	1住	U10-21	土師器	壺	11.7	3.8	—	褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り	赤茶
511	24	1住	U10-16	土師器	壺	(13.6)	(3.2)	—	内面：黒 外面：茶褐色	赤色・白色・褐色粒子・砂粒	良	外底：ヘラ削り	
512	25	1住	U10-23・27	土師器	壺	(12.1)	4.0	—	茶褐色	赤色・白色・黒色粒子・砂粒	良	外底：ヘラ削り	
513	26	1住	U10-9	土師器	壺	(16.0)	—	—	明褐色	赤色・白色・黒色粒子・砂粒	良	外底：ヘラ削り	
514	27	1住	U10-18	土師器	壺	(16.4)	—	—	暗褐色	赤色粒子	良	外底：ヘラ削り	
515	28	1住	U10-24	土師器	壺	(13.2)	—	—	暗褐色	青	良	ヘラ削り	
516	29	1住	U10-8	土師器	壺	10.0	—	—	黄褐色	赤色粒子	良	外底：ヘラ削り	赤茶
517	30	1住	S10-46	土師器	壺	13.0	2.9	13.0	暗褐色	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り	
518	31	1住	U10-6	土師器	壺	18.7	9.0	9.2	黄褐色	赤色粒子・雲母	良	神部内面：ヘラ削り・ハケメ、 外底：ヘラ削り	
519	32	1住	U10-3	土師器	壺	—	—	—	明褐色	石英・黄石	良	外底：ミガキ、内面：ヘラ削り 3ヶ所に穿孔有	
520	33	1住	S9-28・35・35	土師器	壺	(11.7)	16.0	5.8	赤褐色	粗：赤色粒子・黄石・小石	良	内外面に調査不明瞭	
521	34	1住	S9-24・T10-19	土師器	壺	(11.6)	—	—	明褐色	中や粗：黄石・金雲母	良	内外面：ハケメ	
522	35	1住	T10-23	土師器	壺	(18.2)	—	—	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	内面：ハケメ、外底：ヘラ削り	
523	36	1住	S10-57・58・55・ 56・61・62・63・32・ 38・54・T10-25	土師器	甕	18.8	—	—	黄褐色	赤色粒子・砂粒・石英・金雲母	良	内外面ハケ目	
524	37	1住	T10-11	土師器	甕	—	—	—	内面：黒 外底：茶褐色	赤色・白色粒子・石英・黒褐色等？	良	内外面：ハケメ	
525	38	1住	U10-1・2	土師器	甕	—	—	—	内面：赤褐色、外底：黒褐色	黄石・石英・重母	良	内外面：ハケメ	
526	39	1住	S10-49			—	—	—					
527	40	往1		土師器	壺	(1.8)	—	—	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り	
528	41	1住	T9	土師器	壺	(18.8)	—	—	明褐色	赤色粒子	良		赤茶・内黒
529	42	1住	S9	土師器	壺	(11.4)	—	—	暗褐色	青	良		内黒
530	43	1住	S10	土師器	壺	(11.8)	—	—	暗褐色	青	良		
531	44	1住	S10	土師器	壺	(16.8)	—	—	暗褐色	青	良		
532	45	1住	U10	土師器	壺	(13.8)	—	—	明褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り、ミガキ	内黒
533	46	1住	U10	土師器	壺	(12.8)	—	—	暗褐色	赤色粒子	良		内黒

1・3・4・5号土坑出土遺物

探査 番号	遺物 番号	出土地点	注記番号	種別	器形	生 産			色 調	胎 土	性 状	調 査	備 考		
						口径	器高	底径							
7回	1	1土	1	土器部	壺	25.0	(1.8)	赤褐色	赤色粒子	良					
7回	2	3土	2・9・5・11	土器部	壺	19.2	(5.0)	—	明褐色	赤色粒子	良	外観: ハケ調整後ミガキ			
7回	3	3土	8	土器部	壺?	—	—	—	暗褐色	赤色粒子	良	外観: ハケメ			
7回	4	3土	1	土器部	壺	—	—	—	明褐色	赤色粒子・茎母やや合	良	外観: ハケメ			
7回	5	3土	6	土器部	壺	—	—	—	褐色	白色粒子	良	外観: ハケメ			
7回	6	3土	6	土器部	壺	—	—	—	暗褐色	赤色・白色粒子	良	外観: ハケメ			
7回	7	3土	7	土器部	壺	—	—	—	暗褐色	白色粒子	良	外観: ハケメ			
7回	8	3土	4	土器部	壺?	—	—	—	赤褐色	石英・白色粒子	良	内面: ハケメ			
7回	9	3土	13	土器部	壺	—	—	—	暗褐色	砂粒多量含	良	内外面: ハケメ			
7回	10	3土	14	土器部	壺	—	—	—	暗褐色	白色粒子	良	外観: ハケメ			
7回	11	3土	2	土器部	壺	—	—	—	明褐色	白色粒子	良	外観: ハケメ			
7回	12	3土	22	土器部	壺	—	—	—	暗褐色	赤色・白色粒子	良	外観: ハケメ			
7回	13	4土	1	土器部	壺?	—	—	—	暗褐色	白色粒子	良	外観: ハケメ			
7回	14	4土	4	土器部	壺?	—	—	—	暗褐色	赤色粒子	良	外観: ハケメ			
7回	15	4土	2	土器部	壺	—	—	—	暗褐色	白色粒子	良	外観: ハケメ			
7回	16	4土	6	土器部	壺	—	—	—	明褐色	赤色粒子	良	外観: ハケメ			
7回	17	4土	7	土器部	壺	—	—	—	明褐色	白色粒子	良	外観: ハケメ			
7回	18	4土	3	土器部	壺	—	—	—	褐色	白色粒子	良	外観: ハケメ			
7回	19	5土	1	土器部	壺	(16.2)	—	—	赤褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	外観: ハケ削り不明瞭			
7回	20	5土	2・3・5・S9-3・ 15・17	土器部	壺	(22.8)	—	—	赤褐色	金雲母多量	良	内面: ハケメ・外観: ハケメ			
7回	21	5土	6・S9-12	土器部	壺	—	—	—	(9.0)	暗褐色	やや粗	金雲母多量	良	内面: ハケメ・指痕痕、底部粗	

2号井戸貯出土遺物

探査 番号	遺物 番号	出土地点	注記番号	種別	器形	生 産			色 調	胎 土	性 状	調 査	備 考
						口径	器高	底径					
11回	1	2井戸		土器部	壺	15.3	低5.3 高5.7	5.3	赤褐色	赤色粒子	良	外観: ロクロナデ・ヘラ削り、底部: ロクロ調整、内面: ナデ	口縁: ヤシ
11回	2	2井戸		土器部	壺	15.0	4.7	5.2	赤褐色	赤色粒子	良	外観: ロクロナデ・ヘラ削り、底部: みちり後ヘルア開窓、内面: ロクロナデ	口縁: ヤシ
11回	3	2井戸	7	土器部	壺	14.4	4.8	5.4	赤褐色	赤色・白色粒子	良	内面: ナデ、体部: ヘラ削り	
11回	4	2井戸	43・94・95	土器部	壺	12.1	3.5	4.4	赤褐色・ 黒褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	外観: ナデ・ヘラ削り、底部: ヘラ削り、暗褐色不明瞭、内面: ナデ	
11回	5	2井戸	98・99・101・ 102・120・135	土器部	壺	12.4	4.5	4.4	明褐色	赤色粒子	良	外観: ナデ・ヘラ削り、底部: ヘラ削り	
11回	6	2井戸	112	土器部	壺	12.1	4.3	4.7	赤褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	外観: ナデ・ヘラ削り	
11回	7	2井戸	164	土器部	壺	10.2	3.95	5.7	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文: ヘラ削り、底部赤切り後、ヘラ削り、口縁にヤシ有	
11回	8	2井戸	122	土器部	壺	(11.6)	3.8	4.8	暗褐色	赤色・白色粒子	良	ヘラ削り、底部赤切り痕	
11回	9	2井戸	114・136・137・138	土器部	壺	(14.6)	4.8	5.0	明褐色	赤色・白色粒子	良	ヘラ削り・底部赤切り痕	
11回	10	2井戸		土器部	鉢	15.6	6.4	7.0	赤褐色	赤色粒子	良	外観: ヘラ削り、底部赤切り痕、口縁後ヘルア開窓	
11回	11	2井戸	49・19・47	土器部	壺	10.8	4.0	5.5	赤褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・底部赤切り痕、暗文不明瞭	
11回	12	2井戸	124	土器部	壺	(11.2)	3.6	(3.6)	赤褐色	赤色粒子	良	内面: 暗文、外観: ヘラ削り	
11回	13	2井戸	166	土器部	壺	(15.0)	4.3	(5.15)	内面: 黑 色、外面: 黄褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	外観: ヘラ削り、底部: みちり後ヘルア開窓	内面
11回	14	2井戸	135	土器部	壺	(14.6)	4.8	5.0	外観: 黑 色、内 面: 黑 色	赤色・白色粒子・砂粒	良	ヘラ削り・底部赤切り痕	内面
11回	15	2井戸	148・150	土器部	壺	13.0	2.7	3.5	明褐色	赤色・白色粒子	良	ヘラ削り・底部赤切り痕・豆みがひく口縁に差有	
11回	16	2井戸	21	土器部	壺	13.0	2.4	5.0	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・ロクロヘラ削り	
11回	17	2井戸	134	土器部	壺	12.4	2.5	7.6	白褐色	赤色粒子	良	底部ヘラ削り、暗文	
11回	18	2井戸	64	土器部	壺	(14.4)	5.7	(5.8)	黃褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	内面: 暗文、底部: ヘラ削り	
11回	19	2井戸		土器部	壺	(10.1)	4.1	(4.8)	暗褐色、 外観: 茶 褐色	赤色粒子	良	内面: 暗文、外観: ヘラ削り・底部赤切り後ヘルア開窓	
11回	20	2井戸	177	土器部	壺	(11.8)	4.5	4.4	明褐色	赤色粒子	良	暗文不明瞭・ヘラ削り・底部 赤切り痕	
11回	21	2井戸	82	土器部	壺	(13.6)	(4.5)	—	明褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り	
11回	22	2井戸	20	土器部	壺	(11.0)	—	—	明褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り	

1188	23	2枚糸	141・146	土師器	坏	<14.0>	—	—	褐色	密	良	ヘラ削り
1188	24	2枚糸	—	土師器	坏	10.6	—	—	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	縦文・ヘラ削り
1188	25	2枚糸	56	土師器	坏	(11.0)	(4.2)	—	明褐色	赤色粒子・白色粒子多數	良	ヘラ削り・暗文
1188	26	2枚糸	—	土師器	坏	(15.2)	(6.0)	(6.2)	褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文
1188	27	2枚糸	162	土師器	坏	(11.0)	—	—	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り
1188	28	2枚糸	156	土師器	坏	(9.8)	—	—	黄褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・暗文
1188	29	2枚糸	—	土師器	坏	(11.8)	—	—	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	内面: 暗文, 外面: ヘラ削り
1188	30	2枚糸	—	土師器	坏	9.3	—	—	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文
1188	31	2枚糸	25	土師器	坏	13.3	—	—	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文
1188	32	2枚糸	—	土師器	坏	9.4	3.35	—	赤褐色	赤色粒子	良	暗文
1188	33	2枚糸	—	土師器	坏	(11.6)	—	—	明褐色	赤色粒子	良	暗文
1188	34	2枚糸	—	土師器	坏	(10.6)	(4.4)	—	明褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り
1188	35	2枚糸	69	土師器	坏	(10.6)	—	—	明褐色	赤色・白色粒子	良	兩大不明瞭・ヘラ削り
1188	36	2枚糸	—	土師器	坏	(15.2)	—	—	明褐色	赤色粒子	良	—
1188	37	2枚糸	140	土師器	坏	(11.8)	—	—	明褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り
1188	38	2枚糸	9	土師器	坏	15.2	—	—	褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・ヘラ削り
1188	39	2枚糸	83	土師器	坏	(11.0)	—	—	褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り
1188	40	2枚糸	87	土師器	坏	(11.6)	—	—	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	—
1188	41	2枚糸	—	土師器	坏	(9.9)	—	—	黄褐色	赤色粒子	良	—
1188	42	2枚糸	33	土師器	坏	(13.8)	—	—	茶褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文
1188	43	2枚糸	84	土師器	坏	(17.6)	—	—	明褐色	赤色粒子	良	—
1188	44	2枚糸	11	土師器	坏	(12.6)	(4.4)	—	明褐色	赤色・白色粒子	良	暗文不明瞭・ヘラ削り
1188	45	2枚糸	—	土師器	坏	(13.2)	(4.5)	—	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文
1188	46	2枚糸	85	土師器	坏	(10.2)	—	—	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り
1188	47	2枚糸	—	土師器	坏	(11.2)	—	—	黄褐色	赤色粒子・砂粒	良	—
1188	48	2枚糸	—	土師器	坏	(11.4)	—	—	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り
1188	49	2枚糸	—	土師器	坏	(12.0)	—	—	暗褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文
1188	50	2枚糸	—	土師器	坏	(11.2)	—	—	明褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り
1188	51	2枚糸	—	土師器	坏	(11.2)	—	—	明褐色	赤色粒子	良	—
1188	52	2枚糸	—	土師器	坏	(10.0)	—	—	明褐色	赤色粒子	良	—
1188	53	2枚糸	—	土師器	坏	(19.0)	—	—	赤褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り
1188	54	2枚糸	—	土師器	坏	(16.6)	—	—	明褐色	赤色粒子	良	—
1188	55	2枚糸	—	土師器	坏	(13.0)	—	—	明褐色	赤色粒子	良	—
1188	56	2枚糸	—	土師器	坏?	(17.2)	—	—	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	—
1188	57	2枚糸	—	七輪器	坏	(11.2)	—	—	黄褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り
1188	58	2枚糸	—	土師器	坏	(11.4)	—	—	黄褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り
1188	59	2枚糸	—	土師器	坏?	(16.4)	—	—	外腹: 赤褐色, 内面: 黑色	赤色粒子	良	暗文
1188	60	2枚糸	—	土師器	坏	10.9	残3.8	—	赤褐色	赤色粒子	良	全体に黒いものが付着
1188	61	2枚糸	—	土師器	坏	13.2	残3.1	—	明褐色	赤色粒子	良	—
1188	62	2枚糸	—	土師器	坏	11.1	残3.7	—	暗褐色	赤色粒子	良	隣の周辺が黒くなっている
1188	63	2枚糸	109	土師器	坏	(14.0)	—	—	黄褐色	赤色粒子・砂粒	良	内黒
1188	64	2枚糸	55	土師器	坏	(12.5)	—	—	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	内黒
1188	65	2枚糸	18	土師器	坏	(15.9)	—	—	外腹: 黄褐色, 内面: 黑色; 混色	赤色粒子	良	内黒
1188	66	2枚糸	67	七輪器	坏	(12.6)	—	—	明褐色	赤色・白色粒子	良	—
1188	67	2枚糸	131	土師器	坏	15.4	—	—	暗褐色	赤色粒子	良	—
1188	68	2枚糸	118	土師器	坏?	(25.8)	残7.8	—	外腹: 赤褐色, 内面: 黑色	赤色粒子・砂粒多數含	良	内黒裏: ナメ, 外腹: ヘラ削り
1188	69	2枚糸	77	土師器	坏	—	—	5.2	明褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り
1188	70	2枚糸	62	土師器	坏	—	—	5.3	明褐色	赤色・白色粒子	良	ヘラ削り・底部赤切り痕
1188	71	2枚糸	125	土師器	坏	—	—	4.7	黄褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り
1188	72	2枚糸	63	土師器	坏	—	—	4.4	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・ヘラ削り
1188	73	2枚糸	163	土師器	坏	—	—	(7.0)	赤褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り
1188	74	2枚糸	66	土師器	坏	—	(残3.1)	4.6	明褐色	赤色粒子	良	底邊赤切り痕
1188	75	2枚糸	172	土師器	坏	—	(残2.2)	5.7	明褐色	赤色粒子	良	—
1188	76	2枚糸	54・153	土師器	坏	—	(残1.8)	6.4	明褐色	赤色粒子	良	底邊赤切り痕
1188	77	2枚糸	155	土師器	坏	—	—	5.2	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・ヘラ削り・底邊赤切り痕
1188	78	2枚糸	23	土師器	坏	—	—	(6.0)	明褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	ヘラ削り
1188	79	2枚糸	59	土師器	坏	—	—	(4.4)	明褐色	赤色粒子	良	—
1188	80	2枚糸	165	土師器	坏	—	—	(7.0)	赤褐色	赤色粒子	良	—
1188	81	2枚糸	52	土師器	坏	—	—	(6.8)	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・ヘラ削り
1188	82	2枚糸	154	土師器	坏	—	—	(6.8)	褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り・底邊赤切り痕
1188	83	2枚糸	25	土師器	坏	—	—	(4.4)	赤褐色	赤色粒子	良	暗文不明瞭
1188	84	2枚糸	79	土師器	坏	—	—	(8.0)	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文や不明瞭
1188	85	2枚糸	74	土師器	坏	—	—	(7.0)	暗褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文

1300	86	2井戸	121	土師器	坏	—	—	(6.0)	明褐色	赤色粒子	良			
1300	87	2井戸	157	土師器	高台坏	—	—	(7.0)	褐色	赤色粒子	良			
1300	88	2井戸		土師器	坏	—	—	4.8	暗褐色	砂粒	良			
									内面：黒 褐色、外 面：赤 褐色	赤色粒子・砂粒やや含 み	良	暗文不明顯		
1300	89	2井戸		土師器	坏	—	—	(6.4)	褐色	赤色粒子・砂粒やや含 み	良	暗文・ヘラ削り・底部未切り		
1300	90	2井戸		土師器	坏	—	—	(6.0)	褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・ヘラ削り		
1300	91	2井戸		土師器	坏	—	—	(7.0)	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・ヘラ削り		
1300	92	2井戸		土師器	坏	—	—	(6.0)	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り・底部未切り		
1300	93	2井戸		土師器	坏	—	—	(5.4)	黄色系	赤色粒子	良	ヘラ削り・底部未切り痕		
1300	94	2井戸	94・97	土師器	瓶	—	—	(2.4)	(4.2)	黄褐色、 赤褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り	
1300	95	2井戸	2・45・92	土師器	瓶	—	—	(2.3)	赤褐色	赤色粒子・金雲母	良	ヘラ削り		
1300	96	2井戸	179	土師器	瓶	—	—	2.5	(4.8)	明褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	ミガキ・口縁に墨み・クロ ヘラ削り	
1300	97	2井戸	144	土師器	瓶	—	—	(3.0)	(4.4)	暗褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り	
1300	98	2井戸	117	土師器	瓶	—	—	(2.8)	暗褐色	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り		
1300	99	2井戸	90	土師器	瓶	—	—	(2.75)	明褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・底部未切り痕		
1300	100	2井戸	168	土師器	?	—	—	—	明褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良			
1300	101	2井戸	108	土師器	瓶	—	—	3.7	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り		
1300	102	2井戸	80	土師器	瓶	—	—	(7.4)	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	クロ・ヘラ削り・底部未切り 痕・ヘラ削り		
1300	103	2井戸	34・68	土師器	瓶	—	—	(5.0)	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	クロ・ヘラ削り・底部未切り 痕・ヘラ削り		
1300	104	2井戸	158	土師器	瓶	—	—	(6.0)	暗褐色	赤色粒子	良	クロ・ヘラ削り		
1300	105	2井戸	72	土师器	瓶	—	—	(6.0)	明褐色	赤色粒子	良	クロ・ヘラ削り		
1300	106	2井戸	39	土师器	瓶	—	—	(5.0)	暗褐色	赤色・白色粒子	良	クロ・ヘラ削り		
1300	107	2井戸	32	古墳・ 甕	甕	—	—	—	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	内面：ミガキ		
1300	108	2井戸		土师器	瓶	—	—	(7.0)	暗褐色	赤色粒子・砂粒	良	ミガキ・底部未切り痕		
1300	109	2井戸	126	土师器	高台瓶	—	—	(7.2)	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	ミガキ	内面	
1300	110	2井戸	71	土师器	高台瓶	—	—	(7.0)	赤褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	削り出し高台		
1300	111	2井戸	78	土师器	高台瓶	—	—	(9.2)	明褐色	赤色粒子・砂粒	良			
1300	112	2井戸	51	土师器	高台瓶	—	—	(7.0)	暗褐色	赤色粒子・砂粒多量含	良	削り出し高台		
1300	113	2井戸	104	土师器	瓶	—	—	—	明褐色	赤色粒子・砂粒	良			
1300	114	2井戸		土师器	瓶	—	—	(17.6)	明褐色	赤色粒子・砂粒	良			
1300	115	2井戸		土师器	瓶	—	—	(17.5)	明褐色	赤色粒子	良			
1300	116	2井戸		土师器	瓶	—	—	(18.6)	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良			
1300	117	2井戸		土师器	瓶	—	—	(17.7)	明褐色	赤色粒子	良			
1300	118	2井戸		土师器	瓶	—	—	(20.6)	—	中や粗：白色粒子多量含・小 石英・赤色粒子やや含	良	内外面：2本草履はどの目的 長いハケメ有		
1300	119	2井戸	46	土师器	瓶	(14.2)	—	—	暗褐色	石英・黑色粒子・白色粒子	良			
1300	120	2井戸	103	土师器	台付瓶	—	—	—	明褐色	中や粗：金雲母・白色粒子共 に多量	良	外観：ハケメ		
1300	121	2井戸		土师器	小要	—	—	(7.4)	暗褐色	白色粒子・石英・金雲母・黑 色粒子	良	外観：ヘラ削り・内面：ハケメ 不不明		
1300	122	2井戸		土师器	瓶	(17.0)	—	—	褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	内面：ハケメ不不明		
1300	123	2井戸	176	須恵器	—	—	—	—	—	—	—	—		
1300	124	2井戸	182	須恵器	—	—	—	—	—	—	—	—		
1300	125	2井戸	180	須恵器	—	—	—	—	—	—	—	—		
1300	126	2井戸	26	瓦	—	—	—	—	—	—	—	—		
1300	127	2井戸	41	瓦	—	—	—	—	—	—	—	—		
1400	128	2井戸	123・139・75	土师器	坏	15.5	5.1	5.0	赤褐色	赤色・白色粒子	良	ヘラ削り		
—	129	2井戸	169	土师器	坏	13.8	5.5	5.2	茶褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り	四版欠	
1400	130	2井戸	8・36・45・105・107	土师器	坏	12.6	4.5	4.4	褐色	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り・底部未切り痕・亞 み有		
1400	131	2井戸	178	土师器	坏	13.0	4.1	6.0	明褐色	赤色粒子	良	暗文不不明・ヘラ削り・底部 未切り痕		
1400	132	2井戸		土师器	坏	11.7	4.3	—	赤褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り		
1400	133	2井戸	107	土师器	坏	13.0	4.2	4.2	暗褐色	赤色・白色粒子	良	暗文・ヘラ削り		
1400	134	2井戸	173	土师器	坏	13.7	4.4	5.1	淡黄褐色	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り・底部・ヘラ調整		
1400	135	2井戸	8・53・175	土师器	坏	(15.8)	4.6	(4.6)	淡黄褐色	赤色粒子	良	ヘラ削りやや不不明		
1400	136	2井戸	15・12・96・16・44・ 91・45	土师器	坏	14.7	4.7	5.4	赤褐色	赤色・白色・褐色粒子	良	外観：2本削り・底部：ハケメ 未切り版へラ調整		
1400	137	2井戸	132	土师器	坏	14.5	4.9	4.5	黄色系	赤色・白色粒子	良	外観：2本削り・底部：未切り 版へラ調整		
1400	138	2井戸	8・105・11	土师器	瓶	14.4	5.4	4.75	明褐色	赤色・白色粒子	良	ヘラ削り・底部・ヘラ調整・口 縁に墨み		

140B	139	2井戸	163 - 165	土器器	灰	14.2	4.8	明褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・茎み有		
140B	140	2井戸	181	土器器	灰	14.5	5.3	5.4	淡黄褐色	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り・口神に凹み	
140B	141	2井戸	163	土器器	灰	11.8	4.1	4.0	明褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・底部へラ調整	
140B	142	2井戸	147 - 152	土器器	灰	11.8	4.5	4.2	黄褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・底部承切り後ヘラ調整・茎み有	
140B	143	2井戸	89 - 101	土器器	灰	<13.4>	4.65	4.7	明褐色	赤色・白色・黑色粒子	良	外側：ヘラ削り	
140B	144	2井戸		土器器	灰	<11.4>	—	—	茶褐色	赤色・白色・黑色粒子	良	外側：ヘラ削り	
140B	145	2井戸		土器器	灰	<14.6>	5.45	5.4	明黄褐色	赤色・白色・黑色粒子	良	内面：暗文・外面：ヘラ削り・追振承切り後ヘラ削り	
140B	146	2井戸		土器器	灰	12.4	4.6	5.4	半褐色	赤色粒子	良	暗文	
140B	147	2井戸	142	土器器	灰			5.2	赤褐色	赤色粒子	良	暗文	内黒
140B	148	2井戸	86	土器器	灰	15.6	2.4	11.0	褐色	赤色粒子	良		
140B	149	2井戸	145 - 149 - 151 - 159	土器器	灰	12.2	2.9	4.0	赤褐色	赤色・白色粒子	良	底部承切り痕	
140B	150	2井戸	3 - 4 - 5	土器器	灰	12.3	2.75	3.1	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	口縁に凹み有・底部承切り後ヘラ調整	
140B	151	2井戸	113	土器器	灰	<12.8>	2.3	3.6	暗褐色	赤色粒子	良	底面に凹み・ヘラ調整	
140B	152	2井戸	143	土器器	灰	<13.0>	3.0	3.8	暗褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り	
140B	153	2井戸	13 - 105	土器器	灰?	<13.2>	3.0	4.0	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	底面承切り痕	
140B	154	2井戸	116	土器器	灰	12.7	2.8	3.15	内面：暗色・外面：褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	外側：ヘラ削り	
140B	155	2井戸	81	土器器	灰	14.2	2.2	5.5	茶褐色	赤色・白色粒子	良	外側：ヘラ削り・底部ヘラ調整	
140B	156	2井戸		漆器品									
140B	157	2井戸	S-1	石器品									
140B	158	2井戸	174	土器器	手捏ね	4.0	2.2	3.4	灰褐色	赤色粒子・砂粒	良		

1号溝出土遺物

件番 番号	遺物 番号	出土地点	注記番号	種類	器形	法 目			色 調	断 土	基 成	調 整	備 考	
						口径	高さ	底径						
160B	1	1溝		土器器	灰	要：1 号型裏	—	—	6.8	褐色	やや粗：石英・白色粒子多款 含	良	外側：ハケメ・内面：ヘラ削り の跡不明瞭	
160B	2	1溝	29	土器器	高坏	(25.5)	(21.6)	—	赤褐色	雲母・石英やや含	良	輪幅：ミガキ・ハケメ・内面： ハケメ・削り目・器体底内外 面：ハケメ		
160B	3	1溝	12 - 14	土器器	高坏	(21.8)	—	—	暗褐色	赤色粒子・砂粒	良	ハケメ・削削痕・ナダ		
160B	4	1溝	B2-43	土器器	高坏	(21.6)	—	—	赤褐色	細粒：赤色粒子	良	内面底：ミガキ		
160B	5	1溝	5	土器器	高坏	24.0	19.4	—	明褐色	赤色粒子	良	ハケメ		
160B	6	1溝	2	土器器	高坏	19.0	14.5	—	明褐色	赤色粒子	良			
160B	7	1溝	D3-2	土器器	高坏	15.7	4.11	—	暗褐色	赤色粒子	良			
160B	8	1溝	18	土器器	高坏	13.6	3.22	—	赤褐色	赤色粒子	良			
160B	9	1溝	15	土器器	高坏	18.0	3.0	—	赤褐色	赤色粒子	良			
160B	10	1溝	7	土器器	高坏	18.0	2.5	—	赤褐色	赤色粒子	良	内面：ハケメ		
160B	11	1溝	D3-5	土器器	高坏	18.4	3.7	—	赤褐色	赤色粒子	良	内面：ハケメ		
160B	12	1溝	F4-5	土器器	高坏	—	—	—	赤褐色	赤色粒子	良			
160B	13	1溝	16	土器器	高坏	—	—	—	赤褐色	赤色粒子	良	内外面：ミガキ		
160B	14	1溝	28	土器器	高坏	—	—	—	赤褐色	赤色粒子	良	内外面：ミガキ		
160B	15	1溝	D3-3	土器器	高坏	—	—	—	明褐色	赤色粒子	良			
160B	16	1溝	11	土器器	高坏	—	—	—	明褐色	赤色粒子	良			
160B	17	1溝	17	土器器	高坏	—	—	—	17.7	橙色	赤色・白色・黑色粒子・砂粒	良	外側：ヘラ削り・ハケメ・内面： ハケメ	
160B	18	1溝	6	土器器	高坏	—	(7.1)	—	19.8	赤褐色	赤色粒子	良		
160B	19	1溝	10 - B2-43	土器器	高坏	—	—	—	黄褐色	赤色・白色・黑色粒子・砂粒	良	外箱：ヘラ削り後ハケメ入れ 調整・内底：ハケメ		
160B	20	1溝	35	土器器	高坏	—	—	—	褐色	赤色・白色粒子	良	外側：ミガキ		
160B	21	1溝	D3-7	土器器	高坏	—	(3.3)	—	14.6	明褐色	赤色粒子	良	外側：ミガキ・内面：ナダ・し ばり目	
160B	22	1溝	D3-9	土器器	高坏	—	—	—	赤褐色	赤色粒子	良			
160B	23	1溝	C2	土器器	高坏	—	—	—	(16.0)	褐色	繊維：赤色粒子	良	外側：ヘラミガキ・内面：ヘ ラ削り	
160B	24	1溝	A2	土器器	高坏	—	—	—	(18.8)	暗褐色	赤色粒子	良	外側：ヘラミガキ・内面：ヘ ラ削り	
160B	25	1溝	1	土器器	高坏	—	—	—	(6.8)	明褐色	繊維：赤色粒子	良	外側：ヘラミガキ・内面：ヘ ラ削り	
160B	26	1溝	30	土器器	直口 盤・増	(10.0)	—	—	明褐色	赤色粒子やや食	良	外側：ミガキ		
160B	27	1溝	C2	土器器	—	—	—	—	11.0	赤褐色	赤色粒子	良	外側：ヘラ削り	
160B	28	1溝	D3-1	土器器	要	(15.6)	—	—	明褐色	やや粗：長石・石英・雲母	良	内外面：ハケメ		
160B	29	1溝	10	土器器	直口 盤・増	—	—	—	(6.4)	黄褐色	赤	外側：ヘラ削り・底部へラ調 整・内面：筋脈による調整痕		
160B	30	1溝	25	土器器	小腹 盤・増	—	残5.9	—	赤褐色	赤色粒子	良	内面：粗痕痕		

1606	31	1溝	22	土師器	小型 盤・壺	一	瓦5.1	一	明褐色	赤色粒子	良	内面：指紋痕、外面：ヘラ削り		
1606	32	1溝	82-42	土師器	壺	一	—	—	5.4	赤褐色	赤色粒子	良	外面：ヘラ削り、内面：指紋痕	
1606	33	1溝	40	土師器	壺	一	—	—	3.3	赤褐色	赤色粒子	良	内面：指紋痕	
1606	34	1溝	33	土師器	合付甕	一	—	—	赤褐色	やや板：赤色粒子多数	良	内面：指紋痕		
1606	35	1溝	34	土師器	合付甕	一	—	—	赤褐色	赤色粒子・雲母	良	内外面：ハケメ		

2号出土遺物

神國 番号	遺物 番号	出土地點	注記番号	種別	器形	法 量			色 調	胎	土	燒 成	調 整	備 考
						口径	高さ	底径						
2106	1	2溝		土師器	瓶	12.4	2.6	5.8	赤褐色	赤色粒子	良			
2106	2	2溝	763	土師器	壺	11.5	4.4	5.5	黄褐色	赤色粒子・砂	良	ヘラ削り		
2106	3	2溝	453	土師器	壺	11.4	4.0	5.3	灰褐色	砂粒	良	ヘラ削り		
2106	4	2溝	970	土師器	壺	15.1	7.1	7.9	暗褐色	赤色粒子	良	内面：見込み部に暗文		
2106	5	2溝		土師器	高台付 壺	18.6	6.6	8.6	明褐色	石片・赤色粒子	良		内黒	
2106	6	2溝	29	土師器	壺	10.5	4.1	4.9	半褐色	赤色粒子	良	内面：暗文		
2106	7	2溝	1163	土師器	壺	10.4	4.0	5.6	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・ヘラ削り		
2106	8	2溝	1051	土師器	壺	10.4	3.8	5.3	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・ヘラ削り		
2106	9	2溝	1107	土師器	壺	11.0	3.9	5.9	半褐色	赤色粒子・砂粒子	良	暗文・ヘラ削り		
2106	10	2溝	1149 - 1147	土師器	壺	11.2	4.2	5.4	黄褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・ヘラ削り		
2106	11	2溝	945	土師器	壺	10.2	3.9	5.5	黄褐色	砂粒	良	ヘラ削り		
2106	12	2溝		土師器	壺	9.4	4.1	16.7	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り		
2106	13	2溝	396	土師器	壺	10.5	3.7	5.5	赤褐色	赤色粒子・白色粒子や 含	良		焼成時に開 過ぎのための 穿孔有	
2106	14	2溝		土師器	壺	9.4	4.2	5.4	褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り		
2106	15	2溝	584	土師器	壺	9.0	5.1	5.4	褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り		
2106	16	2溝		土師器	壺	11.3	4.0	5.2	半褐色	赤色粒子	良			
2106	17	2溝		土師器	壺	10.2	3.9	5.4	黄褐色	赤色粒子・砂粒子	良			
2106	18	2溝		土師器	壺	9.3	—	—	黄褐色	赤色粒子	良			
2106	19	2溝		土師器	壺	(11.5)	3.4	(5.7)	暗褐色	赤色粒子・石片・砂粒子	良	手切り痕		
2106	20	2溝		土師器	壺	(10.5)	4.4	6.6	明褐色	赤色粒子・砂粒子	良	暗文や不明瞭・ヘラ削り・ 底部赤り直		
2106	21	2溝	436 - 483 - 666	土師器	壺	11.8	4.0	5.4	褐色	赤色粒子・白色粒子・赤色粒子・黃 石	良	内面：暗文、外面：ヘラ削り		
2106	22	2溝	7245 - 794	土師器	壺	(13.7)	4.5	6.3	黄褐色	赤色粒子	良	底部赤り直		
2106	23	2溝		土師器	壺	(11.0)	4.65	6.9	半褐色	赤色粒子	良	底部赤り直・内面：見込み部 ・外面：底部下削り		
2106	24	2溝	78	土師器	壺	11.6	4.05	4.6	半褐色	赤色粒子	良	底部・外面：外削り・ 底部下削り		
2106	25	2溝		土師器	壺	10.6	4.0	5.9	明褐色	赤色粒子	良	手切り		
2106	26	2溝	946	土師器	壺	(10.8)	4.15	5.4	半褐色	赤・白色粒子	良	反転・内面：暗文、外面：体部 下削り・ヘラ削り		
2106	27	2溝	755 - 1127 - 773	土師器	壺	10.5	4.15	5.15	黄褐色	赤色粒子・砂粒	良	内面：暗文、外面：体部下半 ヘラ削り		
2106	28	2溝	306	土師器	壺	(12.6)	(4.0)	—	赤褐色	赤・砂粒やや含	良			
2106	29	2溝	340 - 384	土師器	高合口	(16.4)	6.2	7.8	明褐色	赤・赤色粒子・砂粒	良	暗文		
2106	30	2溝	225	土師器	壺	(11.8)	(3.9)	(5.2)	明褐色	赤・赤色粒子	良	内面：暗文、外面：ヘラ削り		
2106	31	2溝	833	土師器	壺	9.3	4.0	—	黄褐色	赤色粒子	良	暗文		
2106	32	2溝	836	土師器	壺	9.9	4.5	—	半褐色	赤色粒子	良	暗文		
2206	33	2溝	415 - 383 - 382 - 671	土師器	壺	15.6	5.7	6.7	明褐色	赤・砂粒やや含	良	外面：既施釉にヘラ削り調整		
2206	34	2溝	1078 - 100 - 232 - 856	土師器	高合口	17.0	7.0	8.0	明褐色	赤・赤色粒子	良		内黒	
2206	35	2溝	756 - 757	土師器	壺	10.5	4.2	5.5	半褐色	赤	良	底部赤り直・ヘラ削り		
2206	36	2溝	455 - 550	土師器	壺	(16.4)	(4.2)	—	黄褐色	赤・赤色粒子・長石・白色 粒子	良	内面：暗文		
2206	37	2溝	558 - 581 - 566	土師器	壺	11.4	4.8	7.6	半褐色	赤色粒子	良	手切り直		
2206	38	2溝		土師器	壺	(9.1)	4.15	6.2	褐色	赤色粒子	良			
2206	39	2溝	1187	土師器	壺	9.4	4.3	5.7	半褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・ヘラ削り		
2206	40	2溝	214	土師器	壺	11.5	4.2	7.2	明褐色	赤	良	底部赤り直・暗文不明瞭・ ヘラ削り		
2206	41	2溝	840	土師器	壺	11.3	4.5	7.2	明褐色	赤	良	暗文・ヘラ削り・底部赤り切 り		
2206	42	2溝	978	土師器	壺	10.8	4.5	7.3	明褐色	赤	良	暗文・ヘラ削り		
2206	43	2溝	511 - 1182 - 1186	土師器	壺	11.4	4.7	6.7	黄褐色	赤色粒子	良	底部赤り直		
2206	44	2溝	788	土師器	壺	10.2	4.3	6.8	明褐色	赤色粒子	良	底部赤り直		
2206	45	2溝	49	土師器	壺	11.2	4.7	6.3	半褐色	赤色粒子	良	底部赤り直・ヘラ削りや不 明瞭		
2206	46	2溝	161	土師器	壺	11.1	4.6	6.5	暗褐色	赤色粒子	良	底部赤り直		
2206	47	2溝	834	土師器	壺	—	—	—	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り		

225	48	2倍	835 - 836	土脚器	坪	11.0	(4.4)	明褐色	黒:赤色粒子	虫	暗文		
225	49	2倍	842	土脚器	坪	10.6	—	—	赤色粒子 黄褐色	虫	暗文・ヘラ削り		
225	50	2倍	840 - 859	土脚器	坪	11.2	—	—	褐色	虫	暗文		
225	51	2倍	824	土脚器	坪	—	—	6.9	本褐色	虫	暗文・ヘラ削り		
225	52	2倍		土脚器	坪	10.4	—	—	褐色	虫	暗文・ヘラ削り		
225	53	2倍	281	土脚器	坪	11.4	4.4	7.4	暗褐色	虫	暗部赤切り痕・ヘラ削り		
225	54	2倍	1185 - 1199 + 1156 - 1158	土脚器	坪	(12.9)	4.8	5.25	赤褐色	虫	一部反転・内面:暗文, 外面: 赤色・白色粒子		
225	55	2倍		土脚器	坪	(10.0)	(4.2)	(5.4)	暗褐色	虫	内面:暗文, 底部:右切と直 線		
225	56	2倍	838	土脚器	坪	12.0	4.5	6.7	赤褐色	虫	暗文・ヘラ削り・底部赤切り 痕・底部赤切り板		
225	57	2倍		土脚器	坪	(10.3)	4.45	6.6	黄褐色	虫	内面:暗文, 外面:体部下半へ テ削り・底部赤切り痕		
225	58	2倍	941	土脚器	坪	11.0	4.7	7.0	赤褐色	虫	暗文・ヘラ削り		
225	59	2倍	36	土脚器	坪	11.2	4.3	6.0	黄褐色	虫	外面:ヘラ削り・内面:暗文不 明瞭		
225	60	2倍	1144	土脚器	坪	(12.2)	4.1	5.4	明赤褐色	虫	反転・内:暗文, 外:ヘラ削り		
235	61	2倍	596	土脚器	坪	(12.4)	4.0	5.4	暗褐色	虫	内面:暗文, 外面:ヘラ削り不 明瞭		
235	62	2倍	680	土脚器	坪	(10.8)	4.0	4.55	赤褐色	虫	内面:暗文, 外面:体部下半へ テ削り		
235	63	2倍	743	土脚器	坪	(12.6)	5.05	(6.9)	赤褐色	虫	内面:暗文		
235	64	2倍	678	土脚器	坪	(10.7)	3.8	5.0	赤褐色	虫	内面:暗文, 外面:体部下半へ テ削り・底部赤切り痕		
235	65	2倍	783	土脚器	坪	(11.0)	4.15	4.3	暗褐色	虫	内面:見込み暗文, 外面:体部 下方へテ削り		
235	66	2倍	20 - 22 - 23	土脚器	坪	(11.6)	4.2	(4.5)	赤褐色	虫	内面:暗文, 外面:体部下半へ テ削り		
235	67	2倍	104	土脚器	坪	(11.8)	4.5	5.8	赤褐色	虫	内面:暗文, 外面:ヘラ削り・ 底部赤切り痕	内黒	
235	68	2倍	1029 - 1098	土脚器	坪	(11.0)	4.5	5.4	黄褐色	虫	内面:暗文や不明瞭, 外面: ヘラ削り・底部赤切り痕		
235	69	2倍	379	土脚器	坪	10.8	4.2	5.2	赤褐色	虫	暗文・ヘラ削り		
235	70	2倍	800	土脚器	坪	12.0	4.2	6.0	明褐色	虫	暗文・ヘラ削り・底部赤切り 痕		
235	71	2倍		土脚器	坪	(11.2)	4.1	(3.4)	暗褐色	虫	暗文, ヘラ削り・赤切り痕		
235	72	2倍	864	土脚器	坪	—	—	(8.0)	明褐色	虫	暗文		
235	73	2倍	425 - 441	土脚器	坪	(11.0)	3.6	5.6	内面:暗 文, 外 面:黄 褐色	虫	暗文・ヘラ削り・底部赤切り 痕		
235	74	2倍	587 - 589 - 590	土脚器	坪	10.4	3.6	5.0	暗褐色	虫	暗文・ヘラ削り・底部赤切り 痕		
235	75	2倍	744 - 23	土脚器	坪	15.3	5.2	7.4	赤褐色	虫	暗文		
235	76	2倍	10	土脚器	坪	11.4	4.4	5.4	黄褐色	虫	暗文・ヘラ削り		
235	77	2倍	365	土脚器	坪	17.6	5.4	6.4	明褐色	虫	一輪反転		
235	78	2倍	103 - 104 - 107	土脚器	坪	12.0	4.5	5.8	暗褐色	虫	赤切り		
235	79	2倍	456	土脚器	坪	11.0	4.1	5.4	赤褐色	虫	底部:ヘラ削り, LJ標:みがみ		
235	80	2倍		土脚器	坪	10.0	15.0	4.6	褐色	虫	反転・暗文あり		
235	81	2倍	714 - 713	土脚器	坪	10.9	3.8	5.0	赤褐色	虫	暗文		
235	82	2倍		土脚器	坪	11.2	4.2	5.5	赤褐色	虫	暗文		
235	83	2倍	882 - 1148	土脚器	坪	11.7	3.6	5.1	赤褐色	虫	暗文・ヘラ削り		
235	84	2倍		土脚器	坪	10.4	4.6	5.4	赤褐色	虫	暗文		
235	85	2倍	932	土脚器	坪	(11.5)	4.0	5.4	赤褐色	虫	暗文・ヘラ削り		
235	86	2倍	582	土脚器	坪	(10.0)	3.7	5.3	明褐色	虫	ヘラ削り・底部赤切り痕		
235	87	2倍	390 - 394	土脚器	坪	(10.8)	4.0	5.4	赤褐色	虫	暗文・ヘラ削り・底部赤切り 痕		
235	88	2倍	31 - 119 - 945	土脚器	坪	11.6	4.8	6.0	明褐色	虫	暗文・ヘラ削り・底部赤切り 痕		
235	89	2倍	719 - 720	土脚器	坪	10.5	3.7	4.5	明褐色	虫	暗文・ヘラ削り・構成形地む ら・底部赤切り痕		
235	90	2倍	732	土脚器	坪	11.8	3.4	5.0	明褐色	虫	暗文・ヘラ削り		
235	91	2倍	11	土脚器	坪	(11.4)	4.4	(5.2)	暗褐色	虫	暗文・ヘラ削り・底部赤切り 痕		
235	92	2倍	754	土脚器	坪	(10.4)	3.8	15.1	明褐色	虫	暗文・不明瞭, ヘラ削り・底部 赤切り痕		
240	93	2倍	927	土脚器	坪	10.8	4.0	4.8	赤褐色	虫	暗文・ヘラ削り		
240	94	2倍	1184 - 796 - 744	土脚器	坪	10.8	3.8	4.6	赤褐色及 び黄褐色	虫	暗文・ヘラ削り		

24回	95	2清	746	土師器	坏	11.6	3.9	5.8	赤褐色	赤色粒子	良	赤切り底		
24回	96	2清		土師器	坏	(11.5)	4.15	5.0	赤褐色	赤色粒子・砂粒子	良	端文・ヘラ削り、共に不明瞭、底部赤切り底		
24回	97	2清	1096	土師器	坏	13.0	4.6	6.4	赤褐色	赤色粒子	良	端文・ヘラ削り		
24回	98	2清	930 - 931	土師器	坏	10.4	4.1	4.8	黄褐色	赤色・白色粒子	良	内面：端文、外側：体部下半ヘラ削り		
24回	99	2清	340	土師器	坏	(10.5)	3.25	(5.1)	黄褐色	赤色粒子	良	端文・内面：端文、外側：体部ヘラ削り		
24回	100	2清		土師器	坏	(10.4)	3.2	(4.4)	明褐色	密密：赤色粒子	良	端文・ヘラ削り		
24回	101	2清	830 - 837	土師器	坏			6.9	褐褐色	密密：赤色粒子	良	体部・見込み部に端文、ヘラ削り、底部赤切り底		
24回	102	2清	321 - 320	土师器	坏	21.3	9.0	10.5	赤褐色	赤色粒子	良	ミガキ		
24回	103	2清		土师器	三	12.3	3.2	4.0	赤褐色	赤色粒子	良	端文あり		
24回	104	2清	163	土師器	坏	(12.1)	3.95	(5.4)	赤褐色	赤色・白色粒子	良	内面：端文、見込み不明瞭、外側：ヘラ削り、底部赤切り底		
24回	105	2清		土師器	坏		17.6	6.8	8.0	赤褐色	赤色粒子	良		内黒
24回	106	2清	195	土師器	坏	-	-	5.0	明褐色	密：赤色粒子	良	端文・ヘラ削り、底部赤切り底		
24回	107	2清	593	土師器	坏	10.8	3.8	5.2	明褐色	密：赤色粒子	良	端文・ヘラ削り、底部赤切り底		
24回	108	2清	358	土師器	坏	-	-	4.9	外：赤褐色 内：暗褐色	密：赤色粒子・白色粒子・砂粒	良	端文・ヘラ削り、底部赤切り底		
24回	109	2清	866	土師器	坏	(11.3)	4.0	(5.0)	褐褐色	密：赤色粒子・砂粒やや含	良	端文・ヘラ削り、底部赤切り底	内黒	
24回	110	2清	176	土師器	坏	-	-	6.0	褐色	密：赤色粒子・砂粒	良	端文・ヘラ削り、底部赤切り底		
24回	111	2清		土師器	坏	(11.8)	3.25	(5.3)	赤褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	内面：端文・ナメ、外側：ヘラ削り		
24回	112	2清		土師器	坏	(10.2)	3.65	(5.4)	明褐色	赤色・白色粒子	良	内面：端文、外側：体部ヘラ削り、底部赤切り底？		
24回	113	2清	1062 - 1076	土師器	坏	(8.8)	4.0	5.0	明赤褐色	密密：赤色粒子	良	端文・ヘラ削り、底部赤切り底		
24回	114	2清	405	土師器	坏			5.3	赤褐色	赤色粒子	良	点切付底		
24回	115	2清	104 - 105 - 1013	土師器	坏	10.9	4.3	6.0	赤褐色	赤色粒子	良	点切付底		
24回	116	2清	256	土師器	坏	-	(2.3)	5.2	赤褐色	赤色粒子	良	底部ヘラ削り		
24回	117	2清	816	土師器	坏	-	-	6.2	黄褐色	赤色・白色粒子	良	内面：端文、外側：ヘラ削り		
24回	118	2清	841	土師器	坏	-	-	5.7	黄褐色	赤色・白色粒子	良	内面：端文、見込み：端文？		
24回	119	2清	815	土師器	坏	-	-	4.9	赤褐色	赤色粒子	良	端文・ヘラ削り		
24回	120	2清	1061	土師器	坏	-	-	5.4	明褐色	密：赤色粒子	良	端文・ヘラ削り、底部赤切り底		
24回	121	2清	355	土師器	坏	(12.6)	4.1	(6.8)	明褐色	密：赤色粒子	良	端文・ヘラ削り		
24回	122	2清	1139 - 1192	土師器	坏	(14.5)	(5.5)	-	褐褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	端文・ヘラ削り、内面	内黒	
25回	123	2清	336	土師器	坏?	-	-	8.2	褐褐色	赤色・白色粒子・砂粒多数含	良	端文・底部赤切り底		
25回	124	2清	676 - 577	土師器	坏	(11.8)	3.6	(6.6)	赤褐色	赤色・白色粒子	良	内面：端文、外側：ヘラ削り		
25回	125	2清	508 - 1042	土師器	坏	(10.2)	4.4	5.3	赤褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	内面：端文、外側：ヘラ削り		
25回	126	2清	1027 - 1054	土師器	坏	-	(3.0)	5.4	明褐色	赤色粒子	良	底部・ヘラ削り		
25回	127	2清	553	土師器	坏	-	(3.2)	6.8	赤褐色	赤色粒子	良	底部・ヘラ削り		
25回	128	2清	361	土師器	坏	10.6	4.7	5.0	赤褐色	密：赤色粒子	良			
25回	129	2清	431 - 432	土師器	坏	-	-	5.4	黄褐色	密：赤色粒子・白色粒子やや含	良	端文・ヘラ削り、底部赤切り底		
25回	130	2清	547	土師器	坏	-	-	(4.5)	明褐色	密：赤色粒子	良	端文・ヘラ削り、底部赤切り底		
25回	131	2清	256 - 220	土師器	坏	-	-	6.1	明褐色	密	良	ヘラ削り、底部赤切り底		
25回	132	2清	467	土師器	坏	-	-	6.0	黄褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	内面：端文、外側：ヘラ削り、不分明、底部赤切り底		
25回	133	2清	353 - 1145	土師器	坏	(11.4)	3.65	(5.0)	明褐色	赤色・白色粒子	良	内面：端文、外側：ヘラ削り		
25回	134	2清	818 - 526	土師器	坏	-	-	5.5	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り、底部赤切り底		
25回	135	2清	56	土師器	坏	-	-	5.5	黄褐色	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り		
25回	136	2清	460	土師器	坏	-	-	6.0	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	端文・ヘラ削り不分明、底部赤切り底		
25回	137	2清	488	土師器	黄合坏	(11.2)	3.6	(5.5)	赤褐色	密	良	端文		
25回	138	2清	892	土師器	坏	(11.2)	4.6	(5.6)	明褐色	密：赤色粒子	良	ヘラ削り、暗不明瞭		
25回	139	2清	1171	土師器	坏	(11.4)	4.0	(5.8)	明褐色	赤色・白色粒子	良	外側：ヘラ削り、内面：端文不明瞭、底部赤切り底		
25回	140	2清	105	土師器	坏	(11.4)	-	-	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り、暗文不明瞭		
25回	141	2清	563	土師器	坏	(10.6)	4.15	5.1	黄褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り、端文・底板にハナメ		

25B	142	2倍	399	土師器	坪	—	—	5.45	赤褐色	赤色・白色粒子	外画：ヘラ削り不明瞭・底部 点切り後ヘラ削り、内面：暗文 不明瞭	
25B	143	2倍	990 - 1006	土師器	坪	—	—	6.3	黄褐色	赤色粒子・砂粒	内面：暗文、見込み；暗文不明 瞭、外画：ヘラ削り、底部点切 り痕	
25B	144	2倍	770	土師器	坪	<11.4>	3.9	(5.8)	明褐色	赤：赤色粒子	暗文：ヘラ削り	
25B	145	2倍	700	土師器	坪	<11.4>	3.7	(5.4)	黄褐色	赤色粒子	暗：ヘラ削り・暗文？	
25B	146	2倍	1064	土師器	坪	<10.3>	—	—	明褐色	赤色粒子・砂粒	暗：ヘラ削り・暗文	
25B	147	2倍	845	土師器	坪	<11.4>	—	—	茶褐色	赤色粒子	暗：ヘラ削り・暗文	
25B	148	2倍	1009	土師器	坪	<10.9>	4.2	(5.0)	黄褐色	赤色粒子	暗：ヘラ削り・暗文不明瞭	
25B	149	2倍	830 - 831	土師器	坪	<11.1>	4.1	(5.4)	赤褐色	赤色・白色粒子・砂粒	内面：暗文不明瞭、外画：ヘラ 削り	
25B	150	2倍	814	土師器	坪	(13.4)	—	—	黄褐色	赤色・白色粒子	内面：暗文、外画：ヘラ削り	口縁の一部に 盛付者
25B	151	2倍	337	土師器	坪	(11.2)	4.05	(4.4)	明褐色	赤色・白色粒子・砂粒	内面：暗文、外画：ヘラ削り	
25B	152											
25B	153	2倍	39	土師器	坪			(5.3)	黄褐色	赤	暗文：ヘラ削り	
25B	154	2倍	218	土師器	坪	10.8	4.5	7.0	赤褐色	赤色粒子	暗文：ヘラ削り	
25B	155	2倍	490	土師器	坪	—	—	5.4	暗褐色	赤	暗文：ヘラ削り	
25B	156	2倍	858	土師器	坪	12.0	4.0	6.6	赤褐色	赤	暗文	
25B	157	2倍	207	土師器	坪	(11.6)	—	—	明褐色	赤	暗文・ヘラ削り	
25B	158	2倍	228 - 239 - 252 - 234	土師器	坪	—	—	5.7	明褐色	赤：赤色粒子	暗文・底部点切り痕	
25B	159	2倍	810	土師器	坪	—	—	(6.4)	明褐色	赤：赤色粒子	赤	
25B	160	2倍	1068	七輪器	坪	—	—	(5.8)	黄褐色	赤色・白色粒子	内面：暗文、外画：ヘラ削り・ 底部点切り痕/ヘラ削り	
25B	161	2倍	506	七輪器	坪	—	—	6.2	赤褐色	赤色粒子・砂粒	内面：暗文、見込み；暗文、外画： ヘラ削り・底部点切り痕/ヘラ削 り？	
25B	162	2倍		七輪器	坪	—	—	(6.2)	赤褐色	赤色・白色粒子	内面：暗文、外画：ヘラ削り・ 底部点切り痕/ヘラ削り	
25B	163	2倍	762	土師器	坪	(11.3)	4.15	(5.6)	赤褐色	赤色・白色粒子・砂粒	内面：暗文、外画：ヘラ削り	
25B	164	2倍	731	土師器	坪	(12.5)	4.3	(5.9)	赤褐色	赤色・白色粒子	外画：ヘラ削り不明瞭	
25B	165	2倍		土師器	坪	(10.8)	(3.8)	(6.0)	明褐色	赤：赤色粒子	暗文不明瞭、ヘラ削り	
25B	166	2倍	809	土師器	坪	—	—	(7.4)	暗褐色	赤：赤色粒子・砂粒	暗文・ヘラ削り	
25B	167	2倍	1185	土師器	坪	(10.8)	3.8	(5.8)	赤褐色	赤色粒子・白色颗粒	外画：ヘラ削り・内面：暗文	
25B	168	2倍	174	土師器	坪	(11.1)	4.0	(6.0)	茶褐色	赤色粒子・砂粒	ヘラ削り	
25B	169	2倍	1050	土師器	坪	(11.6)	4.1	(5.0)	赤褐色	赤色粒子	ヘラ削り・暗文	
25B	170	2倍		七輪器	坪	(13.6)	(5.0)	(6.2)	赤褐色	赤：赤色粒子・砂粒	暗文	内面
26B	171	2倍	286	土師器	坪	—	—	(6.0)	赤褐色	赤：赤色粒子	暗文・ヘラ削り共に不明瞭、見 込み部：暗文不明瞭、底部点切 り痕	
26B	172	2倍	26 - 924	七輪器	坪	(12.8)	(4.2)	—	明褐色	赤：赤色粒子	暗文・ヘラ削り	
26B	173	2倍	1091	土師器	坪	(11.4)	—	—	暗褐色	赤：赤色粒子	暗文・ヘラ削り	
26B	174	2倍	639	七輪器	坪	—	—	6.6	赤褐色	赤色粒子	暗文・ヘラ削り・点切り痕	
26B	175	2倍		土師器	坪	9.8	4.0	4.6	明褐色	赤色粒子	ヘラ削り	
26B	176	2倍	484	土師器	坪	—	—	5.7	赤褐色	赤色粒子	暗文・ヘラ削り・点切り痕	
26B	177	2倍	859	土師器	坪	10.9	4.0	6.0	赤褐色	赤色粒子	暗文・ヘラ削り	
26B	178	2倍	750	土師器	坪	10.8	4.0	8.0	赤褐色	赤色粒子	暗文・ヘラ削り	
26B	179	2倍	805	土師器	坪	(11.8)	(4.0)	(4.5)	黄褐色	赤：赤色粒子・砂粒・白色粒 子や小石	暗文・ヘラ削り共に不明瞭	
26B	180	2倍		土師器	坪	(10.2)	(4.0)	(6.4)	暗褐色	赤：赤色粒子	暗文・ヘラ削り共に不明瞭	
26B	181	2倍	610	土師器	坪	—	—	(6.0)	暗褐色	赤：赤色粒子・白色粒子・砂 粒	底部・見込み部：暗文・ヘラ削 り不明瞭、底部点切り痕	
26B	182	2倍	1147	土師器	坪	—	—	(6.4)	赤褐色	赤：赤色粒子・白色粒子	暗文・底部点切り痕・ヘラ削 り	
26B	183	2倍	1074	土師器	坪	(11.8)	—	—	赤褐色	赤：赤色粒子	暗文・ヘラ削り共に不明瞭	
26B	184	2倍	94 - 1037	土師器	坪	(11.4)	—	—	赤褐色	赤：赤色粒子	外画：ヘラ削り	
26B	185	2倍	63	土師器	坪	—	—	(5.0)	赤褐色	赤：赤色粒子	内面：見込みに暗文、外画：ヘ ラ削り	
26B	186	2倍		土師器	坪	(9.7)	—	—	黄褐色	赤：赤色・白色粒子	暗文・暗文不明瞭、外画・ヘラ削 り不明瞭	
26B	187	2倍	1001	土師器	坪	(11.0)	—	—	明褐色	赤色粒子	ヘラ削り・暗文	
26B	188	2倍		土師器	坪	(11.0)	—	—	暗褐色	赤色粒子	ヘラ削り・暗文不明瞭	
26B	189	2倍	1170	土師器	坪	(11.0)	3.8	(4.6)	暗褐色	赤色粒子・砂粒	ヘラ削り・暗文	
26B	190	2倍	1015	土師器	坪	—	—	(4.4)	暗褐色	赤：赤色粒子	暗文・ヘラ削り	
26B	191	2倍	913	七輪器	坪	—	—	(5.8)	明褐色	赤：赤色粒子	暗文・ヘラ削り・底部点切り 痕	
26B	192	2倍	562	土師器	坪	—	—	(6.5)	明褐色	赤密：赤色粒子・砂粒や小石	暗文・ヘラ削り・点切り痕？	

26回	193	2清	661	土師器	坏	—	—	(4.4)	明褐色	微密：赤色粒子・砂粒	良	暗文・ヘラ削り	
26回	194	2清	1062	土師器	坏	(11.2)	(4.2)	(5.4)	赤褐色	密：赤色粒子・白色粒子	良	ヘラ削り・体調暗い有無は底部のぬり明瞭	
26回	195	2清	624	土師器	坏	—	—	6.1	内面：明黄褐色、外表面：赤褐色	密：赤色・白色粒子	良	内面：暗文不明瞭、外表面：ヘラ削り・底部ぬり後ヘラ削り	
26回	196	2清	387	土師器	坏	—	—	4.8	内面：赤褐色、外表面：明黄褐色	密：赤色・白色粒子	良	内面：暗文不明瞭、外表面：ヘラ削り・底部ぬり後ヘラ削り	
26回	197	2清	527	土師器	坏	—	—	(9.3)	明褐色	半赤粒子	良	ヘラ削り・暗文・底部ぬり後ヘラ削り	
26回	198	2清	468	土師器	坏	—	—	(5.4)	赤褐色	赤色粒子・白色粒子	良	ヘラ削り・暗文	
26回	199	2清	—	土師器	坏	—	—	(4.6)	暗褐色	赤色粒子・砂粒子	良	暗文・ヘラ削り	
26回	200	2清	—	土师器	坏	—	—	7.2	暗褐色	赤色粒子	良	暗文・ぬり切り痕	
26回	201	2清	338	土师器	坏	—	—	4.0	半赤	半赤粒子	良	暗文・ヘラ削り	
26回	202	2清	948 - 949 - 1135 - 7997	土师器	坏?	(24.0)	4.5	11.0	赤褐色	雜密：白色粒子・砂粒	良	見込み：暗文	
26回	203	2清	675	土师器	三	14.4	2.6	5.7	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・底部ぬり切り痕	
26回	204	2清	1152	土师器	三	13.9	2.4	5.1	半赤	赤色粒子	良	暗文・クロロヘラ削り	
27回	205	2清	625	土师器	三	14.2	2.7	4.4	明褐色	赤色粒子	良		
27回	206	2清	935	土师器	三	14.6	2.0	6.4	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	内面：みがき、外表面：クロロヘラ削り・底部ぬり切り後ヘラ削り	
27回	207	2清	370 - 372	土师器	三	13.3	3.0	5.8	赤褐色	赤色粒子	良	外表面：クロロヘラ削り・底部ぬり切り痕	
27回	208	2清	454 - 551	土师器	三	13.6	2.75	5.5	赤褐色	密：赤色・白色粒子	良	底部ぬり切り後ヘラ削り	
27回	209	2清	529 - 497 - 498 - 711	土师器	高台坏	(16.9)	5.95	(7.2)	赤褐色	赤色・白色粒子	良	底部ぬり出し痕合	
27回	210	2清	251	土师器	三	14.4	2.4	5.2	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り	
27回	211	2清	—	土师器	三	12.4	2.5	4.3	赤褐色	赤色粒子	良	ロクロヘラ削り	
27回	212	2清	760	土师器	三	15.4	2.7	4.5	褐色	赤色粒子	良	ロクロヘラ削り	
27回	213	2清	440 - 427 - 673	土师器	三	13.6	2.85	4.7	赤褐色	密：赤色・白色粒子	良	ロクロヘラ削り	
27回	214	2清	737	土师器	三	13.2	2.05	5.2	赤褐色	密：赤色・白色粒子	良	内面：暗文、外表面：クロロヘラ削り	
27回	215	2清	495	土师器	三	14.2	2.6	6.1	半赤	赤色粒子	良	暗文不明瞭	
27回	216	2清	1018 - 1026 - 83	土师器	半赤 主任は風	16.4	2.8	6.0	半赤	密：赤色・白色粒子、小石塵	良	内面：ヘラミガキ、ロクロ削り	
27回	217	2清	381	土师器	三	(13.2)	2.5	5.8	赤褐色	密：赤色・白色粒子、砂粒	良		
27回	218	2清	13	土师器	三	13.2	2.7	6.0	暗褐色	密：赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り、底部ヘラ調整	
27回	219	2清	774	土师器	三	14.0	2.8	5.5	赤褐色	密：赤色粒子・砂粒	良	暗文・底部ぬり切り後ヘラ削り	
27回	220	2清	—	土师器	三	13.7	1.9	4.6	赤褐色	密：赤色粒子	良	ロクロヘラ削り	
27回	221	2清	792	土师器	三	1.6	4.8	半褐色	密	赤色粒子	良	底部ぬり切り痕	
27回	222	2清	—	土师器	三	(14.1)	2.3	(6.2)	半赤	密：赤色粒子	良		
27回	223	2清	392	土师器	三	(13.9)	2.3	4.9	赤褐色	密：赤色・白色粒子	良	外表面：ロクロヘラ削り	
27回	224	2清	486 - 485	土师器	三	(14.4)	2.25	5.3	赤褐色	密：赤色・白色粒子	良	見込み：暗文・明瞭	
27回	225	2清	—	土师器	三	14.0	2.7	5.4	赤褐色	密：赤色粒子	良	ロクロヘラ削り	
27回	226	2清	339 - 908	土师器	三	13.0	2.2	5.2	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ロクロヘラ削り	
27回	227	2清	243 - 536	土师器	三	(14.4)	1.8	(5.5)	明褐色	密：赤色粒子	良	底部ぬり切り痕	
27回	228	2清	602	土师器	三	(14.8)	(2.7)	(6.0)	暗褐色	密	良	暗文・ロクロヘラ削り	
27回	229	2清	952 - 959	土师器	三	14.0	2.5	6.4	明褐色	赤色粒子	良	底部ぬり切り後形態	
27回	230	2清	570	土师器	三	15.5	2.7	5.4	明褐色	赤色粒子	良		
27回	231	2清	806	土师器	坏	(10.9)	2.3	5.6	明褐色	密：赤色粒子	良	ヘラ削り	
27回	232	2清	231	土师器	三	(10.6)	1.3	6.2	明褐色	密：赤色粒子	良	底部ぬり切り痕	
27回	233	2清	—	土师器	三	(13.2)	2.0	4.4	黄褐色	密：赤色・白色粒子・砂粒	良	見込み：暗文不明瞭、外表面：ロクロヘラ削り	
27回	234	2清	907	土师器	三	(12.7)	2.35	(4.5)	明褐色	密：赤色・白色粒子	良	外表面：ロクロヘラ削り	
27回	235	2清	793 - 795	土师器	三	(13.5)	2.0	4.4	黄褐色	密：赤色・白色粒子・砂粒	良	外表面：ロクロヘラ削り	見込み：暗文の痕？
27回	236	2清	—	土师器	三	13.1	2.0	5.0	赤褐色	密：赤色粒子・砂粒	良	ロクロヘラ削り	
27回	237	2清	—	土师器	三	12.8	2.5	4.8	赤褐色	密：赤色粒子	良	ロクロヘラ削り	
27回	238	2清	1196 - 1203	土师器	三	13.0	2.2	—	赤褐色	赤色粒子	良	ロクロヘラ削り	
28回	239	2清	984	土师器	三	17.0	—	—	暗褐色	密：赤色粒子	良	暗文・ロクロヘラ削り	
28回	240	2清	—	土师器	三	13.6	2.6	5.4	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	ロクロヘラ削り	
—	241	2清	—	土师器	三	16.3	—	—	—	—	良		
28回	242	2清	416	土师器	三	(12.4)	(2.2)	—	赤褐色	密：赤色粒子・砂粒	良	暗文	
28回	243	2清	—	土师器	三	(13.0)	—	—	暗褐色	密：赤色・白色粒子	良		
28回	244	2清	138	土师器	三	—	—	5.0	暗褐色	密：赤色・白色粒子	良	暗文・底部ぬり切り痕へ	
28回	245	2清	458 - 465	土师器	三	—	—	6.0	黄褐色	赤色粒子	良	内面：ヘラミガキ・ロクロヘラ削り・底部ぬり切り痕	

288	246	2席	576	土師器	直	—	—	5.5	赤褐色	青：赤色粒子	良	ロクロヘラ削り	
288	247	2席	79 - 1907	土師器	直	—	—	5.4	赤褐色	青：赤色粒子	良	暗文・ロクロヘラ削り	
288	248	2席	752	土師器	直	(13.4)	(3.0)	<6.0	赤褐色	青：赤色粒子	良		
288	249	2席	855	土師器	直	(13.6)	(3.1)	—	赤褐色	青：赤色粒子	良		
288	250	2席	764	土師器	直	(13.8)	2.2	<6.1	赤褐色	青：赤色粒子・白色藝術	良	内面：暗文不明瞭	
288	251	2席	156	土師器	直	(21.4)	—	—	暗褐色	青：赤色粒子	良		
288	252	2席	767	土師器	直	(13.8)	1.9	<6.0	赤褐色	青：赤色粒子	良	暗文・面部赤切り痕	
288	253	2席	457	土師器	直	(13.8)	2.6	<6.0	明褐色	青：赤色粒子	良		
288	254	2席	658	土師器	直	(14.2)	—	—	明褐色	青	良		
288	255	2席	—	土師器	直	16.1	—	—	赤褐色	青：赤色粒子	良	暗文・ロクロヘラ削り	
288	256	2席	—	土師器	直	13.4	—	—	赤褐色	青：赤色粒子	良		
288	257	2席	—	土師器	直	13.4	—	—	黑褐色	青：赤色粒子	良	ロクロヘラ削り	外側：黒彩
288	258	2席	863	土師器	直	(12.9)	—	—	赤褐色	青：白色粒子・砂粒	良	内面：暗文不明瞭・ナデ	
288	259	2席	872	土師器	直	(14.2)	—	—	赤褐色	青：赤色粒子・砂粒	良	内面：暗文不明瞭・ナデ	
288	260	2席	730	土師器	直	(14.5)	—	—	黄褐色	青：赤色・白色粒子・砂粒	良		
288	261	2席	—	土師器	直	(13.8)	—	—	赤褐色	青：赤色粒子	良		
288	262	2席	—	土師器	直	(12.4)	—	—	茶褐色	青：赤色粒子・石英・白色粒子	良	暗文不明瞭	
288	263	2席	—	土師器	直	(11.7)	—	—	明褐色	青：赤色粒子・砂粒	良		
288	264	2席	—	土師器	直	16.5	—	—	茶褐色	青：赤色粒子	良	ロクロヘラ削り	
288	265	2席	—	土師器	直	13.2	—	—	赤褐色	青：赤色粒子	良	ロクロヘラ削り	
288	266	2席	—	土師器	直	14.0	—	3.1	赤褐色	青：赤色粒子	良	ロクロヘラ削り	
288	267	2席	998	土師器	直	(16.3)	—	—	赤褐色	青：赤色・白色粒子・砂粒	良	内面：暗文不明瞭	
288	268	2席	—	土師器	直	(13.7)	2.75	(5.4)	茶褐色	青：赤色・白色粒子・砂粒	良	外側：ロクロヘラ削り	
288	269	2席	902	土師器	直	(14.0)	—	—	赤褐色	青：赤色・白色粒子	良		
288	270	2席	1158 - 1160	土師器	直	(15.1)	—	—	明褐色	青：白色粒子	良	暗文・面部赤切り痕	
288	271	2席	519	土師器	直	(15.8)	—	—	明褐色	青：赤色粒子	良	ロクロヘラ削り	
288	272	2席	779	土師器	直	(11.2)	2.4	(5.0)	明褐色	青：赤色粒子	良		
288	273	2席	—	土師器	直	(12.2)	—	—	赤褐色	青：赤色粒子・砂粒	良	ロクロヘラ削り	
288	274	2席	794	土師器	直	(13.8)	2.5	(7.0)	赤褐色	青：赤色・白色粒子・砂粒	良	内面：ハツミガキ？	
288	275	2席	—	土師器	直	(13.7)	1.5	(6.2)	暗褐色	青：赤色粒子・砂粒	良	暗文	
288	276	2席	—	土師器	直	14.3	—	—	赤褐色	青：赤色粒子	良	ロクロヘラ削り	
288	277	2席	—	土師器	直	14.4	2.0	4.8	赤褐色	青：赤色粒子	良		
288	278	2席	—	土師器	直	13.2	—	—	赤褐色	青：赤色粒子	良		
288	279	2席	956	土師器	直	(13.8)	—	—	暗褐色	青：赤色粒子・小石	良		
288	280	2席	1205	土師器	直	(15.6)	—	—	赤褐色	砂粒	良		
288	281	2席	—	土師器	直	(14.4)	—	—	赤褐色	青：赤色粒子・白色粒子	良		
288	282	2席	—	土師器	直	(12.9)	(残2)	—	赤褐色	青：赤色粒子	良		
288	283	2席	—	土師器	直	(14.1) (残1.5)	—	—	赤褐色	青：赤色粒子	良	ロクロヘラ削り	
288	284	2席	—	土師器	直	(13.4)	(残2)	—	赤褐色	青：赤色粒子	良		
288	285	2席	—	土師器	直	(14.6)	—	—	明褐色	青：赤色粒子	良		
288	286	2席	—	土師器	直	(15.8)	—	—	黄褐色	青	良		
288	287	2席	—	土師器	直	13.0	—	—	赤褐色	青：赤色粒子	良		
288	288	2席	—	土師器	直	(14.0)	(2.0)	(5.0)	赤褐色	青：赤色粒子・砂粒	良		
—	289	2席	失部不規	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
289	290	2席	868	土師器	直	—	—	(6.0)	明褐色	青：赤色粒子を多数	良		
289	291	2席	—	土師器	直	—	—	—	暗褐色	青：赤色粒子	良	暗文	
—	292	2席	失部不規	—	—	—	—	—	赤褐色	青：赤色粒子・砂粒	良	ロクロヘラ削り	
290	293	2席	—	土師器	直	—	—	(6.2)	明褐色	青：赤色粒子	良	ロクロヘラ削り	
290	295	2席	—	土師器	直	—	—	(5.0)	暗褐色	青	良	ロクロヘラ削り	
290	296	2席	—	土師器	直	—	—	(5.0)	赤褐色	青：白色粒子	良	内面：暗文・外側：ヘラ削り不 明瞭	
290	297	2席	—	土師器	直	—	—	(5.0)	赤褐色	青：白色粒子	良	見込み：暗文があるが不明瞭、 外側：ロクロヘラ削り	
290	298	2席	566 - 560	土師器	直	(17.2)	4.6	—	赤褐色	青：白色粒子	良	内面：ロクロナダ、外側：ロク ロヘラ削り	29 図298と同 一側体
290	299	2席	257	土師器	直	13.5	3.4	—	赤褐色	青：赤色粒子	良		
290	300	2席	795(798)	土師器	直	(17.8)	—	—	暗褐色	青：白色粒子・砂粒	良	内面：ナダ、外側：ロクロヘラ 削り	
290	301	2席	297 - 1139 - 568	土師器	直	(16.6)	—	—	明褐色	青：赤色粒子・砂粒	良		29 図298と同 一側体
290	302	2席	—	土師器	直	(17.0)	—	—	明褐色	青：白色粒子	良	内面：暗文・外側：ロク ロヘラ削り	
290	303	2席	—	土師器	直	(15.8)	4.5	—	赤褐色	青：白色粒子・砂粒	良	内面：みがき	
290	304	2席	449	土師器	直	16.0	—	—	暗褐色	砂粒	良		
290	305	2席	108	土師器	直	20.8	—	—	暗褐色	青：赤色粒子	良		
290	306	2席	499	土師器	直	19.5	4.2	—	赤褐色	青：赤色粒子	良		
290	307	2席	978 - 979	土師器	直	23.6	H3.0	—	赤褐色	青：赤色粒子	良		
290	308	2席	996	土師器	直	—	H5.1	—	赤褐色	青：赤色粒子	良		

298	309	2清	239	土蜘蛛	茎	—	—	—	中褐色	赤色粒子	良	クロヘラ削り	
298	310	2清	1060	土蜘蛛	坏坏	(20.6)	—	—	赤褐色· 明褐色	赤色粒子· 砂粒	良	外画: ヘラ削り	
298	311	2清	904	土蜘蛛	茎	16.2	(3.9)	—	明褐色	赤色粒子	良		
298	312	2清	851	土蜘蛛	茎	15.0	残2.5	—	明褐色	赤色粒子	良		
298	313	2清	1113	土蜘蛛	茎?	(17.4)	—	—	赤褐色	赤色粒子	良	外画: クロヘラ削り	
298	314	2清	1054	土蜘蛛	茎?	(22.8)	—	—	黄褐色	赤色粒子や含	良		
298	315	2清	498	土蜘蛛	坏	—	—	—	赤褐色	赤色·白色粒子	良		
298	316	2清	38	土蜘蛛	茎	—	—	—	赤褐色	赤色粒子· 砂粒	良		
298	317	2清	662	土蜘蛛	茎	(19.6)	—	—	赤褐色	赤色粒子	良		
298	318	2清	1168	土蜘蛛	茎	(17.0)	—	—	暗褐色	青	良		
298	319	2清	29	土蜘蛛	茎	16.4	(2.0)	—	中褐色	赤色粒子	良		
298	320	2清	994	土蜘蛛	茎	17.8	(1.9)	—	明褐色	赤色粒子	良		
298	321	2清	637	土蜘蛛	茎	18.0	残1.6	—	黄褐色	赤色粒子	良		
298	322	2清	1134	土蜘蛛	茎?	20.6	残2.0	—	明褐色	赤色粒子	良		
298	323	2清	472	土蜘蛛	茎	(13.6)	—	—	中褐色	赤色·白色粒子	良		
298	324	2清	1024	土蜘蛛	茎	(18.6)	—	—	暗褐色	赤色粒子· 砂粒	良	内外面: ナゲ, 外画: クロヘラ削り, 内面: ミガキ	
298	325	2清	701	土蜘蛛	茎	(15.4)	—	—	暗褐色	赤色粒子· 砂粒多散在	良		
298	326	2清	632	土蜘蛛	茎	(14.0)	—	—	明褐色	赤色粒子	良		
298	327	2清	178	土蜘蛛	茎	(19.6)	—	—	明褐色	赤色粒子	良	クロヘラ削り, ミガキ	
298	328	2清	210	土蜘蛛	茎	17.4	—	—	明褐色	青	良		
298	329	2清	635	土蜘蛛	茎	(17.0)	—	—	黄褐色	赤色粒子	良		
298	330	2清	938	土蜘蛛	茎	—	—	—	暗褐色	白色粒子	良		
298	331	2清	141	土蜘蛛	茎	—	—	—	紫褐· 色, 内 面: 姫 褐色	赤色·白色粒子	良		
298	332	2清	854	土蜘蛛	茎	(17.8)	—	—	暗褐色	赤色粒子	良		
298	333	2清	462	土蜘蛛	茎	(19.7)	—	—	赤褐色	赤色·白色粒子	良	内面: 姫文不明瞭	
308	334	2清	400	土蜘蛛	茎	(27.5)	—	—	明褐色	赤色粒子	良		
308	335	2清	210	土蜘蛛	茎	—	残2.1	—	灰褐色	赤色粒子	良		
308	336	2清	153	土蜘蛛	茎	15.3	残2.3	—	明褐色	赤色粒子	良		
308	337	2清	721	土蜘蛛	茎	13.8	1.9	—	明褐色	赤色粒子	良		
308	338	2清	827	土蜘蛛	茎	(16.0)	—	—	赤褐色	赤色粒子	良		
308	339	2清	116	土蜘蛛	茎	(19.6)	—	—	明褐色	青	良		
308	340	2清	240	土蜘蛛	茎	(16.4)	—	—	赤褐色	赤色·白色粒子· 砂粒	良		
308	341	2清	1142	土蜘蛛	茎	—	—	—	黄褐色	赤色·白色粒子	良		
308	342	2清		土蜘蛛	体	18.0	—	—	内面: 赤 褐色, 外 面: 黑 褐色	赤色·白色粒子	良		
308	343	2清		土蜘蛛	茎	(15.3)	—	—	暗褐色	赤色粒子· 砂粒	良		
—	344	2清		突厥不能	—	—	—	—	—	—	—	—	國聯欠
—	345	2清		土蜘蛛	茎	(19.2)	—	—	暗褐色	赤色粒子	良		國聯欠
308	346	2清	999	土蜘蛛	茎	(15.0)	—	—	暗褐色	赤色粒子· 砂粒	良		
—	347	2清		突厥不能	—	—	—	—	—	—	—	—	國聯欠
308	348	2清		土蜘蛛	茎	17.7	残2.4	—	明褐色	赤色粒子	良		
308	349	2清		土蜘蛛	体	15.4	—	—	暗褐色	赤色粒子や含	良		
308	350	2清	543 · 645	土蜘蛛	体	—	—	—	明褐· 色, 砂砾	やや粗· 白色粒子多數· 砂粒	良	外画: ヘラミガキ, 旋削ヘラ削 り, 内面: 姫文	
308	351	2清	1146	土蜘蛛	体	(28.6)	—	—	暗褐色	赤色粒子· 砂粒	良		
308	352	2清		土蜘蛛	体	(17.8)	—	—	暗褐色	赤色·白色粒子· 砂粒	良		
308	353	2清		土蜘蛛	体	13.6	(3.8)	—	暗褐色	青	良		
308	354	2清	270	土蜘蛛	体	14.0	(4.1)	—	赤褐色	赤色粒子	良		
308	355	2清	560	土蜘蛛	茎	(20.0)	—	—	白褐色	赤色粒子	良		
308	356	2清		土蜘蛛	茎	(18.0)	—	—	白褐色	赤色粒子	良		
308	357	2清		土蜘蛛	体	22.5	—	—	赤褐色	赤色粒子	良		
308	358	2清		土蜘蛛	体	23.9	残1.6	—	明褐色	赤色粒子	良		
308	359	2清		土蜘蛛	体	17.2	残2.4	—	暗褐色	赤色粒子	良		
308	360	2清		土蜘蛛	体	16.6	—	—	赤褐色	赤色粒子· 砂粒	良		
308	361	2清	887 · 1130	土蜘蛛	茎	—	5.1	5.8	外: 白 褐色, 内: 黑 褐色	赤色粒子· 砂粒	良	削り出し高台?	内黑
308	362	2清	1137	土蜘蛛	坏	8.2	2.3	4.8	赤褐色	赤色粒子	良	ナゲ	
308	363	2清	549	土蜘蛛	坏	(19.4)	—	—	内面: 黑 色, 外面: 赤褐色	赤色粒子	良		内黑
308	364	2清	991 · 962	土蜘蛛	体or坏	(20.2)	—	—	黄褐色	赤色·白色粒子	良	外画: ヘラ削り	
308	365	2清	137 · 346	土蜘蛛	坏	13.6	(6.5)	—	赤褐色	赤色粒子	良		
308	366	2清	951	土蜘蛛	坏	14.0	5.0	7.4	暗褐色	赤色粒子	良		
308	367	2清	621	土蜘蛛	坏	(9.7)	—	—	黄褐色	赤色·白色粒子	良	内面: 姫文不明瞭, 外面: ヘラ 削り不明瞭	

3068	368	2度	955	土蜘蛛	年	(11.0)	4.0	5.6	半開口	赤色・白色粒子・砂粒	虫	内面：暗文不明瞭、外側：ヘラ削り	
3069	249	2度	981 - 986	土蜘蛛	年	(16.5)	—	—	黄褐色	赤色・白色粒子	虫		
3070	370	2度	1066	土蜘蛛	年	10.7	4.1	4.9	明褐色	赤色粒子	虫		
3071	371	2度	1066	土蜘蛛	年	11.2	4.0	5.2	明褐色	赤色粒子	虫		
3109	372	2度	—	土蜘蛛	年	12.3	94.7	—	赤褐色	赤色粒子	虫		
3105	373	2度	694	土蜘蛛	年	(14.6)	—	—	赤褐色	赤色粒子	虫		
3105	374	2度	693	土蜘蛛	年	(13.2)	—	—	明褐色	赤色粒子	虫	ヘラ削り	
3105	375	2度	763	土蜘蛛	年	15.2	(5.6)	—	明褐色	赤色粒子	虫		
3105	376	2度	1017 - 1076	土蜘蛛	年	11.4	(3.3)	—	明褐色	赤色粒子	虫		
3106	377	2度	599	土蜘蛛	年	(11.8)	—	—	明褐色	赤色粒子・砂粒	虫	内面：暗文不明瞭、ヘラ削り	
3106	378	2度	506	土蜘蛛	年	(10.4)	3.6	(4.3)	赤褐色	赤色粒子・石英・砂粒	虫	ヘラ削り・暗文：やや不明瞭	
3105	379	2度	73	土蜘蛛	年	(10.4)	3.4	(5.3)	黒褐色	赤色粒子	虫		
3105	380	2度	592	土蜘蛛	年	11.6	—	—	赤褐色	赤色粒子	虫	ヘラ削り・暗文	
3105	381	2度	575	土蜘蛛	年	10.6	—	—	赤褐色	赤色粒子	虫	ナゲ	
3105	382	2度	594	土蜘蛛	年	11.0	—	—	赤褐色	赤色粒子	虫	ヘラ削り者	
3105	383	2度	—	土蜘蛛	年	13.1	—	—	赤褐色	赤色粒子	虫	暗文	
3105	384	2度	585	土蜘蛛	年	11.4	3.8	5.4	半開口	赤色粒子	虫	底部ヘラ削り	
3105	385	2度	171	土蜘蛛	年	11.2	(3.7)	—	赤褐色	赤色粒子	虫	外側：ヘラ削り	
3105	386	2度	826	土蜘蛛	年	(11.6)	4.2	(5.6)	明褐色	赤色粒子	虫	暗文・ヘラ削り	
3105	387	2度	801	土蜘蛛	年	(12.6)	4.0	(5.5)	赤褐色	赤色粒子	虫	暗文・ヘラ削り	
3105	388	2度	731	土蜘蛛	年	(11.8)	—	—	明褐色	赤色粒子・砂粒	虫	暗文・ヘラ削り	
3105	389	2度	—	土蜘蛛	年	(12.4)	4.35	(7.1)	黒褐色	赤色粒子	虫	ヘラ削り・暗文	
3105	390	2度	212	土蜘蛛	年	(11.4)	—	—	黃褐色	赤	虫		
3105	391	2度	594	土蜘蛛	年	(11.4)	—	—	明褐色	赤	虫	暗文	
3105	392	2度	422	土蜘蛛	年	(6.6)	4.7	(6.4)	明褐色	赤色粒子	虫	暗文・ヘラ削り	
3105	393	2度	1085	土蜘蛛	年	(11.0)	—	—	黒褐色	赤色・白色粒子	虫	内面：わざかに暗文、外側：ヘラ削り	
3105	394	2度	1066	土蜘蛛	年	(11.2)	3.7	(4.6)	黒褐色	赤色・白色粒子・砂粒	虫	内面：わざかに暗文、外側：ヘラ削り	
3105	395	2度	261	土蜘蛛	年	(16.2)	—	—	赤褐色	赤色粒子	虫	ミオキ	内黒
3105	396	2度	—	土蜘蛛	年	14.0	—	—	赤褐色	赤色粒子	虫	暗文	
3105	397	2度	733	土蜘蛛	年	16.0	—	—	褐色	赤色粒子	虫	暗文・ロクロヘラ削り	
3105	398	2度	656	土蜘蛛	年	14.3	—	—	黄褐色及 び赤褐色	赤色粒子	虫	指揮病	
3105	399	2度	821	土蜘蛛	年	14.0	(5.0)	—	赤褐色	赤色粒子	虫	外側：ヘラ削り	
3105	400	2度	451	土蜘蛛	年	11.7	(4.0)	—	赤褐色	赤色粒子	虫	外側：ヘラ削り	
3105	401	2度	816	土蜘蛛	年	(2.8)	—	—	明褐色	赤色粒子	虫	内面：暗文、外側：ヘラ削り、内 外面ナゲ	
3105	402	2度	946	土蜘蛛	年	(10.4)	—	—	明褐色	砂粒	虫	内面：暗文・外側：ヘラ削り、 内外面ナゲ	
3105	403	2度	652	土蜘蛛	年	11.2	—	—	半開口	赤色粒子	虫	暗文・ヘラ削り	
3105	404	2度	798	土蜘蛛	年	(13.7)	—	—	茶褐色	赤色・白色粒子・砂粒	虫	内面：暗文不明瞭、外側：ヘラ 削り・ナゲ?	
3105	405	2度	1043	土蜘蛛	年	(12.1)	—	—	茶褐色	赤色・白色粒子	虫	内面：暗文不明瞭、外側：ヘラ 削り・ナゲ?	
3105	406	2度	118	土蜘蛛	年	(9.8)	4.0	(4.7)	明褐色	赤色・白色粒子	虫	内面：暗文・外側：ヘラ削り	
3105	407	2度	—	土蜘蛛	年	(13.2)	—	—	黄褐色	赤色・白色粒子	虫	内面：暗文不明瞭、外側：ヘラ 削り	
3105	408	2度	309	土蜘蛛	年	(13.0)	—	—	明褐色	赤色粒子	虫	暗文・ヘラ削り	
3105	409	2度	829	土蜘蛛	年	(11.2)	—	—	赤褐色	赤色粒子・白色粒子ややむ	虫		
3105	410	2度	1157	土蜘蛛	年?	(20.8)	—	—	黄褐色	赤色・白色粒子・砂粒	虫	外側：ロクロヘラ削り	
3105	411	2度	1070	土蜘蛛	年	11.2	—	—	明褐色	赤	虫	暗文・ヘラ削り	
3105	412	2度	742	土蜘蛛	年	(12.6)	(3.7)	—	明褐色	赤	虫	暗文・ヘラ削り	
3105	413	2度	285	土蜘蛛	年	(2.4)	—	—	赤褐色	赤色粒子・白色粒子やや含 む	虫	外側：ナゲ・内面：暗文	
3105	414	2度	175	土蜘蛛	年	(10.4)	—	—	赤褐色	赤色粒子・砂粒	虫	内面：暗文不明瞭、外側：ヘラ 削り	
3105	415	2度	1160	土蜘蛛	年	31.0	—	—	赤褐色	赤色粒子	虫	暗文・ヘラ削り	
3105	416	2度	1019	土蜘蛛	年	(11.0)	—	—	半開口	やや緑・赤色粒子・貝石	虫		
3105	417	2度	726	土蜘蛛	年	(10.6)	—	—	半開口	赤色粒子	虫	暗文? - ヘラ削り	
3105	418	2度	445	土蜘蛛	年	12.8	(3.1)	—	明褐色	赤色粒子	虫	外側：ヘラ削り	
3105	419	2度	—	土蜘蛛	年	(10.3)	—	—	黄褐色	赤色粒子	虫	ヘラ削り	
3105	419	2度	36	土蜘蛛	年	(12.7)	—	—	黄褐色	赤色・白色粒子	虫	ヘラ削り・暗文不明瞭	
3105	420	2度	580	土蜘蛛	年	(1.8)	—	—	明褐色	赤色粒子・砂粒	虫	ヘラ削り	
3105	421	2度	—	土蜘蛛	年	(11.9)	3.7	(5.7)	半開口	赤色粒子	虫	ヘラ削り	
3105	422	2度	1070	土蜘蛛	年	(1.2)	—	—	明褐色	赤	虫	暗文・ヘラ削り	
3105	423	2度	816	土蜘蛛	年	(11.2)	—	—	明褐色	赤	虫	地文・ヘラ削り	
3105	424	2度	879	土蜘蛛	年	(12.0)	—	—	明褐色	赤色粒子	虫	ヘラ削り	
3105	425	2度	958	土蜘蛛	年	(9.8)	—	—	黄褐色	赤	虫	外：ヘラ削り 内：暗文不明 瞭	
3105	426	2度	618	土蜘蛛	年	(10.8)	(4.0)	(4.4)	明褐色	赤	虫	外側：ヘラ削り 内面：暗文 不明瞭	

3188	427	2周	1000	土師器	环	(11.2)	-	-	明褐色	赤：赤色粒子	良	暗文不明瞭	
3189	428	2周	1025	土师器	环	(12.4)	-	-	明褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り	
3190	429	2周	1056	土师器	环	(11.0)	-	-	赤褐色	砂粒	良	ヘラ削り	
3191	430	2周	1075	土师器	环	(11.4)	-	-	赤褐色	微細：赤色粒子・砂粒	良	暗文不明瞭	
3192	431	2周	1150	土师器	环?	(19.2)	-	-	黄褐色	赤色粒子・砂粒多数	良		
3193	432	2周	49	土师器	环	(11.4)	-	-	赤褐色	赤色粒子	良	内面：暗文不明瞭、外観：ヘラ削り様・ハケ状工具による調整	
3195	433	2周	317	土师器	环	(13.8)	-	-	褐色	赤色粒子・砂粒	良	外観：ヘラ削り、内面：暗文不明瞭	
3196	434	2周	264	土师器	环	12.4	<3.1>	-	赤褐色	赤色粒子	良		
3197	435	2周	708	土师器	环	11.4	4.0	5.4	明褐色	赤色粒子	良	外観：ヘラ削り	
3198	436	2周	874	土师器	环	10.5	残2.7	-	明褐色	赤色粒子	良		
3199	437	2周	668	土师器	环	10.7	残4.3	-	赤褐色	赤色粒子	良		
3200	438	2周	1175	土师器	环	17.0	残4.1	-	黄褐色	赤色粒子	良		
3201	439	2周	1175	土师器	环	-	-	-	明褐色	赤色粒子	良	外観：ヘラ削り	
3202	440	2周	1123	土师器	环	(12.0)	-	-	明褐色	赤色粒子	良	暗文不明瞭・ヘラ削り	
3203	441	2周	865	土师器	环	(11.8)	-	-	明褐色	赤色粒子	良	暗文	内墨?
3204	442	2周	1071	土师器	环	(10.6)	-	-	明褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り	
3205	443	2周	664	土师器	环	(10.5)	-	-	明褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り	
3206	444	2周	143	土师器	环	(11.8)	-	-	明褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り、暗文不明瞭	
3207	445	2周	1150	土师器	环	(10.9)	3.95	5.6	暗褐色	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り	
3208	446	2周	1126	土师器	环	(12.6)	-	-	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り	
3209	447	2周	1125	土师器	环	(11.2)	-	-	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	内墨：暗文不明瞭	
3210	448	2周	1104	土师器	环	(11.0)	-	-	褐色	赤色粒子・白色粒子	良	内墨：暗文不明瞭	
3211	449	2周	1104	土师器	环	(11.0)	-	-	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文不明瞭、外観：ヘラ削り	
3212	450	2周	1126	土师器	环	(12.2)	-	-	赤褐色	赤色粒子	良	暗文不明瞭	
3213	451	2周	1126	土师器	环	11.4	-	-	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り	
3214	452	2周	1126	土师器	环	13.4	-	-	赤褐色	赤色粒子	良		
3215	453	2周	1126	土师器	环	11.5	-	-	赤褐色	赤色粒子	良	暗文	
-	454	実測不能	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	圓腹丸
3216	455	2周	1126	土师器	环	14.2	<3.2>	明褐色	赤色粒子	良	外観：ヘラ削り		
3217	456	2周	1126	土师器	环	11.4	<3.7>	黄褐色	赤色粒子	良	外観：ヘラ削り		
-	457	2周	実測不能	-	-	-	-	-	-	-	-	-	圓腹丸
-	458	2周	実測不能	-	-	-	-	-	-	-	-	-	圓腹丸
3219	459	2周	1126	土师器	环	13.0	<4.0>	明褐色	赤色粒子	良			
3220	460	2周	1126	土师器	环	(14.0)	3.3	(8.3)	暗褐色	赤色粒子	良	暗文不明瞭・ヘラ削り	
3221	461	2周	1126	土师器	环	(11.8)	-	-	明褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り	
3222	462	2周	1126	土师器	环	(13.2)	-	-	明褐色	赤色粒子	良	暗文不明瞭	
3223	463	2周	1126	土师器	环	(11.2)	-	-	明褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り	
3224	464	2周	1126	土师器	环	(11.4)	-	-	赤褐色	赤・白色粒子	良	内墨：暗文・外観：ヘラ削り	
3225	465	2周	1126	土师器	环	(15.5)	-	-	茶褐色	赤・白色粒子・砂粒	良		
3226	466	2周	1126	土师器	环	(13.5)	-	-	赤褐色	赤・白色粒子	良	内墨：暗文・外観：ヘラ削り	
3227	467	2周	1126	土师器	环	(11.2)	-	-	赤褐色	赤色粒子	良	暗文不明瞭・外観：ヘラ削り	
3228	468	2周	-	土师器	环	(10.8)	-	-	明褐色	赤色粒子	良	外観：ヘラ削り・内面暗文不明瞭	
3229	469	2周	-	土师器	环	(10.8)	-	-	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	内墨：暗文を出す時の剥み痕	
3230	470	2周	-	土师器	环	(9.8)	-	-	赤褐色	赤色粒子	良	外観：ヘラ削り	
3231	471	2周	-	土师器	环	(10.0)	-	-	赤褐色	微細：赤色粒子	良	内墨：暗文・外観：ロクロナデ	
3232	472	2周	-	土师器	环	11.7	残3.5	-	明褐色	赤色粒子	良		
3233	473	2周	328 - 515	土师器	环	-	残3.0	4.3	非褐色	赤色粒子	良		
3234	474	2周	1065	土师器	环(裏面)	-	-	-	暗褐色	白色粒子	良		古墳時代後期
3235	475	2周	-	土师器	环	10.4	-	-	赤褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・暗文	
3236	476	2周	-	土师器	环	-	-	3.4	暗褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・暗文	
3237	477	2周	-	土师器	环	11.4	-	-	黄褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・暗文	
3238	478	2周	-	土师器	环	13.4	<4.2>	-	赤褐色	赤色粒子	良		
3239	479	2周	-	土师器	环	12.4	<3.4>	-	黄褐色	赤色粒子	良	外観：ヘラ削り	
3240	480	2周	-	土师器	环	(10.4)	-	-	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	内墨：ヘラカッテ・暗文不明瞭	
-	481	2周	実測不能	-	-	-	-	-	-	-	-	-	圓腹丸
3241	482	2周	-	土师器	环	(11.4)	-	-	外観：暗褐色・内墨：白色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・ヘラ削り	内墨
3242	483	2周	-	土师器	环	(4.4)	-	-	内墨：赤褐色・外観：黃褐色	赤色粒子・砂粒・小石や骨	良	暗文・ヘラ削り	
-	484	2周	実測不能	-	-	-	-	-	-	-	-	-	圓腹丸

3286	485	2周		土脚器	坏	<10.2>	4.25	5.2	明褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	内面：暗文不明瞭、外面：ヘラ削り		
3286	486	2周		土脚器	坏	<9.7>	3.6	4.3	茶褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文、外面：ヘラ削り、底部赤切り後ヘラ削り		
3286	487	2周	550	土脚器	坏	<10.9>	4.9	(6.6)	赤褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文、外面：ヘラ削り		
3286	488	2周	669	土脚器	坏	<13.3>			黃褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文、外面：ヘラ削り		
3286	489	2周	1165	土脚器	坏	<11.0>			赤褐色	赤色粒子	良	暗文、ヘラ削り		
—	490	2周	失前不能	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	底板欠
3286	491	2周	225	土脚器	坏？	—	—	5.5	赤褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	内面：暗文不明瞭、外面：ヘラ削り		
3286	492	2周	1166	土脚器	坏	—	<1.8>	6.6	灰褐色	赤色粒子	良	底板：ヘラ削り調整、見込み部：底板調整		
3286	493	2周	605	土脚器	坏	—	<1.5>	7.4	灰褐色	赤色粒子	良	底板：赤切り後ヘラ削り		
3286	494	2周	765	土脚器	坏	—	—	(5.0)	黃褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	底板赤切り直		
3286	495	2周	389・391	土脚器	坏	—	—	6.3	暗褐色	赤色粒子・砂粒多量	良	底板赤切り直		
3286	496	2周	291	土脚器	坏	—	—	6.4	明褐色	白色粒子・小石や含	良	底板赤切り直		
3286	497	2周	471	土脚器	坏	—	—	5.0	暗褐色	赤色粒子・砂粒	良	内面：暗文、外面：ヘラ削り、底板赤切り直		
3286	498	2周	696	土脚器	坏	—	—	5.9	黃褐色	赤色粒子	良	暗文、ヘラ削り、底部赤切り直後ヘラ削り		
3286	499	2周	586	土脚器	坏	<12.8>	—		赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文、ヘラ削り		
3286	500	2周	660	土脚器	坏	—	—	7.0	赤褐色	赤色粒子	良	暗文、底板ヘラ調整		
3286	501	2周	967	土脚器	坏	—	—	6.6	暗褐色	赤色粒子	良	暗文、底板ヘラ調整		
3286	502	2周	283	土脚器	坏	—	—	6.8	赤褐色	赤色粒子	良	暗文、底板ヘラ調整		
3286	503	2周	541・306	土脚器	坏	—	—	(4.6)	赤褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	内面：暗文不明瞭、外面：ヘラ削り、底板赤切り後ヘラ調整		
3286	504	2周	54	土脚器	坏	—	—	5.25	黃褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文、外面：ヘラ削り、底板赤切り直後ヘラ削り		
3286	505	2周	1063	土脚器	坏	—	—	8.2	内面：黒色、外側：赤褐色 黄色	赤色・白色粒子	良	見込み部：暗文	内黒	
3286	506	2周	682	土脚器	坏	—	—	6.0	褐色	赤色粒子やや含	良	暗文、ヘラ削り、見込み部：暗文不明瞭、底板：赤切り直		
3286	507	2周	823	土脚器	坏	—	—	6.0	暗褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り、底板、見込みに暗文		
3286	508	2周	1035	土脚器	坏	—	(1.7)	5.1	赤褐色	赤色粒子	良	底板：剪り後ヘラ削り調整		
3286	509	2周	808	土脚器	坏	—	(3.7)	8.0	黃褐色	赤色粒子	良	底板：赤切り後ヘラ削り		
3286	510	2周	797	土脚器	坏	—	—	5.45	明褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文不明瞭、外面：ロクロヘラ削り、底板・ラ調整		
3286	511	2周	814	土脚器	坏	—	—	5.75	赤褐色	赤色・白色粒子・砂粒・石英	良	内面：暗文、外面：ヘラ削り、底部赤切り直後ヘラ調整		
3286	512	2周	925	土脚器	坏	—	—	(5.2)	赤褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文、外面：ヘラ削り、底部赤切り直後ヘラ調整		
3286	513	2周	606	土脚器	坏	—	—	6.6	明褐色	赤	良	暗文、底板赤切り直		
3286	514	2周	326・327	土脚器	坏	—	—	(7.0)	明褐色	赤色粒子	良	暗文、ヘラ削り		
3286	515	2周	—	土脚器	坏	—	—	9.6	赤褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り		
3286	516	2周	—	土脚器	坏	—	—	6.4	赤褐色	赤色粒子	良	暗文、ヘラ削り		
3286	517	2周	1093	土脚器	坏	—	—	5.6	赤褐色	赤色粒子	良	内面全表面削り、赤切り直		
3286	518	2周	1024	土脚器	坏	—	—	6.0	褐色	赤	良	暗文、外觀・底板：ヘラ削り		
3286	519	2周	811	土脚器	坏	—	—	6.6	赤褐色	赤色粒子	良	暗文		
3286	520	2周	492	土脚器	坏	—	—	5.3	赤褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文、外觀：調整、底板：赤切り後ヘラ調整		
3286	521	2周	804	土脚器	坏	—	—	5.8	黃褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文、外觀：ヘラ削り不 明瞭、底板：赤切り後削りをヘ ラ調整		
3286	522	2周	634・655	土脚器	坏	—	—	5.9	茶褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	内面：暗文、外觀：ヘラ削り、 底板赤切り直後ヘラ削り		
—	523	2周	772	土脚器	坏	—	—	5.8	茶褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	内面：暗文不明瞭、外板：ヘラ 削り	底板欠	
3286	524	2周	631	土脚器	坏	—	—	6.0	明褐色	赤	良	暗文、底板赤切り直		
3286	525	2周	128	土脚器	坏	—	—	(7.0)	明褐色	赤色粒子	良	暗文不明瞭、ヘラ削り		
3286	526	2周	518	土脚器	坏	—	—	4.7	暗褐色	赤色粒子	良	暗文、ヘラ削り、底板赤切り 直		
—	527	2周	81	土脚器	坏	—	—	4.4	明褐色	赤色・白色粒子	良	暗文不明瞭	底板欠	
3286	528	2周	1121	土脚器	坏	—	—	(4.7)	黃褐色	赤色粒子	良	暗文		
3286	529	2周	848	土脚器	坏	—	—	6.3	黃褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り、底板赤切り直、暗文 不明瞭		
3286	530	2周	1136	土脚器	坏	—	—	5.5	茶褐色	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り直、底板赤切り直、暗文 不明瞭		

33回	531	2勝	857	土師器	坏	—	—	(5.2)	明褐色	单色粒子・砂粒	良	暗文・ヘラ削り、底部あ切り底		
33回	532	2勝	1055	土師器	坏	12.0	3.8	6.4	赤褐色	单色粒子	良	底部・あ切り底、周辺部：ヘラ削り		
33回	533	2勝	771	土師器	坏	—	—	(2.6)	4.4	赤褐色	单色粒子	良	底部・あ切り後ヘラ削り、見込み部：あ切り底	
33回	534	2勝	796	土师器	坏	—	—	5.0	明褐色	单色粒子	良	暗文不明瞭・底部あ切り底		
33回	535	2勝	957	土师器	坏	—	—	6.0	明褐色	单色粒子	良	暗文不明瞭・底部あ切り底		
—	536	2勝	712	土师器	坏	—	—	5.4	黄褐色	单色粒子	良	暗文	固版欠	
33回	537	2勝	555	土师器	坏	—	—	6.0	暗褐色	密	良	暗文不明瞭・ヘラ削り・底部あ切り底		
33回	538	2勝	1060	土师器	坏	—	残1.5	6.4	明褐色	单色粒子	良	底部あ切り底		
33回	539	2勝	497	土师器	坏	—	残2.8	4.7	明褐色	单色粒子	良	見込み部：洞開		
33回	540	2勝	722	土师器	坏	—	残1.6	4.4	黄褐色	单色粒子	良	底部あ切り底		
33回	541	2勝	785	土师器	坏	—	(1.5)	5.6	明褐色	单色粒子	良	底部：あ切り底、周辺部：ヘラ削り		
33回	542	2勝	357	土师器	坏	11.2	4.3	4.8	明褐色	单色粒子	良	ヘラ削り		
33回	543	2勝	658	土师器	坏	—	(2.4)	6.8	赤褐色	单色粒子	良	ヘラ削り・底部あ切り底		
33回	544	2勝	868	土师器	坏	—	—	4.8	暗褐色	单色粒子・砂粒	良	暗文・ヘラ削り		
33回	545	2勝	474	土师器	坏	—	—	6.0	明褐色	单色粒子	良	暗文		
33回	546	2勝	117	土师器	坏	—	—	7.4	明褐色	赤色・白色粒子	良	底部あ切り底		
33回	547	2勝	607	土师器	坏	—	—	5.4	暗褐色	赤色・白色粒子	良	ヘラ削り・暗文		
33回	548	2勝	961	土师器	坏	—	—	5.2	明褐色	单色粒子	良	暗文がかなりあったと思われるが不規則		
33回	549	2勝	—	土师器	坏	—	—	(5.6)	赤褐色	赤色・白色粒子	良	底部・ヘラ削り調整したと思われる		
—	550	2勝	362	土师器	坏	—	—	5.1	明褐色	やや赤：赤色粒子	良	底部		
33回	551	2勝	601	土师器	坏	—	—	(4.8)	暗褐色	单色粒子	良	ヘラ削り・暗文	固版欠	
34回	552	2勝	1116	土师器	坏	—	—	(6.0)	赤褐色	赤色・白色粒子	良	暗文・ヘラ削り・底部あ切り板		
34回	553	2勝	883	土师器	坏	—	—	5.2	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・ヘラ削り・底部あ切り		
34回	554	2勝	447	土师器	坏	—	—	5.4	赤褐色	赤色・白色粒子	良	暗文		
34回	555	2勝	1021	土师器	坏	—	—	5.4	褐色	赤色粒子・砂粒	良	底部あ切り底、外側：ヘラ削り		
34回	556	2勝	—	土师器	坏	—	—	5.8	褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文		
34回	557	2勝	—	土师器	坏	—	—	7.2	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り・底部へテ調整		
34回	558	2勝	—	土师器	坏	—	—	3.7	黄褐色	单色粒子	良	暗文・ヘラ削り・底部へテ調整		
34回	559	2勝	832	土师器	坏	—	—	6.0	明褐色	赤色・白色粒子	良	底部あ切り底		
34回	560	2勝	352	土师器	坏	—	—	5.8	赤褐色	赤色・白色粒子	良	暗文・底部あ切り底		
34回	561	2勝	347	土师器	坏	—	—	6.2	赤褐色	赤色・白色粒子	良	暗文		
34回	562	2勝	870	土师器	坏	—	—	(5.2)	赤褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文、外面：ヘラ削り、底部：あ切り		
—	563	2勝	95	土师器	坏	—	—	(5.2)	黄褐色	赤色・白色粒子	良	内面・削り・外面：ヘラ削り	固版欠	
—	564	2勝	398	土师器	坏	—	—	(5.3)	赤褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文、外面：ヘラ削り	固版欠	
—	565	2勝	1197	土师器	坏	—	—	(5.7)	茶褐色	赤色・白色粒子	良	内面・暗文、外面：ヘラ削り	固版欠	
34回	566	2勝	144	土师器	坏	—	—	(6.4)	赤褐色	赤色粒子、白色粒子やや含	良	华部・見込み部に暗文、ヘラ削り		
34回	567	2勝	950	土师器	坏	—	—	5.4	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	内面：暗文、外面：ヘラ削り		
34回	568	2勝	1062	土师器	坏	—	—	(6.0)	内面：明褐色、外 面：赤褐色	单色粒子やや含	良	暗文・底部あ切り底		
34回	569	2勝	146	土师器	坏	—	—	(6.0)	赤褐色	赤色粒子	良	底部に調整は：露ぬれ状？		
—	570	2勝	554	土师器	坏	—	—	5.0	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文不明瞭	固版欠	
34回	571	2勝	594	土师器	坏	—	—	4.5	暗褐色	赤色粒子	良	底部・あ切り後ヘラ削り		
34回	572	2勝	608	土师器	坏	—	—	(6.8)	黄褐色	单色粒子・砂粒子	良	底部あ切り		
34回	573	2勝	269	土师器	坏	—	—	(6.8)	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・ヘラ削り		
34回	574	2勝	—	土师器	坏	11.8	2.7	5.8	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り		
34回	575	2勝	777	土师器	坏	—	—	5.2	赤褐色	赤色粒子	良	糸切の痕・ヘラ削り		
34回	576	2勝	558	土师器	坏	—	—	5.5	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り		
34回	577	2勝	126	土师器	坏	—	—	5.6	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り・糸切の痕・ヘラ削り		
—	578	2勝	80	土师器	坏	—	—	4.4	赤褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文、外面：ヘラ削り	固版欠	
—	579	2勝	710	土师器	高台坏	—	—	—	赤褐色	赤色・白色粒子	良	内面・外面：ヘラ削り	固版欠	
34回	580	2勝	993	土师器	坏	—	—	(5.0)	内面：赤褐色、外 面：黒色	赤色・白色粒子・砂粒	良	内面：暗文、外面：ヘラ削り、底 部：糸切の痕・ヘラ削り		

34回	581	2倍	910		土師器	坪	—	—	<5.0)	黄褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文、外面：ヘラ削り、底部：赤切り後削りをヘラ調整		
34回	582	2倍	473		土師器	坪	—	—	5.0	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・ヘラ削り、底部赤切り後ヘラ削り		
34回	583	2倍	940		土師器	坪	—	—	5.0	黄褐色	底部：赤色粒子・砂粒やや含	良	暗文・ヘラ削り、内面：暗文		
34回	584	2倍	983		土師器	坪	—	—	6.2	明褐色	赤色粒子	良	暗文・底部赤切り痕		
34回	585	2倍	877		土師器	坪	—	—	(5.4)	明褐色	赤色・白色粒子	良	暗文不明瞭・底部：ヘラ調整		
34回	586	2倍	675		土師器	坪	(12.4)	3.5	(6.6)	明褐色	赤色粒子・白色粒子やや含	良	暗文不明瞭・ヘラ削り		
34回	587	2倍	1020		土師器	坪	—	—	(6.0)	赤褐色	赤色・砂粒	良	暗文不明瞭・ヘラ削り・底部ヘラ調整		
34回	588	2倍	604		土師器	坪	—	—	78.5	6.8	暗褐色	赤色粒子	良	底部赤切り後ヘラ調整	
34回	589	2倍	960		土師器	坪	—	—	78.3	5.2	明褐色	赤色粒子	良	底部赤切り後ヘラ調整	
34回	590	2倍	525		土師器	坪	—	—	78.2	6.2	明褐色	赤色粒子	良	底部赤切り	
—	591	2倍	526		土師器	坪	—	—	4.7	褐色	赤色粒子	良	底部：ヘラ調整、外面：ヘラ削り	因版欠	
34回	592	2倍			土師器	坪	—	—	(6.0)	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	底部：赤切り痕		
34回	593	2倍	596		土師器	坪	—	—	4.8	赤褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	暗文・ヘラ削り・底部赤切り後ヘラ削り		
34回	594	2倍	179		土師器	坪	—	—	(6.6)	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・ヘラ削り・赤切り痕		
—	595	2倍	298		土師器	坪	—	—	4.8	黄褐色	赤色・白色粒子	良	暗文・ヘラ削り・底部：ヘラ調整	因版欠	
34回	596	2倍	850		土師器	坪	—	—	6.8	明褐色	赤色粒子やや含	良	暗文・ヘラ削り・底部：赤切り後ヘラ調整		
34回	597	2倍	746		土師器	坪	—	—	5.4	赤褐色	赤色粒子・砂粒多数	良	底部：ヘラ削り・底部：赤切り後ヘラ削り		
34回	598	2倍	595		土師器	坪	—	—	5.3	赤褐色	赤色・白色粒子	良	ヘラ削り・暗文・底部赤切り痕		
—	599	2倍	737		土師器	坪	—	—	(4.6)	暗褐色	赤色粒子	良	暗文	因版欠	
34回	600	2倍	1101		土師器	坪	—	—	(6.0)	赤褐色	赤色粒子	良	成都赤切り後ヘラ調整		
—	601	2倍	65		土師器	坪	—	—	4.8	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り・暗文	因版欠	
34回	602	2倍	350		土師器	坪	—	—	5.8	明褐色	赤色・白色粒子	良	暗文・底部赤切り痕		
34回	603	2倍	1097		土師器	坪	—	—	6.3	明褐色	赤色粒子	良	底部赤切り痕		
34回	604	2倍	343		土師器	坪	—	—	(4.8)	赤褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文不明瞭、外面：ヘラ削り、底部：赤切り後ヘラ調整		
34回	605	2倍	132		土師器	坪	—	—	5.3	茶褐色	赤色・白色粒子・砂粒・石英？	良	内面：暗文不明瞭、外面：ヘラ削り？・底部：赤切り後ヘラ調整		
—	606	2倍	238		土師器	坪	—	—	(6.1)	赤褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	内面：暗文不明瞭、外面：ヘラ削り	因版欠	
34回	607	2倍	843		土師器	坪	—	—	(8.6)	茶褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	見込み：暗文、外面：ヘラ削り不透明		
34回	608	2倍	847		土師器	坪	—	—	(5.0)	赤褐色	赤色粒子	良	内面：暗文、外面：ヘラ削り不透明		
34回	609	2倍	535		土師器	坪	—	—	4.8	明褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り・底部赤切り後ヘラ調整		
34回	610	2倍	573		土師器	坪	—	—	6.8	暗褐色	赤色粒子・白色粒子やや含	良	暗文・底部赤切り後ヘラ調整		
34回	611	2倍	599		土師器	坪	—	—	5.0	明褐色	赤色・白色粒子	良	暗文・ヘラ削り・底部赤切り後ヘラ調整		
34回	612	2倍	514		土師器	坪	—	—	(6.0)	明褐色	赤色・白色粒子・砂粒多数	良	底部・見込み部に暗線、ヘラ削り、底部：ヘルナ？		
35回	613	2倍	886		土師器	坪	—	—	(6.0)	黄褐色	赤色粒子やや・砂粒	良	暗文・ヘラ削り		
35回	614	2倍	274		土師器	坪	—	—	(5.4)	赤褐色	赤色粒子・白色粒子やや含	良	体部・見込み部に暗線、ヘラ削り		
35回	615	2倍			土師器	坪	—	—	6.4	赤褐色	赤色粒子やや・砂粒	良	暗文・ヘラ削り		
35回	616	2倍	160		土師器	坪	—	—	6.8	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・赤切り後底部ヘラ調整		
—	617	2倍	52		土師器	坪	—	—	4.8	暗褐色	赤色・白色粒子	良	暗文・ヘラ削り	因版欠	
35回	618	2倍	735		土師器	坪	—	—	6.4	赤褐色	赤色粒子	良	暗文		
35回	619	2倍	867		土師器	坪	—	—	5.4	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り・赤切り痕、底部ヘラ調整		
35回	620	2倍	916		土師器	坪	—	—	5.0	褐色	赤色粒子	良		見込み部：糊跡	
35回	621	2倍	223		土師器	坪	—	—	6.0	暗褐色	底部：赤色粒子・砂粒	良			
35回	622	2倍	302		土師器	坪	—	—	(6.4)	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良			
—	623	2倍	794		土師器	坪	—	—	5.0	赤褐色	赤色粒子	良	暗文	因版欠	
35回	624	2倍	841		土師器	坪	—	—	(2.9)	6.0	明褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り	
35回	625	2倍	523		土師器	坪	—	—	(2.7)	7.6	明褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・底部赤切り後端辺部ヘラ調整	

35回	626	2席	1	土器器	坪	—	—	(5.3)	赤褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文不明瞭、外面：ヘラ削り、底部：赤切り後へラ削り調整
35回	627	2席	1194	土器器	坪	—	—	(5.7)	明褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文不明瞭、外面：ヘラ削り
35回	628	2席	314	土器器	坪	—	—	(4.2)	高褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	内面：暗文、外側：ヘラ削り
—	629	2席	146	土器器	坪	—	—	(6.6)	黄褐色	赤色粒子	良	暗文不明瞭、底部赤切り直 底部・見込み：暗文、ヘラ削り
35回	630	2席	1073	土器器	坪	—	—	(6.0)	明褐色	赤色・白色粒子	良	暗文不明瞭、底部赤切り直 底部・見込み：暗文、ヘラ削り
35回	631	2席	1199	土器器	坪	—	—	(5.0)	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文、ヘラ削り、底部へラ調整
35回	632	2席	323	土器器	坪	—	—	4.6	暗褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・ヘラ削り、底部赤切り後へラ調整
35回	633	2席	289	土器器	坪	—	—	(6.0)	黄褐色	赤色粒子	良	暗文
35回	634	2席	613	土器器	坪	—	—	(7.2)	暗褐色	赤色粒子	良	暗文・底部赤切り直
35回	635	2席	300	土器器	坪	—	—	(4.8)	暗褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り、暗文
35回	636	2席	346	土器器	坪	—	—	(6.4)	黄褐色	赤色粒子	良	底部赤切り直
35回	637	2席	688	土器器	坪	—	—	(6.4)	暗褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・底部赤切り後へラ調整
35回	638	2席	803	土器器	坪	—	—	(4.9)	茶褐色	赤色・白色粒子・砂粒・石英	良	内面・暗文、外側：ヘラ削り、底部：赤切り後へラ調整
35回	639	2席	1122	土器器	坪	—	—	(5.8)	基褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文、外側：ヘラ削り、底部：赤切り後へラ調整
35回	640	2席	866	土器器	坪	(10.6)	3.7	(4.0)	暗褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	内面：暗文、外側：ヘラ削り
35回	641	2席		土器器	坪	—	—	(5.8)	明褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	見込み・内面：暗文、外面：ヘラ削り、底部：赤切り後へラ調整
35回	642	2席		土器器	坪	—	—	(4.4)	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・ヘラ削り・底部：赤切り後へラ調整
—	643	2席		土器器	坪	—	—	5.2	赤褐色	赤色粒子・白色粒子を中心含	良	暗文・ヘラ削り・底部：赤切り後へラ調整
35回	644	2席		土器器	坪	—	—	(6.0)	外側：黄褐色、内面：赤褐色	赤色粒子	良	暗文
35回	645	2席		土器器	坪	—	(1.7)	6.0	明褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・暗文不明瞭・底部赤切り直
35回	646	2席		土器器	坪	—	(1.0)	5.1	明褐色	赤色粒子	良	底部赤切り後周辺部へラ調整、見込み部：砂粒剥離、暗文不明瞭
35回	647	2席		土器器	坪	—	(1.4)	5.6	暗褐色	赤色粒子	良	底部赤切り後へラ調整
35回	648	2席		土器器	坪	—	(11.0)	明褐色	赤色粒子	良	暗文不明瞭・ヘラ削り	
35回	649	2席		土器器	坪	—	(5.4)	黄褐色	赤色粒子	良	暗文	
35回	650	2席		土器器	坪	—	(6.2)	黄褐色	赤色粒子	良	暗文	
35回	651	2席		土器器	坪	—	(1.6)	5.4	赤褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・底部赤切り直
35回	652	2席		土器器	坪	—	(6.8)	3.9	明褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・底部：赤切り直・頭辺：ヘラ調整
35回	653	2席		土器器	坪	—	(2.7)	6.4	暗褐色	赤色粒子	良	底部へラ削り調整
35回	654	2席		土器器	坪	—	—	4.8	明褐色	赤色粒子	良	暗文・底部赤切り直
—	655	2席		土器器	坪	—	(5.0)	5.0	黄褐色	赤色粒子	良	暗文
35回	656	2席		土器器	坪	—	(6.0)	明褐色	赤色粒子	良	暗文・底部赤切り直	
35回	657	2席		土器器	坪	—	(残)1.2	7.2	内面：暗褐色、外側：黄褐色	赤色粒子	良	底部赤切り後へラ整形
35回	658	2席		土器器	坪	—	(残)1.4	8.3	赤褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り
35回	659	2席		土器器	坪	—	(残)1.3	4.4	内面：暗褐色、外側：黄褐色	赤色粒子	良	
35回	660	2席		土器器	坪	(11.0)	(3.4)	(5.4)	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り
35回	661	2席		土器器	坪	—	—	(6.0)	内面：黄褐色、外側：赤褐色	赤色粒子	良	底部：赤切り直へラ削り
35回	662	2席		土器器	坪	—	—	(8.0)	黄褐色	赤色粒子	良	暗文・底部赤切り
35回	663	2席		土器器	坪	—	—	(7.2)	黒褐色	赤色粒子	良	暗文・底部赤切り直
35回	664	2席		土器器	坪	—	—	(6.5)	明褐色	赤色粒子	良	底部赤切り直
35回	665	2席		土器器	坪	—	—	(5.8)	赤褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・底部へラ調整・赤切り直
35回	666	2席		土器器	坪	—	—	(7.0)	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・底部へラ調整

3658	657	2倍		土脚器	环	-	-	<7.0>	黄褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・暗文		
3658	658	2倍		土脚器	环	-	-	<6.0>	赤褐色	赤色粒子	良	ハラ削り・暗文・底部ヘラ調整・赤切り直		
3658	659	2倍		土脚器	环	-	-	<5.2>	黄褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文不明確・底部赤切り直		
3658	670	2倍		土脚器	环	-	-	<6.0>	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・底部赤切り直		
-	671	2倍		土脚器	环	-	-	<5.4>	黄褐色	赤色粒子やや含	良	暗文	因版欠	
3658	672	2倍		土脚器	环	-	-	<6.0>	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・ヘラ削り?		
3658	673	2倍		土脚器	环	-	-	<6.4>	明褐色: 中 底部にや や褐色 部分有	赤色粒子	良	暗文・底部赤切り後ヘラ調整		
3658	674	2倍		土脚器	环	-	-	<5.6>	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・底部赤切り直		
3658	675	2倍		土脚器	环	-	-	5.2	黄褐色	赤色粒子	良	暗文・削り		
3658	676	2倍		土脚器	环	-	-	5.2	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り		
3658	677	2倍		土脚器	环	-	-	4.1	半褐色	赤色粒子	良	暗文: ハラ削り・赤切り後ヘラ 調整		
-	678	2倍	実脚不能			-	-	-	-	-	-	-	-	因版欠
3658	679	2倍	1-5	土脚器	环	-	-	<5.0>	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・ヘラ削り・底部赤切り 直		
3658	680	2倍	1-5	土脚器	环	-	-	<5.0>	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・ヘラ削り・底部赤切り 直		
3658	681	2倍		土脚器	环	-	-	<5.4>	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・底部赤切り直		
3658	682	2倍		土脚器	环	-	-	<5.8>	黄褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り		
3658	683	2倍		土脚器	环	-	-	<6.0>	暗褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・底部赤切り直・沈錆		
-	684	2倍		土脚器	环	-	-	<5.4>	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り	因版欠	
-	685	2倍	実脚不能			-	-	-	-	-	-	-	-	因版欠
-	686	2倍		土脚器	环	-	-	<4.6>	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り	因版欠	
3658	687	2倍	420	土脚器	环	-	-	<5.0>	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り		
3658	688	2倍	110	土脚器	环	<10.0>	4.3	5.6	半褐色	赤色・白色粒子	良	暗文・ヘラ削り・底部ヘラ調 整		
-	689	2倍	実脚不能			-	-	-	-	-	-	-	-	因版欠
-	690	2倍	実脚不能			-	-	-	-	-	-	-	-	因版欠
3658	691	2倍		土脚器	环	-	-	<5.3>	茶褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	内面: 暗文、外面: ヘラ削り、 底部: 赤切り直		
-	692	2倍	実脚不能			-	-	-	-	-	-	-	-	因版欠
-	693	2倍	実脚不能			-	-	-	-	-	-	-	-	因版欠
-	694	2倍	実脚不能			-	-	-	-	-	-	-	-	因版欠
-	695	2倍	実脚不能			-	-	-	-	-	-	-	-	因版欠
-	696	2倍	実脚不能			-	-	-	-	-	-	-	-	因版欠
3658	697	2倍	1-5	土脚器	环	-	-	5.5	内面: 黑 色・褐 色・影 外面: 茶 褐色	赤色・白色粒子	良	内面: 見込み: ミガキの痕跡、 外面: ヘラ削り・底部: 赤切り 後ヘラ調整	内面	
3658	698	2倍		土脚器	环	-	-	<7.0>	内面: 茶 色・褐 色 外面: 茶 褐色	赤色・白色・黑色粒子・砂粒	良	内面: 暗文、外面: ヘラ削り、 底部: 赤切り後ヘラ調整・底 部: 赤切り後ヘラ調整		
3658	699	2倍		土脚器	高台 盤?	-	-	<9.0>	赤褐色	赤色粒子	良			
3658	700	2倍		土脚器	环	-	-	<5.0>	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り・底部赤切り 直		
3658	701	2倍		土脚器	环	-	-	<5.0>	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良			
-	702	2倍	実脚不能			-	-	-	-	-	-	-	-	因版欠
3658	703	2倍		土脚器	环	-	-	5.4	半褐色	赤色粒子やや含・砂粒	良			
3658	704	2倍	873	土脚器	高台环	-	<1.7>	7.2	明褐色	赤色粒子	良	体部ヘラ削り・削り出し高台		
3658	705	2倍		土脚器	高台环	-	<2.4>	6.6	明褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・底部ヘラ調整・削 り出し高台		
3658	706	2倍	201	土脚器	高台 盤?	-	-	<7.0>	明褐色	鐵粉: 赤色粒子	良	体部・見込み: 暗文、面盤ヘラ 削り		
3658	707	2倍	906	土脚器	高台环	-	-	<7.2>	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	体部・見込み: 暗文、面盤ヘラ 削り・底盤へ調整板・削り出 し高台		
3658	708	2倍	168	土脚器	高台III	-	-	<7.4>	暗褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・底盤み切り後ヘラ削り		
3658	709	2倍	1106	土脚器	环	-	-	7.8	黑褐色	赤色粒子	良	暗文・ロクロヘラ削り		
3658	710	2倍	975	土脚器	环	-	-	6.6	赤褐色	赤色粒子	良	暗文		
3658	711	2倍	220	土脚器	环	-	-	8.6	外面: 茶 色・褐 色・影 外面: 黄 褐色	赤色粒子	良	底盤赤切り直		
3658	712	2倍	1031	土脚器	高台环	-	<1.2>	7.0	赤褐色	赤色粒子	良	ヘラ面盤調整・底盤ヘラ調整、 削り出し高台		

3688	713	2周	293	土脚器	高台坏	-	<1.7)	7.8	赤褐色	赤色粒子	良	ヘラ回転調査、底部へラ調査、削り出し高台	
3688	714	2周	1081	土脚器	高台坏	-	(3.1)	7.3	赤褐色	赤色粒子	良	頭板へラ調査、底部赤切り痕、ハラ調査、削り出し高台	
3688	715	2周	1057	土脚器	高台坏	-	-	(7.4)	褐色	赤色粒子	良	内面・見込み：内面剥離、外側：頭板へラ削り、削り出し高台	
3688	716	2周	876	土脚器	高台坏	-	-	(8.6)	赤褐色	赤色・白色粒子	良	外側：頭板へラ削り、削り出し高台	
3688	717	2周	491	土脚器	坏	-	-	(9.6)	明褐色	赤色・白色粒子	良	外側：頭板へラ削り、削り出し高台	
3688	718	2周	717	土脚器	風	-	-	(6.8)	内面：赤褐色、外側：明褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	外側：頭板へラ削り、削り出し高台	
3688	719	2周	1059	土脚器	風	-	<2.0)	6.2	明褐色	赤色粒子	良	頭板へラ調査、底部へラ調査、削り出し高台	
3688	720	2周	679	土脚器	高台坏	-	<2.9)	8.4	明褐色	赤色粒子	良	頭板へラ調査、削り出し高台	
3688	721	2周	679	土脚器	坏or高台坏	-	-	(9.2)	赤褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	外側：藍色へラ削り、削り出し高台	
3688	722	2周	1179	土脚器	高台坏	-	-	(7.3)	明褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文、外側：頭板へラ削り、削り出し高台	
3708	723	2周	292	土脚器	坏	-	-	(6.8)	褐褐色	赤色・白色粒子	良	内面・見込み：暗文、外側：頭板へラ削り、削り出し高台	
3708	724	2周	260	土脚器	坏or風	-	-	(6.2)	内面：赤褐色、外側：黄褐色	赤色・白色粒子	良	内面：ヘラ削り、外側：頭板へラ削り、削り出し高台	
3708	725	2周	359	土脚器	高台坏	-	-	(8.2)	内面：黒褐色、外側：赤褐色	赤色・白色粒子	良	内面・見込み：ミガキ・暗文、削り出し高台	内黒
3708	726	2周		土脚器	坏	-	-	6.0	赤褐色	赤色粒子	良	暗文	
3708	727	2周		土脚器	坏	-	-	6.2	赤褐色	赤色粒子	良	暗文	
3708	728	2周		土脚器	坏	-	-	6.4	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ロクロヘラ削り	
3708	729	2周		土脚器	坏	-	-	6.0	赤褐色	赤色粒子	良	ロクロヘラ削り	
3708	730	2周		土脚器	高台坏	-	-	(6.7)	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	底部赤切り痕・削り出し高台	
3708	731	2周		土脚器	高台風	-	-	(6.4)	褐褐色	赤色粒子	良	削り出し高台	
3708	732	2周		土脚器	高台坏	-	-	(6.4)	褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・底部削り出し高台・ヘラ削り	
3708	733	2周		土脚器	高台坏	-	<2.4)	8.2	明褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り	
3708	734	2周		土脚器	高台坏	-	<2.9)	7.2	明褐色	赤色粒子	良	頭板へラ削り調査	
-	735	2周		実測不能	-	-	-	-	-	-	-	-	頭板欠
3708	736	2周		土脚器	高台風?	-	-	10.6	褐褐色	赤色粒子・砂粒	良		
-	737	2周		実測不能	-	-	-	-	-	-	-	-	頭板欠
-	738	2周		実測不能	-	-	-	-	-	-	-	-	頭板欠
-	739	2周		実測不能	-	-	-	-	-	-	-	-	頭板欠
-	740	2周		実測不能	-	-	-	-	-	-	-	-	頭板欠
3708	741	2周	825・1072	土脚器	風	<23.4)	1.6	(18.2)	赤褐色	微管：赤色粒子・砂粒多数	良	見込み部：墨を基としたような模	
3708	742	2周	534	土脚器	風	-	-	(7.0)	赤褐色	赤色粒子	良	底部赤切り痕	
3708	743	2周	805・817・824	土脚器	風	-	-	(6.4)	明褐色	赤色粒子	良	ロクロヘラ削り、底部赤切り痕	
3708	744	2周	618・1180	土脚器	風	-	-	8.0	赤褐色	赤色・白色粒子	良	暗文不明瞭、底部赤切り痕へラ削り	
3708	745	2周		土脚器	風	-	-	(5.0)	赤褐色	赤色粒子・小石	良	ロクロヘラ削り	
3708	746	2周	442・443	土脚器	風	-	-	(5.2)	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	ロクロヘラ削り	
3708	747	2周	812	土脚器	風	(14.2)	2.5	(6.6)	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	ロクロヘラ削り・底部へラ削り	
3708	748	2周	789	土脚器	風	-	-	(7.6)	明褐色	赤色粒子	良	暗文・底部赤切り痕	
3708	749	2周	435	土脚器	風	-	-	(6.4)	明褐色	赤色粒子	良	ロクロヘラ削り・底部赤切り痕	
3708	750	2周	70	土脚器	風	-	-	(5.0)	明褐色	赤色粒子	良	ロクロヘラ削り・底部赤切り痕	

37回	751	2清	761	土師器	高台坏	—	—	(8.0)	明褐色	赤色・白色粒子・砂粒	外面：凹部・内面：高台 内面：切り後へア削り、底面：高台	良	
37回	752	2清	1058	土師器	皿	—	—	(4.7)	褐色	赤色・白色粒子・砂粒	内面：暗文、外面：ロクロヘラ 削り	良	
37回	753	2清	707	土師器	皿	—	—	5.85	褐色	赤色・白色・砂粒	内面：暗文、外面：ロクロヘラ 削り	良	
—	754	2清	888	土師器	皿	—	—	(4.6)	明褐色	赤色粒子・砂粒	ロクロヘラ削り・底部へア削 り	良	凹版欠
37回	755	2清	1090	土師器	皿	—	—	(5.3)	明褐色	赤色粒子・砂粒	暗文不明瞭・ヘラ削り、ロクロ ヘラ削り	良	
37回	756	2清	936	土師器	皿	(14.4)	2.5	(6.0)	黄褐色	赤色粒子・白色底物	ロクロヘラ削り・見込み：ミ ガキ不明瞭	良	
37回	757	2清	177	土師器	皿	—	—	(5.3)	明褐色	赤色粒子・砂粒	暗文、ロクロヘラ削り・底部 へア削り	良	
37回	758	2清		土師器	皿	—	残1.7	6.0	明褐色	赤色粒子	底部へア削 り	良	
37回	759	2清	583	土師器	皿	—	残1.0	4.9	明褐色	赤色粒子	底部へア削り	良	
37回	760	2清	869	土師器	皿	—	残1.4	5.8	明褐色	赤色粒子	ヘラ削り	良	
37回	761	2清	349	土師器	皿	—	—	5.2	赤褐色	赤色粒子・砂粒	ロクロヘラ削り・底部：余切 り後へア削り	良	
37回	762	2清	614	土師器	皿	—	—	5.2	赤褐色	赤色粒子・砂粒	底部：ヘラ削り、見込み：ミガ キ	良	
37回	763	2清	487	土師器	皿	—	—	(8.4)	赤褐色	赤色粒子やや含 み	底部へア削り	良	
37回	764	2清	429・430	土師器	皿	—	(1.1)	5.6	赤褐色	赤色粒子	内面：ミガキ不明瞭、底部へア 削り、底部へア削り・赤色へア 削り	良	
37回	765	2清		土師器	高台坏	—	(2.9)	7.2	明褐色	赤色粒子	内面：ミガキ、外面：底部へア 削り、底部：余切後へア削り 調整	良	
37回	766	2清		土師器	皿	—	—	(6.4)	明褐色	赤色粒子	ロクロヘラ削り・底部へア削 り	良	
37回	767	2清	65	土師器	皿	—	—	(6.6)	明褐色	赤色・白色粒子	ロクロヘラ削り・底部へア削 り	良	
37回	768	2清	630	土師器	皿	—	—	(6.2)	赤褐色	赤色粒子・砂粒	ロクロヘラ削り・底部へア削 り	良	
37回	769	2清	598	土師器	皿	—	—	5.6	暗褐色	赤色粒子	見込みが難しく 好みが一定でない	良	
38回	770	2清	1176	土師器	皿	—	—	6.4	赤褐色	赤色・白色粒子	見込み：ミガキ	良	
38回	771	2清	240	土師器	皿	—	—	6.0	赤褐色	赤色粒子・砂粒	見込み：暗文	良	
38回	772	2清	1	土師器	皿	—	—	5.6	暗褐色	赤色粒子	良		
38回	773	2清	140・173	土師器	皿	—	—	7.2	明褐色	被膜：赤色粒子・砂粒多数含 む	暗文、ロクロヘラ削り・底部 へア削り	良	
38回	774	2清	315	土師器	坏	—	—	(6.2)	明褐色	赤色粒子	暗文・ヘラ削り	良	
—	775	2清		土師器	皿	—	—	(5.6)	明褐色	赤色・白色粒子	底部へア削り	良	凹版欠
38回	776	2清	1164	土師器	皿	—	—	(5.4)	明褐色	赤色・白色粒子	暗文、ロクロヘラ削り・底部 へア削り	良	
—	777	2清	706	土師器	皿	—	—	(5.4)	明褐色	赤色・白色粒子	ロクロヘラ削り	良	凹版欠
38回	778	2清	1159	土師器	皿	—	—	(4.5)	明褐色	赤色粒子	ロクロヘラ削り・暗文	良	
38回	779	2清		土師器	皿	—	残1.5	5.9	明褐色	赤色粒子	底部へア削 り	良	
38回	780	2清	627	土師器	皿	12.3	1.8	9.1	黄褐色	赤色粒子	底部へア削 り	良	
38回	781	2清		土師器	皿	—	残2.0	5.6	明褐色	赤色粒子	底部へア削り	良	
38回	782	2清	1140地	土師器	皿	—	(1.2)	6.0	赤褐色	赤色粒子	良		
38回	783	2清	968	土師器	高台坏	—	(8.8)	8.9	内面：赤 色・外 面：高 台	赤色粒子	見込み部：暗文、底部へア削 り	良	見込み部：暗文、底部へア削 り・削り出し高台
38回	784	2清		土師器	坏	—	—	5.2	赤褐色	赤色粒子	ヘラ削り	良	
38回	785	2清		土師器	?	—	—	6.0	赤褐色	赤色粒子	ロクロヘラ削り・底 部へア削り	良	
38回	786	2清	492	土師器	坏	—	—	6.6	黄褐色	赤色粒子・砂粒	ロクロヘラ削り・底部へア削 り	良	
38回	787	2清		土師器	?	—	—	4.5	赤褐色	赤色粒子	暗文	良	
38回	788	2清	602	土師器	皿	—	—	(5.0)	明褐色	赤色粒子	底部へア削 り	良	
—	789	2清	1177	土師器	皿	—	—	(8.2)	明褐色	赤色粒子・白色粒子やや含 み	ロクロヘラ削り・暗文不明瞭	良	凹版欠
38回	790	2清	1088	土師器	皿	—	—	(6.0)	赤褐色	赤色・白色粒子・砂粒	ロクロヘラ削り・底 部へア削り	良	
38回	791	2清	884	土師器	皿	—	—	(5.4)	明褐色	赤色粒子	見込み：暗文、ヘラ削り	良	ヘラ削りの為に底板が凸凹し ている
—	792	2清	542	土師器	皿	—	—	(6.4)	暗褐色	赤色・白色粒子	暗文・ロクロヘラ削り・底 部へア削り	良	
38回	793	2清		土師器	皿	—	—	(5.2)	赤褐色	赤色粒子	暗文・ロクロヘラ削り・底 部へア削り	良	

—	794	2倍	306-2	土蜘蛛	Ⅲ	—	—	(4.0)	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良		圓版丸		
3808	795	2倍	135	土蜘蛛	Ⅲ	—	—	(13.8)	(2.4)	(5.2) 赤褐色 赤色粒子	良	ヘラ削り・暗文不明瞭			
—	796	2倍	917	土蜘蛛	Ⅲ	—	—	(6.0)	明褐色	赤色・白色粒子	良		圓版丸		
—	797	2倍	406	土蜘蛛	Ⅲ	—	—	(6.8)	明褐色	赤色・白色粒子	良	内面：剥離感有	圓版丸		
—	798	2倍	1162	土蜘蛛	Ⅲ	—	—	4.0	明褐色	赤色・白色粒子	良	底部赤切り痕	圓版丸		
—	799	2倍	597	土蜘蛛	Ⅲ	—	—	(8.8)	明褐色	赤色粒子	良	底部赤切り痕	圓版丸		
3808	800	2倍	828	土蜘蛛	Ⅲ	—	—	5.6	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	底端赤切り痕			
3808	801	2倍	885	土蜘蛛	Ⅲ	—	—	(1.6)	4.8	赤褐色	赤色粒子	良	ロクロヘラ削り		
3808	802	2倍	617	土蜘蛛	Ⅲ	—	—	(1.2)	8.4	明褐色	赤色粒子	良	圆版へテ調整・底部へテ調整		
3808	803	3倍		土蜘蛛	Ⅲ	—	—	(6.3)	明褐色	赤色・白色粒子	良	内面：不明瞭、外縁：ロカロヘラ削り			
3808	804	2倍		土蜘蛛	Ⅲ	(14.4)	—	1.75	(9.6)	明褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良			
3808	805	2倍	850	土蜘蛛	Ⅲ	—	—	(5.6)	茶褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	内面：暗文			
—	806	2倍	82	土蜘蛛	Ⅲ	—	—	(4.2)	6.0	明褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	内面：暗文、外縁：ヘラ削り	圓版丸	
3808	807	2倍	377	土蜘蛛	Ⅲ	—	—	6.0	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・赤切り痕・ロクロヘラ削り			
3808	808	2倍	444	土蜘蛛	Ⅲ	—	—	(5.6)	明褐色	赤色粒子・砂粒	良				
3808	809	2倍	647	土蜘蛛	Ⅲ	—	—	6.0	赤褐色	赤色・白色粒子	良	暗文・ヘラ削り			
3808	810	2倍	1005	土蜘蛛	Ⅲ	—	—	7.6	非褐色	赤色粒子	良	足込み：暗文、底端：赤切り後 ヘテ調整			
—	811	2倍		土蜘蛛	Ⅲ	—	—						圓版丸		
—	812	2倍	227	土蜘蛛	Ⅲ	—	—	(3.8)	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	ロクロヘラ削り	圓版丸		
3808	813	2倍	1181	土蜘蛛	Ⅲ	—	—	(6.4)	黃褐色	赤色粒子	良	ロクロヘラ削り・底部へテ調整			
3808	814	2倍	745	土蜘蛛	Ⅲ	—	—	(8.0)	赤褐色	赤色粒子や舌・砂粒	良	ロクロヘラ削り・底部へテ調整			
815	2倍			土蜘蛛	Ⅲ	—	—	残0.7	4.8	明褐色	赤色粒子	良	底部へテ調整	圓版丸	
3808	816	2倍	537	土蜘蛛	Ⅲ	—	—	15.9	2.7	6.6	赤褐色	赤色粒子	良		
3808	817	2倍		土蜘蛛	Ⅲ	—	—	残1.3	11.1	暗褐色	赤色粒子	良			
3808	818	2倍	47	土蜘蛛	Ⅲ	—	—	(1.2)	7.9	明褐色	赤色粒子	良	内面：細胞調整、底部：ヘテ調整		
—	819	2倍	825	土蜘蛛	Ⅲ	—	—	—	—	明褐色	赤色粒子	良	内面：ロクロナデ、内側縁：暗 部調整	圓版丸	
—	820	2倍	489	土蜘蛛	Ⅲ	—	—	—	—	明褐色	赤色粒子	良		圓版丸	
—	821	2倍	553	土蜘蛛	Ⅲ	—	—	—	—	(8.0) 明褐色	赤色粒子	良	暗文・底部へテ調整	圓版丸	
3808	822	2倍	363	土蜘蛛	Ⅲ	—	—	(5.0)	非褐色	赤色粒子	良	暗文			
3808	823	2倍	134	土蜘蛛	Ⅲ	—	—	5.0	暗褐色	石粉粒子	良	暗文・底端へテ調整			
3808	824	2倍	55	土蜘蛛	Ⅲ	—	—	5.2	非褐色	赤色粒子・砂粒	良	赤切り痕・ロクロヘラ削り			
—	825	2倍	863	土蜘蛛	Ⅲ	—	—	6.0	非褐色	赤色粒子・砂粒	良	赤切り痕・ロクロヘラ削り	圓版丸		
3808	826	2倍	1191	土蜘蛛	Ⅲ	—	—	6.4	白褐色	赤色粒子	良	ロクロヘラ削り			
—	827	2倍	456	土蜘蛛	Ⅲ	—	—	7.0	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	底端赤切り痕	圓版丸		
3808	828	2倍	251	土蜘蛛	Ⅲ	—	—	(14.4)	—	明褐色	赤色粒子・砂粒	良			
—	829	2倍	327	土蜘蛛	Ⅲ	—	—	(6.0)	明褐色	赤色粒子	良		圓版丸		
3808	830	2倍	258	土蜘蛛	Ⅲ	(12.6)	—	—	赤褐色	赤色粒子	良				
—	831	2倍	7	土蜘蛛	Ⅲ	—	—	—	—	暗褐色	赤色粒子	良		圓版丸	
3808	832	2倍		土蜘蛛	Ⅲ	—	—	12.8	—	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文		
—	833	2倍		土蜘蛛	Ⅲ	—	—	2.6	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	ロクロヘラ削り	圓版丸		
3808	834	2倍		土蜘蛛	Ⅲ	—	—	—	6.2	黃褐色	赤色粒子・砂粒	良	ロクロヘラ削り・赤切り後ヘ テ調整		
—	835	2倍		土蜘蛛	Ⅲ	—	—	5.6	赤褐色	赤色・白色粒子	良	ロクロヘラ削り・底部赤切り 痕	圓版丸		
—	836	2倍		土蜘蛛	Ⅲ	—	—	(5.7)	明褐色	赤色粒子	良	ロクロヘラ削り・底部へテ調 整	圓版丸		
—	837	2倍	実液不能	土蜘蛛	Ⅲ	—	—	—	—	—	—	—	—	圓版丸	
—	838	2倍		土蜘蛛	Ⅲ	—	—	(7.0)	明褐色	赤色粒子	良	ロクロヘラ削り	圓版丸		
—	839	2倍	実液不能	土蜘蛛	Ⅲ	—	—	—	—	—	—	—	—	圓版丸	
—	840	2倍		土蜘蛛	Ⅲ	—	—	(6.0)	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	ロクロヘラ削り・暗文不明瞭			
—	841	—		土蜘蛛	Ⅲ	—	—	—	—	—	—	—	—	圓版丸	
—	842	2倍		土蜘蛛	Ⅲ	—	—	(6.4)	明褐色	赤色粒子・砂粒	良		圓版丸		
3808	843	2倍		土蜘蛛	Ⅲ	—	—	14.8	—	黃褐色	赤色粒子	良			
—	844	2倍	実液不能	土蜘蛛	Ⅲ	—	—	—	—	—	—	—	—	圓版丸	
—	845	2倍	実液不能	土蜘蛛	Ⅲ	—	—	—	—	—	—	—	—	圓版丸	
—	846	2倍	実液不能	土蜘蛛	Ⅲ	—	—	—	—	—	—	—	—	圓版丸	
—	847	2倍		土蜘蛛	Ⅲ	—	—	(6.0)	黃褐色	赤色・白色粒子	良	ロクロヘラ削り・底部へテ調 整	圓版丸		
3808	848	2倍		土蜘蛛	Ⅲ	—	—	(7.0)	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	底部赤切り痕			
3808	849	2倍		土蜘蛛	Ⅲ	—	—	13.8	—	暗褐色	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り・ミガキ		
—	850	2倍	実液不能	土蜘蛛	Ⅲ	—	—	—	—	—	—	—	—	圓版丸	
—	851	2倍		土蜘蛛	Ⅲ	(15.4)	—	—	赤褐色	赤色粒子	良				
—	852	2倍		土蜘蛛	Ⅲ	(13.8)	—	—	赤褐色	赤色粒子	良		圓版丸		
—	853	2倍	実液不能	土蜘蛛	Ⅲ	—	—	—	—	—	—	—	—	圓版丸	

3955	854	2雄	208	土師器	坏	—	—	8.4 内面：明 黄色、外 面：黄 褐色	赤色粒子・砂粒 鐵素：赤色粒子・砂粒	良	見込み部：暗文、底部：赤切り 痕	底部：縦刻	
3956	855	2雄		土師器	坏	(13.6)	—	—	暗褐色	赤色粒子や含・砂粒	良		
3957	856	2雄	202	土師器	坏	—	—	(7.0)	明褐色	赤色粒子	良	見込み・背部：暗文、底部赤切 り縫へう縫り	
3958	857	2雄	15	土師器	坏	(14.8)	—	—	黃褐色	鐵素：赤色粒子や砂	良	外面：ヘラ削り、暗文不明瞭	
3959	858	2雄	1171	土師器	坏	(11.0)	2.9	(5.0)	明褐色	赤色粒子	良	暗文不明瞭、ヘラ削り	
3960	859	2雄	1144	土師器	坏	(15.2)	—	—	明褐色	赤色粒子	良		
3961	860	2雄		土師器	坏	(11.0)	—	—	明褐色	赤色粒子	良		
3962	861	2雄	342 - 871	土師器	坏	12.6	4.5	5.0	赤褐色	赤色粒子	良	暗文不明瞭、ヘラ削り	
3963	862	2雄	437	土師器	坏	(13.0)	4.5	6.4	明褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り	
3964	863	2雄	426 - 424	土師器	坏	(11.8)	—	—	赤褐色	赤色、白色粒子	良	ヘラ削り・暗文	
3965	864	2雄	1178	土師器	坏	(10.8)	3.75	(5.0)	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り・暗文不明瞭	
3966	865	2雄		土師器	坏	10.8	3.9	5.2	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・ヘラ削り	
3967	866	2雄		土師器	坏	11.6	—	—	黃褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り	
—	867	2雄		瓦	丸瓦	—	—	—	—	—	良	表面：布目痕・斜めにも織が ある	圓版欠
3968	868	2雄	224	土師器	變	(18.0)	—	—	暗褐色	やや粗：金雲母・石英・黒色 粒子多數	良	内面：ハケメ、外側：ハケ調整	
3969	869	2雄	839	土師器	變	(15.8)	—	—	暗褐色	やや粗：金雲母・石英・黒石・ 砂粒多數	良	外側：ハケメ、内面：ハケメ・ 指添風	
3970	870	2雄		土師器	變	—	—	—	明褐色	赤色粒子	良		
3971	871	2雄		土師器	變	—	—	—	—	赤色粒子、金雲母	良		
3972	872	2雄		土師器	變	—	—	—	黑色	やや粗：金雲母・石英・砂粒	良		
—	873	2雄	変形不能		—	—	—	—	—	—	—	—	圓版欠
3974	874	2雄		先生 土 器	泥生・ 直	—	—	—	明褐色	白色粒子多數	良		
—	875	2雄	変形不能		—	—	—	—	—	—	—	—	圓版欠
3976	876	2雄		先生 土 器	泥生・ 直	—	—	—	内面：灰 褐色、外 面：明 褐色	黑色・白色粒子多數含 黑點	良	ハケメ	
—	877	2雄	変形不能		—	—	—	—	—	—	—	—	圓版欠
3978	878	2雄	992	土師器	—	—	—	7.0	赤褐色	赤色粒子・砂粒多數含	良		
3979	879	2雄	410	土師器	變	—	—	(6.8)	暗褐色	やや粗：金雲母・黒色粒子多 數	良	内面：ハケメ、外側：ハケメ、 底部：木葉痕	
—	880	2雄	628	土師器	—	—	—	8.8	赤褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良		圓版欠
3980	881	2雄	1105 - 1094	土師器	坏	—	—	8.6	黒褐色	赤色粒子・金雲母	良	一部反転・体部ナガ・木葉痕	
—	882	2雄	変形不能		—	—	—	—	—	—	—	—	圓版欠
3981	883	2雄	299	土師器	—	—	—	(5.0)	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	赤切り痕	
3982	884	2雄		土師器	—	—	—	(8.6)	赤褐色	赤色粒子・石英・砂粒	良	ハケメ・木葉痕	
—	885	2雄	1089	土師器	丸瓦?	—	—	—	黃褐色	—	良		圓版欠
3983	885	2雄	1564	土師器	變	—	—	(8.9)	暗褐色	赤色粒子・金雲母・石英	良	ハケ・底部木葉痕	
3984	885	2雄	317	土師器	變	—	—	(8.9)	暗褐色	赤色粒子・金雲母・石英	良	ハケ・指添痕・底部木葉痕	
—	886	2雄	1092	土師器	—	—	—	—	暗褐色	赤色粒子・石英・砂粒	良		圓版欠
—	887	2雄	158	土師器	鉢?	—	(2.0)	5.4	暗褐色	赤色粒子	良	外側：割り	内面：キズの 跡、圓版欠
3988	888	2雄	316	土師器	鉢?	—	(2.9)	4.0	明褐色	赤色粒子	良	割り・底部ヘラ調整	
3989	889	2雄	1206	土師器	變	—	—	(5.8)	灰褐色	赤色粒子	良		
3990	890	2雄	290	土師器	高台皿	—	—	(7.0)	暗褐色	赤色粒子・砂粒	良		内亂
3991	893	2雄		土師器	高台坏	—	—	(8.8)	灰褐色	鐵素：砂粒	良	割り出し苔台	
—	894	2雄		土師器	小變?	—	—	(6.2)	黒褐色	鐵素：白色粒子・石英・黒雲母	良	外側：ヘラ削り	圓版欠
—	895	2雄		土師器	變?	—	—	(2.4)	6.8	暗褐色	赤色粒子・金雲母	外側：割り	圓版欠
—	896	2雄		土師器	變?	—	—	(7.8)	黃褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良		圓版欠
3998	897	2雄		土師器	變?	—	—	(7.4)	黑素褐色	鐵素：灰石・金雲母	良	内外面：ハケ、底部木葉痕	
3999	898	2雄	230	土師器	變?	—	—	5.0	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	底部赤切り痕	
3998	899	2雄		土師器	—	—	(2.2)	10.0	暗褐色		ヘラ調整・内面：ナゲ・底部： 底部：赤切り痕		
—	900	2雄		土師器	—	—	(2.3)	1.5	赤褐色		ハケ調整・内面：ナゲ・底部： ヘラ削り	圓版欠	
3999	901	2雄		土師器	變	—	—	8.0	赤褐色	砂粒	良	ハケ目・木葉痕	
—	902	2雄		土師器	變	—	—	(6.8)	茶褐色	鐵素：白色粒子・石英・黒雲母	良	外側：ハケ目	圓版欠
3999	903	2雄	591	土師器	高坏	—	—	(15.3)	褐色	赤色・白色粒子・石英	良	外側：ヘラ削り	
3999	904	2雄		土師器	高坏	—	—	—	赤褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・ナゲ	
3999	905	2雄		土師器	再坏	—	—	—	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り	
3999	906	2雄	1125	土師器	磨台	—	—	—	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良		

398	907	2倍	605	土器部	器台	-	-	-	赤褐色	赤色粒子	良					
400	908	2倍	844	土器部	高环	-	-	-	赤褐色	赤色粒子	良					
405	909	2倍	561	土器部	高环	-	-	-	明褐色	赤色粒子・砂粒	良					
406	910	2倍	649	土器部	高环	-	-	-	茶褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	外面：ヘラ削り？				
405	911	2倍	595	土器部	高环	-	-	-	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良					
405	912	2倍		土器部	高环	-	(5.7)	-	明褐色	赤色粒子	良					
405	913	2倍		土器部	高环	-	(4.5)	-	外表面：黄褐色 内表面：赤褐色	赤色粒子	良	内外面：斑点調査				
405	914	2倍	198	土器部	高环	-	-	(15.0)	赤褐色	赤色粒子・砂粒多數	良					
405	915	2倍	846	土器部	高环	-	-	-	赤褐色	砂粒	良					
405	916	2倍	294	土器部	高环	-	-	-	明褐色	中中板：石英・白色粒子多數	良					
405	917	2倍	1099	土器部	高环	-	(7.0)	-	明褐色	赤色粒子	良					
405	918	2倍		土器部	高环	-	(5.5)	10.6	内表面：赤褐色 外表面：暗褐色	赤色粒子	良					
405	919	2倍	203	土器部	高环	-	(4.5)	-	赤褐色	赤色粒子	良					
405	920	2倍	12	土器部	高环 脚部	-	-	-	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	ミガキ				
405	921	2倍	987	土器部	高环	-	-	-	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り				
405	922	2倍	914	土器部	高环	-	-	-	褐色	赤色粒子・砂粒	良	ハケ目・ヘラ削り				
405	923	2倍	911	土器部	高环	-	-	-	暗褐色	赤色粒子・砂粒	良	研磨・ハケ目				
405	924	2倍	578	土器部	脚	9.6	-	-	赤褐色	砂粒	良					
405	925	2倍	1208	土器部	脚	-	-	-	明褐色	やや粗：石英・金雲母・赤色粒子・黒色粒子	良	内外面：ハケ目				
405	926	2倍	665	土器部	小型脚	(9.0)	-	-	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良					
405	927	2倍	1133	土器部	脚	(13.6)	-	-	黄褐色	赤色・白色粒子	良	ハケ目				
405	928	2倍	629	土器部	脚	-	-	-	暗褐色	赤色粒子・金雲母・石英	良	ハケ目				
405	929	2倍	1111	土器部	脚	-	-	-	黄褐色	赤色粒子・砂粒・石英	良					
-	930	2倍		表面不純		-	-	-	-	-	-	-	細緻欠			
-	931	2倍		表面不純		-	-	-	-	-	-	-	細緻欠			
-	932	2倍		表面不純		-	-	-	-	-	-	-	細緻欠			
-	933	2倍		表面不純		-	-	-	-	-	-	-	細緻欠			
405	934	2倍	577	土器部	壳	-	-	-	赤褐色	石英・金雲母多數含	良	内外面：ハケ目				
405	935	2倍	350	土器部	壳	-	-	-	赤褐色	金雲母多數含	良	内外面：ハケ目				
405	936	2倍	110	土器部	脚・底 部	-	-	-	明褐色	砂粒	良	底部：木質底、内面：ハケ目				
-	937	2倍	344	土器部	脚	-	-	-	明褐色	赤色・白色粒子	良	内外面：ハケ目	細緻欠			
-	938	2倍		土器部	脚	-	-	-	暗褐色	金雲母	良	内面：ハケ目	細緻欠			
-	939	2倍		土器部	脚	-	-	-	褐色	雲母	良	外表面：ハケ目	細緻欠			
-	940	2倍	932	土器部	脚	-	-	-	明褐色	金雲母・石英	良	内外面：ハケ目	細緻欠			
-	941	2倍	1052	土器部	脚	-	-	-	赤褐色	金雲母多數含	良	内外面：ハケ目	細緻欠			
-	942	2倍	824	土器部	脚	-	-	-	赤褐色	石英多數含	良	外表面：ハケ目	細緻欠			
405	943	2倍	313	瓦	平瓦	-	-	-	青灰色	白色粒子	良	範囲：表・底				
405	944	2倍	219 - 267 - 191	瓦	平瓦	-	-	-	灰褐色	白色粒子	良	範囲：表・底、ヘラ削りによる面取り				
405	945	2倍	262	瓦	平瓦	-	-	-	灰黑色	白色粒子	良	表：布目、裏：溝目				
405	946	2倍	616	瓦	平瓦	-	-	-	灰色	砂粒	良	-	剥離有			
415	947	2倍	150	瓦	平瓦	-	-	-	灰色	砂粒	良	表：布目、裏：溝目				
415	948	2倍	1183	瓦	平瓦	-	-	-	墨褐色	砂粒	良	表：布目、裏：溝目、ヘラ削りによる面取り	剥離有			
-	949	2倍		表面不純		-	-	-	-	-	-	-	細緻欠			
415	950	2倍	897	瓦	丸瓦	-	-	-	灰色	赤色粒子	良	ヘラ削り	剥離有			
415	951	2倍	466	瓦	平瓦	-	-	-	深褐色	砂粒	良	表：布目				
415	952	2倍	122	瓦	丸瓦	-	-	-	灰色	砂粒	良	-				
-	953	2倍		表面不純		-	-	-	-	-	-	-	細緻欠			
-	954	2倍		表面不純		-	-	-	-	-	-	-	細緻欠			
-	955	2倍		表面不純		-	-	-	-	-	-	-	細緻欠			
-	956	2倍		表面不純		-	-	-	-	-	-	-	細緻欠			
-	957	2倍		表面不純		-	-	-	-	-	-	-	細緻欠			
415	958	2倍	149	瓦	丸瓦	-	-	-	明褐色	赤色粒子・雲母	良	表：布目				
415	959	2倍	332	瓦	平瓦	-	-	-	褐色	白色粒子・砂粒	良	鴨卵				
415	960	2倍		瓦	丸瓦	-	-	-	明褐色	赤色粒子・雲母	良	表：布目				
415	961	2倍	980	瓦	平瓦	-	-	-	暗褐色	白色粒子・雲母	良	鴨卵				
415	962	2倍	972	瓦	丸瓦	-	-	-	明褐色	赤色粒子	良	布目				
415	963	2倍	209	瓦	平瓦	-	-	-	褐色	砂粒・雲母	良	表：布目、鴨卵				
-	964	2倍		表面不純		-	-	-	-	-	-	-	細緻欠			
-	965	2倍		表面不純		-	-	-	-	-	-	-	細緻欠			
-	966	2倍		表面不純		-	-	-	-	-	-	-	細緻欠			

-	967	2周	尖部不能	-	-	-	-	-	-	-	-	圓腹欠
-	968	2周	尖部不能	-	-	-	-	-	-	-	-	圓腹欠
-	969	2周	504	瓦	瓦	-	-	明褐色	赤色粒子	良	布目	圓腹欠
-	970	2周	尖部不能	-	-	-	-	-	-	-	-	圓腹欠
-	971	2周	尖部不能	-	-	-	-	-	-	-	-	圓腹欠
-	972	2周	尖部不能	-	-	-	-	-	-	-	-	圓腹欠
-	973	2周	尖部不能	-	-	-	-	-	-	-	-	圓腹欠
-	974	2周	尖部不能	-	-	-	-	-	-	-	-	圓腹欠
428	975	2周		瓶器	瓶底	-	-	灰色	白色粒子・小石混じり	良	内外面：ロクロナゲ	
428	976	2周	151	瓶器	底？	-	-	明灰色	白色粒子	良	外表面：平行叩き目	
428	977	2周	1131	瓶器	底？	-	-	明灰色	白色粒子	良	外底：平行叩き目	
428	978	2周		瓶器	底？	-	-	青灰色	白色粒子	良	外縁：平行叩き目、内面：同心 円状当て表底	
428	979	2周	307	瓶器	底？	-	-	青灰色	白色粒子	良	外縁：平行叩き目、内面：同心 円状当て表底	
428	980	2周	464	瓶器	底？	-	-	灰色	白色粒子	良	外縁：平行叩き目、内面：同心 円状当て表底	
428	981	2周	75	瓶器	底？	-	-	青灰色	白色粒子	良	外縁：平行叩き目	
428	982	2周	275	瓶器	底？	-	-	青灰色	白色粒子・小石混じり	良	外縁：平行叩き目	
428	983	2周	325	瓶器	底？	-	-	青灰色	白色粒子	良	外縁：平行叩き目	
428	984	2周	310	瓶器	底？	-	-	灰色	白色粒子	良	外縁：平行叩き目、内面：同心 円状当て表底	
428	985	2周	113	瓶器	底？	-	-	暗褐色	白色粒子	良	外縁：ロクロナゲ	
428	986	2周	333	瓶器	底？	-	-	青灰色	白色粒子	良	外縁：平行叩き目	
428	987	2周	782	中空 陶 器？	？	-	-	無色	白色粒子	良	外縁：平行叩き目	
428	988	2周	364	灰釉？	？	-	-	灰色	白色粒子	良		
428	989	2周	1104	烟燈	器？	-	-	灰色	砂粒	良	外縁：平行叩き目	
428	990	2周	1045	須器	？	-	-	青灰色	砂粒	良	外縁：平行叩き目	
428	991	2周	S-3	石器	石皿	-	-	-	-	一	-	
428	992	2周		青銅 鋼 品	純金具	-	-	-	-	一	-	
428	993	2周		土器品	土馬 調 部	-	-	赤褐色	赤色粒子やや含	良	面取り有	
428	994	2周	667	土器品	土馬 調 部	-	-	赤褐色	赤色粒子やや含	良		

3号出土遺物

(法量の単位はcm. 一は計測不能、< >は推定値)

件目 番号	遺物 番号	出土地点	注記番号	種別	形	法 量			色 調	胎 土	整 成	調 査	備 考
						L径	幅	厚					
448	1	3周	74	土器部	环	(11.8)	3.9	-	赤褐色	赤色・白色・黒色粒子	良	外縁：ヘラ削り	内外面：赤色
448	2	3周	78	土器部	环	(12.6)	-	-	暗褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・ミガキ・ヘラ調整	内黒
448	3	3周	2・45	土器部	环	(12.2)	(4.0)	-	暗褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・ミガキ	
448	4	3周	75	土器部	环	(13.8)	4.35	-	暗褐色	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り	
448	5	3周	50	土器部	碗	(13.8)	-	-	外縁：赤 褐色、内 面：黑色	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り	内黒
448	6	3周	40	土器部	环	(13.2)	(3.7)	-	黄褐色	砂粒	良		内外面：赤色 の剥離
448	7	3周	53	土器部	环	(11.6)	4.0	-	暗褐色	砂粒	良		内黒
448	8	3周	52	土器部	环	(12.4)	-	-	明褐色	赤色粒子	良		
448	9	3周	125	土器部	环	(13.8)	-	-	黑褐色	青	良	ヘラ削り	黒跡
448	10	3周	76	土器部	环	(11.8)	3.8	-	外縁：黄 褐色、赤 褐色、青 色、内 面：内 黒	赤色粒子	良	ヘラ削り	内外面：赤 色
448	11	3周	61	土器部	环	13.4	-	-	黄褐色	赤色粒子・石英	良	ヘラ削り	
448	12	3周	63	土器部	环	(13.6)	(3.1)	-	黄褐色	赤色粒子	良		
448	13	3周	87・88	土器部	环	(12.4)	(3.4)	-	内面：赤 褐色、外 面：暗 褐色	赤色粒子	良	外縁に黒跡か？	外縁：赤 褐色か？
448	14	3周	27	土器部	蓋環	(11.6)	-	-	黄褐色	赤色・白色・黒色粒子・砂粒	良	ヘラ削り	
448	15	3周	117	土器部	环	(14.0)	3.55	-	明褐色	赤色・黒色粒子・砂粒	良	外縁：ロクロヘラ削り	
448	16	3周	1	土器部	环	(12.8)	-	-	暗褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	外縁：ヘラ削り	
448	17	3周		土器部	环	内 面	(15.6)	-	内面：黑 褐色、外 面：赤 褐色	赤色・白色・黒色粒子・砂粒	良	内面：ミガキ、外縁：ヘラ削り	内黒

44回	18	3倍	62	土器部	坪	13.4	3.5	—	茶褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	ヘラ削り		
44回	19	3倍	58	土器部	坪	(13.0)	—	褐色	赤色粒子・砂粒	良	内外面：黒彩	内面：赤彩、外 面：赤彩の痕跡		
44回	20	3倍	114	土器部	坪	(12.8)	—	暗褐色	赤色粒子	良	指擦による凹痕			
44回	21	3倍	89	土器部	坪	(12.0)	—	—	赤褐色	赤色粒子	良	内面：赤彩、外 面：赤彩の痕跡		
44回	22	3倍	110 - V11-29	土器部	坪		—	—	黄褐色、 内外面赤彩	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り・指擦痕	赤彩	
44回	23	3倍	18 - 41	土器部	坪	(13.8)	—	—	明褐色、 内外面赤彩	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り	赤彩	
44回	24	3倍	68	土器部	坪	(11.8)	—	—	黄褐色、 内外面赤彩	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り	赤彩	
44回	25	3倍	107	土器部	坪	(12.0)	—	—	明褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り	赤彩	
44回	26	3倍	99	土器部	坪	(14.0)	—	—	明褐色	—	良		赤彩	
44回	27	3倍	66	土器部	坪	(12.6)	—	—	明褐色	—	良	ヘラ削り、ミガキ		
44回	28	3倍	5	土器部	坪	(12.0)	—	—	暗褐色	砂粒	良	内面：ミガキ		
44回	29	3倍	122 - V11G	土器部	坪	(12.6)	—	—	明褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り	内面	
44回	30	3倍	83	土器部	坪	(11.8)	3.9	—	—	外面：褐 色、内面： 暗褐色	赤色粒子・砂粒	良		
44回	31	3倍	82	土器部	坪	(13.2)	—	—	暗褐色	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り		
44回	32	3倍	102	土器部	坪	(13.4)	—	—	黄褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り		
44回	33	3倍	112	土器部	坪	(14.6)	—	—	褐色	赤色粒子・砂粒	良		内外面：黒彩 の痕跡	
44回	34	3倍	W11G	土器部	坪	(11.4)	—	—	黄褐色	赤色粒子	良		外面：赤彩	
44回	35	3倍	103	土器部	坪	12.3	—	—	暗褐色	赤色粒子	良			
44回	36	3倍	124	土器部	坪	11.7	—	—	暗褐色	赤色粒子	良			
44回	37	3倍	104	土器部	坪	11.4	—	—	赤褐色	赤色粒子	良		赤彩	
44回	38	3倍	—	土器部	坪	15.4	—	—	赤褐色	赤色粒子	良		赤彩	
44回	39	3倍	—	土器部	坪	(11.4)	—	—	褐色	赤色粒子・砂粒	良			
44回	40	3倍	—	土器部	坪	(14.8)	—	—	明褐色	赤色粒子	良			
44回	41	3倍	—	土器部	坪	(14.6)	—	—	暗褐色	赤色粒子	良		内外面：黒彩 の痕跡	
44回	42	3倍	—	土器部	坪	(11.8)	—	—	暗褐色	赤色粒子・砂粒	良		外面：黒彩 少?	
44回	43	3倍	80	土器部	S字型	(12.2)	—	—	赤褐色	赤色粒子・金雲母	良	内面：ハケメ不明瞭、外面： ハケメ		
44回	44	3倍	95	土器部	S字型	—	—	—	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	ハケメ		
44回	45	3倍	26	土器部	S字型	(14.2)	—	—	暗褐色	金雲母	良			
44回	46	3倍	94	土器部	台付甌	—	—	(6.2)	明褐色	赤色粒子・石英	良	外面：ハケメ、内面：ヘラ削り	脚部	
44回	47	3倍	120	土器部	台付甌	—	—	—	赤褐色	石英	良	内外面：ハケメ		
44回	48	3倍	19	土器部	甌?	—	—	(7.4)	明褐色	砂粒	良	内面：ミガキ	内面：赤彩	
44回	49	3倍	86	土器部	台付甌	—	—	—	黄褐色	赤色粒子	良	外面：ハケメ、内面：ヘラ削り		
44回	50	3倍	99	土器部	台付甌	—	—	—	褐色	—	良	内面：ミガキ・ハケメ、外面： ハケメ		
44回	51	3倍	96	土器部	高环	—	—	—	明黄褐色	やや粗：灰石・石英	良		3ヶ所に穿孔	
44回	52	3倍	97	土器部	高环	—	—	—	明褐色	赤色粒子やや 粗	良	外面：ヘタミダキ、内面：ヘラ 削り		
44回	53	3倍	70	土器部	高环	—	—	(8.9)	黑褐色	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り・ハケメ		
44回	54	3倍	84	土器部	高环	—	—	(9.0)	黄褐色	赤色粒子・砂粒	良	ハケメ・ヘラ削り		
44回	55	3倍	108	土器部	坪?	(17.8)	—	—	外面：黄 褐色、内 面：黑色	赤色粒子	良	ヘラ削り	内面	
44回	56	3倍	57	土器部	坪	(15.9)	—	—	明褐色	赤色・白色粒子	良	ハケメ		

弥生集中区遺物

件 番 号	出 土 地 点	注 記 番 号	種 類	形 状	法 量			色 調	胎 土	結 成	質 量	備 考	
					口径	周 長	底 径						
44回	1	弥生集中	59 - 62 - 63 - 64 - U26-19	土器部	坪	(19.2)	—	—	赤褐色	—	良	内外面：ハケメ	
44回	2	弥生集中	17	土器部	坪	—	5.5	—	赤褐色	赤色粒子	良	内面：ハケメ・ミガキ	
44回	3	弥生集中	73	土器部	坪	—	16.0	—	赤褐色	赤色粒子・石英	良		
44回	4	弥生集中	117	土器部	坪	—	14.4	—	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良		
44回	5	弥生集中	W26-32	土器部	坪	(23.6)	—	—	褐色	石英・雲母	良	内面に赤彩、ヘラミガキ不明 瞭	
44回	6	弥生集中	145	土器部	坪	(18.0)	—	—	明褐色	やや粗：白色粒子多數	良	内面：ヘラミガキ	

45回	7	共生集中	U28-18・19	土師器	直	—	—	黄褐色	赤色粒子・砂粒	良	ミガキ・ハケメ		
45回	8	共生集中	125	土師器	直	—	—	赤褐色	白色粒子多數含	良	外側：純文	寺割	
45回	9	共生集中	U26-3	土師器	直	—	—	暗褐色	金色粒子	良	内外側：ハケメ		
45回	10	共生集中	45-37-69-123-V26-22・W27-5	土師器	直	(15.6)	—	—	暗褐色	黑色・白色粒子・砂粒	良	内面・口縁部：ヘラ削り不明 縁：ハケメ・ナゲ、外側口縁部： ハケメ、縁端：ヘラ削り不明瞭	
45回	11		V27-12	土師器	直	—	残5.8	—	深褐色・暗褐色	赤色粒子	良	内面：ミガキ、外側：ナゲ	
45回	12	共生集中	U27-15	土師器	直	—	—	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	外側：ハケメ		
45回	13	共生集中	U25-25-13-14-V25-8	土師器	直	—	—	赤褐色	白色粒子	良	外側：純文・ハケメ		
45回	14	共生集中	V26-8・9	土師器	直	—	—	赤褐色	石英	良	内面：ハケメ、外側：ミガキ		
45回	15	共生集中	123・149	土師器	直	—	—	明褐色	白色粒子	良	内側：ハケメ		
45回	16	共生集中	53・93	土師器	直	—	—	明褐色	白色粒子	良	内側：ハケメ		
45回	17		V26-12	土師器	直	—	—	黄褐色	青	良	外側：齒狀貼付文		
45回	18	共生集中	12	土師器	直	—	—	暗褐色	白色粒子	良	内側：ハケメ		
45回	19	共生集中	99	土師器	直	—	—	暗褐色	白色粒子	良	内側：ハケメ		
45回	20	共生集中	U26-29	土師器	直	—	—	明褐色	白色粒子	良	内側：ハケメ		
45回	21	共生集中	29・32	土師器	直	—	—	暗褐色	白色粒子多數含	良	内側：ハケメ		
45回	22	共生集中	U25-25	土師器	直？	—	—	褐色	白色粒子・露母	良	外側：ハケメ調整後ミガキ、内 側：ハケメ		
45回	23	共生集中	106	土師器	直	—	—	褐色	白色粒子多數含	良	外側：ミガキ、内側：ヘラナゲ		
45回	24	共生集中	31-18-83-84 85・V27G	土師器	台付型	14.0	18.5	5.9	黄褐色	赤色粒子・砂粒・石英	良	内側面にハケメ	
45回	25	共生集中	V26-11	土師器	直	(18.2)	—	—	褐色	赤色・白色・黑色粒子・砂粒・石英	良	内面：ヘラ削り、口唇部：削み 文、口縁部：ハケメ	
45回	26	共生集中	U26-20	土師器	直	(14.8)	—	—	明褐色	青	良	外側：ハケメ、口唇部削み文	
45回	27	共生集中	V27-7・W26-34	土師器	直	(14.6)	—	—	赤褐色	赤色・白色・黑色粒子・砂粒	良	口唇部に削み文、外側：かすか にハケメ	
45回	28	共生集中	3	土師器	直	(17.0)	—	—	赤褐色+ 黃褐色	白色粒子やや	良	内外側：ハケメ	
45回	29	共生集中	83	土師器	直	(26.0)	—	—	明褐色	白色粒子・砂粒	良	内面：ハケメ、口唇部：削み文、 外側口縁部：ハケメ	
47回	30	共生集中	V27-7	土師器	直	(19.4)	—	—	暗褐色	やや白：白色粒子	良	口唇部：削み文、外側：ハケメ、 内面：ヘラ削り	
47回	31	共生集中	U26-5	土師器	直	22.0	—	—	黃褐色	赤色粒子	良	ハケメ	
47回	32	共生集中	44	土師器	直	(16.8)	—	—	明褐色	白色粒子やや	良	口唇部：削み文、内面：ハケ メ	
47回	33	共生集中	V25-15	土師器	直	(13.8)	—	—	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	ハケメ	
47回	34	共生集中	W26-19	土師器	直	—	—	褐色	白色粒子・石英	良	内側：ハケメ		
47回	35	共生集中	68	土師器	直	—	—	明褐色	白色粒子	良	内外：ハケメ、口唇部：削み文		
47回	36	共生集中	90	土師器	直	—	—	明褐色	白色粒子・石英	良	外側：ハケメ、口唇部：削み文		
47回	37	共生集中	26	土師器	直	—	—	明褐色	白色粒子	良	内側：ハケメ、口縁部：ハケ 魚工具による削み文		
47回	38	共生集中	W26-12	土師器	直	—	—	暗褐色	白色粒子	良	口唇部：削み文		
47回	39	共生集中	1-115・126?	土師器	直	—	—	明褐色	白色粒子	良	内側：ハケメ		
47回	40	共生集中	U27-12	土師器	直	—	—	暗褐色	白色粒子	良	外側：ハケメ、内面：ナゲ		
47回	41	共生集中	41-67-135-21	土師器	直	—	—	明褐色	白色粒子やや含	良	内側：ハケメ		
47回	42	共生集中	132	土師器	直	—	—	明褐色	白色粒子やや含	良	内側：ハケメ		
47回	43	共生集中	U27-9	土師器	直	—	—	黄褐色	白色粒子・砂粒	良	外側：ハケメ		
47回	44	共生集中	27	土師器	直	—	—	暗褐色	白色粒子・砂粒	良	内側：ハケメ		
47回	45	共生集中	91	土師器	直	—	—	赤褐色	白色粒子多數含	良	外側：ハケメ		
47回	46	共生集中	V27-3	土師器	直	—	—	黄褐色	白色粒子やや含	良	外側：ハケメ		
47回	47	共生集中	V26-21	土師器	直	—	—	明褐色	底石・石英	良	外側：ハケメ		
47回	48	共生集中	56	土師器	直	—	—	明褐色	白色粒子	良	外側：ハケメ		
47回	49	共生集中	30	土師器	直	—	—	暗褐色	白色粒子	良	外側：ハケメ		
47回	50	共生集中	V25-15	土師器	直	—	—	暗褐色	長石・石英	良	外側：ハケメ		
47回	51	共生集中	U26-22	土師器	直	—	—	褐色	白色粒子多數含	良	外側：ハケメ		
47回	52	共生集中	V25-12	土師器	直	—	—	明褐色	白色粒子多數含	良	内側：ハケメ		
47回	53	共生集中	W26-28	土師器	台付型	—	—	(9.4)	黄褐色+ 赤褐色	白色粒子	良	外側：ハケメ、内面：底部にハ ケメ・脚部にヘラ削り調整	
47回	54	共生集中	71	土師器	台付型	—	—	—	茶褐色	白色・黑色粒子・砂粒・石英	良	外側：指標による調整か？	
47回	55	共生集中	V25-3	土師器	台付型	—	—	(8.0)	暗褐色	白色粒子やや	良	内側：ハケメ	

4708	57	共生集中	U25-20	土師器	台付便	—	—	内面：馬 色、外 面：茶 褐色	石英・長石・砂粒	良	外面：ハケメ不明瞭、内面：ざ らざらしている			
4708	58	共生集中	U25-19	土師器	台付便	—	—	—	茶褐色	白色・赤色・褐色粒子・砂粒	良	外面：茶で調整後ヘラ削り・ ハケメ、脚部内面：ハケメ		
4708	59	共生集中	U25-18	土師器	台付便	—	—	—	褐色	やや粗：白色粒子	良	外面：ハケメ調整		
4708	60	共生集中	U25-9	土師器	便	—	—	—	3.6 明褐色	白色粒子・砂粒	良	内面：ハラ削り不明瞭、外面： ハラ削り・指摘点	内面部：赤彩	
4708	61	共生集中	2	土師器	高环	—	—	(10.0)	褐色	石英	良	外面：ハラミガキ、内面：ハケ メ	穿孔有	
4708	62	共生集中	101	土師器	高环	—	—	—	黄色褐色	やや粗：白色粒子	良			
4708	63	共生集中	W26-33	土師器	高环	—	(3.2)	—	明褐色	赤色粒子・砂粒	良			
4708	64	共生集中	V26-1	土師器	高环	—	—	—	赤褐色	砂粒	良	内面部：ハケメ		
4708	65	共生集中	28 - 33 - 34 - 36 - 40 - 45 - 46 - 47 - 51 - 58 - 109 - 110 - 113 - 114 - 136	土師器	便	23.0	—	—	暗褐色	砂	良	外面部上部：ハケメ、口唇部：刻 み文、内面部：ミガキ		
4708	66	共生集中	104	土師器	便	(13.0)	—	—	赤褐色	白色粒子やや	良	外面部：ハケメ、内面：ハラ削り		
4708	67	共生集中	W25-6	土師器	S字便	(18.4)	—	—	黄色褐色	やや粗：白色粒子多数	良	口唇部：刻み文、内面：暗褐色 ハケメ、内面：ハケメ		
4708	68	共生集中	V26-15	土師器	S字便	(16.0)	—	—	黄色褐色	赤色粒子やや	良	内面部：ハケメ、口唇部：ハケ による刻み文		
4708	69	共生集中	V26-2	土師器	便	—	—	—	黄色褐色	赤色粒子・砂粒・石英	良	ハケメ		
4708	70	共生集中	103	土师器	S字便	(15.8)	—	—	明褐色	白色粒子	良	内面：ハケメ		
4708	71	共生集中	W26-8	土師器	便	—	—	—	黄色褐色	白色粒子・苔母	良	外面部：ハケメ		
4708	72	共生集中	W26-4	土師器	便	—	—	—	暗褐色	白色粒子	良	外面部：ハケメ		
4708	73	共生集中	U25-9	土師器	便	—	(5.4)	4.3	暗褐色	赤色粒子・砂粒	良		底部：8穴、内 面：7穴	
4708	74	共生集中	W26-34	土師器	便	—	—	4.8	赤褐色	赤色粒子・石英	良	ハケメ		
4708	75	共生集中	4	土師器	便	—	—	4.4	暗褐色	赤色粒子・砂粒	良			
4808	76	共生集中	U26-5	土師器	便	—	—	(6.5)	暗褐色	赤色粒子・砂粒	良	ハラ削り		
4808	77	共生集中	89	土師器	便	—	—	6.0	赤褐色	赤色粒子・石英・長石	良	指標板		
4808	78	共生集中	W27-4	土師器	便	—	—	(7.0)	明褐色	やや粗：石英	良	外面部：ハラ調整・底部：木薙 底		
4808	79	共生集中	V26-6	土師器	便	—	—	(8.0)	明褐色	やや粗：長石・石英	良	外面部：ミガキ、内面：ハラ削 り？		
4808	80	共生集中	V26-29	土師器	便	—	—	(6.8)	暗褐色	やや粗：白色粒子	良	内外側にハケメ、底部：木薙底		
4808	81	共生集中	79	土師器	便	—	—	5.3	赤褐色	赤色粒子・石英	良	指標板		
4808	82	共生集中	U27-16	土師器	便	—	—	6.6	暗褐色	赤色粒子・石英・砂粒	良	ハケメ		
4808	83	共生集中	U28-19	土師器	便	—	—	(12.0)	明褐色	やや粗：白色粒子多数	良			
4808	84		V25-11	土師器	便	—	—	12.7	5.8	暗褐色	赤色粒子	良	ハケメ	
4808	85	共生集中	U27-5	土師器	便	—	—	4.6	赤褐色	赤色粒子・金雲母	良	内面部：ハケメ		
4808	86	共生集中	U26-24	土師器	便	—	(2.8)	6.0	暗褐色	赤色粒子・石英	良			
4808	87	共生集中	W26-24 - 25 - 26 - V26-3	土師器	便	—	—	(9.0)	内面：我 色、外面： 黑色	白色・黑色粒子・砂粒	良	内面：ミガキ、見込み付近：ハ ケメ、外面：ミガキ不明瞭		
4808	88	共生集中	76	土師器	便	—	—	残2.7	6.1	暗褐色	赤色粒子	良	上部にナデ、下部にハケメ	
4808	89	共生集中	144 - 138	土師器	便	—	(3.6)	6.8	外側：培 養色、内 面：明 褐色	赤色粒子・砂粒	良			
4808	90	共生集中	V26-25	土師器	便	—	—	(7.2)	明褐色	赤色・白色粒子・砂粒・石英	良	ハケメ不明瞭、指標板		
4808	91	共生集中	74	土師器	便	—	(3.0)	5.0	明褐色	赤色粒子・砂粒	良			
4808	92	共生集中	130	土師器	便	—	—	6.0	明褐色	赤色・白色粒子・砂粒・石英	良	ハラ削り不明瞭、指標板		
4808	93	共生集中	70	土師器	便	—	—	7.8	暗褐色	赤色粒子・砂粒	良	外側：木薙底、見込みに調整、 底部：木薙底		
4808	94	共生集中	U28-1	土師器	便	—	—	4.4	赤褐色	赤色粒子	良	見込み部分：ハラ削り		
4808	95	共生集中	U27-14	土師器	便	—	—	残2.9	8.4	黄褐色	赤色粒子	良		
4808	96	共生集中	W26-10	土師器	便	—	—	7.2	暗褐色	赤色粒子	良			
4808	97	共生集中	V26-13	土師器	便	—	—	(7.4)	黒茶褐色	白色粒子・砂粒	良	内面：ナデ・ハケメ、見込み： ナデ・指標板、外側：ハケメ、 底部：木薙底		
4808	98	共生集中	60	土師器	便	—	—	8.4	暗褐色	赤色粒子・石英・砂粒	良	ハケメ		
4808	99	共生集中	U26-28	土師器	便	—	—	5.6	赤褐色	赤色粒子・石英・長石	良			
4808	100	共生集中	49 - 52	土師器	便	—	—	(8.9)	赤褐色	赤色・白色粒子・砂粒・石英	良	外面部：ハケメ不明瞭、指標板		
4808	101	共生集中	U26-17	土師器	便	—	—	(8.0)	明褐色	赤色・白色粒子・石英	良	外面部：ハケメ不明瞭		
4808	102	共生集中	50	土師器	便	—	—	残2.4	7.9	暗褐色	赤色粒子	良		
4808	103	共生集中	7	土師器	便	—	(2.2)	(6.6)	暗褐色	赤色粒子・砂粒	良			

4902	104	弥生集中	35	土器部	變	—	(2.5)	7.0	明褐色	赤色粒子・石英	良		
4902	105		U25-17	土器部	變	—	残3.1	7.7	明褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・ハケメ	

遺構外出土遺物

件番号	遺物番号	出土地点	柱記番号	種別	器形	法量			色調	胎土	感覚	調査	備考	
						口径	器高	底径						
4902	1	K7	2	土器部	變	—	—	—	暗褐色	砂粒	良	内面：ミガキ		
4902	2	R9	23	土器部	變	(16.5)	—	—	茶褐色	白色・黒色粒子・石英・雲母	良	内面：ヘラミガキ不明顯、外 面：ナナメ		
4902	3	V20	2	土器部	變	13.0	—	—	明褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り		
4902	4	W22	8	土器部	變	(21.8)	—	—	明褐色	赤色粒子	良	内面：ハケ調整		
4902	5	V15	6	土器部	變	—	—	—	明褐色	白色粒子多數含	良			
4902	6	W22	7	土器部	變?	23.2	—	—	赤褐色	白色粒子	良	内外面：ハケメ		
4902	7	L6	3	土器部	變	13.0	—	—	暗褐色	赤色粒子・砂粒	良			
4902	8	G4	3	土器部	變	(19.4)	—	—	内面：茶 褐色・外 面：茶 褐色	赤色・白色粒子・砂粒・石英	良	内面：ヘラミガキ、外面：ハケ メ不明顯、口唇部：刻み		
4902	9	L5	1	土器部	變	(13.5)	—	—	外面：暗 褐色・内 面：黄褐色	白色粒子やや含	良	内外面：ハケメ		
4902	10	Q9	5	土器部	小型變	(8.4)	—	—	暗褐色	赤色粒子・砂粒	良	内外面：ミガキ、口唇部：ハケ 技工具による跡み		
4902	11	L5	2	土器部	小型變	(9.0)	—	—	暗褐色	白色粒子やや含	良	内面：ミガキ、外面：ハケメ		
4902	12	Q-7	2	土器部	小型變	8.2 (3.1)	—	0	赤色粒子	良				
4902	13	W21	6	土器部	高坏	(13.8)	—	—	黄褐色	赤色・白色粒子・石英・金雲母	良	ハケメや不明顯		
4902	14	W20	1	土器部	變	—	—	11.4	黄褐色	白色粒子多數含	良	外面：ハケメ、底部：木質痕		
4902	15	S10	53	土器部	變	—	—	—	灰褐色	石英・黃石	良			
4902	16	S10	51	土器部	變	—	—	—	—	—	良			
4902	17	T10	4	土器部	變	—	—	—	外面：赤 褐色・内 面：黑褐色	石英	良	内外面：ハケメ		
4902	18	T10		土器部	變	—	—	—	暗褐色	砂粒	良	内外面：ハケメ		
4902	19	V15	8	土器部	S字變	(15.6)	—	—	明褐色	白色・黒色粒子・砂粒	良	内面：ナナメ、外面：ハケメ		
4902	20	S8	土器部	台付變	—	—	—	—	灰褐色	砂粒	良			
4902	21	S9	土器部	S字變	—	—	—	—	灰褐色	赤色・白色粒子・金雲母	良			
4902	22	W22	11	土器部	S字變	(15.4)	—	—	暗褐色	赤色・白色粒子・石英・金雲母	良			
4902	23	T10	18	土器部	S字變	(19.6)	—	—	明褐色	赤色・白色粒子・金雲母	良	ハケメ		
4902	24	O-6	5	土器部	S字變	11.4 (2.9)	—	—	明褐色	赤色粒子・金雲母	良			
4902	25	T10	17	土器部	高坏	—	残4.7	9.7	明褐色	赤色粒子	良	内外面：ハケメ		
4902	26	W22	9	土器部	台付變	—	—	8.0	明褐色	白色粒子	良	内外面：ハケメ		
4902	27	V23	3	土器部	高坏	—	—	(7.8)	外面：明 褐色・内 面：茶褐色	赤色・白色・黒色粒子・金雲母・石英	良	脚部内面：ナナメ、脚部外面：ハ ケメ、内面：凹凸		
4902	28	S10	25	土器部	台付變	—	—	(9.2)	茶褐色	黒色粒子・黃石・雪母	良	脚部内面：ナナメ、脚部外面：ハ ケメ		
4902	29	T10		土器部	台付變	—	—	—	暗褐色	赤色粒子・砂粒・黄石	良	ハケメ・指痕		
4902	30	S10	6	土器部	台付變	—	—	—	暗褐色	赤色粒子・砂粒・石英	良	ハケメ		
4902	31	W20	2	土器部	高坏	—	—	—	茶褐色	赤色・白色粒子・砂粒・石英	良		穿孔：対通穴	
4902	32	V19	3	土器部	坪	—	—	12.8	—	黄褐色	金雲母	良		
4902	33	K6	1	土器部	坪	(12.8)	3.2	—	明褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	外面：ヘラ削り		
4902	34	R9-Q9	R9-19-26-Q9-2	土器部	坪	(12.2)	3.7	—	黄褐色	赤色・白色・黒色粒子・砂粒	良	外面：ヘラ削り		
4902	35	Q9	24	土器部	坪	(12.6)	(4.0)	—	暗褐色	赤色粒子	良		内黒	
4902	36	Q9	21	土器部	坪	(13.0)	—	—	明褐色	赤色粒子	良	外面：ヘラ削り		
4902	37	V11	15	土器部	坪	15.2	—	—	黄褐色	赤色粒子	良			
4902	38	V22	4	土器部	變?	(22.0)	—	—	赤褐色	赤色・白色粒子・金雲母	良	内外面：ハケメ		
4902	39	V22	2	土器部	変	(11.8)	—	—	赤褐色	赤色粒子・金雲母・石英・小 石	良	内面：ヘラ削り・外面：ハケ メ不明顯		
4902	40	Q9	22	土器部	變?	(17.6)	—	—	灰褐色	金雲母	良			
4902	41	I-5	—	土器部	變	(15.8)	—	—	明褐色	赤色・白色粒子・金雲母	良	ヘラ削り		
4902	42	R9	1	土器部	變	17.2	—	—	赤褐色	赤色粒子	良	ハケメ		
4902	43	V11	44	土器部	変	—	—	—	黄褐色	小石・石英・砂粒	良			

49回	44	W21	5	土脚器	高坏?	(12.8)	—	—	黄褐色	赤色・白色粒子・石英・砂粒	良	ハケメやや不明瞭		
49回	45	Q9	23	土脚器	低	(15.8)	—	—	明褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	内外側:ハケメ不明瞭		
50回	46	R9	25	土脚器	低	—	—	7.0	赤褐色 内面: 黑褐色	赤色粒子・金器物・石英	良	本葉病		
50回	47	W20	5	土脚器	低	—	—	—	赤褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り		
50回	48	V19	5	土脚器	低	—	—	6.0	褐色	白色粒子	良	内面:ハケメ	底部に空孔	
50回	49	W20	1	土脚器	低	—	(6.8)	10.2	黄褐色	赤色粒子	良	内面:ハケメ		
50回	50	V11	11	土脚器	坏	(12.0)	4.0	8.2	明褐色	赤色粒子やや含	良	外面:ヘラ削り、底部:赤切り後ヘラ削り		
50回	51	V11	47	土脚器	坏	11.2	4.7	8.0	暗褐色	赤色粒子	良	暗文		
50回	52	V11	17	土脚器	坏	12.4	4.55	8.3	暗褐色	赤色粒子	良	外面:ヘラ削り		
50回	53	V11	20	土脚器	坏	11.8	—	—	黄褐色	赤色粒子・砂粒	良			
50回	54	V11	—	土脚器	坏	12.8	5.2	7.8	明褐色	赤色粒子	良	底部:ヘラ削り		
50回	55	V10	5	土脚器	坏	—	—	8.0	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り		
50回	56	R9	5	土脚器	坏	11.0	4.5	5.6	赤褐色	赤色粒子	良	外面:暗細ナゲ・ヘラ削り、内面:暗文・底部:赤切り後・ヘラ削り		
50回	57	P8	30	土脚器	坏	—	—	(6.0)	黄褐色	赤色粒子	良			
50回	58	P8	29	土脚器	坏	(11.6)	4.0	(5.0)	赤褐色	赤色粒子	良	内面:暗文不明瞭・外面:ヘラ削り		
50回	59	V11	21	土脚器	坏	(2.3)	7.6	8.6	明褐色	赤色粒子	良	外面:ヘラ削り		
50回	60	R9	28	土脚器	坏	13.0	4.1	3.6	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ハケメ		
50回	61	P8	27	土脚器	坏	—	—	6.2	黄褐色	赤色粒子・砂粒	良	内面:暗文・外面:ヘラ削り		
50回	62	V11	45	土脚器	坏	13.4	—	—	暗褐色	赤色粒子	良			
50回	63	S10	64	土脚器	坏	(11.8)	—	—	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	外面:暗文・ヘラ削り		
50回	64	J6	3	土脚器	坏	—	模1.4	5.6	明褐色	赤色粒子	良	底端赤切り底		
50回	65	J6	5	土脚器	高台坏?	—	—	(9.2)	明褐色	模密	良	底端赤切り底		
50回	66	S10	27	土脚器	直	—	—	(8.0)	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	見込み:暗文・底部:赤切り後 ヘラ削り削り出し高台		
50回	67	S9-8 - S10-24	—	土脚器	直	15.6	2.5	7.0	赤褐色	赤色粒子やや含	良			
50回	68	L7	3	土脚器	直	—	—	5.4	暗褐色	赤色粒子・砂粒	良			
50回	69	T9	6・12	土脚器	直	19.0	4.2	—	暗褐色	赤色粒子やや含	良			
50回	70	S9	5	土脚器	直	—	—	—	暗褐色	赤色粒子・砂粒	良			
50回	71	U7	2	土脚器	直	(15.8)	—	—	暗色	赤色・白色粒子	良	内面:暗文		
50回	72	T9	10・11・17	土脚器	高台坏	(19.2)	8.0	(9.2)	赤褐色	赤色粒子	良	内面:暗文・外面:暗細ナゲ 内面		
50回	73	T9	9・10	土脚器	高台坏	(16.6)	6.2	8.0	赤褐色	赤色粒子	良	内面:暗文		
50回	74	T10	22・27・28・29・31・33・37・38	土脚器	坏	16.5	7.4	7.9	赤褐色	赤色粒子	良	外面:ヘラ削り・ロクロ調整, 底部:赤切り後ヘラ削り		
50回	75	T10	15	土脚器	直	17.6	—	—	赤褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	暗文		
50回	76	M7	2	土脚器	直	(15.6)	—	—	暗褐色	赤色粒子・砂粒	良			
50回	77	U11	5	土脚器	坏?	(16.8)	—	—	赤褐色	赤色粒子不含	良			
50回	78	P8	28	土脚器	直	(10.8)	—	—	暗褐色	赤色粒子	良	内面:ヘラ削り不明瞭		
50回	79	V11	7	土脚器	直	(14.8)	—	—	暗褐色	白色粒子・武母・石英	良	内外側:ハケメ		
50回	80	S10	16	土脚器	直	—	—	(7.2)	暗褐色	金器物・石英	良	内外側:ハケメ・底部:本葉病		
50回	81	S9	1・3	土脚器	直	—	—	8.4	暗褐色	金器物	良	外側:ハケメ・内面:ヘラ削り, 底部:本葉病		
51回	82	S10	1	土脚器	直	—	—	(9.0)	暗褐色	金器物・石英	良	底部:本葉病		
51回	83	S10	5	土脚器	直	—	—	(5.4)	暗褐色	金器物	良	内外側:ハケメ		
51回	84	V11	15・28	土脚器	直	—	—	—	暗褐色	金器物	良	内外側:ハケメ		
51回	85	O-8	—	土脚器	高坏?	—	—	—	赤褐色	赤色粒子	良	外側:ヘラ削り		
51回	86	O-7	15	土脚器	坏	(9.6)	3.5	(5.0)	赤褐色	赤色粒子	良			
51回	87	I-5	—	張脚器	長脚 短脚 變?	—	—	(6.2)	灰色	白色粒子	良			
51回	88	U27	13	瓦	平瓦	—	—	—	青灰褐色	模畫	良	着目		
51回	89	S9	20	瓦	平瓦	—	—	—	—	—	良			
51回	90	S10	29	瓦	平瓦	—	—	—	—	—	良			
51回	91	S9	9	瓦	平瓦	—	—	—	—	—	良			
51回	92	J6	2	瓦	瓦瓦	—	—	—	明褐色	白色粒子・金器物	良	着目		
51回	93	K7	1	瓦	瓦瓦	—	—	—	明褐色	赤色粒子・金器物	良			
51回	94	K5	1	青砖	—	—	—	—	—	—	—	—		
51回	95	M7	5	青砖	—	—	—	—	—	—	—	—		
51回	96	C3	S1	石路	打築 石 井	—	—	—	—	—	—	—	—	

第4章 調査の成果と課題

以上、今回の調査の概要を示したが、調査面積が少なくしかも「ウナギの寝床」のような調査状況、さらには事前に非常に多くの遺物が細片となって表面採取されたことから遺構はすでに削平されていることが予想されたことなど、条件は決してよいとは言えないものであったが、その割りに豊富な遺構と遺物が得られた。これらの成果や課題についてここでまとめておきたい。

今回の調査では、縄文時代と思われる石鏃と多孔石が確認されているが、これが最古の居住の痕跡である。

弥生時代末～古墳時代初期の遺物が集中して出土しており、該期の生活の一端が確認された。今回の報告では提示できなかつたが、口縁部～頸部に波状文・簾状文を施した弥生時代後期の箱清水式の小破片が確認されている。その他の資料は終末期～古墳時代初期に位置づけられるもので、東海東部～西相模、東海西部、さらには中部高地などの諸地域の資料が入り交じて確認された。甲府盆地の他遺跡の例をみても、このような状況がこの地域の特徴といえるものである。しかし、このように捉えられるとするなら、この地域独特の土器なり他の要素なりとは一体どのようなものなのであろうか。大まかに言えば、本県への文化的所要素は、東から関東の、南から東海の、北西から中部高地の3つの流入経路が存在するのである。これは縄文時代から存在するルートであり、何も該期に限ったことではないが、甲府盆地は、例えば縄文時代中期では中部高地的色彩が強く、後期以降には関東的色彩が濃くなり、さらに晩期前半では県内東部を中心とする勢力が県内だけではなく関東や東海にも拡大する状況がみてとれる。つまりは時期毎の“いろ”が比較的鮮明なのである。しかし、どうもこの時期はそのような状況ではなく、混沌とした状況であるということになるらしい。本遺跡で今回確認された資料は口唇に櫛歯状工具の刺突を施したものが多く見受けられるが、甲府盆地内だけでも遺跡毎で土器の様相に違いがあるようである。この時期にはこれらのうちのどの勢力下に入っているのか、あるいは本県内もしくは甲府盆地でのみ3者が微妙なバランスを保っているのか、さらには在地と呼べる資料が存在するのかしないのか、するとすればどのようなものなのかななど、今後の課題が多い。

古墳時代中期の資料はまさに思いがけないものであった。遺物の集中状況から、最終的に遺構が確認されたこともあるって、遺構の残存状況は決してよくはないが、ともかくこの時期の資料は県内では非常に少なく、蓄積がなにより求められている中での確認という意味で思いがけない成果といえる。この資料が発見されたのが溝であったこともあって、高坏が多くを占める。“供獻”状況を示しているものと思われ、方形周溝墓の可能性も考えられるが、ごく一部の調査であるため可能性にとどめざるを得ない。

同後期は住居跡と溝とが確認された。いずれも同時期の遺構であり、出土遺物から6世紀末頃に位置づけられる。本遺跡の後背（北側）には東に大藏經寺山、西に八人山が控える。周知のごとく、大藏經寺山の南西斜面と八人山の南東斜面には横根・桜井積石塚古墳群が分布し、143基が現存している。これらの古墳群は7世紀代が主体であるが、確実に6世紀代から築造が始まっているとされている。本遺跡はまさにこれらの古墳群に挟まれた地域に位置し、時期的にも合致することから、必然的にこれらとの関連を想定することとなろう。これまで、この地域（甲府～石和～春日居）の山裾、あるいはそれに近い地域でこの時期の集落が確認された例としては、大藏經寺山の南西斜面に位置する桜井積石塚古墳群よりさらに東の石和町松本塚の越遺跡が挙げられるだけである。既に消滅した古墳の数を想定すれば、横根・桜井積石塚古墳群としては最盛期には1千基もの存在さえ指摘されている事からすれば、被葬者であれ労働力であれ、この地域に大規模な集落が存在したはずであるが、これまでの確認は意外なことに前述の例だけである。笛吹川を越えた御坂町内には二之宮遺跡・姥塚遺跡など該期の大規模集落が確認されているが、それらはむしろ姥塚古墳を初めとする金川流域古墳群との関連が指摘されている。また、甲府市北西部に位置する稲田遺跡でも、一部の調査であるにもかかわらず同時期の集落が濃い密度で確認されているが、その周辺は加牟那塚古墳をはじめ、千塚の名称が示すように6世紀後半以降の古墳の密集域として知られている。このように、古墳群分布域の周辺には同時期の集落が必ず存

在している。横根・桜井積石塚古墳群を考えれば、やはり現在の中央本線に沿った部分での該期集落の存在が最も可能性が高いものと思われるが、本遺跡は横根・桜井積石塚古墳群の喉元ともいえる位置に存在する訳であり、その意味からも今回の住居跡や溝の確認は意義深いものと考える。

2号溝および2号井戸跡、さらには造構外から甲斐型土器が多く出土し、その中にはこれまで類例の少なかったものも多数含まれ、多くの成果を上げることができた。これまで述べてきた資料を元に作成した編年図が第52図である。なお、52図は2号溝を中心に2号井戸跡、グリッド資料を加えて作成したものであるが、番号はそれぞれの図面番号と固有番号を意味するもので、本文中の番号と一致する。

甲斐型編年V期に位置づけられるものは確認できなかったが、造構外出土遺物中にVI期に遡ると思われる資料がある。50-50・51・52がそれにあたり、底部には中心部に糸切り痕が残り、周辺部はヘラ削りを行っている。みこみ部と体部の境には一条の深い磨きを施し、明確に体部と底部を区分けするものである。本来暗文はみこみ部・体部ともに存在するはずであるが、ここに提示した資料には少なくともみこみ部にはみられない。外表面は横方向の磨きもしくは斜めの削りが施されている。

みこみ部と体部を明確に区分けする意識は次のVII期に引き継がれる。2号溝では破片資料も含めれば25点が確認されている。この時期の底面の処理は皆一様であり、中心部にのみ糸切り痕が残りその周辺をヘラ削りするものである。みこみ部の暗文も一般的であるが、壺や皿ではそれがみられないものもある。そしてこの時期までの壺や皿はとにかく造りが丁寧な印象が強く、小破片であっても見分けが可能なほどである。

VIII期にはみこみ部の暗文は消失するが、みこみ部と体部の区分けを意識した境の磨きが残存するものもある。また、言われているように口径と底径が、みごとに2:1になっている。

VIII期には前段階の口径と底径比がくずれる。このことは、体部の立ち上がりの角度がより緩やかになることを示しており、VII期からの一連の傾向として捉えられるものである。なお、立ち上がりの角度はこの時期以降それほど変わらない。

X期の形態的変化としては口縁部の肥厚化が指摘できる。

IX期では暗文の消失が挙げられる。

以上、今回の調査で出土した甲斐型土器の概略をまとめた。とくにVII期の壺がまとまって得られたこと、同時期の大型のものを含む皿が確認できたこと、さらには壺の製作時に意識化されたみこみ部と体部の区分けが皿にも同様に意識されていることが確認できたことなどが成果として挙げられる。

また、編年以外では、溝中からの土馬の発見が大きな成果といえるものである。同時期に調査された白根町百々遺跡では何頭もの馬の頭部が検出され、なかには4頭がまとめられて埋葬された事例（10世紀前半：甲斐型編年X-XII期）なども確認されているが、そこでは中世の八田牧との関連が指摘されている。一方では屠馬による兩乞いなどの風習も指摘されるが、百々遺跡の事例はその一端をしめたものである可能性もある。兩乞いの場合に、実際に屠馬を行う代わりに土馬を用いたことはよく知られており、今回の土馬もその例と考えることができる。そして今回発見された土馬が2号溝の遺物の出土状況からすればVII期にまで下る可能性は少なく、最も多出する遺物の時期で考えればVII-X期に位置づけることが妥当なところであろう。また、胎土にも特徴的な赤色粒子が含まれており、胎土からも平安時代と認識できる。土馬の実年代は、やや幅広いが9世紀代としておきたい。これまで県内では5例の土馬が確認されているが、すべて中世以降（あるいはその可能性が高い）で確実に平安時代に位置づけられる資料はない。確実に平安時代に遡るものとしては今回が県内では初めての確認と言える。なお、今回の調査区域に隣接する大坪遺跡では地点を変えて過去何回かの発掘調査が行われているが、1994年に老人福祉施設建設に先立つ事前調査として発掘が行われた際、ヘラ削りのある「獸足状の土製品」が表面採取されており、土馬の可能性もある。仮にそうであるなら近接地域で複数の確認ということにもなり、この地域では普遍的な存在であったことを想定する必要が出てくる。

最後に、生産関連について触れておく。本遺跡東方600mには甲斐国分寺に瓦を供給したとされる上土器遺跡があり、さらにその東方には川田瓦窯跡が知られている。本遺跡や近接の大坪遺跡、また、桜井畠遺跡などで

	坏	高台付坏	皿	鉢
VI	 50-50			
VII	 21-23 21-20 22-41 22-42 22-44 22-58 11-7	 21-4 22-38	 27-206 26-203 14-148 26-202	
VIII	 24-95 21-14 24-97 23-67 21-9 23-82 21-8 50-56 21-11 23-68 21-10 21-21 21-16 21-7	 23-75 50-73 50-72	 27-219 27-228 27-230	
IX	 23-74 23-69 21-15 23-62 21-26 23-79 23-80	 22-33 24-102	 26-204 27-226 27-224 27-214	 11-10
X	 21-12 23-89 23-70 21-22 22-54 23-63		 11-16 27-220 27-213 27-214	
XI	 21-3 14-137 14-134 14-140 23-77 14-138 11-4 11-3 14-129	 22-34 27-207	 11-17 27-218 14-149 27-213	 50-74

第52図 道々茅木遺跡出土土器編年図（数字は図版・遺物番号を示す）

も、直接生産を示すものではないが、一様に瓦の利用を含む出土がみられる。古墳時代末期以降、この地域が瓦生産の中心地であったことは確実である。そして、それは瓦だけに限定されたことではなく、日常使用される土師器生産についても言えることである。当地域で産出される粘土は、瓦にも土師器にもよほど適していたのであろう。

今回の調査で確認された2号溝の出土状況は明らかに廃棄を示す。本文中でも述べたごとく、第21図13に示した資料などは底部の削りを強く行い過ぎたために焼成段階で底面の一部が剥離した状況を示しており、そのための廃棄であったと考えられる。極めて近接した場所での生産と廃棄が日常的に行われていたことを示すものであろう。今回の調査では明確に生産跡と言いつけることができる遺構は確認されなかつたが、その可能性は5号土坑や1号土坑に求めることができる。5号土坑は、焼土を伴い内部から土師器が出土しており、また、遺物は出土しなかつたものの1号土坑も焼土を伴っているからである。これらが小規模な土師器焼成遺構である可能性は充分考えられよう。

このような事例は1994年の大坪遺跡の調査（老人福祉施設地点）、あるいは1975年の山梨県遺跡調査団による調査でも確認されているのである。1994年の調査で確認された96号ピットからは、3cm程の焼土層の上面から土師器が集中して出土し、焼土層の下部からの焼土や灰混りの土が確認されており、土師器焼成遺構と報告されている。なお、類似した遺構が他にも確認されている。加えて、工房跡と考えられる堅穴住居跡が確認されており、報告者である平野修は、数軒程度の小規模な工房と焼成窯が近接して存在した姿を想定している。今回の調査で確認された5号土坑や1号土坑の状況は平野の想定から逸脱するものではなく、廃棄場所とも極めて近接した状況さえ浮かんでくる。また、1975年の調査では「レンズ状に埋む焼土ブロック2カ所が並ぶように検出された」と報告されている。以上の例から、地面を掘り窪めただけの簡単な構造の、それも小規模な焼成遺構が想定されてこよう。ただ、2号溝から出土したおびただしい量の土師器は短期間に廃棄されたものではなく、甲斐型編年の中期～XII期までが確認されている。実年代では800年～920年頃と考えられ、時間的連続性や、何と言ってもこれだけ大量に廃棄された状況から、この地域での生産期間中、一様に平野の想定するよう数軒程度の規模であったとは、むしろ考えにくいう気がする。1975年の調査、さらには1983年の甲府市教育委員会による調査のいずれも大量廃棄された状況が確認されているのであり、本遺跡から大坪遺跡一帯にかけて、このような規模の生産単位が濃密に存在し、かつ、それが連綿と続いたのであろう。ここで生産された甲斐型土器が甲斐国中に流通していることから考えても、全体としての規模は非常に大きかったことが窺われるるのである。

参考文献

- 末木健・坂本美夫ほか 1976 「大坪」 山梨県遺跡調査会
坂本美夫・末木健・堀内真 1983 「甲斐地域－シンポジウム奈良・平安時代の諸問題」『神奈川考古』14号
神奈川県考古学会
信藤祐仁ほか 1984 「大坪遺跡」 甲府市教育委員会
甲府市史編纂委員会 1988 「甲府市史 史料編 第一巻」 甲府市
田代孝・櫛原功一・宮沢公雄 1988 「上土器遺跡発掘調査報告」『甲府市史研究』第6号 甲府市
坂本美夫・中山誠二ほか 1989 山梨県埋蔵文化財センター調査報告第50集『桜井畑遺跡（B地区）』 山梨県
教育委員会
坂本美夫・中山誠二ほか 1990 山梨県埋蔵文化財センター調査報告第54集『桜井畑A・C地区』 山梨県教
育委員会
清水博・信藤祐仁ほか 1991 「横根・桜井積石塚古墳群調査報告書」 甲府市教育委員会
甲斐型土器研究グループ 1992 「甲斐型土器－その編年と年代－」 山梨県考古学協会
櫛原功一 1993 「金峰山発見の土馬」『帝京大学山梨文化財研究所所報』19号 帝京大学山梨文化財研究所

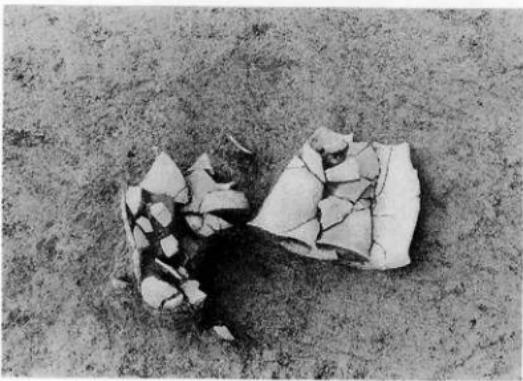
- 平野修 1996 「大坪遺跡発掘調査報告書」 甲府市遺跡調査会
- 中山誠二 1999 「弥生時代の縄年」「山梨県史 資料編2」 山梨県
- 坂本美夫 1999 「古墳時代の縄年」「山梨県史 資料編2」 山梨県
- 山下孝司・瀬田正明 1999 「奈良・平安時代の縄年」「山梨県史 資料編2」 山梨県

写 真 図 版

図版1　遺跡遠景　調査前風景　住居跡遺物出土状況



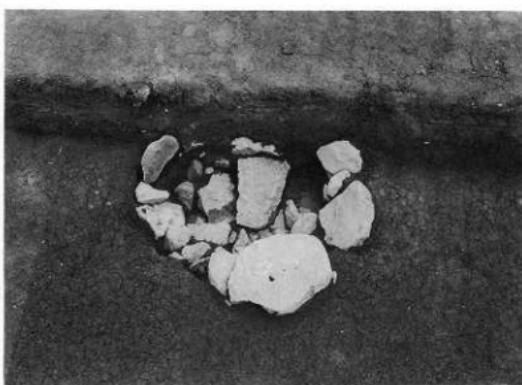
圖版 2
住居跡遺物出土狀況

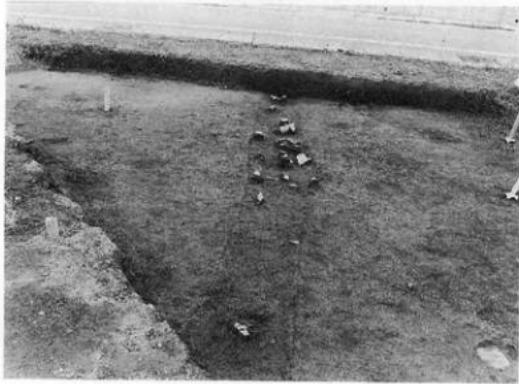
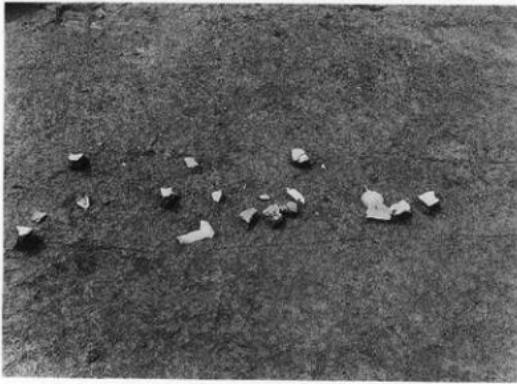
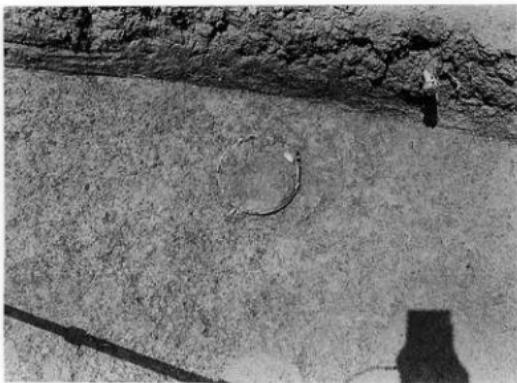


図版 3

1号井戸跡

2号井戸跡

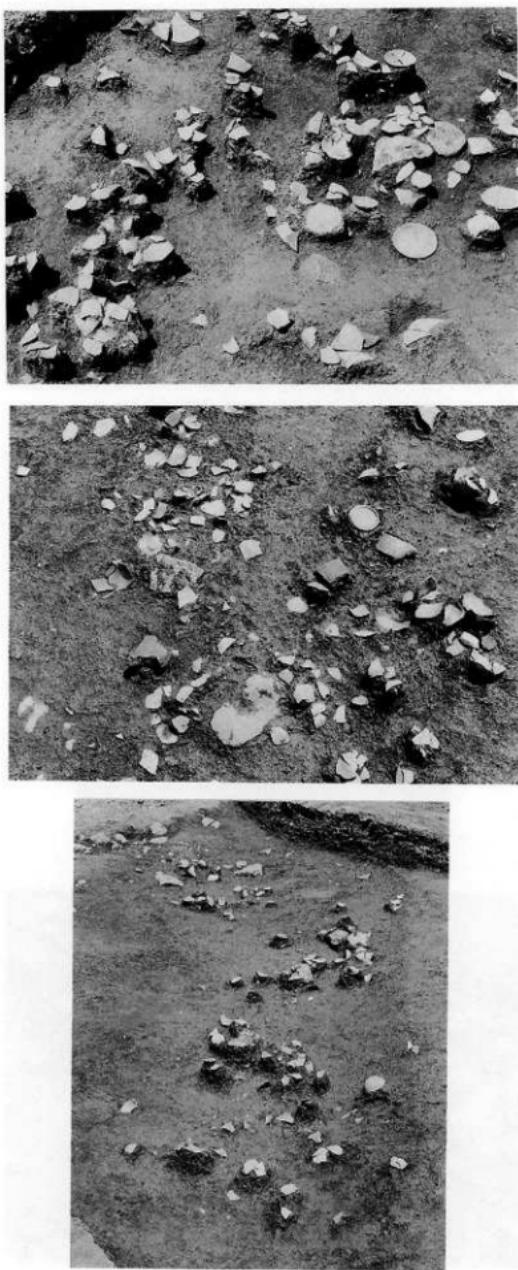


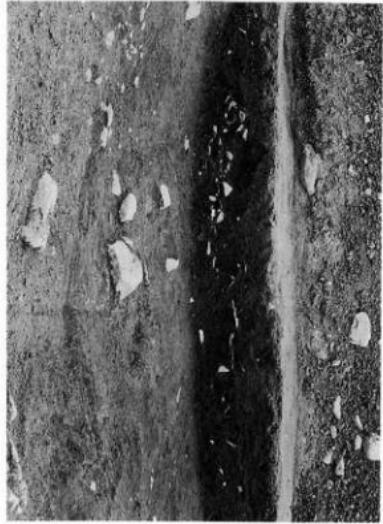


图版5
2号沟遗物出土情况

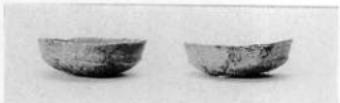
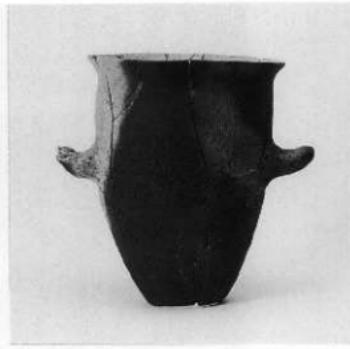


図版 6
2号溝遺物出土状況

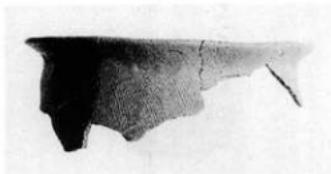
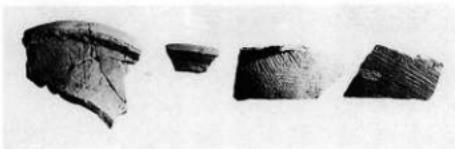


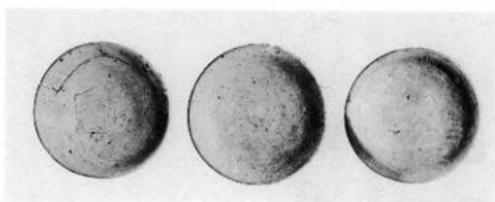
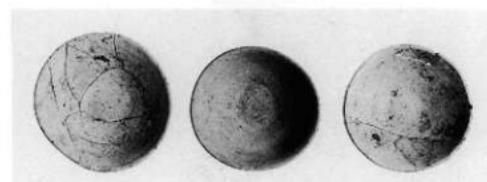
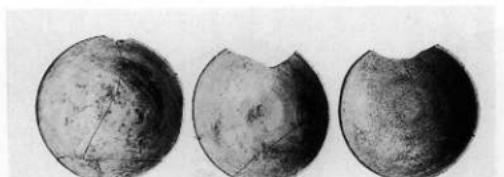


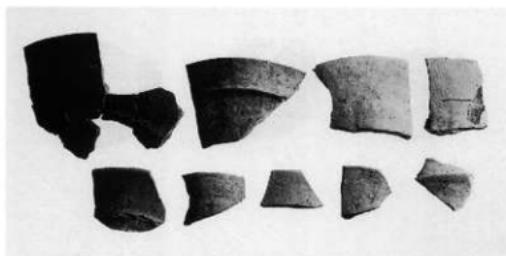
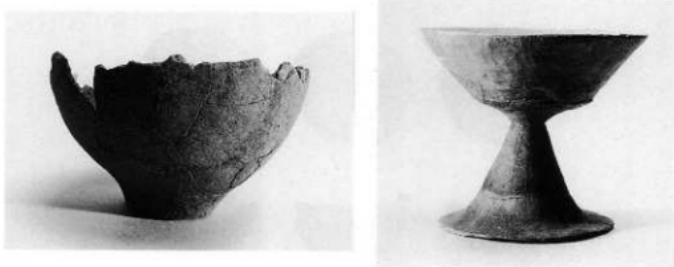
图版 1 2号洞 ②带砾岩层上部 沉积带风化带土层

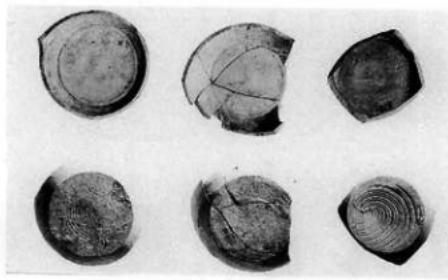
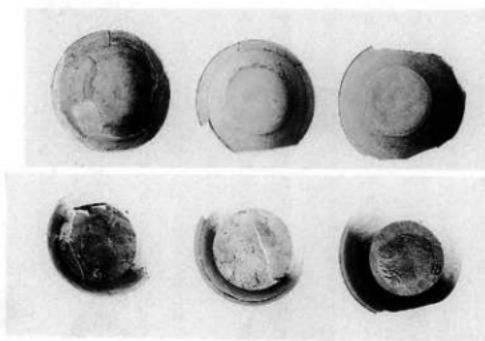


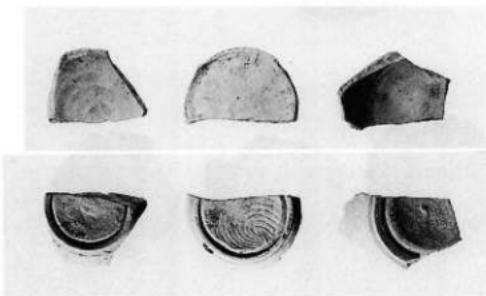
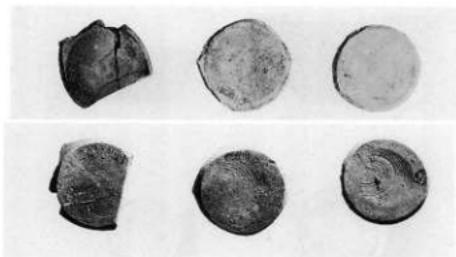
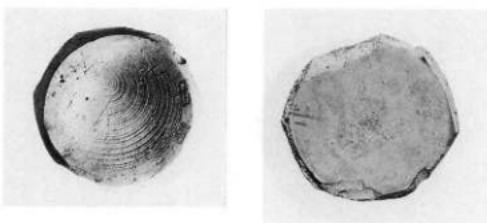
圖版 9 住居跡出土遺物 3号～5号土坑出土遺物



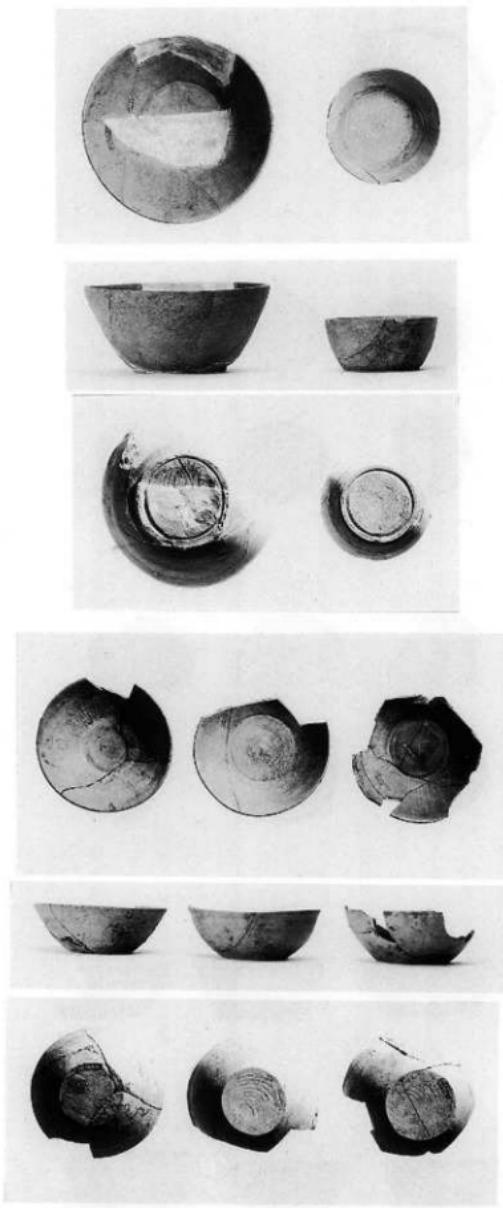


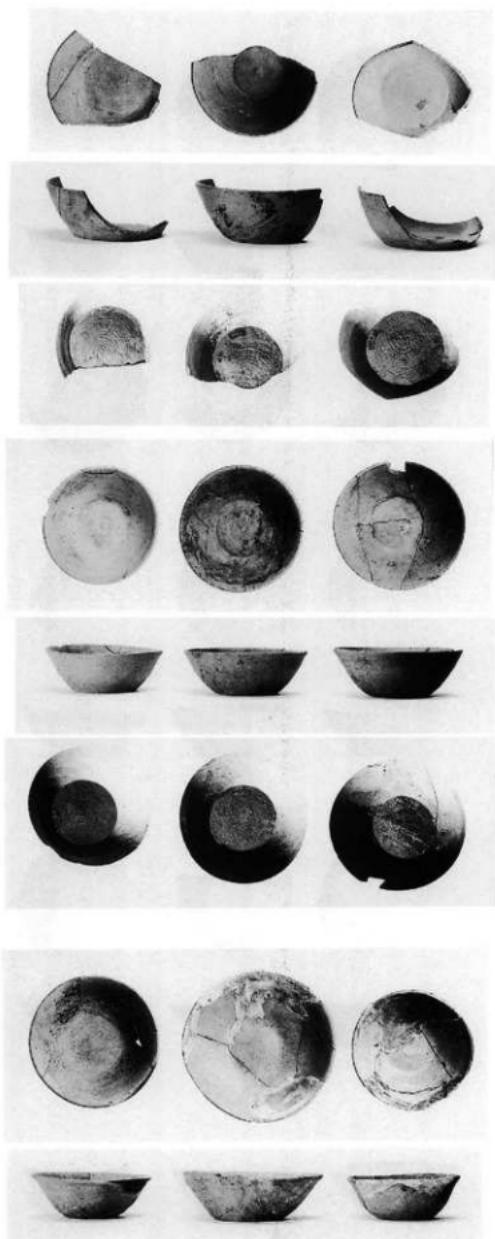


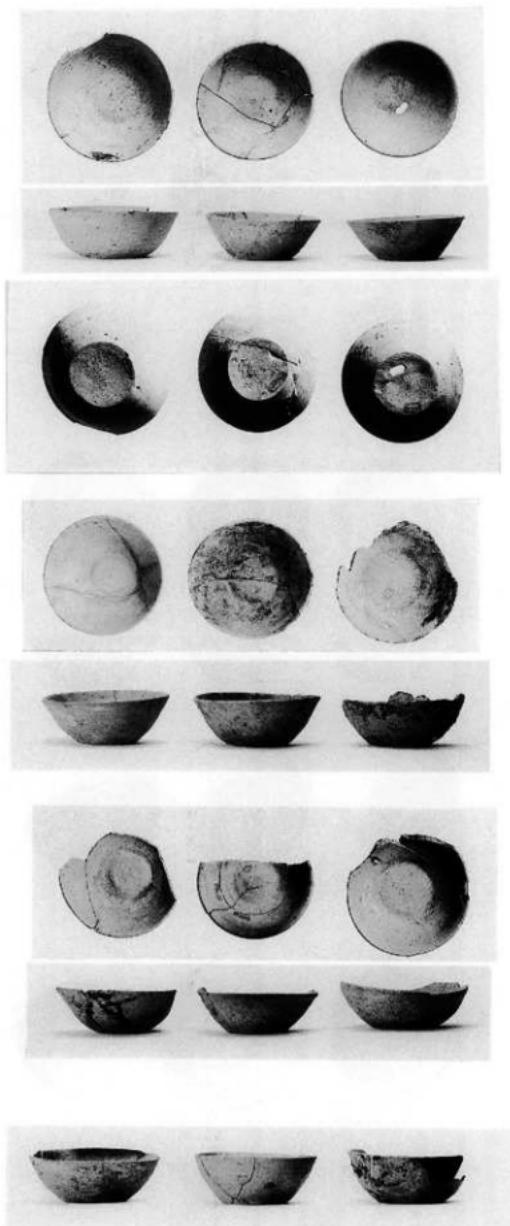


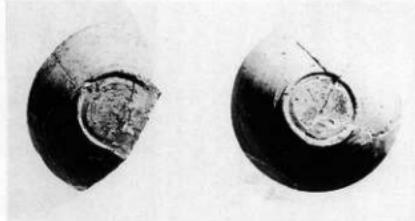
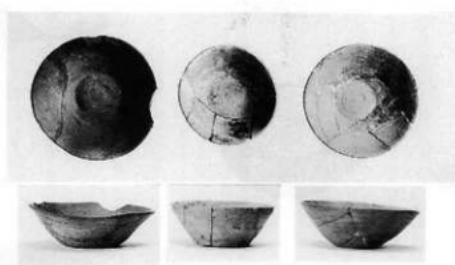
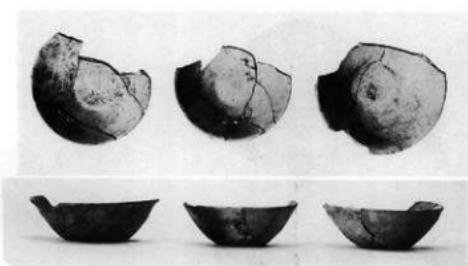


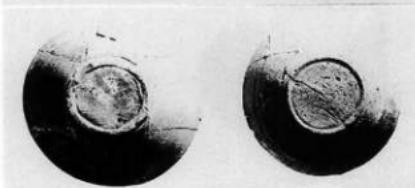
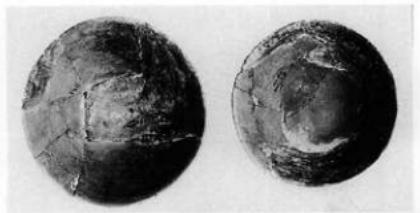
図版 14
2号溝出土遺物

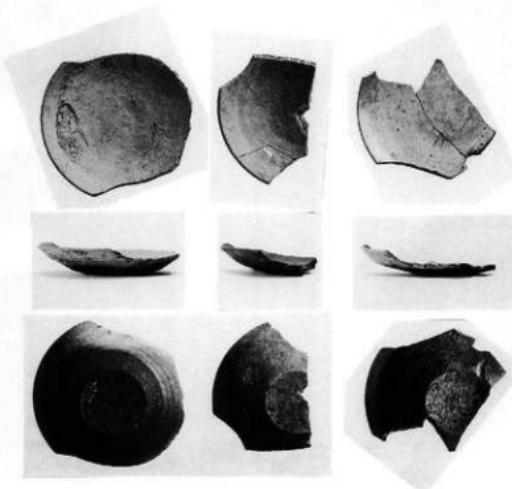
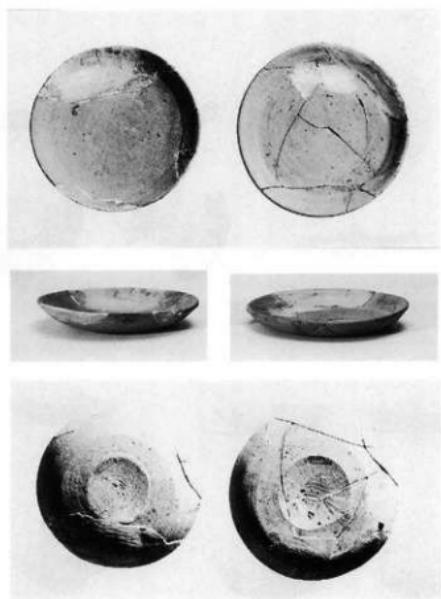




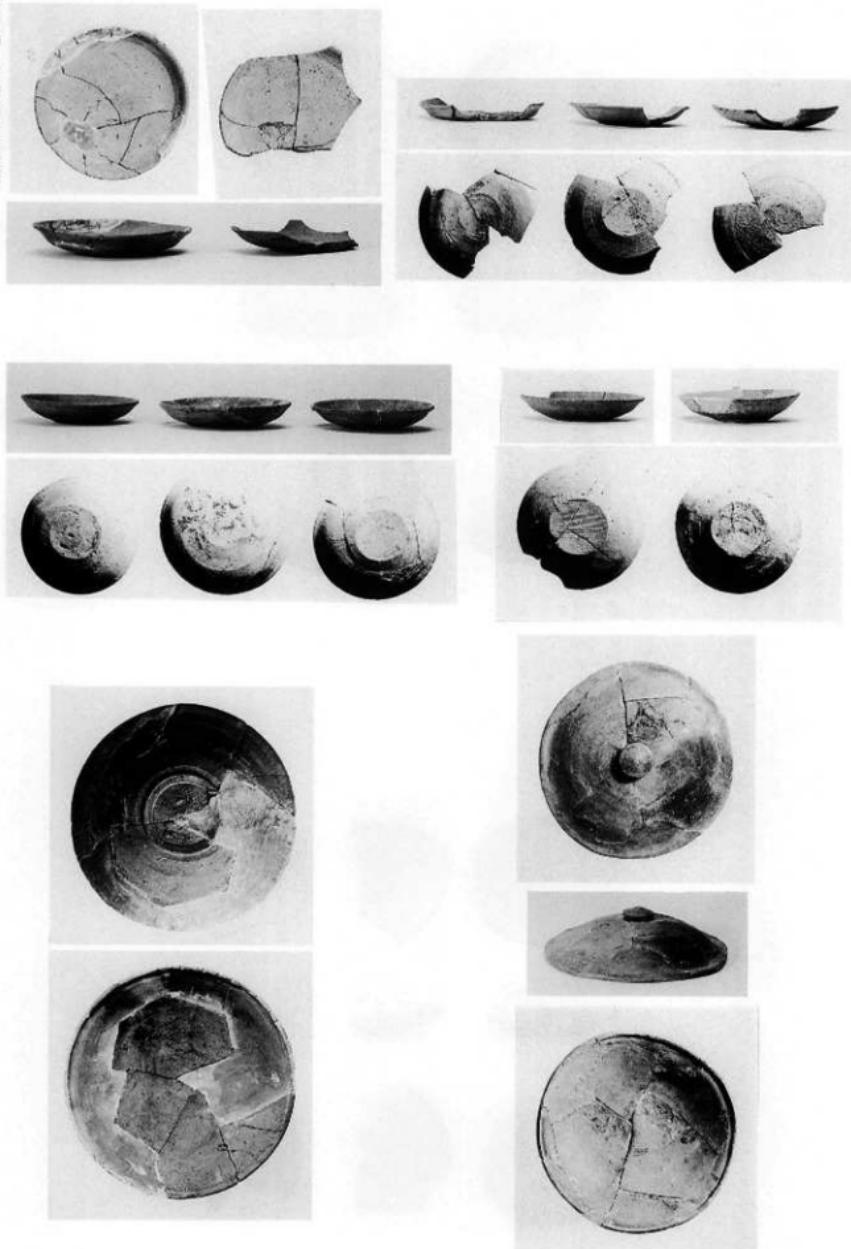


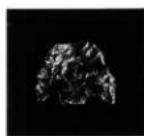
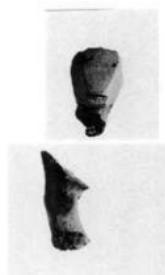
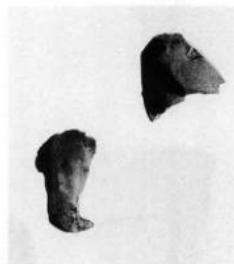
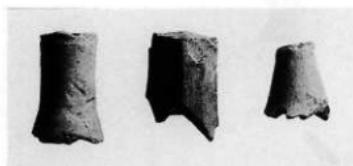


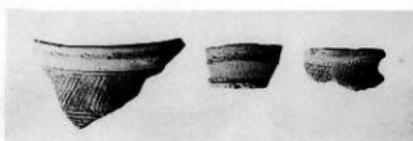
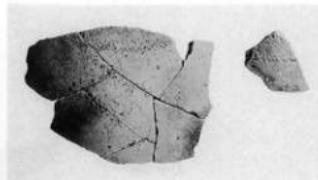
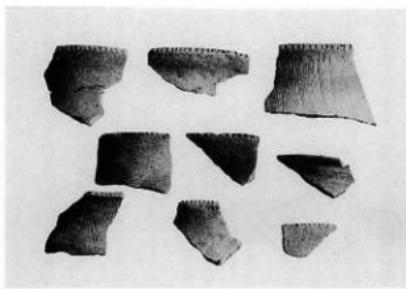
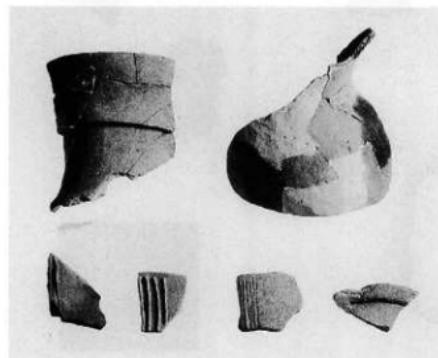


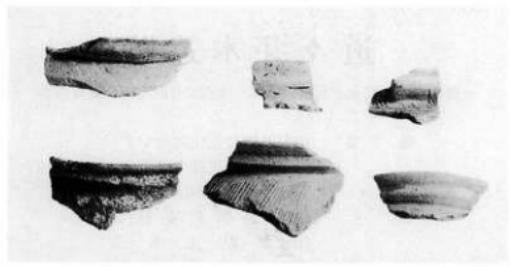
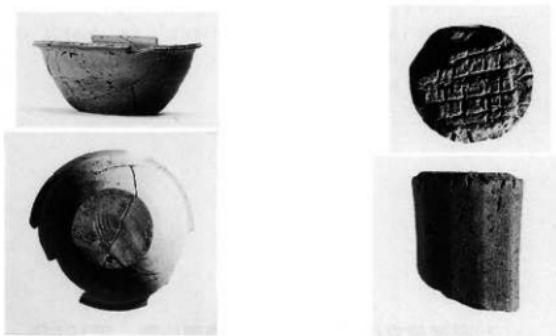
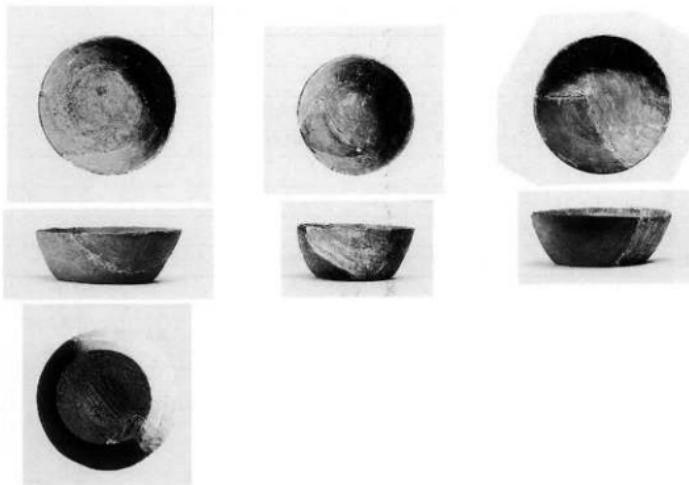


圖版 20
2號溝出土遺物









報告書抄録

ふりがな	どどめぎいせき						
書名	道々茅木遺跡						
副題	新環状・西関東道路建設工事に伴う発掘調査報告書						
シリーズ名	山梨県埋蔵文化財センター調査報告書 第188集						
著者名	長沢宏昌・三森鉄治						
発行者	山梨県教育委員会・山梨県土木部						
編集機関	山梨県埋蔵文化財センター						
所在地・電話	〒400-1508 山梨県東八代郡中道町下曾根923 TEL055-266-3016						
発行日	西暦 2001年3月31日						
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所 在 地	コード 市町村	北緯 度	東經 度	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
どどめぎいせき 道々茅木遺跡	やまなしけんこうふし よこねちょう 山梨県甲府市横根町 875番地外	19201	35° 39' 10"	138° 37' 00"	平成11年4月27日 ~ 6月28日	800m ²	新環状・西関東 道路建設工事に 伴う埋蔵文化財 調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物			特記事項
道々茅木遺跡	散布地	弥生時代後期 ・古墳時代 ・奈良時代 ・平安時代	古墳時代後期住居跡1軒、古墳時代中期溝1条、古墳時代後期溝1条、平安時代土坑2基、井戸4基など	土器(弥生土器、古墳時代土師器・須恵器、平安時代土師器・中世陶磁器)、土馬、金属製品(銀金)			

山梨県埋蔵文化財センター調査報告書 第188集

2001年3月20日 印刷

2001年3月31日 発行

道々茅木遺跡

—新環状・西関東道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—

編集 山梨県埋蔵文化財センター
山梨県東八代郡中道町下曾根923
TEL 055-266-3016

発行 山梨県教育委員会
山梨県土木部
印刷 株式会社少国民社

